

て通れない」道路堵着過不去「今は手が塞って居る」現在我騰不開手「何處の旅館も皆部屋が塞って居る」那個客店都沒有空屋子「穴が塞った」窟窿堵住了「眠くて目が塞る」困的眼皮打架「開いた口が塞らない」目瞪口呆  
 ふうさぎ塞(名) 搪塞(動)「一時塞にかうやって置かう」一時的搪塞先這麼辦下罷  
 ふうさく不作(名) 沒有收成、年頭兒不好、莊稼不收成、荒年、歉歲、歉薄、歉收  
 ふうさぐ塞(動)「發愁、愁悶、鬱悶」君は何を塞いで居るのか「你發甚麼愁呢、你怎麼這麼無精打彩的」氣が塞ぐ「鬱悶不

開懷、悶氣、發愁、愁悶、鬱悶、悶悶不樂、憂悶、無精打彩的  
 不痛快「胸が塞ぐ」心口不痛快  
 ふうさぐ塞(動)「堵、塞」鼠の穴を塞ぐ「堵耗子窟窿」人の口を塞ぐ「塞住人口、箝住人口」責を塞ぐ「塞責、草草了事」擋「道を塞ぐ」擋上道路「蓋上」溝を塞ぐ「蓋上溝」閉「目を塞ぐ」閉眼睛「估「これは此處に置いては場所をふさぎます」這個東西在這兒擋着佔地方  
 ふうざける巫山戯(下一段目動)「玩笑、玩耍、耍笑、戲耍、玩戲、打哈哈」今のは巫山戯て云ったので「現在的不過說着玩兒」調戲女戲、戲弄「女に巫山戯る」調戲女

人  
 ぶさた無沙汰(名) 久違、短去「御無沙汰して居ます」久違久違、老沒見您「近頃は忙しくて何處へも無沙汰して居ます」近來忙的那兒都短去了「御無沙汰致居候」音問罕通、魚雁罕通、久疎通候、久疎清誨  
 ぶさなり總生(名) 「倒」掛的  
 ぶさはし相應シ(形志) 像、合式「應時對景」粗手粗脚  
 ぶさはふ不作法(名) 粗鹵、粗俗、ぶざま不様(名) 醜、拙笨、不是樣子、不像樣子、做着開兒「彼は飲過して大勢の前で不様をした」他喝醉了在大家眼前出了醜了「この机は造方が不様です」

這張桌子做的拙笨  
 ふうさる臥(四段目動) 叩「鉢が臥る」盆子叩着

ふうさん不參(名) 告假(chia)  
 ふうし節(名) ①節、節子「木の節」木頭節子、木頭眼兒、樹節「竹の節」竹節兒「骨の節」骨頭節兒「指の節、指節、手骨節」糸の節「絲結、線頭、線的疙瘩」腔調「節面白く歌ふ」唱的腔調兒很好聽「節つける」1.托着腔兒 2.挑別(ナンケル) ③地方「怪むべき節もない」沒有可怪的地方  
 ふうし五倍子(名) 五倍子「五倍子粉」  
 ふうし父子(名) 父子  
 ふうし不死(名) 不死、長生不死

ふうじ不時(名) 不時、非時、不是時候「取って置いて不時に備へる」留着等着不時的時侯用「不時の出來事」不意之事、事變、意外變故「不時の用意」應急手段、應急策、備急「不時の需」不時之需、想不到的需用

ふうじ不次(名) 沒次序  
 ふうじ武士(名) 武士、武夫、武人  
 ふうじ武事(名) 武、武事「武事を修む」修武  
 ふうじ無事(名) ①平安、和平「道中無事で到着した」一路平安的到了「無事に暮す」平安渡日、過和平日子「あの事件も無事にすんだ」那件事情也平平安安的結了「どうか御無事に」一路平

安、一路吉祥「無事」無事に苦む「無聊的很、悶得慌」一窩

ふうしあな節穴(名) 木頭節兒的窟  
 ふうしあはせ不仕合(名) 不幸、沒造化、福薄災生  
 ふうじう不自由(名) ①不方便「田舎に住むと何かに不自由です」一在鄉下裡住甚麼事就都不方便  
 ②不自由「不自由なく暮す」自由由由的過日子、過快活日子  
 ふうしいと節(名) 有疙瘩的線  
 ふうしおき臥起(名) 起臥、起居  
 ふうしぎ不思議(名) 怪異、奇怪、奇異、好出奇的  
 ふうしくれ節(名) 節多的「節樽立つ」有許多節兒的木頭  
 ふうしころぶ臥轉(四段他動) 躺下

ふし

ぶしだう 武士道(名) 士道

ふしだつ 節立ツ(四段他動) 木頭節

兒多

「ふしだら(名) ①無度、無檢束、

徹着開兒、邈邈 ②品行不好

ふじつ 不實(名) 不實誠

ふじつ 不日(名) 不日、不過幾天

ふしづくり 節旁(名) 脚刀兒

ふしづけ 節附(名) 上腔兒、上韻

「ふしつけ 不躡(名) ①不懂禮(不

躡な男) 不懂禮的人 ②冒失(不

躡ながら一寸御尋ね致します) 我

很冒失了跟您打聽一打聽

ふしど 臥所(名) 臥房、牀

ふしのくすり 不死藥(名) 長生藥、

不死藥 「高的臉

ふじびたひ 富士額(名) 岳海間兒

ふし

ふしぶし 節節(名) ①骨頭節兒(體

の節節が痛む) 渾身的骨頭節兒

疼 ②地方(「さう聞いて見ると思

ひ合す節節がある) 這麼一聽我

有好些個想起來的地方(談を聞

いて見ると怪しい節節がある) 一

聽他說的話有好幾處可怪的地

方 「不熟成、不完全

ふじぶん 不十分(名) 不精通、

ふしほね 節骨(名) 骨頭節上的骨

頭

ふしまつ 不始末(四段自動) 辦的不

好、辦錯了(支配人の不仕末から

店が倒れた) 因爲掌櫃的辦理不

善舖子躺下了

ふしまろぶ 臥轉ア(名) 打滾兒

ふじみ 不仁身(名) 打不疼傷不了

ふし

的身子

ふしめ 節目(名) 節口兒

ふしめ 伏目(名) 俯首、垂頭、低

頭、垂首(伏目に見る) 俯首看

ふしやう 不祥(名) 不吉祥

ふしやう 不詳(名) 不詳細

ふしやう 負傷(名) 受傷、破傷

ふじやう 不淨(名) ①不乾淨 ②經

水 ③大便小便(不淨場) ④不

乾淨的地方 ⑤廁所、茅廁

ぶしやう 武將(名) 武將

ぶしやう 不精(名) 懶惰、懶怠(あ

の人は不精です) 那個人是懶惰

「私は筆不精でつひ手紙も差上げ

ません) 我懶怠寫字總沒給您寫

信(出不精) 懶怠出門(不精

地方(不審でたまらない) 可疑的

了不得(不審を起す) 犯疑、起疑

ふしん 不信(名) 不信 「惑

ふじん 不仁(名) 不仁

ふじん 夫人(名) 夫人

ふじん 婦人(名) 婦女、女人、堂

客、婦道家(婦人連) 女流

ぶしん 武神(名) 武神 「女流

ぶしん 武臣(名) 武臣

ぶじん 武人(名) 武人、武士、武夫

ふしんせつ 不親切(名) 無情無義、

狠心、薄情的、少情寡義的

ふしんにん 不信任(名) 不信任、

不信

ふしんよう 不信用(名) 不信用

ふす 伏ス(四段自動) 伏、俯伏、躺下

「伏して乞ふ) 伏乞、伏祈(伏して

ふし 不す

一三八七

者(モ) 懶惰的人

ふしやう 不直(名) 不正經、

ふじゆう 不充(名) 不完全

ふしゆかん 佛手柑(名) 佛手、佛

手柑

ふじゆく 不熟(名) ①不熟 ②不和

ぶじゆつ 武術(名) 武藝

ふしゆび 不首尾(名) 失敗、糟

ふじゆん 不順(名) 不順、不準、不

調(氣候不順) 氣候不準、時令不

正(月經不順) 經水不調

ふじゆん 不純(名) 不純、不乾淨、

不潔淨

ふじよ 扶助(名) 扶助、幫助、助力

「扶助金(キ) 恤欸(扶助料) 部

ぶしよ 部署(名) 部署 「扶助費

ふしよう 不承(名) ①不肯、不答

ふし

ふし

應 ②勉強答應(不承知) 不肯、

不答應、不肯應(不承不承に)

(シヨウ) 捏着鼻子(不承不承に承

知した) 捏着鼻子答應了

ふしよう 不勝(名) 不舒服

ふしよく 扶植(名) 扶植

ふしよく 腐蝕(名) 腐朽、朽壞、銹

蝕、銹化、蝕壞

ぶしよく 無職(名) 沒準事

ぶじよく 侮辱(名) 侮辱

「ふじろし 不印(名) 不好、不行

ふしをがむ 伏拜ム(四段他動) 爬地

下拜

ふしん 普請(名) 工(普請をする) 動

工、開工(普請を受負ふ) 包工

ふしん 不審(名) 疑、疑惑、不明白

「不審を尋ねる) 打聽不明白的

ふし

ふし 不す

一三八七

一三八六

ふす

希ふ 伏希、伏望 「伏兵

ふす 伏ス(下二段他動) 伏(兵を伏す)

ふす 附ス(左變他動) 附

ふす 臥ス(四段自動) 臥、躺下

ふす 付ス(左變他動) 付、交(之を流水

に付す) 付之流水(印刷に付す)

付印(競賣に付す) 付之拍賣、歸

於拍賣(秘密に付す) 付於秘密

〔書を付す〕付書、付信

ふす 補ス(左變他動) 補(職に補す) 補

缺、補職

ふす 賦ス(左變他動) 賦(詩を賦す) 賦

詩(税を賦す) 賦税

ふす 撫ス(左變他動) 撫劍(劍を撫す)

(文) 撫劍(掌を撫し大笑す)(文)

撫掌大笑

ふす 撫ス(左變他動) 撫掌(掌を撫し大笑す)(文)

ふす

ふす ぢ 不筋(名) 不正、不正經

ふす ぶ 燻(下二段他動) 燻(蚊を燻べ

る) 燻蚊子(硫黄で銀を燻べる) 拿

硫黄燻銀子

ふす ぼ 燻ル(四段自動) 與くすぶ

ふす べ 燻肉(名) 燻肉

ふす ま 麩(名) 麩子、麥糠、麥皮

子、麥子麩麩

ふす ま 蓑(名) 蒲蓋、被窩

ふす ま 襖(名) 糊紙的榻扇(襖障

子) 同上

ふす る 附隨(名) 跟隨、附從、相連

的、隨着的、附隨的、相伴的(附

隨の條件) 相連的條件(米價が高

くなるとそれに附隨して各種の物

價が高くなる) 米行市一漲各樣

兒的物價也 就隨着漲起來

ふす ふせ

ぶす 不粹(名) 粗野、不文雅

ふせ 布施(名) 布施

ふせい 不正(名) 不正、不正派(官

吏が不正な事をする) 做官的作

弊(不正な手段で金を儲ける) 使

不正經的法子賺錢(不正行爲)

法(不正行爲(不正を働く) 犯

法(不正所得)(ヨトク) 非法獲取

的、騙取的

ふせい 浮世(名) 浮世

ふせい 風情(名) ①趣、趣味、意味

〔風情ある眺め〕有意味的景致

②應酬(昨日は何の風情もなく失禮

しました) 昨天應酬不到簡慢的

很(先日は御光來下され何の風情

もなく失禮仕候) 前日辱蒙光臨

諸多簡慢 ③份兒(私共の風情で

迎もそんな贅澤は出来ない) 像我

這麼份兒總是不能那麼做潤

ぶせい 無勢(名) 寡、兵力單薄(多

勢に無勢) 寡不敵衆 「效

ふせい こう 不成功(名) 不成功、無

ふせい ひん 不正品(名) 來路不正

經的東西、贓

ふせい けい 不成立(名) 不成立

ふせい けい 不肖(名) 不肖(不肖の子) 不

肖之子

ふせい けい 不肖(代) 不肖、鄙人

ふせい けい 不消化(名) 不消化、不

消化(「不消化物」(カ) 不好消化

的東西、不消化的東西

ふせい けい 防(四段他動) 防、防備、隄

防、防範、防守、防衛、把守(禍

ふせ

を未發に防ぐ) 防禍於未來(敵を

防ぐ) 防備敵人(禍を防ぐ) 防止

禍患、杜絕禍害(寒氣を防ぐ) 擋

寒、防寒(饑饉を防ぐ) 防荒、防

饑(防いでても防ぎきれない) 防不

勝防、抵拒不住的、攔擋不住的

ふせい けい 伏勢(名) 伏兵

ふせい けい 浮言浮語 浮言浮語

ふせい けい 符節(名) 符節(符節を合す

が如し)(文) 如合符節

ふせい けい 附設(名) 附設

ふせい けい 敷設(名) 修、安、架設(鐵道

を敷設する) 修鐵路(電線を敷設

する) 安電線(水雷を敷設する)

埋伏水雷

ふせい けい 伏樋(名) 暗溝

ふせい けい 伏縫(名) 外面不露針脚

ふせ

的縫法、飄着縫

ふせ や 伏屋(名) 草舍茅廬

ふせん 附箋(名) 飛籤兒、批條、籤

條、紙條、標籤、附箋

ふせん 普選(名) 普通選舉

ふぜん 不善(名) 不善

ふそ 父祖(名) 父祖(父ト祖ト)

ふそ 不測(名) 不測(不測の禍) 不

測之禍

ふそ 附則(名) 附則、續例

ふそ 不足(名) ①不設、缺、短、

欠、短少、缺少、缺欠、缺短、缺

乏、短細、虧、不足、不敷(これを

買ふには三圓不足です) 若買這

個還不敷三塊錢(不足の分は暫

く御立替を願ひます) 不够的地

方求您暫且給我墊上(力が足ら

ふせ ふそ

ぬ)力氣不足、短力氣(元氣が足らぬ)缺少銳氣、精神有虧、精神短少(2)不平(不足を云ふ)說不平的話(不足な顔をする)臉上有不平的樣子

ふぞく 附屬(名) 附屬、歸、附補、附續、後續(附屬書類)(ヨルキ)附件、隨單(附屬品)(ヒ)配件、附屬品、附物、屬具、零件(附屬せる契約)附屬契約(附屬の問題も皆議了した)附屬的題目也都商量妥當了(錠前は算筒(タシ)の附屬です)鎖是歸於櫃子上

ふそろひ 不揃(名) 不齊  
ふそん 不遜(名) 不遜  
ふた 蓋(名) 蓋兒(箱の蓋) 箱子蓋兒(茶碗の蓋) 茶碗蓋兒(榮螺(エサ)

の蓋)螺螄蓋兒(茶瓶の蓋)茶壺蓋兒(鍋の蓋)鍋蓋(落蓋)(オトシ)子口蓋(挿蓋)(サシ)挿蓋兒(蓋付の茶碗)蓋碗兒(蓋をする)蓋上、把蓋兒蓋上(蓋を取る)拿下蓋兒來、掀蓋兒、揭蓋兒、打開蓋兒

ふた二(名) 二、兩  
ふた札(名) ①牌、條、籤、符(かけ) ②掛着的牌子(立札)(タテ) ③招牌(看板の札)招牌(貸家札)(カシヤ) ④招租條子(紙の札)紙條、紙籤兒(守り札)護符、護身符、符咒、驅邪符 ⑤紙幣、鈔票、票(形) ⑥入場券  
ふた豚(名) 猪、銀猪(貊)、花猪(ウチ) ⑦附帶(名) 聯合、結連、相連、附隨、附屬(これは附帶して起る)

問題です)這是相連起來的問題(附帶事件)附隨的事、附屬的事(附帶條件)附隨條件(官)世臣ふだい 譜第(名) ①世世代代序其ふたい 部隊(名) 一部軍隊、部隊ふたい 舞臺(名) 戲臺、前臺、舞臺(舞臺に上る)上臺、登場(初舞臺)(ハツ)初登場、初次登臺、初出席(舞臺監督)(シヨク)導演員(廻舞臺)(ハリ)廻轉的戲臺、轉臺(舞臺開)(ビラキ)亮臺  
ふたいとこ 二從兄弟(名) 再從兄弟、再從姊妹  
ふたう 不當(名) 不當、不合理、無條理、過度、過分(不當の利を貪る)貪不當的利(不當の要求をする)要求的的不合理

ふたう 舞蹈(名) 跳舞、舞蹈(舞踏會)(クワイ) 跳舞會(舞踏場)(ジャウ) 舞踏場(舞踏病)(ビヤウ) 跳舞瘋、抽風症(假粧舞踏會)(カサウイ) 奇粧跳舞會、異服的跳舞會  
ぶだう 無道(名) 無道  
ぶだう 葡萄(名) 葡萄(葡萄酒)(イロ) 庫灰色(葡萄酒)(シユ) 葡萄酒、紅酒(葡萄酒小豆)(アヅキ) 京醬(葡萄酒利久)(リキウ) 豆砂色(乾葡萄)(カシ) 葡萄乾

ふたこころ 貳心(名) 貳心、二心  
ふたすぢみち 二筋道(名) 兩股道  
ふたことみこと 二言三言(名) 三言兩語(二言三言争つた末喧嘩を始めた)他們三言兩語就打起架來了  
ふたたび 再(副) 再、又(盛年再び來らず)盛年不再來(再び私の手に歸つて來た)又落到我手裡

來了(もう再びと行かない)再也來不去  
ふたつ 布達(名) 布告(アマネク)、宣  
ふたつ 二ツ(名) 二、倆、兩個(二つに切る)切爲兩塊(こんな善い物は日本にも二つとない)這麼好的東西在日本也沒有兩個(身二つになる)落生、降生、生下來(二つには……二つには)一則……二則、一來……二來  
ふたつまゆ 雙繭(名) 雙宮  
ふたつわり 二割(名) 折半、分半  
ふたなぬか 二七日(名) 人死第十四天  
ふたなり 二形(名) 半男半女的、陰陽人、二疑子、陰陽並有的、並有男女陰處

ふた

ふたば二葉(名) 子葉、芽葉

ふたへ二重(名) 雙(繩を二重にし

て縛る)把繩子雙股兒捆上(腰

が二重になる)腰彎(二重腰)(シ)

彎腰(二重腰)(マ)雙眼皮兒

ふたまた二股(名) 兩股、兩岔(河

が二股に分れる)河分兩股兒(道

が二股に分れる)道路分兩股(木

が二股に分れる)樹分兩岔兒(二

股を掛ける)脚蹠兩隻船、取摸

稜兩可的態度(二股膏藥)(ウヤク)

三心二意的人、騎墻漢(二股太

根)(イコシ)雙棒兒蘿蔔(二股道)

ふたみち二道(名) ①兩股道路(道

が二道に分れる)道路分着兩股

②兩個法子、兩歧(取扱方が二

ふた

道になる)辦法兩歧

ふため不爲(名) 無益(それは貴下

の爲に不爲です)這是於您無益

ふため二目(名) 再看(二目と見ら

れない)慘苦的不能再看、慘不

忍觀

ふためく(四段自動) 慌張(あわてふ

ためく)慌慌張張的

ふたもの蓋物(名) 盒兒、盒子

ふたり二人(名) 兩人、兩個人

ふたん負擔(名) 負擔、擔、擔(彼の

借金は皆私が負擔した)他的賬

都是我擔了、代人負債(國民の

負擔が餘り重い)國民負擔太沈、

國民的沈重兒很大(關稅は買主

(賣主)の負擔とす)關稅由買貨

者(賣貨者)負擔(運賃は敝店負

ふたふち

一三九二

擔致すべく候)運費若干敝號承

認可也

ふだん不斷(名) ①不斷的 ②平常、

素日(不斷看)(ト)便服、便衣、家

常的衣服

ぶだん武斷(名) 武斷、勇斷、果敢

的決斷(武斷政治)(セ)武斷政

ふち淵(名) 淵 「治、武人政治

ふち縁(名) 框、邊、沿、邊縁(額縁)

(カク)區額の框兒(眼鏡の縁)眼

鏡框兒(帽子の縁)帽子簷兒、帽

邊兒

ふち扶持(名) ①扶持 ②俸米、俸祿

ふち不治(名) 治不了(不治の病)

治不了的病 「得」布置得宜

ふち布置(名) 布置(布置宜しきを

ふち不智(名) 不智、無智

ふちよ婦女(名) 婦女、女子、女流

ふちよ巫女(名) 巫女、巫婆子

ふちん浮沈(名) 浮沈、盛衰、興敗

ふつ佛(名) 佛蘭西、法國

ぶつ佛(名) ①佛 ②佛教

ぶつ擊(四段他動) 打

ふつう不通(名) 不通(電信不通)電

信不通(音信不通)音信不通(郵

便爲替不通の地方は郵券代用一割

増)郵匯不通處代以郵票九扣

計算

ふつう普通(名) ①普通、平常、尋

常(それは普通にある事です)那

是常有事情(これは普通に用

ひない)這不是平常用的(彼は

普通の人です)他是平平無奇的

人②大概、大約、大凡(普通に

ふち藤(名) 藤蘿、紫藤(藤の花)藤

ふち桴(名) 與ばち同 「蘿花

ふち斑(名) 雜色的、斑駁的(斑犬)

花狗(斑馬)花馬(斑猫)花猫

ふちあんない不知案内(名) 不熟

ふちいろ藤色(名) 淡紫色、淺雪

青、深蓮灰

ふちこはす打壞ス(四段他動) 打壞

(ふちこむ打込ム(四段他動) 扔、擲

〔何もかも一緒に打込む〕甚麼東

西都一塊兒亂扔着(家財をすっ

かり打込む)把家當兒全都扔在

裡頭了

ふちごり藤行李(名) 藤子筐兒

ふちごりも藤衣(名) ①葛布衣裳

②綴衣

ふちせ淵瀨(名) 淵與湍

ふち

ふち

ふちだな藤棚(名) 藤蘿架子

ふちまい扶持米(名) 俸米

ふちまめ藤豆(名) 與いんげんま

め同

ふちむらさき藤紫(名) 雪湖

ふちやう府廳(名) 府知事公署

ふちやう符丁(名) 暗號兒、暗碼

ふちやう不定(名) 不定(老少不定)

ふちやく不着(名) 不到 「着

ふちやく附着(名) 附着、黏着、膠

ふちゆう不忠(名) 不忠、不臣、不

尊王、不忠義、不忠誠

ふちふつ

一三九三

う言ひます」大概這麼説「普通に用ひらるる言葉」通用的話「普通學」(ガク)普通學「普通教育」(ウイック)普通教育「普通人」(ジン)普通的人、凡人「普通選舉」(シキョ)普通選舉「普通名詞」(メイシ)普通名詞  
 ふつか二日(名) ①初二(三月二日) 三月初二、三月二號 ②兩天(往復二日かかる)來回得兩天  
 ぶつか物價(名) 物價、行市「物價指數表」(スウヘシ)物價指數表  
 ぶつか佛家(名) 佛家、佛門  
 (ぶつかかき(名) 打碎「氷のぶつかき」  
 ぶつかかく佛閣(名) 佛閣 「碎氷」  
 (ぶつかく(四段他動) 打碎  
 ぶつがく佛學(名) 法國學問  
 ぶつがく佛學(名) 佛學

(ぶつかける(下二段他動) 潑、倒「水をぶつかける」潑水  
 ぶつがふ不都合(名) ①不體面、不像事「教師がこんな事をするとは不都合だ」一個教習做這麼樣兒的事情實在不體面「不都合の話だ」不像話 ②礙、不便、缺點、不利處「さう決めて不都合はありませんか」這麼定規不礙事麼  
 ぶつかよひ二日酔(名) 宿醉、傷酒、害宿酒  
 (ぶつかる(四段他動) ①碰、撞「人力車が電車にぶつかる」洋車碰上了電車「水が岩にぶつかる」水衝着岩石上撞 ②遇見、趕上「相場場の暴落にぶつかった」正趕上忽然行市落了

ぶづき文月(名) 巧月、桐月  
 ぶつぎ物議(名) 物議  
 ぶつきやう佛教(名) 佛教  
 (ぶつきらほう(名) 腰板脖硬「彼はぶつきらほうの人間だ」他是腰板脖硬的人  
 ぶつぐ佛具(名) 佛前傢俱  
 ぶつぐ物具(名) 傢伙、傢俱  
 (ぶつぐき(副) 啾噥「何をぶつぐさ云ふのだ」你啾噥甚麼  
 (ぶつくり(副) 胖胖兒的「ぶつくり太った女」胖胖兒的女人 「明快くわつさい復活祭(名) 外國清  
 ぶつげう拂曉(名) 破曉、黎明、朦朧  
 ぶつげう佛教(名) 佛教 「朦朧兒  
 (ぶつげる(下二段他動) 扔、砍「石を

ぶつける「砍石頭」(毬をぶつける)  
 ぶつけん物件(名) 物件 「扔球兒  
 ぶつけん物權(名) 物權  
 ぶつご佛語(名) 法國話  
 ぶつご物故(名) 物故、身故  
 ぶつご佛座(名) 佛座 「埋  
 ぶつさう佛葬(名) 用佛教的禮葬  
 ぶつさう物騒(名) 不消停、不安靜  
 「世の中が物騒です」世上不消停  
 ぶつさう佛像(名) 佛像  
 ぶつさきばおり打裂羽織(名) 開襟的袍子  
 (ぶつさく打裂ク(四段他動) 劈開  
 ぶつさん物産(名) 產物、土產、物  
 ぶつさん佛參(名) 拜佛 「產  
 ぶつし佛師(名) 做佛像的

ぶつじ佛事(名) 佛事  
 ぶつじつ物質(名) 物質、實質、實體「物質的」(テキ)物質的、形而下的、有體的、有形的「物質主義」(シュキ)物質主義、實利主義「物質慾」(ヨク)物質慾望  
 ぶつじやうる佛生會(名) 浴佛會  
 ぶつじやり佛舍利(名) 舍利  
 ぶつじよ佛書(名) 佛經  
 ぶつじよく物色(名) 物色(サガシモ)  
 ぶつじん佛心(名) 佛心  
 ぶつぜん佛前(名) 佛前  
 ぶつだ佛陀(名) 佛陀、佛爺、佛祖  
 ぶつたい物體(名) 物體、有體物  
 ぶつたう沸湯(名) 滾開的水  
 ぶつたう佛道(名) 佛教

ぶつだう佛堂(名) 佛堂  
 (ぶつたくる(四段他動) 搶奪  
 ぶつだん佛壇(名) 佛龕  
 (ぶつちがひ打違(名) 交加、交叉  
 (ぶつちやうづら佛頂面(名) 搭拉臉  
 ぶつつか不束(副) 才疎學淺、沒能耐「私は不束な者ですが宜しく願ひます」我是才疎學淺往後多求您指教  
 (ぶつつり(副) ①抽個冷子、忽然「ぶつつり切れた」抽個冷子折了 ②斷然「ぶつつり思切る」斷然絕了念頭  
 ぶつてい拂底(名) 缺、短、缺短、短少「品物拂底」(シナモ)貨物缺短「人物拂底」(ジン)人物缺短、沒有人

ふじ

ふってん 沸點(名) 沸點、沸騰點  
 ぶつでん 佛殿(名) 佛殿  
 (ふつと(副)) ①一幌兒、忽然(「ふつと目が醒めた」)一幌兒醒了(「ふつと気が付いた」)忽然想起來了  
 ②「ふつと」ランブを吹き消す  
 把洋燈撲的一吹  
 ふつと 沸騰(名) 騰沸、滾開、翻滾、滾騰(湯が沸騰する)開水滾開(議論が沸騰する)議論騰沸、言論激昂(全國沸騰して居る)全國在紛擾喧鬧中  
 (ふつとばす 打飛ス(四段他動)) 折賣、折變(家財を打飛す)折賣家産  
 フットボール(名) 與フットボール同  
 ぶつびん 物品(名) 東西、物品、物

ふつふて

(ふつふつ(副)) 唧噥、叨嘮、叨叨、好埋怨的(「ぶつぶつ云ふな」)別唧噥  
 「ぶつぶつの多い糸」結頭多的線  
 ぶつぶつかうくわん物物交換(名) 以貨換貨、以貨交兌  
 ぶつほふ 佛法(名) 佛教 「屋子ぶつま佛間(名) 佛堂、供佛爺的ぶつみやう佛名(名) 佛名  
 ぶつり物理(名) 物理、格致(物理學)(カク)物理學、格致學  
 ふつりあひ 不鈞合(名) 不趁合、不合式、不均勻  
 ぶつろん物論(名) 物議、物論  
 ふで筆(名) 筆(筆の尖)筆尖兒(筆の管)筆管兒(筆の穂)筆毛兒、筆頭兒(筆のさや)筆帽兒(筆の

ふて

跡)筆跡(筆の誤)筆誤(筆が立つ)筆墨好(筆を入れる)刪改、添削(筆を下す)下筆、落筆(筆で述べつくせない)筆難盡述(筆を加ふ)加文(筆を執る) 1. 執筆、拿筆 2. 做文章、動筆墨(某の筆)某人寫的、某人畫的  
 ふであらひ筆洗(名) 筆洗兒  
 ふてい 不貞(名) 不貞節、不正道  
 ふてい 不逞(名) 不逞、兇惡(「不逞人」)匪徒、匪類  
 ふてい 不定(名) 不定、不一定(彼の出席は不定です)他來的沒一定(相場が不定です)行市靠不住  
 ふていさい 不體裁(名) 不體面、不好看、不是樣子、不像樣子  
 ふていれ 筆入(名) 筆匣子

一三九六

ふて

ふてう 不調(名) 不和、不開(談判不調に終った)交渉不和了、説和不開了  
 ぶてうはふ 不調法(名) ①錯(私が不調法致しました)這是我的錯了  
 ②不會(「お酒は不調法で戴きません」)酒是我實在不會喝  
 ぶてうわ 不調和(名) 不趁合、不合式(洋服を着て帽子を冠らないのは不調和だ)穿洋服不戴帽子不趁和  
 ふでかけ筆懸(名) 筆架兒  
 ふでがしら筆頭(名) ①筆頭兒  
 ②第一名、頭一名  
 ふてき不敵(名) 胆子大、大膽的、冒險的、有膽量

ふて

ふでき不出來(名) 做的不好、做的額類(此繪は甚だ不出來です)這個畫兒畫的額類  
 ふてきたう 不適當(名) 不合式、不趁合、不對服(あの人は此任には不適當です)他於這個差事上不對服  
 ふてぎは 不手際(名) 額類、糟、笨(細工が實に不手際だ)活做的糟極了  
 「人、膽子壯的人  
 ふてきもの 不敵者(名) 胆子大的  
 ふてくされ 不貞腐(名) 含怒不服  
 ふでさき筆先(名) ①筆頭兒、筆尖兒(筆尖がちびた)筆尖兒都寫禿了  
 ②筆墨(筆先で誤覺化す)用筆墨支吾  
 ふでし筆師(名) 做筆的人

ふてふと

ふでたて筆立(名) 筆筒  
 ふでづか筆柄(名) 筆管  
 ふでづか筆塚(名) 筆冢  
 ふでづかひ筆遣(名) 運筆、筆意、  
 ふでづつ筆筒(名) 筆筒 「筆法  
 ふでぶしやう筆不精(名) 懶怠寫字、懶於捉筆  
 ふでまき筆巻(名) 筆簾子  
 ふでまめ筆忠實(名) 筆舖 「人  
 ふでまめ筆忠實(名) 好動手筆的  
 (ふてる(下一段自動)) 鬧氣 「寫  
 ふでわけ筆別(名) 分着寫、分別  
 ふと不圖(副) 無端、忽然、偶然(不圖思ひ出した)忽然想起來了(不圖した事から知合になった)無端的認識了(金を見て不圖惡心を起した)見錢忽然起賊心

一三九七

ふと

ふといやつ 太イ奴(名) 冒膽の人  
 ふとう 埠頭(名) 碼頭、埠頭  
 ふとう 不等(名) 不同、不齊、不等  
 ふとう 不同(名) 同上  
 ふとう 不動(名) 不動、立正(不動の姿勢) 立正的形式(不動産) (サシ) 不動産、不動資、固定産業(不動尊) (ア) 不動尊 「成  
 ふとうい 不同意(名) 不願意、不贊  
 ふとうたい 不導體(名) 不導體、不引者、無電媒體 「透光兒  
 ふとうめい 不透明(名) 不透明、不  
 ふとく 婦徳(名) 婦徳  
 ふとく 不徳(名) 不徳、無徳  
 ふとくい 不得意(名) 不得意  
 ふとくえうりやう 不得要領(名) 不得要領、摸稜、不切題

ふと

ふとくぎ 不徳義(名) 出乎人情、壞行爲 「有損無益的  
 ふとくさく 不得策(名) 不是善策、  
 ふとくしん 不得心(名) 不中意、不  
 合心、不如意  
 ふところ 懷(名) 懷(懷から取り出す) 從懷裡掏出來(母の懷に抱かれる) 被母親抱在懷裡(あの人は懷が大分暖かい様だ) 看他腰裡頭很硬的樣子、看他手裡有的樣子  
 ふところがたな 懷刀(名) 懷裡藏着的匕首 懷紙(名) 手紙  
 ふところがみ 懷紙(名) 手紙  
 ふところぜに 懷錢(名) 身上的錢、自己親錢 「傍觀  
 ふところで 懷手(名) 袖手、袖手

ふと

ふとぎを 太棹(名) 把兒大的絃子  
 ふとし 太シ(形久通) 愁、粗(この筆はあまり太い) 這管筆太愁(あの人の手は太い) 他的胳膊愁(太い聲) 愁聲兒(太い量見を起す) 起壞心(彼は太い奴だ) 他是冒胆的人、他是沒裏沒表兒的東西(もう少し太い糸がいります) 我要再愁一點兒的線(字を太く書く) 把字寫愁着 一點兒(太く逞しい馬) 雄壯的馬  
 ふとばら 太腹(名) 度量太  
 ふとどき 不屆(名) 不周到(何事も不屆で失禮しました) 諸事不周到 失禮失禮 無理、不講理(約束を違へるとは不都合の奴だ) 他這麼背約實在無理之至(彼

ふと

は 不屆の奴だ) 他是不講理的東西、他是沒理沒表兒的東西  
 ふとばら 太腹(名) ①大膽子、  
 膽子 ②度量太 「(タ) 綢緞舖  
 ふとももの 太物(名) 綢緞(大物店)  
 ふともも 太股(名) 大腿  
 (ふとる 太ル(四段自動) 上臙、肥、  
 胖、愁(馬が太って来た) 馬上起臙來了(この鶏は太らない) 這隻雞不肥(近來貴下は急に太りました) 近來您忽然胖了(發福了) (木が段段太って来た) 樹木漸漸的愁起來了  
 ふとる 太爾(名) 水葱  
 ふとん 蒲團(名) ①蒲團(蒲ニテアミ) ②蒲蓋(カケブント) 被窩(カケブ) 褥子(シキブ) 坐褥(トシ) 墊子(同) 蒲團を

ふな

敷く) 鋪鋪蓋(坐蒲團を敷く) 把墊子墊上(蒲團をかける) 把被窩蓋上(蒲團の皮) 被套、被袋  
 ふな 鮒(名) 鯽魚  
 ふな あし 船脚(名) ①船走的(船脚が速い) 船走的快 ②吃水(あの船は貨物が多いので船脚が深い) 那隻船貨多的吃水很深 「逃  
 ふな あそび 船遊(名) 舟游、坐船  
 ふな いくさ 船軍(名) ①水師、海軍 ②水戰  
 ふな いた 船板(名) 船板(船板塀)  
 (ベ) 船板做的塀  
 ふな うた 船歌(名) 船歌  
 ふな うつし 船移(名) 駁貨(船移許可證) (カシヨウ) 駁貨准單  
 ふな おろし 船卸(名) 落水、下水

ふな

ふながかり 船繫(名) ①灣船(スル) 灣泊、停泊 ②海口(トナ) 船埠  
 ふな がざり 船飾(名) 裝船  
 ふな かつ 船方(名) 船戶、船夫、水手、船家  
 ふな かんさつ 船鑑札(名) 船牌  
 ふな ぐ 船具(名) 船上用的傢伙、  
 ふな ぐら 船藏(名) 船塢 「船具  
 ふな なくわじ 船火事(名) 船上着火  
 ふな 二 船子(名) 與ふな かつ同  
 ふな ござ や 船小屋(名) 小船塢  
 ふな じろし 船標(名) 船上的號旗  
 ふな ぞこ 船底(名) 船底  
 ふな だいく 船大工(名) 船匠、船工  
 (以上ハ船中ノ船) 造船工、造船匠  
 (大工ニモ云フ) 船靈(名) 船神  
 ふな だま 船靈(名) 船神  
 ふな ち 船路(名) ①船路 ②水路



ふな

ふなちん 船賃(名) 船價、船費  
 ふなつき 船着(名) 海口、碼頭  
 ふなづみ 船積(名) 裝貨、上貨、載貨、落貨  
 ふなて 船手(名) 水師、海軍  
 ふなで 船出(名) 開船  
 ふなどひや 船問屋(名) 船行(hangy)  
 運送經紀人 「り同  
 ふなどまり 船泊(名) 與ふながか  
 ふなに 船荷(名) 載貨、裝貨、裝載的貨物〔船荷證券〕(ヨウケンシ) 提貨單、起貨單、提單、裝載單、攬載紙、載貨紙〔船荷證書〕(ヨウシヨシ)同  
 ふなぬし 船主(名) 船主、船東  
 ふなのり 船乘(名) ①坐船、上船  
 ②船夫、船家、船戶、水手 ③船

ふな

員、船夥  
 ふなば 船場(名) 海口、碼頭  
 ふなばし 船橋(名) 浮橋、跳船、浮橋船  
 ふなばしご 船梯子(名) 跳板  
 ふなばた 船端(名) 舷、船幫、船邊  
 ふなばら 船腹(名) 船腰、船肚兒  
 ふなびと 船人(名) 船家、船戶、船夫、水手  
 ふなふ 不納(名) 不納、不繳〔學費不納〕不納學費  
 ふなべり 船縁(名) 與ふなばた同  
 ふなまはし 船廻(名) 船運、運漕  
 ふなまんぢゆう 船饅頭(名) 串船的妓女  
 ふなみち 船路(名) 船路(船ミチ) 海姐  
 ふなむし 船虫(名) 海蛆

ふな

ふなもり 船守(名) 看船的人  
 ふなやかた 船屋形(名) 舫屋  
 ふなやど 船宿(名) 船行(hangy)  
 ふなゆ 船塗(名) 船裡頭漏的水  
 ふなゆさん 船遊山(名) 舟遊、坐船  
 ふなよそひ 船裝(名) 裝船 「逃  
 ふなわたし 船渡(名) 擺渡  
 ふなゑひ 船醉(名) 暈船  
 ふなん 無難(名) 平安〔無難に到着しました〕平平安安的到了〔私共の方は無難でした〕我們那裡都平安了〔税關は無難に通過しました〕海關上平平安安的查過去了  
 ふにあひ 不似合(名) 不似合、不塊  
 ふにく 腐肉(名) 腐肉、臭肉、死肉

一四〇〇

ふにふね

ふによい 不如意(名) ①不如意(如クオラ) ②過日子難(難ル) (手元不如意) (テモト) 手乏、手頭兒緊、手底下沒有錢  
 ふにん 補任(名) 補任、補缺  
 ふにん 赴任(名) 赴任、上任、蒞任  
 ふにん 無人(名) ①沒有人 ②人短(人手不足) 「不許、不允可  
 ふにんか 不認可(名) 不允、不准、的病、不能生產、不能孳生、不能受孕  
 ふにんじやう 不人情(名) 出乎人情、無情無理、少情寡義、薄情的、沒慈心的、有狠心 「傻子  
 (ふぬけ 肺拔(名) 獸人、糊塗人、  
 ふね舟・船(名) ①船 ②槽、盆(船一

ふねふは

艘) 一隻船〔船の艘〕船首、船頭  
 〔船の艦〕船尾〔船の舵〕船舵〔船の帆〕船篷〔船の切符〕船票、船紙  
 〔湯槽〕(バツ) 澡盆、澡池子〔水槽〕(バツ) 水槽子〔乗懸けた船〕騎虎之  
 ふねう 富繞(名) 富繞 「勢  
 ふねぎらひ 船嫌(名) 不愛坐船  
 ふのう 不能(名) ①無能、沒有能耐、沒本事 ②不能行、不能作、不能爲  
 ふのり 布海苔(名) 鹿角菜  
 ふはい 腐敗(名) 腐敗、腐爛、壞爛〔この菓物は腐敗してゐる〕這果子壞了〔爛了〕〔風俗が腐敗してゐる〕風俗壞了〔腐敗官吏〕貪官汚吏  
 ふはう 計報(名) 計音、計聞

ふはふひ

ふばう 誣妄(名) 誣妄  
 ふはく 布帛(名) 布帛  
 ふはく 浮薄(名) 浮薄  
 ふはこ 文箱(名) 與ふみばこ同  
 ふはふ 不法(名) 沒理、無理、不法、無法、不合法律的、不遵王法〔不法行爲〕(カウキ) 不法行爲  
 ふはふは (副) 飄飄〔雲がふはふはと飛ぶ〕雲彩飄飄的飛〔心がふはふはとして居る〕心裡頭飄飄搖搖的  
 揺的  
 ぶばる 武張ル(四段自動) 做武派  
 ぶび 不備(名) ①不全、不完全 ②沒預備、不備 ③書牘末尾用語  
 ぶび 武備(名) 武備、兵備 「緊  
 ふひつえふ 不必要(名) 不要、不要

一四〇一

ふひふ

ふびん 不便(名) ①不方便 ②可憐  
 ふびん 不敏(名) 不敏 「壞行爲」  
 ふひんかう 不品行(名) 品行不好  
 ぶふ 武夫(名) 武夫  
 ぶぶき 吹雪(名) 風雪、風攪雪  
 ぶふく 不服(名) 不服、不平(不服を唱へる)聲明不服 「雪交加」  
 ぶぶく 雪吹夕(四段自動) 暴風雪、風  
 ぶぶん 部分(名) 分、一部、部分、面、方面、方(一部分)一部分、有幾分、多少(大部分)大半、大約、大概(部分的)不全的、部分的、局部的(部分品)零件、隨機器零件、配件  
 ふへい 不平(名) 不平、牢騷(不平を鳴らす)鳴冤、犯牢騷、表白不服、訴怨、訴冤(滿腔の不平)一

ふへ

肚子的不平(不平家)不平的人、愛訴怨的人、好鳴不平的人  
 ふへう 浮標(名) 浮標  
 ぶべつ 部別(名) 與ぶわけ同  
 ふへん 普遍(名) 普遍、遍同  
 ふへん 不偏(名) 不偏、不偏愛、沒偏向、無偏、公平、公道  
 ふへん 不變(名) 不變、不易、不改  
 「永久不變」永不變  
 ふべん 不便(名) 不方便  
 ぶへん 武邊(名) 武藝  
 ぶべん 武辨(名) 武弁、武官  
 ふへん 不偏(名) 無偏  
 無黨(ドチラニモ)、不偏不倚(阿)不偏不黨の態度を持す 持不偏不倚的態度  
 ふべんり 不便利(名) 不方便

ふほふみ

ふほ 父母(名) 父母  
 ふほく 浮木(名) 漂木  
 ふほんい 不本意(名) 無奈、沒法子、無可奈何(不本意ながら承知した)沒法子答應了  
 ぶま 撫摩(名) 摩挲  
 「ぶま」笨、拙  
 ふまん 不滿(名) 不服、不平、心不足、不滿意、不稱人意、不樂意  
 「心中不満足に思ふ」心裡不服、心不足「彼はこの給金では不満足」他嫌這個工錢太少「不満足」(ク)同上 「書信」情書(文)  
 ふみ文(名) ①書、書籍 ②信  
 ふみ 不味(名) 口味不好 「糟場」  
 ふみ 荒らす 踏荒(四段自動) 踏毀、踏踏石、接脚石

ふみ

ふみ 踏入(四段自動) 邁進去  
 「足を踏入る」把腿邁進去  
 ふみうす 踏白(名) 與からうす同  
 ふみおとし 履落(名) 出韻  
 ふみかへ 踏換(名) 換步  
 ふみきり 踏切(名) 過軌口、鐵路口、柵門、道叉(踏切番)柵門夫  
 ふみぐら 文庫(名) 文庫、藏書處  
 ふみこ 踏子(名) 脚蹬子、蹬框、踏板  
 ふみこむ 踏込(四段自動) ①抓、闖進去、兜拿、搜捕「巡查が踏込んで捕へた」巡查闖進去拿住了(巡查が賭場へ踏込んだ)巡查抓局去了、巡警搜捕賭窩 ②邁進去(一足踏込む)一步邁進去 ③蹣

ふみ

「足をぬかせるかへ踏込む」把脚端在泥裡頭 ①挿「穢くて足も踏込めない」憐れ不能挿脚  
 ふみしだく 踏拉(四段自動) 蹂躪、糟場、禍害  
 ふみしむ 踏締(下二段自動) 跣住、踏住、踏踏子、暫且站脚的地位  
 ふみだす 踏出(四段自動) ①邁開脚步、邁步 ②下手、着手  
 「ふみたてる踏立テル(下二段自動) 上(刺を踏立てた)脚晒上了刺了」  
 「ふみたふす踏倒ス(四段自動) 拉賬  
 ふみだん 踏段(名) 磴兒、階兒  
 ふみつき 踏繼(名) 脚踏子  
 ふみづき 文月(名) 巧月、桐月  
 ふみつく 踏附(下二段自動) ①晒上、

ふみ

踏踏(以勢)小瞧、小看、藐視、瞧不起、瞧不上  
 ふみつぶす 踏潰(四段自動) 踏壞  
 ふみど 踏所(名) 踏的地方  
 ふみままる 踏留(四段自動) 留、剩  
 「獨り踏留って戦ふ」剩我一個人打仗、我一個人落在後頭打仗  
 ふみにじる 蹂躪(四段自動) 蹂躪、糟場、禍害  
 ふみぬき 踏拔(名) 脚踏上刺  
 ふみばこ 文箱(名) 拜匣  
 ふみはじめ 書初(名) 開筆練字  
 ふみはたがる 踏開(四段自動) 又着腿站着  
 「失足、跌倒」  
 ふみはずす 踏外(四段自動) 失脚、  
 ふみはる 踏張(四段自動) 又着腿站着

ふみふむ

ふみもち 不身持(名) 品行不好  
ふみわく 踏分ク(下二段自動) 走荒、尋路

ふみん 不眠(名) 不眠、不成睡(不眠不休で働く) 終宵達旦的辦事  
〔不眠症〕(シャウ) 失眠症

ふむ 踏ム・履ム(四段他動) ① 踏、蹴、蹈、蹂、履(人の足を踏む) 蹈人家脚(足踏をする) 踏脚、蹂脚(正當の道を踏む) 踏正道(地盤を踏み固める) 拿脚踏地脚(前車の轍を履む) 踏前車之轍、踏前頭印兒(四股を踏む) 做騎馬式的押(韻を履む) 押韻 ② 佔(直を踏む) 佔價 ③ 登(皇太子位を踐む) 皇太子登位(登極) 〔部屋が散けて足の踏所もない〕 屋裡亂七

ふむふも

八遭的沒有下脚的地方(約を履む) 如約、照約履行  
ふむき 不向(名) 不對路、不對付、不合式(此品は西洋人には不向だ) 這個東西於西洋人不對路(不對西洋人的路)

ふめい 不明(名) 不明、不明白  
ぶめい 武名(名) 武名  
ふめいよ 不名譽(名) 丟臉、名聲不好、有礙名聲、壞名聲  
ふめいりやう 不明瞭(名) 不明、不明瞭、不清楚  
ふめつ 不滅(名) 不滅、不朽、不死的(靈魂不滅) (フメツ) 靈魂不滅  
ふめんもく 不面目(名) 與ふめい 同  
ふもう 不毛(名) 不毛、不生草木

ふもふや

ふもと 麓(名) 山脚  
ふもん 不問(名) 不問(不問に置く) 置之不問、置諸不論、置之不理  
ぶもん 部門(名) 門類、分支、支派、部門、科類

ふやう 扶養(名) 扶養、供養、養活  
ぶやう 撫養(名) 撫養 「生  
ふやうじやう 不養生(名) 不守衛  
ふやかす 潤ス(四段他動) 泡(水にふやかす) 泡在水裡頭  
ふやく 潤ク(下二段自動) 泡  
ふやじやう 不夜城(名) 不夜城  
ふやす 殖ス(四段他動) 増、添、生、發、加増、加添(資本を殖す) 添資本、増資本(兵を殖す) 添兵(人口を殖す) 添人口(財産を殖す)

す 生財、發財

ふゆ 冬(名) 冬天、冬令、冬季

ふゆ 殖ユ(下二段自動) 加、加増、添、加添、多起來(貯金が殖えた) 存款加増了(人口が殖えた) 人口加増了、戶口蕃息(仕事が殖えた) 事情多了(學校では又た課目が殖えた) 學校裡又加添了功課(あの家では又子供が殖えた) 他家裡又添了一個孩子

ふゆう 富裕(名) 富裕  
ぶゆう 武勇(名) 武勇  
ふゆがれ 冬枯(名) 冬天荒涼  
ふゆき 冬木(名) 冬天的樹木  
ふゆぎ 冬衣(名) 寒衣、冬天穿的衣裳  
ふゆきとどき 不行屆(名) 不周到

ふゆ

〔接待が不行屆でした〕 應酬不周到(監督不行屆) 失察(不行屆の段は時時御教示下され度候) 時錫鍬 度匡其不逮 「爽快  
ふゆくわい 不愉快(名) 不痛快、不愉快  
ふゆげ 冬毛(名) 禽獸的冬毛兒  
ふゆこ だち 冬木立(名) 冬天的樹木  
ふゆごもり 冬籠(名) ① 過冬、冬營(出征) (冬籠の準備) 豫備過冬、過冬の準備 ② (フナ) 入蟄、閉宿、冬眠、蟄伏、冬期蟄居  
ふゆごもる 冬籠ル(四段自動) 入蟄、閉宿、冬眠、蟄伏、冬期蟄居  
ふゆばおり 冬羽織(名) 綿袍  
ふゆもの 冬物(名) 冬天穿的衣裳、冬天穿的衣裳料

ふゆ

ふよ 付與(名) 給、付給、付與  
ふよ 賦與(名) 賦與  
ぶよ 蝸(名) 蝸、螺虫子  
ふよう 不用(名) 不用、不要  
ふようい 不用意(名) 不預備  
ふようじん 不用心(名) 緊、懸(近來は夜は不用心です) 近來夜很緊(夜分門を掛けないと不用心です) 晚上「不鎖門就很懸哪

フライ(名) (フ) 油炸魚、油炸的菜(フライ鍋) 煎炒鍋、油煎鍋(フライにする) 油炸、油煎  
ぶらい 無賴(名) 無賴(無賴漢) (カン) 無賴子、惡棍(無賴者) (モ) 同上  
ふらう 浮浪(名) 浮浪、遊惰(浮浪人) (シ) 遊棍、無業的游民、沒落兒的人、游手好閒的、浮浪人、

ふよふら

ふら

流氓、無賴遊、放浪者

ふらう 不老(名) 不老

ふらう 父老(名) 父老

ぶらく 部落(名) 部落

ぶらさがる (四段自動) 搭拉着、吊、懸(絲瓜(ヘチ)が棚からぶらさがる)

絲瓜從架子上搭拉着(木の枝にぶらさがる) 在樹枝上搭拉着

ぶらさげる (下二段他動) 帶、懸掛

「腰にぶらさげる」帶在腰上「看板をぶらさげる」懸掛招牌

ブラシテン(名) (Brush) 海虎絨、金鷄絨、剪絨、絲剪絨(絹)、棉剪絨(木綿)

ブラシ(名) (Brush) 刷子、毛刷

ぶらじる 巴西(名) 巴西、巴國

ぶらす 降ス(四段他動) 下「天雨を降

ふら

「らす」天下雨(血の雨を降す) 打的血漂似的

ふらす 觸ス(四段他動) 宣告、宣揚

フラスコ(名) (Flask) 玻璃壺、燒瓶 「成形質」血漿

ブラスマ(名) (Plasma) ①原形質、②ふらち 不埒(名) 無禮、不講理

プラチナ(名) (Platina) 鈦(白金)

ぶらつく (四段自動) 提提搖搖(體がぶらつく) 身體提提搖搖

ぶらつく (四段自動) 漂流(諸方をぶらつく) 漂流

ブラックリスト(名) (Black-list) 黑籍、罪人名單、注意人物的名簿

フラシテン(名) 與フラシテン 同

ふら

プラットホーム(名) (Platform) 火車站月臺、站臺

ふらふら(副) 暈暈糊糊(頭がふらふらする) 腦袋暈暈糊糊、頭昏腦悶、腦袋暈

ぶらぶら(副) 慢條斯理的「ぶらぶら歩く」慢條斯理的走、慢慢的走「ぶらぶら遊んで暮す」遊手好閒的度日「提燈がぶらぶら動く」燈籠提提搖搖的「ぶらぶらやまひ」延纏的病 「頭」損

ぶらぶら(副) 延纏的病 「頭」損

ぶらん 腐爛(名) 腐爛、糟爛、爛

フラン 佛郎(名) (Franc) 法、法郎、佛郎

ブランケット(名) (Blanket) 氈、毯

ぶらんこ 鞦韆(名) 鞦韆

ふらんす 佛蘭西(名) 法蘭西、法國(佛蘭西人)

フランス 法國話

ブランデー(名) (Brandy) 白蘭地

フランネル(名) (Flannel) 法蘭絨、小泥、小絨(綿フランネル)絨布、棉法蘭絨、棉織法蘭絨

ふり不利(名) 不利、不便、無利益、不利處(不利の位地に立つ) 居於不利的地位

ふり皮膚(名) 肉紋、紋理

ふり風(名) ①打扮(あの人はちっとも風をかまはない) 他於打扮上不介意 ②假粧、粧(知らない風をする) 粧不知道(知った風をするな) 別假粧知道

ふり振(名) 把(刀)「刀一振」一把刀

ぶり振(名) 頭兒(三年振に歸國した) 三年頭兒上回國去了(久しぶり振に遇った) 老沒見你今天可見着了(口振)口氣(身振)比畫、舞身弄脚、指手畫脚、科(役者)(男振)漢仗兒

ふりあげ 振上格(下二段他動) 揚起(手を振上げて打つ) 揚起手打

ふりあひ 振合(名) 看着別人的影兒做事、比較、關係(他の振合もあるから私一人で決められない) 這個事與大家有關係不能我一個人作主(君が寄附をするなら他の振合を考へなさい) 你若捐助錢幣和別人比較再定規錢數

ふりうり 振賣(名) 串各處做買賣的、叫喚做買賣的、喊賣的、喚賣的、叫賣的(町で振賣する) 在街上叫賣(小商人が振賣する) 小販子叫賣、負販叫賣

ふりえき 不利益(名) 不利、無利益

ふりおこす 振起ス(四段他動) 振起、振刷、鼓舞、激發、打起(元氣を振起す) 振起精神、鼓舞精神、激揚心志

ふりかう 不履行(名) 不履行、不實行、不執行、不踐守(契約の不履行) 契約的不履行、違背合同、違約(手形不履行) 不應匯單

ふりかかる 降懸る(四段自動) 臨、快到(禍が降懸る) 禍害快到、禍

ふらふり

ふり

ふり

ふり

災臨身

ふりかく振掛ク(下二段他動) 撒(砂糖を振掛ける) 撒白糖(薬を振掛ける) 撒上藥末(香水を振掛ける) 撒香水、洒香水

ふりかざす振翳ス(四段他動) 揚起 振りかた振方(名) 措、處置(身の振方に、こまる) 無處措身

ふりがな振假名(名) 漢字傍側所註之假名

ふりかへ振換(名) 轉、調(振換爲替) (カハセ) 轉匯(振換貯金) (ヨキチ) 郵便儲金調換、撥眼送欸(振換傳票) (シヤウ) 割撥單

ふりかへし振返(名) 反復 (ふりかへす振返ス) (四段自動) 反復、

ふり

重落(chung'ung' lo) 病氣が又振返した(病又反復了)

ふりかへる振返ル(四段自動) ①回頭 (アトヲフ)、向後看(上) ②轉匯(爲替) (カハル)、(リカヘル)、(リカヘル)、(リカヘル) 轉賑(賑面)

ぶりがき鐵葉(名) 洋鐵、馬鐵、馬國兒(ぶりがきの鐵) 洋鐵罐(鐵葉細工) (ザイク) 洋鐵活(鐵葉屋) 洋鐵舖(鐵葉藥罐) (クワン) 洋鐵吊子(鐵葉屋根) (ヤネ) 洋鐵修の房頂

ふりきる振切ル(四段他動) 用開、拵開(袖を振切つて逃けた) 拵開袖 子跑了

ふりこむ振込ム(四段他動) 付銀、交 雨滲進 (ふりこむ降込ム) (四段自動) 雨大

沖的怒 沖的怒 振りまはす振廻ス(四段他動) ①掄、揮(刀を振廻して切る) 拿刀掄圓了砍(刀を水車の様に振廻す) 像水車子似的掄刀 ②假粧、賣弄(支那通を振廻す) 自誇明白中國事情(自分の才を振廻す) 賣弄自己的能耐

振りむく振向ク(四段自動) ①回頭、顧(聲を掛けても振向もせず行つてしまった) 我叫他他連頭没回走了 ②趨向(私が官を止めると振向く人もない) 我一擱下官没有趨向(顧) 我的人 振りむく振向ク(下二段他動) 挪、挪用(ほかの方へ振向ける) 挪到別處用

ふり

振り振り怒る(副) 吩咐(fai fai) 沖沖(振り振り怒る) 吩咐的生氣、沖

振り振り振振(副) 搖着头說話 振り振り振振(副) 搖着头振振話す(搖着头說話)

振り振り振振(副) 擱着(頭を振振話す) 擱着頭說話

ふり

ふりすつ振捨ツ(下二段他動) ①不顧而去 ②扔下妻子走了、撇了妻子逃跑

ふりそで振袖(名) 長袖子 振りだし振出(名) ①提搖出來

振りだし振出(名) ①提搖出來 (振リテ)、搖起骰子來(榮ヲフ) ②出匯票(振出局) (キヨ) 發票局(振出手形) (テガタ) 匯兌單、匯單、匯票(振出人) (ニ) 出票的人、立票的人、匯銀人、支欸者、受欸人、發出匯票人、開支票人 ③煎的藥(振出藥) (グスリ) 煎藥 ④做接脚(彼は警部を振出に内務大臣になった) 他是拿警佐做接脚到底陞了內務部長了 振りだし振出ス(四段他動) ①搖提、搖(籤を振出す) 搖提出籤子來

ふりやう不良(名) 不良、不好(不良少年) 不良的少年、壞少年

ふりやく武略(名) 武略 ぶりがく武略(名) 武略 ぶりがく不慮(名) 意外的、不測的、不吉的、沒料到的、不虞 ①者 ぶりがく俘虜(名) 俘虜、俘囚、被擄 ぶりがく無慮(副) 大概、大約 ぶりがく武力(名) 武力 ぶりがく振分ク(下二段他動) 分半、

ぶりがく不倫(名) 不倫 ぶりがく舊的(名) 舊的、陳的 ぶりがく降ル(四段自動) 下(雨が降る) 下 ぶりがく觸ル(下二段自動) 觸、碰、犯(手に觸れる) 碰在手上(品物に手を觸る可からず) 不准手觸物品(怒に觸れる) 沖撞、觸怒(電氣に觸

ふりふる

一四〇九

一四〇八

ふる

れる)碰在電氣上、觸電(時に觸れて昔の事を思ひ出す)有時候想起古事兒來了(病に觸れる)犯病(時候に觸れる)犯時令(法に觸れる)犯法

ふる 觸ル(下二段他動) 宣告、告示(一般に觸れ知らず)宣告大家(役所が觸を出して一軒一軒觸れまはる)公署出告示挨着各家都吩咐了

ふる 振ル(四段他動) ①擺、搖、提、甩(旗を振る)擺旗子(手を振る)搖手、擺手(大手を振って歩く)大甩着手走(ハンカチーフを振る)搖擺手巾(采(イ)を振る)搖骰子(振鼓を振る)搖鼓兒、搖波浪鼓兒(刀を振る)提刀(尾を振る)擺尾

ふる

巴(頭を振る)搖頭、搖首(頭を振って承知しない)蹭腦袋不答應 ②撒(鹽を振る)撒鹽 ③註(假名を振る)註假名 ④滙(爲替を振る)滙錢 ⑤消耗、消散(財産を棒に振る)消耗家財

ふる 振ル(下二段自動) 偏(東南より少し東に振って居る)東南微偏東 ふる 狂ル(下二段自動) 瘋(氣が狂れた)瘋了

ふる 舊ル(上二段自動) 舊了 ぶる 振ル(四段自動) ①作威、傲慢、自大 ②假粧出架子來、假粧(物體(タイ)ふる)拿架式(君子ふる)粧假君子的樣子(利口ふる)粧做聰明的樣子(學者ふる)粧念書人的架子、賣弄學問、自衛博

ふる

學、滿口之乎者也的 ふるあと 古跡(色) 古蹟 ふるいへ 古家(色) 舊房、老房 ふるかね 古鐵(色) 舊鐵、廢鐵(古鐵屋)(ヤ)舊鐵舖

ふるかは 古河(名) 老河(古河に水絶えず)船破有底 ふるかほ 故顔(名) 陳手 ぶるがりや(名) 布路嘎里亞國 ふるぎ 古着(名) 估衣(古着屋)(ヤ) 估衣舖

ふるきづ 古創(名) ①古瘡 ②舊惡 (ふるぎつね 古狐(名) ①老狐狸 ②狐狸精似的人、狡猾的人 ふるくさし 古臭(シ)形久(名) 陳腐、

ふる

陳、老、舊套、老套、陳套 ふるごと 古事(名) 古事 ふるざけ 古酒(名) 老酒 「郷ふるさと 古里(名) 故郷、老家、家の家は古い」這個房子老(それは古い話だ)這是老話(古く住む)陳住(古いなじみ)故人、故舊(あの人の學問は古い)他的學問陳腐 腐 ふるしき 風呂敷(名) 與ふるしきブルジョワ(名) (Bourgeois)中等社會的、中流的、有產階級 「房ふるす 故巢(名) ①舊窩 ②舊宅、舊ふるす 舊ス(四段他動) 舊了(使ひ舊す)使舊了(云ひ舊す)說老了、說陳了

ふる

ふるだうぐ 古道具(名) 古玩、陳傢俱(古道具屋)古玩舖(ラック)、掛貨舖(真屋) ふるだぬき 古狸(名) ①老狸子 ②狐狸精似的人、狡猾的人 ふるち 古血(名) 瘀血 ふるつか 古塚(名) 古墳 ふるて 古手(名) ①估衣 ②舊手、使喚舊了的東西 ふるでら 古寺(名) 古寺、古廟 ふるとり 佳(名) 佳字旁兒 ふるね 古根(名) 老根、舊根 ふるひ 篩(名) 篩子(篩で篩ふ)拿篩子篩 「がつく」帶古色 ふるび 古色(名) 古色、古氣(古色ふるひ)ふるふる 震聲(名) 哆嗦的聲音兒

ふる

ふるひたつ 奮起(ツ) 奮起 ふるひつく 振着ク(四段自動) ①哆嗦 ②肉麻、骨酥肉麻(振着く様な美人)叫肉麻的美人 ふるふ 震フ(四段自動) 震、動、震動、哆嗦、抖擻、打戰、顫、打顫、發抖、顫威(地震ふる)地震、地動(身震ふる)身體哆嗦、身體打戰、身上發戰(寒くて震ふる)冷的打戰戰、冷的哆嗦、冷的打顫(恐しくて震ふる)嚇的哆嗦打戰戰、害怕的直發震(怒って震ふる)氣的直抖擻(瘡が震ふる)發起瘡子來(聲が震ふる)聲顫、說話顫搖、聲音發抖(勢大に震ふる)勢力大震 ふるふ 振フ(四段他動) ①揮、振(筆を振ふる)揮筆(威權を振ふる)振權威

ふる

〔手腕を振ふ〕揮手腕、展布經綸  
〔雄辯を振ふ〕振其雄辯 ② 掲〔刀を振ふ〕掲刀 ③ 抖擻〔衣を振ふ〕抖擻衣裳

ふるふ 飾フ(四段他動) 飾 「色

ふるぶ 舊ブ(上二段自動) 舊了、帶古

ふるぶる ① 哆哆的 ② 哆哆的〔ふるぶる震

ふるほぐ 故反古(名) 亂紙、廢紙

ふるほける ① 舊了

ふるほん 古本(名) 舊書〔古本屋

ふるまひ 振舞(名) ① 行爲、動作、

行事、舉動、所作、所行 ② 請客

〔振舞水〕(一) 暑湯

ふるまふ 振舞フ(四段自動) 作、爲、

ふるふれ

幹、行爲、動作、行事、舉動  
ふるまふ 振舞フ(四段他動) 請客  
ふるめかし ① 形志久遠 陳腐、陳、老

ふるもの 舊物(名) 舊的

ふるぶる 部類(名) 部類、門類〔部類

を分ける〕分門別類

ふれ 觸(名) 告示、曉諭〔役所か

ら 觸を出した〕公署出了一張告

示

ブレーキ(名) (Brake) 制動機、停

輪機、開

ふれい 不例(名) 違和、欠安

ふれい 布令(名) 告示、曉諭

ふれい 無禮(名) 無禮、失禮、不恭

敬〔無禮講〕(カウ) 彼此亂坐不分

上下的宴席

ふれう 無聊(名) 無聊、悶

ふれふる

ふれう 不了(名) 不完

ふれがき 觸書(名) 告示文

ふれふ 不獵(名) 没打着〔今度の獵

は不獵でした〕這回打圍打的很

少

ふれまはる 觸廻ル(四段自動) 滿世

界宣告、各處招搖

プレミアム(名) (Premium) 增額、

有獎、利息以外所付之酬金〔プ

レミアム付債券〕有獎債票

ふれん 不廉(名) 不賤、不便宜

ふる 風爐(名) 風爐、茶鼎

ふる 風呂(名) ① 澡盆、浴盆、洗澡

盆 ② 澡堂、沐浴房、洗澡屋

〔風呂を立てる〕做洗澡水〔風呂

の湯が沸いた〕洗澡水熱了〔風呂

に入る〕洗澡〔土耳其風呂〕(トルコ)

ぶわけ部分(名) 分門別類

ぶわたり 不渡(名) 不收支票、不

認支票、不肯收票付銀〔不渡手

形〕(一) 退票、擱淺票

ぶる 武威(名) 武威〔武威を振ふ〕耀

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ぶる 無爲(名) 無爲

ふる

土耳其浴、汽浴〔藥風呂〕(カスリ)  
藥水洗澡〔風呂屋〕(一) 澡堂子〔風  
呂場〕(一) 澡堂、沐浴房、洗澡屋  
ブローカー(名) (Broker) 經紀、  
掮客、牙行、牙子、售會  
ふるく 附録(名) 附張、附續、附編、  
別錄、附卷 「次第書」(一) 同  
プログラム(名) (Programme) 與  
ふるしき 風呂敷(名) 包袱〔風呂敷  
で包む〕拿包袱包上〔風呂敷をひ  
るげる〕1. 鋪上包袱 2. 吹、吹  
風、說大話 「國  
ぶろじや 普魯西亞(名) 布路斯、布  
プロダクション(名) (Production)  
影片公司、製片室 「著兒  
フロック(名) (Fluke) 誤打誤撞、碰  
フロックコート(名) (Frock-coat)

ふるふわ

長襦子、畫用大禮服 「的菜  
ふるふき 風呂吹(名) 熬蘿蔔燕醫  
プロペラ(名) (Propeller) 推進器、  
暗輪(汽船)、飛輪(飛行機)  
プロメイン(名) (Bromine) 溴、溴  
プロレタリア(名) (Proletaria) 下  
等社會、賤民社會、無產階級、  
勞動社會  
ふわ 不和(名) 不和、不和好、不和  
睦、惡感情〔家内不和〕一家子不  
和〔夫婦が不和なる〕夫妻倆不和  
睦、夫婦感情不好〔不和の種を  
播く人〕是非人兒、造言生事的、  
搖唇鼓舌的 「隨聲附和  
ふわ 附和(名) 附和〔附和雷同〕(一) ドラ  
ふわ 不惑(名) 不惑、四十歲  
ふわ 不惑(名) 不惑、四十歲  
ふわ 不惑(名) 不惑、四十歲  
ふわ 不惑(名) 不惑、四十歲

ふわふを

ふわ 不穩(名) 不穩、不安靜、不  
消停、鬧、不靖〔天候不穩〕(一) ヨ  
開天氣〔形勢不穩〕(一) ヨ 形勢不  
穩〔あの地は少し不穩です〕那邊  
兒有點兒不消停 「妥、不妥當  
ふわ 不穩(名) 不穩、不安靜、不  
消停、鬧、不靖〔天候不穩〕(一) ヨ  
開天氣〔形勢不穩〕(一) ヨ 形勢不  
穩〔あの地は少し不穩です〕那邊  
兒有點兒不消停 「妥、不妥當  
ふわ 不穩(名) 不穩、不安靜、不  
消停、鬧、不靖〔天候不穩〕(一) ヨ  
開天氣〔形勢不穩〕(一) ヨ 形勢不  
穩〔あの地は少し不穩です〕那邊  
兒有點兒不消停 「妥、不妥當

ぶん

ぶん糞(名) 糞、屎(鶏の糞) 鶏屎  
ぶん分(名) ①一度之六十分之一  
②一小時之六十分之一

ぶん文(名) 文

ぶん分(名) 分、份(分に安する) 安分、安本分、守本分(分に應じて事をする) 安分做事(三分の一) 三分之一(五人分) 五份兒(人の分を横取する) 占別人的份兒(親分) 乾爹(子分) 乾兒(兄弟分) 盟兄弟

ぶんあん文案(名) 文案、文書案

ぶんい文意(名) 文意

ぶんうん紛紜(名) 紛紜、纏繞

ぶんうん文運(名) 文運

ぶんが文雅(名) 文雅、風雅、雅致

ぶんがい憤慨(名) 憤慨、動憤

ぶん

ぶんかい分解(名) 卸、分解、分析、化分(この機械は分解出來ますか) 這分機器卸得下來麼(成分を分解する) 把成分化分

ぶんかう分校(名) 分校

ぶんかう文豪(名) 文豪

ぶんかく文學(名) 文學

ぶんかつ分割(名) 瓜分、分割

ぶんがふ吻合(名) 對合、接合、吻合

ぶんぎ奮起(名) 奮起

ぶんぎ紛議(名) 紛紛議論、爭論

ぶんぎ分岐(名) 分岐、分支、分叉、分岔、分作兩岔

ぶんぎ文義(名) 文義

ぶんきう粉料(名) 粉料

ぶんぎる踏切ル(四段踏切) 敢胆、敢胆行事

敢爲、

ぶん

ぶんぐ文具(名) 文具、文房四寶、紙筆墨硯

ぶんくわ噴火(名) 噴火(火山が噴火する) 火山噴吐、火山噴發(噴火山)

ぶんくわ文化(名) 文化

ぶんくわ文科(名) 文科

ぶんくわ分科(名) 分科(分科大學) 分科大學

ぶんぐわい分外(名) 分外

ぶんくわん文官(名) 文官、文員

ぶんくわん文動(名) 文動

ぶんくわん文動(名) 文動

ぶんけ分家(名) 分出來的家、新立的家(分家する) 分家

ぶんげい文藝(名) 文藝(文藝復興)

ぶんげい文藝復興、文學復興

一四一四

ぶん

ぶんげき奮激(名) 奮激

ぶんげき奮擊(名) 奮擊

ぶんげふ分業(名) 分業、分工

ぶんけん文獻(名) 文獻

ぶんけん分遣(名) 分遣、分派、分

ぶんけん分見分間(名) 測量、測繪

ぶんげん分限(名) 本分、分位(自分の分限を越える) 過逾本分、逾分(俄分限) 暴發富的人

ぶんぶん文庫(名) ①文書匣子 ②文庫、藏書處(巡迴文庫) ③巡迴文庫(貸出文庫) ④貸出文庫

ぶんぶん文語(名) 文話、文言

ぶんぶん粉骨碎身(名) 粉骨碎身

粉

ぶん

ぶんごみ踏籠(名) 褲子一類

ぶんさい粉碎(名) 粉碎

ぶんさい文才(名) 文才

ぶんざい分際(名) 與ぶんげん同

ぶんざう紛爭(名) 紛爭

ぶんざう文藻(名) 文藻

ぶんざく紛錯(名) 紛錯、紛雜、糾錯、參錯

ぶんざつ紛雜(名) 同上

ぶんざん分散(名) ①四散、分散、解散、散開 ②倒産、倒行

ぶんざん分産(名) 折産

ぶんし分子(名) 分子、原子(分子量)

ぶんし文詞(名) 文詞

ぶんし文士(名) 文人、文家、文士

ぶんし文思(名) 文思

ぶん

ぶんし分枝(名) 分枝、出枝、發枝

ぶんじ文事(名) 文事 「遺失

ぶんじつ紛失(名) 丟、失丟、失落、

ぶんじふ文集(名) 文集

ぶんじや分社(名) 分公司

ぶんじやう分掌(名) 分轄

ぶんじやう文相(名) 教育部長

ぶんじやう文章(名) 文章、筆墨

ぶんじやく文弱(名) 文弱

ぶんじゆつ噴出(名) 噴出、噴發、

射出

ぶんじよ文書(名) 文書、文牘

ぶんじよ分署(名) 分署(役所)、巡警

ぶんじよ分駐所(巡査駐在所)

ぶんじよ粉飾(名) 粉飾(カザリ)

一四一五



ぶん

ぶんしよく文飾(名) 文飾  
 ぶんしん分針(名) 刻針  
 ぶんじん奮迅(名) 奮迅  
 ぶんしん文身(名) 刺字  
 ぶんしん分身(名) ①分身(ニ身分ク) ②分娩、生産 「人畫」(ク)寫意  
 ぶんじん文人(名) 文人、文家(文  
 ぶんす扮ス(佐變自動) 打扮  
 ぶんすう分數(名) 分數  
 ぶんすう噴水(名) 噴水、射水(噴  
 水器) 噴水機器(噴水池) 噴  
 水池、噴水井、噴水泉、射水泉  
 ぶんするれい分水嶺(名) 分水嶺  
 ぶんせい文勢(名) 文勢 「分水界  
 ぶんせう焚燒(名) 焚燒  
 ぶんせう紛擾(名) 紛擾  
 ぶんせき分析(名) 分解、分析、化

ぶん

分、解析、推解、分解推原  
 ぶんせき文責(名) 文責(本社は文  
 責を負はず) 本館不負文責  
 ぶんせん奮戦(名) 奮戦  
 ぶんぜん憤然(副) 憤然  
 ぶんぜん文選(名) 檢字的人  
 ブンゼンランプ(名) (Bunsen's  
 lamp) 本生燈、邦生燈  
 ぶんたい文體(名) 文體  
 ぶんたい分隊(名) 棚(分隊長)  
 (チャウ) 正目  
 ぶんだい文臺(名) 矮書桌  
 ぶんだい文題(名) 文章の題目  
 (ぶん)だくる(四段他動) 搶、搶奪  
 ぶんだん粉炭(名) 煤末  
 ぶんだん分擔(名) 分擔  
 ぶんだん文壇(名) 文壇

ぶん

ぶんだんに(副) 大路的  
 ぶんち文治(名) 文治  
 ぶんちやう蚊帳(名) 帳子、蚊帳  
 ぶんちん文鎮(名) 鎮紙、紙壓  
 ぶんつう文通(名) 信、書信(文通  
 がない) 書信不通(常に文通しま  
 す) 常有來信  
 (ぶん)づける蹈附ル(下一段他動) 蹈上  
 (ぶん)づまり糞詰(名) 大便秘結  
 ぶんでう文鳥(名) 芙蓉鳥  
 ぶんでん分店(名) 分行、分莊  
 ぶんでん文典(名) 文法書  
 ぶんご憤怒(名) 憤怒、憤激、震怒、  
 暴怒、怒氣冲冲  
 ぶんごう奮闘(名) 奮闘  
 ぶんごう分銅(名) 法馬(馬)稱砵、  
 法碼、砵碼、稱錘、陸子(時世)

ぶんごき分度器(名) 分度尺  
 ぶんごし犢鼻褌(名) 圍下身的布  
 「犢鼻褌をしめてかかる」見しむ  
 「人の犢鼻褌で相撲(ウマ)を取る」  
 借花供佛(犢鼻褌擔) (カウギ) 1. 服  
 侍躰的人的 2. 服侍人的  
 ぶんごり分捕(名) ①擄掠、劫掠、  
 劫搶 ②占過來、把過來 (pa) 拿  
 獲

ぶんばう文房(名) 文房(文房具)  
 (ク)與文具(ぶん)同  
 ぶんばつ奮發(名) ①發奮、發憤(彼  
 は奮發しないと落第します) 他若  
 再不發憤一定落第了(今一層  
 の奮發を要する) 總得要發一發  
 奮 ②要强 (Chiang) (彼は洋行す  
 るさうです大變な奮發です) 聽  
 說他要出外實在是要強啊 ③恨  
 心、咬牙 (Goo) (奮發して一等の  
 汽車に乗りませう) 俾們恨一恨  
 心坐頭等車罷(奮發して買って置  
 きませう) 咬着牙買罷(旦那奮發  
 して買って下さい) 老爺請多花幾  
 個錢買下罷

(ぶん)ばる蹈張ル(四段自動) ①又開  
 腿 ②硬說、強嘴、堅持、固執  
 ぶんばん噴飯(名) 忍不住樂(ツレ)  
 ぶんばん文範(名) 文範 「噴飯  
 ぶんび分泌(名) 出液、分泌  
 ぶんびつ文筆(名) 文筆、筆墨(文  
 筆に携はる) 辦筆墨(文筆の才が  
 ある) 有文筆之才  
 ぶんびつ分筆(名) 分着寫、分別寫  
 ぶんぶ文武(名) 文武  
 ぶんぶ分賦(名) 分賦  
 ぶんぶ分布(名) 分布  
 ぶんぶつ文物(名) 文物  
 ぶんぶん紛紛(副) 紛紛(議論紛紛)  
 (ギロン) 議論紛紛  
 (ぶん)ぶん(副) 噉噉的(蚊がぶん  
 ぶん鳴く) 蚊子噉噉的叫喚

ぶん

(ぶん)なぐる打擲ル(四段他動) 打  
 ぶんなふ分納(名) 分期付款  
 ぶんぬん紛紜(名) 紛紜、纏轢  
 ぶんねんしやうくわんはぶん分年  
 償還法(名) 分年攤還法  
 ぶんば分派(名) 分派、分撥(先づ  
 一隊を分派する) 先分撥一隊  
 ぶんばい分配(名) 分散、分給、分

ぶん

ぶんばい分配(名) 分散、分給、分  
 ぶんばい分配(名) 分散、分給、分

ぶん

ぶんばい分配(名) 分散、分給、分

ぶん

ぶんぶん (副) 噴噴的「香水をぶんぶんさせる」  
 叫香水香噴噴的  
 ぶんべい 分袂 (名) 分袂、分手  
 ぶんべう 分秒 (名) 一寸光陰、一點兒的工夫、分陰  
 ぶんべき 粉壁 (名) 粉壁、白墻  
 ぶんべつ 分別 (名) 思想、思慮 (分別のない男) 無思慮的人「分別盛」(ザカリ) 思想透徹的時候、不惑、四十歳  
 ぶんべつ 分別 (名) 分別  
 ぶんべん 分娩 (名) 分娩、生産  
 ぶんぼ 墳墓 (名) 墳、墳地、墳墓  
 ぶんぼ 分母 (名) 分母  
 ぶんぼく 文墨 (名) 文墨  
 ぶんぼん 粉本 (名) 稿畫、粉本  
 ぶんまう 文盲 (名) 目不識丁的人、

ぶん

ぶんまはし 筆規 (名) 圓尺、兩脚規  
 ぶんまつ 粉末 (名) 末兒、麪兒、碎末  
 ぶんみやう 分明 (名) 分明「脈絡ぶんみやう文脈」  
 ぶんみやく 文脈 (名) 文氣、文之  
 ぶんむき 噴霧器 (名) 噴霧器  
 ぶんめい 文明 (名) 文明、文化  
 ぶんめん 文面 (名) 文章面兒上  
 ぶんよ 分與 (名) 分給  
 ぶんらん 紛亂 (名) 紛亂、糾纏  
 ぶんらん 紊亂 (名) 紊亂  
 ぶんり 文理 (名) ①文理 (文章) ②文學與理學  
 ぶんり 分離 (名) 分離、分開、離開  
 ぶんりう 分流 (名) 支流、河岔兒  
 ぶんりやう 分量 (名) 分量

ぶん

ぶんりん 文林 (名) 文林  
 ぶんるる 分類 (名) 分類、類別、分門別類「各文書は分類して保存する」各文書分類保存  
 ぶんれい 奮勵 (名) 奮勵  
 ぶんれい 文例 (名) 文章の榜樣  
 ぶんれつ 分裂 (名) 分裂、分開、裂開  
 ぶんれつしき 分列式 (名) 分列式  
 ぶんわ 文話 (名) ①文話、文言 (文話兒) ②文話兒 (文章)  
 ぶんるき 雰圍氣 (名) 「氣、空氣」雰圍氣、大  
 ぶんるん 憤怨 (名) 憤怨

一四一八

へ

へん (名) 屁 (屁をひる) 放屁 (屁でもない) 很容易、不值甚麼 (屁とも思はぬ) 拿人 (事) 屁也不值、拿人 (事) 不要緊「屁をかます」給人家聞屁「百日の説法屁一つ」多年辛苦一敗塗地、千日薙來  
 へん 邊 (名) 邊「一日賣  
 へん 往、上「東へ行く」往東走「後へ退く」往後退「天津へ行く」上天津去  
 へん (接尾) 邊兒 (後方) (ウシロ) 後邊兒 (旁方) (カタ) 傍邊兒 (行方) (ユク) 下落 (上へ) (ウツ) 外面、表面 (寄へ) (ヨシ) 倚靠  
 へん (接尾) 層 (一重) 1. 一層 2. 單  
 采兒 (花) (二重) 1. 兩層 2. 雙采兒  
 (花) (八重) (ヤ) 1. 重疊 2. 雙采兒

へん (幾重) (イツ) 好幾層  
 へん (接尾) 與方 (一) 同  
 へん 邊 (接尾) 邊 (海邊) (ウミ) 海邊、海洋 (河邊) (カ) 河邊、河岸  
 へん キングパウダー (名) (Baking-powder) 發酵粉、起子「猪肉  
 へん コン (名) (Bacon) 鹹猪肉、醃  
 へん ジ頁 (名) 頁、面、篇「五頁目にある」在第五頁上「頁數」(スウ) 頁數  
 へん スボール (名) (Base ball) 棒球  
 へん ル (名) (Viel) 面衣、障面紗、罩面布、蒙面紗、蓋面紗、面紗、兜紗「ボールをかける」罩着面紗  
 へん あがる 歷上ル (四段自動) 累進  
 へん い兵 (名) 兵「兵を起す」起兵「兵を構ふ」構兵「兵になる」當兵

へん (接尾) 塀 (板塀) (イシ) 板塀「土塀」(土塀)  
 へん 聘 (名) 聘「聘をしりぞく」却聘「聘を厚うす」厚聘  
 へん 幣 (名) 幣  
 へん 弊 (名) 弊、弊病、弊竇  
 へん 丙 (名) 丙  
 へん 米 (名) 美國  
 へん あん 平安 (名) 平安  
 へん い平易 (名) 平易  
 へん い敝衣 (名) 敝衣  
 へん 併有 (名) 併有、一併有兩  
 へん 兵營 (名) 兵營、營房、營盤  
 へん えき 兵役 (名) 兵役、軍務「兵役に服す」服兵役、當兵、充兵  
 へん いか 弊家 (名) 舍下、敝屋

一四一九

へいか陛下(名) 陛下、聖上、聖主、萬歲爺

へいか平價(名) 平價、同價(法定平價)(ハウテ) 法定平價

べいか米價(名) 米價、米行市

へいがい弊害(名) 弊、弊病、弊竇

へいかう閉校(名) 放學、散學(閉校式)散學禮

へいかう並行(名) 並行(ユラビ)

へいかう平行(名) 平行(平行線)

へいがかん兵艦(名) 兵艦、兵船

へいぐわ併合(名) 合併、歸併

へいけん兵權(名) 兵權

へいけん柄權(名) 權柄、權力、權

へいげん平原(名) 平原、平川野地

へいご兵庫(名) 武庫

へいご閉戸(名) 閉戸、閉門

へいこう閉口(名) 閉口、閉口無言(彼は問ひ詰められて閉口した)他被人問住問的無言答對的爲難、難受(此頃は忙しくて閉口です)這程子忙的難受(いくらやっても言く行かないで閉口した)怎麼辦辦不到好處實在

へいこく弊國(名) 弊國 「爲難

べいこく米穀(名) 糧食

へいき併起(名) 並起

へいき平氣(名) 平心靜氣的(虛心平氣で考へる)平心靜氣的思想、沈下心去想(不理會、不怕、不害怕、安心(彈丸雨飛の中でも平氣です)在彈雨之中一點兒也不害怕(不怎麼樣、不介意)(人に罵られても平氣で居る)人家怎麼罵他也不理會(災難に遇っても平氣なものです)遇見災難還不理會哪(平氣で法を犯す)安心犯法(平氣の平左)一點兒也不講究(マハナイ)、一點兒也不慌

へいきよ閉居(名) 閉居、杜門謝

へいきん平均(名) 均平、平均、均

へいさ閉鎖(名) 閉鎖、鎖上、關

へいさう兵曹(名) 海軍弁兵

へいし兵士(名) 兵、兵士、兵丁、

へいし斃死(名) 死斃 「兵勇

へいじ兵事(名) 兵事

へいじ平時(名) 平常、平素、平時(平常無事之時、太平年頭

へいじたいさう兵式體操(名) 兵式體操

へいじつ平日(名) 平常、平素、素日 「陋習

へいじふ弊習(名) 不好的習氣、

へいじやう平常(名) 平常、平素、素日

へいじゆ米壽(名) 慶八十八

へいしゆつ平出(名) 抬頭寫

へいじゆん平準(名) 平準

へいしよ兵書(名) 兵書

へいしん平信(名) 平安信

へいしんていどう平身低頭(名) 低身下氣

へいす聘ス(佐) 聘、聘請、邀請(教師を聘す)聘請先生(女を聘す)聘姑娘、聘女兒

へいせい平靜(名) 平靜

へいせい幣政(名) 幣政

へいせい幣制(名) 幣制、圓法

へいせい兵制(名) 兵制

へいせい平生(名) 平生、平常、素

へいせき兵籍(名) 兵籍 「日

へいせん兵燹(名) 兵災

へいせん兵船(名) 兵船、兵艦

へいそ平素(名) 平常、素日、平生

へいけん兵權(名) 兵權

へいけん柄權(名) 權柄、權力、權

へいげん平原(名) 平原、平川野地

へいご兵庫(名) 武庫

へいご閉戸(名) 閉戸、閉門

へいこう閉口(名) 閉口、閉口無言(彼は問ひ詰められて閉口した)他被人問住問的無言答對的爲難、難受(此頃は忙しくて閉口です)這程子忙的難受(いくらやっても言く行かないで閉口した)怎麼辦辦不到好處實在

へいこく弊國(名) 弊國 「爲難

べいこく米穀(名) 糧食

へいさ閉鎖(名) 閉鎖、鎖上、關

へいさう兵曹(名) 海軍弁兵

へいし兵士(名) 兵、兵士、兵丁、

へいし斃死(名) 死斃 「兵勇

へいじ兵事(名) 兵事

へいじ平時(名) 平常、平素、平時(平常無事之時、太平年頭

へいじたいさう兵式體操(名) 兵式體操

へいじつ平日(名) 平常、平素、素日 「陋習

へいじふ弊習(名) 不好的習氣、

へいじやう平常(名) 平常、平素、素日

へいじゆ米壽(名) 慶八十八

へいしゆつ平出(名) 抬頭寫

へいじゆん平準(名) 平準

へいしよ兵書(名) 兵書

へいしん平信(名) 平安信

へいしんていどう平身低頭(名) 低身下氣

へいす聘ス(佐) 聘、聘請、邀請(教師を聘す)聘請先生(女を聘す)聘姑娘、聘女兒

へいせい平靜(名) 平靜

へいせい幣政(名) 幣政

へいせい幣制(名) 幣制、圓法

へいせい兵制(名) 兵制

へいせい平生(名) 平生、平常、素

へいせき兵籍(名) 兵籍 「日

へいせん兵燹(名) 兵災

へいせん兵船(名) 兵船、兵艦

へいそ平素(名) 平常、素日、平生

へいそ 斃鼠(名) 死耗子  
へいそく 幣束(名) 供神的幣  
へいそく 屏息(名) 屏息  
へいそく 閉塞(名) 閉塞、塞住、堵上、堵塞、壅塞  
へいそつ 兵卒(名) 兵、兵士、兵卒  
へいたい 兵隊(名) ①兵、兵士、兵卒 ②兵隊  
へいたく 弊宅(名) 舍下、敝屋  
へいたん 平坦(名) 平、平坦、平川、平齊、平正  
へいたん 兵端(名) 兵端  
へいたん 兵站部(名) 糧臺、兵站、兵站處〔兵站部を置く〕安糧臺  
へいち 平地(名) 平地、平川地〔平地に波を起す〕平地起風波

へいちやう 閉場(名) 閉場  
へいつくばる 屈卑、屈身下氣、過於卑矮  
へいてい 平定(名) 平定〔騷動は平定した〕亂都平定了〔叛亂を平定する〕彈壓亂事、除滅擾亂〔賊を平定する〕勦滅賊匪、勦除匪徒  
へいてい 閉廷(名) 閉審 〔關シテ〕  
へいてん 閉店(名) 關閉〔閉店〕、倒號  
へいてん 弊店(名) 小舖、小號、敝號  
へいどう 平等(名) 平等、同等〔四民平等〕(シム) 四民平等〔平等の地位〕平等的地位  
へいどん 併吞(名) 吞併、吞佔、霸  
へいにん 平民(名) 平常人、庶民、平民、百姓、布衣、白丁

へいねん 平年(名) 平年、常年、例年  
へいは 兵馬(名) 兵馬  
へいはう 弊邦(名) 敝國、弊邦  
へいはう 平方(名) 平方、見方  
へいはく 幣帛(名) 供神的物  
へいはく 米麥(名) 米麥子  
へいはつ 併發(名) 併發、兼發〔併發せる病氣〕兼患、夾雜病  
へいはふ 兵法(名) 兵法  
へいはん 平板(名) 板、平板  
へいはん 米飯(名) 白米飯  
へいび 兵備(名) 兵備、軍備、武備  
へいふう 屏風(名) 屏風 〔風俗〕  
へいふう 弊風(名) 弊風、弊俗、壞  
へいふく 平服(名) 便衣、便服  
へいふく 平伏(名) 爬地叩頭

へい

へい

へい

一四二二

へいふく 平復(名) 復元、平復、痊愈、治好了、醫好了、病大好了  
へいぶつ 幣物(名) 禮物  
へいぶん 平分(名) 平分、均分  
へいぶん 米粉(名) 白米麩  
へいべい 乏(名) 乏〔べい 役者〕 乏角兒  
へいへい 奉承(名) 奉承、諂媚  
へいへい 兵變(名) 兵變、叛變  
へいへん 兵變(名) 兵變、叛變  
へいほん 平凡(名) 平凡、平庸、平常、平平無奇、無味、淡薄、沒有趣的 〔衣、庶民、平常人、白丁〕  
へいみん 平民(名) 百姓、平民、布衣  
へいめん 平面(名) 平面、扁平〔平面鏡〕(キヤウ) 平面鏡〔平面圖〕(シ)

へいもん 閉門(名) 閉門思過  
へいや 平野(名) 平野  
へいゆ 平癒(名) 病全好了、復元、還元〔一日も早く御平癒の程祈申候〕伏祈吉人天相早策弗藥之占  
へいよう 併用(名) 併用  
へいよう 聘用(名) 聘請、聘任  
へいらん 兵亂(名) 兵亂、兵變、兵叛、叛亂  
へいりふ 米粒(名) 米粒  
へいりやく 兵略(名) 兵略  
へいりよく 兵力(名) 兵力  
へいれつ 並列(名) 擺列  
へいわ 平和(名) 平和、和平、和睦、和霽、和悅〔あの人には平和な人です〕他是和平的人〔あの家は大

變平和です〕他們一家子很和睦了〔平和に局を結ぶ〕平平和和的了 結〔平和會議〕(ワイキ) 保和會、和會、弭兵公會〔平和克復〕(クワク) 重修舊好〔平和條約〕(ウヤク) 和約、講和條約  
へいをく 弊屋(名) 舍下、敝屋  
へいをん 平穩(名) 平穩、平靜〔海上は平穩でした〕海面上平靜了〔此事件は平穩に落着きますまい〕我看這件事情不能穩穩當當的了 了結罷  
ペイント(名) (Paint) 油漆、油色  
へう電(名) 電子〔電が降る〕下電子  
へう豹(名) 豹子〔豹は死して皮を留め人は死して名を留む〕豹死留皮人死留名

へい

へい

へい

一四二三

へう 倭(名) 苞  
 へう 瓢(名) 葫蘆  
 へう 標(名) 標、記號  
 へう 表(名) ①表、表面、外面 ②表、圖、冊、單、單子、清單「表を上る」上表「表を作る」造冊、作冊、列冊「戸口表」(コロウ)戸口冊「豫算表」(ヨサン)預算冊「結算表」(ケツサ)清單「價格表」(カカク)價目單「人名表」(ジンネ)姓名單子「賃金表」(車)車價表「汽車時間表」(キンヤジ)行車時刻表  
 へう 廟(名) 廟、廟堂、廟宇「孔子の廟」孔聖廟、聖人廟、孔夫子廟、聖廟、文廟「先祖の廟」家廟、祠堂、祖先堂

へう 眇(名) 眇、一隻虎、一隻瞎  
 へう 秒(名) 秒  
 へう い 表衣(名) 外罩的衣裳  
 へう えい 苗裔(名) 苗裔  
 へう えん 表演(名) 表演、上演  
 へう おん 表音(名) 表音、記音「表音字」(シ)表音字、音標字  
 へう かく 嫖客(名) 嫖客  
 へう かん 剽悍(名) 剽悍  
 へう がんせき 猫眼石(名) 貓兒眼  
 へう き 表記(名) 表面註寫的、外面寫的  
 へう き 標記(名) 標記、表記、表號  
 へう き 標旗(名) 標旗、號旗  
 へう ぎ 廟議(名) 廟議

へう きん 剽輕(名) 招樂兒、詼諧「剽輕者」(モ)愛鬪笑的人、好取笑的人、好詼諧的人  
 へう ぐ 表具(名) 裱糊的東西、裝潢「表具をする」裱糊「この幅」は表具がよい「這幅掛幅裝潢的好」表具師「裱糊匠」表具代「(ダイ)裱工「表具屋」(ヤ)裱畫店  
 へう ぐ ひ 標杙(名) 標椿  
 へう ぐ わ 描畫(名) 描畫、畫畫兒  
 へう けつ 表決(名) 表決「表決に付す」付表決 「諧、逗笑、逗趣」  
 へう げん 表現(名) 現出來  
 へう げん 標語(名) 標語、標句、題句、格言、題目、標語

へう さう 表裝(名) 與へうく同  
 へう さつ 表札(名) 姓名牌子  
 へう し 表紙(名) 書皮兒  
 へう し 表示(名) 表示、表顯、彰示  
 へう し き 標識(名) 標識(シル)、標  
 へう し つ 漂失(名) 漂失「椿(ヘウ)へうしや 描寫(名) 描寫  
 へう し やう 表象(名) 象表、表象、表示、表現、現示、象徴、標章、表記、表號 「彰表  
 へう し やう 表彰(名) 顯揚、表揚  
 へう し やう 表情(名) 表情「表情術」  
 (ジュツ) 動容法  
 へう し や く 表尺(名) 表尺  
 へう し ゆ ん 標準(名) 標準、格式、

模範、準則、表率 (Standard)「標準語」(ゴ)標準語「標準時」(ジ)標準時「標準價格」(カカク)底碼  
 へう す 表ス(佐助他動) 表、表示「同意を表す」表示同意  
 へう せ き 標石(名) 標石  
 へう せ つ 剽竊(名) 剽竊、偷竊、抄襲「人の文章を剽竊する」抄襲別人做的文章  
 へう ぜん 飄然(副) 飄然  
 へう ぞ 瘰疽(名) 蛇頭疔、蛇頭瘡  
 へう だ い 表題・標題(名) 題目、名目、標名、標題、表題「表題紙」(シ)表題頁、標題頁  
 へう た う 剽盜(名) 路劫(オヒ) 廟堂  
 へう だ う 廟堂(名) 廟堂

へう だ つ 剽奪(名) 剽掠、剽奪  
 へう た ん 瓢簞(名) 葫蘆「瓢簞から駒」陽溝裡頭出駱駝「瓢簞で給」一味の支吾  
 へう ち 錨地(名) 錨地、拋錨所、碇  
 へう ち や く 漂着(名) 漂到  
 へう ち ゆ う 標註(名) 標註  
 へう ち ゆ う 標柱(名) 標柱、標椿  
 へう て き 標的(名) 靶子、鵠的、的  
 へう て ん 標點(名) 標點 「標的  
 へう とう 標燈(名) 標燈  
 へう ば う 標榜(名) 標榜 「流  
 へう は く 漂泊(名) 漂泊、漂蕩、漂  
 へう は く 表白(名) 表白、表明  
 へう は く 漂白(名) 漂白、漂晒「奇

へう

麗に漂白する」漂亮了、漂淨了  
 「漂白粉」漂白粉、石頭粉  
 子、大白漂粉  
 へうひ表皮(名) 表皮、外皮  
 へうぼん標本(名) 標本、様本  
 へうめい表明(名) 表明、表顯  
 へうめん表面(名) 表面、外面、上面  
 へうり表裏(名) 表裏「表裏一の如し」表裏如一、始終如一「沒有表裏」表裏常なき行動をする」開個反復、反覆無常、來回拉抽「屈兒」表裏のある人」有二心的人、倆心的人  
 へうりう漂流(名) 漂流、浮泛、飄流、漂浮「漂流品」漂流品、

へかへき

冲岸貨品  
 べからず可ラズ(助動) 不可、不宜、不應、見べし條下  
 へき壁(名) 壁牆 「(セ)毛病、癖  
 へき癖(名) ①皮氣、脾氣(カンシヤ) ②  
 へぎいた折板(名) 杉柏等之薄板  
 へきいっ僻邑(名) 僻邑  
 へきえき僻易(名) 僻易、退避  
 へききやう僻郷(名) 僻郷、僻鄉村  
 へききやう僻境(名) 僻壤、荒僻之地  
 へきくう碧空(名) 與へきてん同  
 へきち僻地(名) 僻地、偏僻的地方  
 へきてん碧天(名) 碧落、碧霄、碧天、碧空  
 へきとう劈頭(名) 劈頭  
 へきれき霹靂(名) 霹靂、霹靂

へくへこ

へぐ剥グ(四段他動) 與はがす同  
 へけ(名) 不行  
 へこおび兵兒帶(名) 裕包  
 へこたれる(下一段自動) 動不了、灰心喪氣的「疲れてへこたれる」乏的動不了「二三杯飲むとへこたれる」喝兩盅酒就醉的動不了「彼は一萬圓の損をしたがへこたれて商賣を止めると云って居る」  
 他賠了一萬元就灰心喪氣的要收買賣  
 へこむ凹ム(四段自動) ①窪「地面が凹む」地窪下去 ②説「あの人に一本凹まされた」挨了他説一頓「あんな生意氣な奴は凹してやれ」像他那麼冒失的東西得説他一頓  
 ③灰心喪氣「これ位の事に凹ん

へさへす

てど、うします」爲這麼點兒事情  
 灰心喪氣的做甚麼啊  
 へさき袖先(名) 袖、船首、船頭  
 べし可シ(助動) 可、合、應、該、當、須、宜「惜む可し」可惜「憐むべし」可憐「恐るべし」可怕、可懼「大にすべく小にすべし」可大可小「父母の年は知らざるべからず」父母之年不可不知也「未だ知るべからず」未可知「注意すべし」須要小心「彼は來らざるべし」彼應不來「妾に立ち入るべからず」不准擅進「妾に塵埃を捨つべからず」不准任意投棄塵芥 「あふ同  
 へしあふ壓合フ(四段他動) 與おし  
 へしをる壓折ル(四段他動) 壓折了  
 へす歴ス(四段他動) 壓

へすへた

へす減ス(四段他動) 減  
 へスト(名) (Pest) 黑死病、鼠疫、百斯篤、核子瘟、管斯篤  
 へそ臍(名) 肚臍、肚臍眼「臍で茶をわかす」樂(ガ)的肚皮子疼  
 へそ卷子(名) 捆子 「要哭  
 へそ(名) 咧嘴「へそをかく」咧嘴  
 へそくりがね臍繰金(名) 私財、腰包、花粉眼「臍繰金を溜める」  
 へそそのした臍下(名) 下身  
 へそを臍緒(名) 臍帶、肚臍帶「臍緒を切る」斷臍帶子、剪臍帶  
 へた帯(名) 帶、把兒、秧兒「柿の帶」柿子把兒「林檎の帶」苹果把兒「茄子の帶」茄子把兒「瓜の帶」瓜秧兒

へた

へた下手(名) 不好、不巧妙、臭、笨、拙笨「彼は字が下手です」他寫的字不好「拙笨」(彼は客のあしらひが下手です)他不曾應酬客人「下手の横好」好者爲樂「下手の長談議」拉着扯着説長話、俐俐拉拉的説長話「下手をまごつく」辦壞了、辦錯了「下手をやった」同上「話下手」拙嘴鈍腮  
 へた總(副) 滿「顔中へたに腫物が出來た」滿臉長了疙瘩「總塗」滿抹、滿上  
 へたいちめん總一面(副) 全面、べたがき總書(名) 滿寫  
 へたたくそ(名) 笨蛋、笨蟲  
 へだたり隔(名) 空兒、間隔、隔膜  
 (ko-mo)「三尺の隔をおく」隔三

尺的空兒、留三尺間隔(二人の心中には隔がある)兩個人心裡有隔膜

へだたる 隔(四段自動) 隔(chieh?)

離(學校は此處から遙に隔って居る)學校離這兒隔着很遠(年月隔る)隔年月(遠く隔る)隔得遠

〔天淵相隔る〕天淵相隔(ko?)

へだつ 隔(下二段他動) ①隔(chieh?)

②離間(海を隔てる)隔一道海

〔友達の仲を隔てる〕離間朋友

〔べたつく(四段自動)〕濕(汗で體がべたつく)出汗身體濕的慌

へだて 隔(名) 隔、空兒、間隔(少し隔をおく)隔着點兒空兒、留點間隔(人情に東西の隔はない)無論那國人情都是一樣(愛情

には上下の隔がない)愛情不分上下(皆少しも隔なく交る)交的都是一點兒也不分彼此(部屋の間の隔を取る)摘下(打下)屋子的隔斷

へだてがまし 隔がまし(形志久語)

冷眼、不親近(隔がましくあしらふ)冷眼待人

へたばる(四段自動) 蹲下

へたべた(副) 滿(へたべたに塗る)滿抹、滿上(白粉をべたべたに塗る)臉上滿擦粉(壁にべたべた張り付ける)在牆上滿粘上(紙ヲハリ)、滿牆上都粘上(カペー面ニハリツケル)

ベチコート(名) (Peticoat) 襯裙

へちま 絲瓜(名) 絲瓜

へちや べちや(副) 叨叨、喃喃

〔へちやべちや饒舌る〕叨叨的說べつ別(名) 別、單、另(夫婦別あり)夫婦有別(別に天地あり)別有天地(別の品はありませんか)沒有別的東西麼(別を送る)送別、送行(別に人を仕立てる)單派一個人(別に方法を考へる)另想主意(郵税は別に申受候)郵費照加(荷造費は別に申受候)包裝費在外

べつ 鼈(名) 鼈

べつい 別意(名) 別的意思

べつえん 別筵(名) 餞行的酒席、送別會

べつかう 鼈甲(名) 鼈甲

べつかう 別項(名) 別項

べつがう 別號(名) 別號、外號

べつかく 別格(名) 格外、特別

べつかう(名) 拿指頭壓下眼胞

べつき 別記(名) 別的記載

べつぎ 別儀(名) 他故、別的緣故

べつぎやう 別行(名) 別行

べつきよ 別居(名) 分居、離居(夫婦別居する)夫妻分居

べつくわ 別科(名) 別科、專習科

べつぐん 別軍(名) 別隊

べつげ 別家(名) 分出來的家、新立的家(別家する)分家

べつげふ 別業(名) 別業

べつけん 瞥見(名) 瞥見、閃視、一見看見、一見兒瞧見

べつご 別後(名) 別後、袂別以來、拜違後(別後忽ち數年を経候)袂別以來倏經數載

べつこん 別懇(名) 對勁、相好

べつさう 別莊(名) 別業、別墅

べつさつ 別冊(名) 別冊

べつし 別紙(名) 另具、另紙、別單

〔別紙の通〕照另紙所開(別紙履歷書呈上仕候)附呈履歷一紙統

乞察閱(別紙定價表御送申上候)附呈價目單一紙(別紙にて呈上致候)另紙繕呈

べつし 蔑視(名) 蔑視、藐視、小看

べつじ 別事(名) 別的事情

べつじつ 別室(名) 別的屋子

べつして 別シテ(副) 格外

べつしやう 別稱(名) 別稱、或稱

べつじやう 別狀(名) 異狀

べつしゆ 別種(名) 別種、別類

べつしよ 別墅(名) 別墅

べつじん 別人(名) 別人

べつせい 別製(名) 特別製造

べつせかい 別世界(名) 別天地

べつせき 別席(名) 別的地方、別座位

べつたう 別當(名) ①王府管事人

べつたく 別宅(名) 別墅、別業

べつたり(副) ①迎着頭(二人が横町の入口でべつたり出會つた)

兩個人在胡同口兒迎着頭碰見了

②滿(べつたりひつつく)滿粘上

③一納頭(本月初からべつたり床に就いて居る)從本月初間

病的一納頭兒在牀上躺下

④深(地面にべつたり頭をつけて詫びる)在地下深深的叩頭告饒

べつだん 別段(副) 甚麼(別段難し)  
 い事もない 沒甚麼多難的(別段)  
 用事もない 沒甚麼事(別段功勞)  
 もない 沒有多大的功勞  
 べっちゃん 別珍(名) 剪絨、棉剪絨  
 べっつひ(名) 竈(名) 與かまど同  
 べつて 別手(名) 別的班子(別)  
 べつてい 別邸(名) 別業、別墅  
 べつてう 別條(名) 別件、別的事  
 情、異狀、意外、意外變故(生命)  
 には別條なし 於性命無礙(家内)  
 一同幸に別條無之御安心被下度候()  
 寒舎大小幸無異狀勿勞錦系  
 べつてんち 別天地(副) 別天地  
 べつに 別(副) 別、另、另外、格  
 外、特意(俸給以外別に手當を給)  
 する 薪水以外另給貼補(別に)

病氣はない 沒甚麼別的病  
 べつぱ 別派(名) 別派、別流(別派)  
 を立てる 另開門戶、別出一家  
 べつぱい 別杯(名) 饑行酒  
 べつぱう 別法(名) 別的方法子  
 べつぱら 別腹(名) 異腹  
 べつびん 別嬪(名) 標緻  
 べつふう 別封(名) 另函、附上一函、  
 另具之信(別封何卒御令兄へ御)  
 渡し下され度候 附上一函敬求  
 轉達令兄爲託  
 べつぷく 別腹(名) 異腹  
 べつべつ 別別(副) 分別、單(別別)  
 にして置く 分別着擱着(別別に)  
 行く 分別着去(私共二人の勘定)  
 は別別に付け出して下さい 我們  
 倆人的賬別算在一塊兒還是單

開單算罷(夫婦が別別に居る) 夫  
 妻倆彼此分居  
 べつま 別間(名) 別的小屋子  
 べつみやう 別名(名) 別名、又名、  
 又稱、又叫  
 べつむね 別棟(名) 另間的屋子  
 べつもんだい 別問題(名) 另問題、  
 另一回事(それは別問題だ) 那是  
 另一問題、那是另一回事  
 へつらひ(名) 諂媚  
 へつらふ(名) 諂媚(四段自動) 諂媚、巴  
 結、奉承、逢迎、裝狐媚子  
 べつり 別離(名) 離別(別離の情) 別  
 緒、離別的情感(別離の情に堪へ)  
 ず 臨別依依不捨、無任依依  
 へつる(名) 剝(四段他動) 剝(高い處)  
 を剝る 鑿高處(剝) 剝(頭を剝る)

抽頭兒  
 べつるる 別淚(名) 別淚  
 べつろ 別路(名) 別的路路  
 べてん(名) 寃、瞞、誑騙、瞞騙、  
 詐騙、哄弄(べてんを食はず) 寃  
 人、瞞人、誑騙人、想法子哄弄  
 人、用手段欺騙人(べてん師) 騙  
 子手、彌子手  
 へど 反吐、嘔吐(名) 嘔吐  
 べに(名) 胭脂、胭脂(紅を)  
 ける 擦胭脂(紅をさす) 1. 同上、  
 2. 通紅(紅色) 紅色(色) 同上  
 べにさしゆび 紅着指(名) 四指指  
 べにざら 紅血(名) 胭脂碟子  
 べにすずめ 紅雀(名) 梅花雀  
 べにばな 紅花(名) 紅花  
 べにやいた(名) (Veneer) 鑲片、被

木、鑲面美木、包鑲木片  
 へこの(名) ① 卵子兒(キ) ② 陽物、  
 屢子  
 へび 蛇(名) 蛇、長蟲(蛇使) (ツカヒ)  
 へべれけ(名) 喝、了個嚙嚙大醉  
 へぼ(名) 臭、笨(へぼ棋) 臭棋  
 へま(名) 笨、拙、醜(へまをやる)  
 作拙了、作的笨、出了醜了  
 へめぐる 歷廻ル(四段自動) 游歷  
 へや 部屋(名) 屋子、房間  
 へら(名) 篋(名) 篋子(糊付篋) (ツリ) 麪  
 べら 遍羅(名) 勒魚 減、裁減(役)  
 へらす 減ス(四段他動) 人を減す 裁減官員(月給を減す)  
 裁減薪水  
 へらぐち 不減口(名) 抗話(不)  
 減口をたたく 說抗話

へらぐち 不減者(名) 廢物人、  
 沒用的人  
 べらべら(副) 叨叨、喃喃(べら)  
 べら 饒舌(名) 叨叨的說 ② 顛顛巍巍  
 巍巍(べらべら撓む) 顛顛巍巍的灣  
 着  
 べらべら(副) 與べらべら同  
 べらぼう 篋棒(名) (人ヲ罵) 笨蛋、糊  
 塗、混蛋(篋棒奴) (糊説) (馬鹿ヲ)  
 混蛋(野郎)  
 ベランダ(名) (Veranda) 露臺、  
 涼臺、陽臺、廊簷、游廊  
 べらんめえ(感) 與篋棒奴(べらんめ)  
 同(べらんめえことば) 匪話  
 へり邊 緣(名) 緣、邊兒、邊條子、  
 緣邊兒、鑲邊兒(へりを取る) 鑲  
 上、鑲邊(河の邊) 河岸、河沿兒、



へりへる

河岸邊兒、河邊兒〔茶碗の邊〕碗邊兒、碗沿兒〔帽子の邊〕帽邊兒、帽簷兒〔ぎざぎざの邊〕狗牙邊兒、狗牙條子、齒形緣  
 へりうむ (名) (Helium) 氦 (hai)  
 氧 (yang)  
 へりかざり 緣飾 (名) 與へり同  
 へりカン (名) (Pelican) 塘鵝、鶉鳩  
 へりくだる (口腹自動) 謙恭、下謙、謙遜、謙  
 へりくつ 屁理窟 (名) 曲言、小理、僻論、似是而非的理論  
 へりとり 緣取 (名) 鑲的  
 へりとり 緣取ル (四段他動) 鑲、鑲沿  
 へりりうむ (名) (Beryllium) 鈹 (p. 22)  
 へる 減ル (四段自動) 少、減、減少、見

へるへる

少、有減色〔金が段段減る〕銀子漸漸的少〔近來輸出が大變減った〕近來出口的貨很覺減色〔あの學校の學生は段段減ります〕那個學校的學生漸漸的減少  
 へる 綜ル (下一段他動) 綜  
 べル (名) (Bell) 鈴、鈴鐺、手鐘、電鈴〔べルを押す〕搵鈴鐺〔泥棒除のべル〕防盜警鈴  
 べるう 秘魯 (名) 秘國、秘魯  
 べるぎい 白耳義 (名) 白耳義、比利時、比國  
 べルト 調帶 (名) (Belt) 皮帶、機器  
 べルニエル (名) (Vernier) 游尺、佛逆  
 べるべる (副) 舔〔舌でべるべる〕嘗める〔拿舌頭舔〕酔うてべるべる

へるへん

になる〕喝了個嚙嚙大醉  
 へるべる (副) 與べるべる同  
 へるり (副) 吐〔舌をべるりと出す〕吐舌頭  
 へるり (副) ① 與べるり同 ② 一口〔三斤の饅頭をべるりと食べてしまった〕三斤麪一口吃完了  
 へん邊 (名) ① 邊兒〔其邊を探してごらん〕你把那邊兒找一找〔此邊に日本人の家はありませんか〕這邊兒有日本人的住家沒有  
 ② 這麼、那麼〔あの人ならその邊の位地が適當でせう〕像他就那麼個地位我想合宜罷〔その邊で相談を纏めてはどうです〕就這麼着說妥了怎麼樣  
 へん 偏 (名) ① 偏愛、偏向 ② 一面

へん

④ 傍邊兒 ⑤ 字旁兒  
 へん 篇 (名) 篇  
 へん片 (名) 片〔一片の紙〕一片紙  
 へん返・遍 (名) 回、遍、盪〔三遍讀む〕念三回〔一通行く〕去一盪  
 へん變 (名) ① 變〔變に遇ふ〕遇變  
 〔あの病氣は一つ變が來たらもう駄目です〕他的病倘或有個變他的命可保不住了 ② 變亂 ③ 變異、災變 ④ 變通 ⑤ 別致、奇特、奇怪、可疑〔變な人〕別致的人、古怪的人 〔變な事もあったものだ〕說有奇怪的事情就有〔變な事をお尋ねしますが……〕我請問您別見怪〔何だか舉動が變です〕舉動有點兒可疑的地方〔變だなあ……〕怪呀

へん

べん 辨 (名) 辨、辨別、分辨  
 べん 辯 (名) 辯、嘴、口齒、口才〔あの人は辯が達者です〕他的口齒巧妙  
 ③ 活甕 ④ 汽蓋 (ボウ) べん 瓣 (名) ① 花瓣 ② 活門、舌門、べん 便 (名) 大小便〔便をしらべる〕驗糞〔便が通じない〕大小便不通  
 ペン (名) (Pen) 鋼筆〔ペンキ〕洋筆尖兒、鋼筆頭〔ペンチ〕鋼筆管、鋼筆桿〔ペンネーム〕別號、雅號  
 へんあい 偏愛 (名) 偏愛  
 へんあつき 變壓機 (名) 變電壓機、方門、變壓機、變流機  
 へんい 變異 (名) 變異、災變  
 へんい 變意 (名) 改意思、變卦  
 へんえき 變易 (名) 變易  
 べんえき 便益 (名) 便益

へん

へんか 返歌 (名) 回歌、回韻  
 へんかい 變改 (名) 與變更 (かひ) 同  
 べんかい 辯解 (名) 分辯、分疏  
 へんかう 變更 (名) 改變、更改、變更、更易  
 へんかう 偏向 (名) 偏向  
 へんかく 變革 (名) 變革  
 へんがく 扁額 (名) 匾額  
 べんがく 勉學 (名) 學學問、用功  
 へんかくかつよう 變格活用 (名) 動詞語尾變化不齊整者謂之變格活用、有四類加行變格佐行變格奈行變格良行變格是也  
 べんき 便器 (名) 夜壺、馬桶  
 べんき 番瀝青 (名) 油漆、油色〔ペンキを塗る〕油漆、上油〔ペンキわり〕油漆匠、油匠

へん

へんぎ 便宜(名) ① 權宜(便宜に取計らふ) 權宜作事、從權(便宜の手段) 權宜之法、便宜的計策 ② 方便、便宜、利便(色色便宜を得た) 得了好些個便宜了(便宜を計つてやる) 給人照應 「邊地  
へんきやう 邊境(名) 邊界、邊疆、  
へんきやう 勉強(名) ① 勉強、克己(勉強して之に従ふ) 勉強而從之(勉強してお安く致します) 價格格外從廉、價錢克己 ② 用工、勉力、努力、出力(只今は英語を勉強して居ます) 現在用英國話的功(あの學生はよく勉強します) 那個學生很用工(試験勉強) 考試趕着用功  
へんきやく 返却(名) 還、歸還、退

へん

還(御返却致します) 奉還(借金を返却する) 還債、還欠項、償債(投稿は一切返却申さず) 所寄投稿一概不退還(不檢還)、原稿概不退還(御序の節御返却下され度候) 便中擲還(荷) 先日拜借の品用濟使に托し御返却致候間御受取下され度候 前蒙光假某物茲已用畢謹遣小徒資還即希收入(用濟の上は直に御返却致すべく候) 事畢即當奉趙  
へんきん 返金(名) 歸還欠款、還款、還債、還賬、還欠項、償債  
へんきん 辨金(名) 籌款、湊銀、週轉銀子  
ペンギン(名) (Penguin) 企鵝、鱗  
へんくつ 偏屈(名) 偏僻、偏拗

へん

へんくわ 變化(名) ① 變化、改變(變化に乏しい) 沒變化、平平無奇、一式乏味 ② 動詞形容詞有語尾變化、譬如書之一語有書力書キ書ク書ケ之四變化  
へんくわん 變換(名) 變換 「還  
へんくわん 返還(名) 還、歸還、退  
へんげ 變化(名) 妖怪、妖精 「態  
へんげい 變形(名) 變形、變相、變  
へんけふ 偏狹(名) ① 狹(土)、窄、狹、偏狹 ② 小器、心眼兒  
へんけん 偏見(名) 偏見、僻見、私心、偏執、先入爲主之見(偏見を持つ) 懷着偏見、存着偏見(偏見を棄てる) 捐棄偏見、勿存私心、不執偏見

へん

へんげん 片言(名) 片言  
へんげん 變幻(名) 變幻  
へんこ 變故(名) 變故  
へんこ 片語(名) 片言  
へんご 辯護(名) 辯護、代辯、護庇(辯護士) 狀師、律師、訟師、辯護士(辯護人) 同上  
へんこう 辯口(名) 嘴、口才、口齒  
へんさ 遍差(名) 遍差、遍度  
へんさい 變災(名) 災變、變異  
へんさい 返濟(名) 還、還清、還債、歸還償債、還款、還欠項  
へんさい 辨濟(名) 同上  
へんさい 辯才(名) 口才、嘴、口齒  
へんざいてん 辨財天(名) 辨財天  
へんざう 變裝(名) 假粧、改裝、假扮、粧扮

へん

へんざう 變造(名) 改造、私改、竄  
へんざつ 返札(名) 回信 「改  
へんざん 編纂(名) 編纂  
へんじ 片紙(名) 一片紙、一塊紙  
へんじ 變死(名) 兇死、非命而死、橫死  
へんじ 片時(名) 暫時、片時、片刻、片晌、頃刻(片時も猶豫出來ぬ) 刻不容緩  
へんじ 返事(名) 答應、回答、回覆、回音、答復、回稟、回話、答話 「先づ歸宅して御返事を待ちます」我先回家去候您的佳音、我先回去聽您的信罷(いくら呼んでも返事がない) 怎麼叫都不答應、怎麼叫也沒回話(手紙の返事はまだ來ませんか) 上回的信

へん

還沒來回信麼(返事すべき言葉がない) 無話可答(手紙で返事する) 用信回覆(ヘンジマツ) 候示(何卒御返事下され度候) 即希回示、望希速賜回音、並望玉復是幸、敬祈賜覆(先は御返事まで如此くに候) 專此布覆並候文安、專此肅復順請台安、手此奉覆敬頌大安、此復並候時安、特此行肅復(詳細に御返事下され度候) 詳細賜覆是所殷盼  
へんじ 變事(名) 變故  
へんじ 辯士(名) 說客、能說的人、有口才的人、辯士  
へんじふ 偏執(名) 固執、偏執  
へんじふ 編輯(名) 編輯、撰輯(編輯人) 與へんじや同(編輯)

長(チャウ)大主筆、總主筆、總撰述、總編輯 「撰輯的」  
 へんじや 編者(名) 編者、編輯的、  
 へんじや 辯者(名) 與べんし同  
 へんじやう 變症(名) 病有變徵  
 へんじやう 返上(名) 奉還  
 へんじやう 辨償(名) 賠償、賠補、  
 賠償、賠  
 へんじゆ 變種(名) 變種、異種  
 へんじゆ 騙取(名) 騙取、誑騙  
 へんじよ 返書(名) 回信  
 へんじよ 片書(名) 片函、短札  
 へんじよ 便所(名) 茅廁、茅房、廁  
 所〔共同便所〕共同廁所  
 へんじよう 變稱(名) 別稱、別名  
 へんじよう 辨證法(名) 辨證

法  
 へんじよく 變色(名) 變色、顏色  
 變了、落色、掉色、退色、走顏色  
 へんしん 返信(名) 回信〔返信料付  
 の電報〕回信資先付的電報  
 へんしん 變心(名) 變心  
 へんしん 遍身(名) 渾身、遍體  
 へんしん 偏身(名) 半身  
 へんしん 偏心(名) 偏心(カタヨリ)、  
 偏心眼(同)  
 へんじん 偏人(名) 偏僻的人、偏  
 拗的人、隔路的人  
 ベンジン(名) (Benzine) 偏蘇恩、  
 偏西尼、石腦水  
 へんす 偏ス(佐變自動) 偏〔性質文に  
 偏する〕性情偏於好文  
 へんず 變ズ(佐變自動) 變〔顏色變ず〕

氣色變(天候變ず)天氣變了  
 へんず 變ズ(佐變自動) 變〔約を變ず〕  
 變約〔節を變ず〕變節〔顏色を變  
 ず〕變顏變色  
 ペンス(名) (Pence) 本土、辨士  
 へんず 辨ズ(佐變自動) 湊合〔用事が  
 辨じました〕事情湊合完了〔これ  
 では用が辨じない〕若這麼樣事  
 情就湊合不了  
 へんず 辨ズ(佐變自動) 辨(pien) 辨別  
 〔是非を辨ず〕辨別是非〔眞  
 偽を辨ずる事が出來ぬ〕辨不出  
 眞假來 辨(pian) 用を辨ず 辨  
 事情  
 へんせい 編成(名) 編成、組織  
 へんせい 編制(名) 編制、編定  
 へんせい 變成(名) 變成

へんせつ 變節(名) 變節、倒戈相向  
 へんぜつ 辯舌(名) 嘴、口齒、口才  
 へんせん 變遷(名) 變遷  
 へんそ 返送(名) 送還  
 へんそく 變則(名) 不正經、不正規  
 〔變則な教育を受ける〕沒正經受  
 教育〔これは變則なやり方です〕  
 這不是正經的法子  
 へんたい 變體(名) 變體、變形、變  
 相、變式、異常、反常、非正式、  
 奇式〔變體假名〕〔カ〕平假名之一  
 類、例如志(シ)、塔(セ)、控(セ)、滿  
 (マ)、等類  
 へんたい 變態(名) 變形、變態、變  
 性〔變態性慾〕〔イヨク〕變態性慾  
 へんたう 辨當(名) 日本人把茶飯  
 裝在飯盒裡隨身攜帶以便在外

頭吃謂之辨當〔辨當箱〕(ボコ) 飯  
 盒〔驛辨當〕(エキ) 火車站上賣的  
 飯  
 へんたう せん 扁桃腺(名) 喉核、扁  
 桃腺〔扁桃腺炎〕(エン) 扁桃腺炎、  
 喉蛾、喉痺  
 へんたつ 鞭撻(名) 拿鞭子打、鞭  
 撻 鼓勵、鼓舞、激發  
 へんたう 返答(名) 回答、回覆、回  
 音、回示  
 へんち 邊地(名) 邊地、邊界、偏僻  
 地方  
 ベンチ(名) (Bench) 長櫈、長椅、條  
 へんちきりん(名) 奇怪、奇特  
 へんぢゆう 偏重(名) 偏重 〔反常  
 へんちよう 偏重(名) 同上 〔應  
 へんつう 變通(名) 變通、通融、順

べんつう 便通(名) 大小便通  
 へんつき 偏突(名) 單看字旁猜字  
 的游戲  
 へんてう 變調(名) 變調  
 へんてい 變手古(名) 奇怪、奇特、  
 反常〔彼の名は變手古ですな〕他  
 的名字很奇特〔彼の氣分は變手  
 古です〕他的性情很奇特  
 へんてん 變轉(名) 變轉  
 へんでん 返電(名) 回電、覆電  
 へんでん 辨天(名) 辨財天  
 べんでん 便殿(名) 便殿  
 へんどう 變動(名) 變動  
 べんぞく 便毒(名) 便毒 〔銷  
 へんなふ 返納(名) 奉還、繳回、繳  
 へんにふ 編入(名) 編入、插入、歸  
 べんねい 便佞(名) 便佞

へんねんたい 編年體(名) 編年體  
 へんば 偏頗(名) 偏頗、偏向、偏私、  
 偏心、偏視、偏重  
 へんばい 返林(名) 回敬  
 へんばう 邊防(名) 邊防  
 へんばう 偏旁(名) 偏旁  
 へんばう 變報(名) 警報、耗報  
 へんばう 返報(名) ①報應 ②報仇、  
 報復(いつか返報を打ってやる)多  
 嚅可以報仇(返報返)(ガシ)報仇  
 へんばく 辯駁(名) 辯駁、辯論  
 へんばつ 辨髮(名) 辨子  
 へんばふ 變法(名) 變法  
 へんばふ 辨法(名) 辨法  
 へんばふ 便法(名) 簡便的法子、  
 方便的法子、通融辨法

へんび 邊備(名) 邊防 「地方  
 へんび 邊鄙(名) 邊地、邊界、偏僻  
 へんび 便秘(名) 便閉、大便閉塞  
 へんぶ 返附(名) 還、交還、發還  
 へんぶく 邊幅(名) 打扮、外表、邊  
 幅  
 へんぶく 蝙蝠(名) 與かうもり同  
 へんぶく 便服(名) 便衣、便服  
 へんぶつ 偏物(名) 與へんじん同  
 へんべい 扁平(名) 扁平  
 へんべき 偏僻(名) 偏僻  
 へんべつ 辨別(名) 辨別、分辨、辨  
 明、辨識、分別 「落花片片  
 へんべん 片片(副) 片片(落花片片)  
 へんべん 翩翩(副) 翩翩(翩翩たる  
 才子)翩翩才子  
 へんべん 便便(名) ①便便(腹便便)

腹便便の游閒(「便便として居ら  
 れない)現在不是游閒的時候  
 へんまう 辨妄(名) 辨妄  
 へんみやう 變名(名) 改名、更名  
 へんむ 片務(名) 片務的、一面的、  
 片面的(片務契約)(イヤク)片務契  
 約(片務的の條約)片務的條約、  
 片面的約章(片務的の義務)片  
 面的義務  
 へんめい 變名(名) 與へんみやう  
 へんめい 辨明(名) 辨明(pien?)辨  
 べんもう 便蒙(名) 便蒙 「別  
 へんやく 變約(名) 變約  
 へんらん 變亂(名) 變亂、大亂  
 べんらん 便覽(名) 便覽、便覽書  
 「乘客便覽」(ジャウカ)乘客便覽  
 べんり 便利(名) 方便、便利、便當

「交通便利」(カウツ)交通的方便(、  
 の品は便利に出來て居る)這個做  
 べんり 辨理(名) 辨理 「的很便當  
 へんれい 返禮(名) 回禮(これは必  
 ず返禮致します) 這個我必要回  
 べんれい 勉勵(名) 勉勵 「禮的  
 へんれき 遍歷(名) 游歷  
 べんろん 辯論(名) 辯論、議論、辯  
 說、理論(辯論會)辯論會

ほ 木

ほ穂(名) ①穂(稻の穂)稻穂(麥の  
 穂)麥穂兒(粟の穂)穀穂兒(穂が  
 出た)秀穂兒了②鋒、尖兒(鎗の  
 穂)鎗鋒、鎗尖兒  
 ほ帆(名) 帆、篷、篷帆、帆篷(帆を

上げる)扯篷、打起篷來、揚帆  
 「帆を捲く」捲帆(帆をたたむ)疊  
 帆(帆を下ろす)落篷、下帆(帆を  
 悉く張る)扯滿了篷、開全帆  
 ほ火(名) 火  
 ほ歩(名) 歩(歩を進む)進歩(二歩  
 を得れば一步を進む)得一步進  
 一步(一步一步高く升る)步步高  
 升  
 ほ畝(名) 畝(一畝、約我「一畝の地」  
 が六畝三分)  
 ほ補(名) 補  
 ほ圃(名) 圃  
 ほ頰(名) 與ほほ同  
 ほ百(名) 一百  
 ほイ(名) (Boy)底下人、跟人、  
 侍僕、小厮、西崽(便ハルニ)  
 ほイコト(名) (Boy-coat)抵制、

排貨(外國品に對するボーイコッ  
 ト)抵制外國貨 「童子軍  
 ボーイスカウト(名) (Boy-scout)  
 ボーカー(名) (Poker)撲克、撲克  
 ホーク(名) (Fork)叉子 「牌戲  
 ボート(名) (Boat)剝子、小舟(ボ  
 ートレース)賽船、競舟  
 ボーナス(名) (Bonus)花紅、酬勞、  
 賞銀、謝金、紅獎  
 ホームシク(名) (Home-sick)想  
 家病、思家之病、戀家  
 ホール(名) (Hall)館、堂、廳、大  
 廳、會堂、會場(ビヤホール)  
 小酒館(ダンスホール)跳舞場  
 ボール(名) (Ball)球兒、毬、皮球  
 (フット)  
 ボールがみ(名) 草紙、紙板、臺紙、

ほーほい

ボード (Black-board) 黑板  
ほあん保安 (色) 保安 (保安令) 逐  
客令

ほい 本意 (色) 與ほんい意  
ほい (接尾) ①有...様子、有...性  
質 (安っぽい) 不值甚麼 (暴っぽい)  
粗暴的、粗鹵的 ②愛、常愛、易、  
容易 (濕っぽい) 濕陰陰的、愛潮  
的 (怒りっぽい) 愛生氣的、易激  
的 ③所有、保有、保有、保有、  
ほい (保育) 保育、保嬰 (保育  
場) (チャウ) 育嬰堂

ほい (名) 乞丐、花子  
ボイラー (名) (Boiler) 鍋、汽鍋、  
鍋爐、汽罐  
ほいろ 焙爐 (名) ①薰簍 ②茶焙 (茶  
ほいん 母音 (名) 母音、元音、喉音

ほいほう

ほいん 拇印 (名) 手拇、手印兒、手  
模、指模、斗記 (拇印を捺す) 打  
手拇、按斗記  
ポイント (名) (point) ①點 ②句讀  
點 ③鐵路閘、轉軌具 (ポイント  
マン) 管閘的

ほう 鳳 (名) 鳳  
ほう 封 (名) 封  
ほう 鋒 (名) 鋒  
ほう 俸 (名) 俸  
ほう 法 (名) 見はふ條下  
ほう 棒 (名) ①棍子 (ハネツキ) 又「棒で  
打つ」拿棍子打 ②棒子 (根細クサ) ③  
桿、桿子 (電信棒) 電線桿 ④一道  
兒 (棒を引く) 1. 打一道兒、畫一  
道兒 2. 鈎賬 (帳簿)、塗銷 (無効ニスル)

ほう

ほう 鈎銷 (同) (部首) 一豎、一直 (足  
が棒になった) 腿軟了 (棒にふる)  
妄花、消耗  
ほうい 朋友 (名) 朋反

ほうえき 貿易 (名) 貿易、交易 (國  
内貿易) 國內貿易 (外國貿易) 國  
外貿易 (貿易商) (シヤウ) 貿易商、做  
出口進口買賣的 (貿易港) (カウ) 通  
商口岸、商埠 (貿易風) (フウ) 貿易  
風、時令風、通商風  
ほうか 奉加 (名) 布施 「名  
ほうかい ぶし 法界節 (名) 俗語之  
ほうかう 奉行 (名) 遵旨奉行、奉  
遵、奉行  
ほうがし 棒頭 (名) 轎夫頭兒  
ほうかん 幫間 (名) ①相公 (カゲ) ②  
奉承人的 (カチ云フ人)

ほう

ほうがんし 鳳眼紙 (名) 方格紙  
ほうきふ 俸給 (名) 俸薪、俸銀、薪  
水、官俸、俸祿 (俸給額) (カク) 俸  
額、薪水的額數  
ほうぎよ 崩御 (名) 駕崩、崩御、賓  
天、宴駕、龍馭上賓  
ほうきよう 豐凶 (名) 豐歉  
ほうぐ 反故 (名) 與ほご同  
ほうぐひ 棒杭 (名) 樁子 「伴  
(ほうぐみ) 棒組 (名) (マカ) 夥友、夥  
ほうくわ 烽火 (名) 烽火  
ほうくわ 蜂窩 (名) 蜂窩  
ほうくわい 崩潰 (名) 崩潰、崩圯  
ほうくわん 奉還 (名) 奉還  
ほうげい 奉迎 (名) 奉迎 「畫  
ほうけい 謀計 (名) 謀計、謀策、謀  
ほうけし 棒消 (名) 鈎賬 (帳簿)

ほうけん 奉獻 (名) 奉獻  
ほうけん 封建 (名) 封建  
ほうこう 奉公 (名) ①奉公 (公ニ仕) ②  
做底下人、侍、伺候、服侍、服  
事、侍奉 (お前は何處のお屋敷で  
奉公して居たか) 你原先在那宅  
裡待過 (私は小林家で三年間奉公  
して居ました) 我在小林老爺那  
兒伺候了三年 (奉公人) (シ) 底  
下人、奴婢、奴僕、僕役  
ほうさ 封鎖 (名) 封、封鎖  
ほうさ 礮砂 (名) 礮砂  
ほうさき 棒先 (名) ①在前頭抬轎  
子的轎夫 ②抽頭 (棒先を切る) 抽  
頭  
ほうさく 豐作 (名) 豐收、豐年、好  
年頭、五穀豐登、年歲豐盛

ほう

ほうさく 謀策 (名) 謀策、謀計、謀  
ほうざく 棒砂糖 (名) 塔糖 「畫  
ほうさつ 謀殺 (名) 謀殺、預謀殺  
ほうさん 礮酸 (名) 礮酸 「人  
ほうし 奉伺 (名) 拜謁、謁見、拜見  
ほうし 奉仕 (名) 伺候、侍奉、隨侍、  
奉職、服事、服役、貢獻 (社會に  
奉仕する) 於社會有所貢獻  
ほうし 謀士 (名) 謀士  
ほうし 眸子 (名) 眸子、瞳仁  
ほうしま 棒縞 (名) 道兒花樣  
ほうしや 礮砂 (名) 礮砂  
ほうじやう 豐穰 (名) 豐穰、豐登  
ほうじゆ 謀主 (名) 主謀  
ほうじゆ 捧銃 (名) 舉槍、擎槍、  
捧槍 (捧銃の禮をする) 行舉槍禮  
ほうじゆく 豐熟 (名) 豐熟、豐登

ほう

ほう

ほうじよ 幫助(名) 幫助、幫補(惡) 事を幫助する」助惡、從犯、同謀、加功

ほうしよ 謀書(名) 偽書

ほうしよ 奉書(名) 紙名

ほうしよ 奉職(名) 供職、奉職、當差(貴下は何處の役所に御奉職ですか) 恭喜在那個官署(私は陸軍省に奉職して居ます) 我在陸軍部當差(多年奉職する) 供職多

ほうしん 謀臣(名) 謀臣 「年

ほうず 崩ズ(佐變他動) 崩御、駕崩、賓天、龍馭上賓

ほうず 奉ズ(佐變他動) 奉(命を奉ず) 奉命(耶穌教を奉ず) 奉耶穌教

ほうせんくわ 鳳仙花(名) 封 鳳仙花、

ほう

指甲草兒

ほうそ 礪素(名) 礪素

ほうそ 奉送(名) 奉送

ほうたい 奉戴(名) 奉戴

ほうたい 細帶(名) 細帶、敷料、包料、敷傷料、敷墊、捲帶、布帶、裏紮布(傷に細帶する) 裏傷口、包傷口、敷傷口

ほうたか 棒高跳(名) 撐竿跳

ほうたふ 奉答(名) 奉答、奉復

ほうだら 棒大口魚(名) 柴魚

ほうちぎり 棒千切(名) 棍子節兒

ほうちやく 逢着(名) 碰見、碰上

ほうちよく 奉勅(名) 奉勅、奉旨

ほうつかひ 棒遺(名) 使桿棒

ほう

ほうつと 大方(人間がぼうつとして大きい處がある) 他那個人大方、他那個人迷迷道道着有大量的地方 迷迷(ぼうつとして明に見えない) 迷迷糊糊的看不清楚 入神、恍惚(一時間精神がぼうつとして居た) 一時間入神了、一時間精神恍惚了

ほうてい 奉呈(名) 奉呈、呈上

ほうてい 捧呈(名) 呈遞、持贈、恭呈(國書を捧呈する) 呈遞國書

ほうとう 奉燈(名) 神燈

ほうとう 蓬頭(名) 蓬頭

ほうとく 捧讀(名) 捧讀、捧誦

ほうなふ 奉納(名) 奉獻、供獻(奉納物) 供獻物、供奉、奉獻的

ほうね 棒根(名) 主根

ほうねん 豐年(名) 好年頭兒、豐登、豐收、豐年、豐當年

ほうばい 朋輩(名) 同僚、同寅(以上ハ夥伴(ナカ)、夥伴(同)、同事的(同)

ほうばう 鋒鉞(名) 鋒鉞

ほうはつ 蓬髮(名) 蓬頭亂髮

ほうはん 謀判(名) 假印(Chia)

ほうはん 謀叛(名) 謀叛

ほうふ 豐富(名) 豐富、豐盛、豐滿、豐足、富足(食物が豐富にある)

ほうふく 捧腹(名) 捧腹大笑、笑

ほうふら 棒振(名) 舂斗蟲、魚蟲

ほうふり 棒振(名) 同上

ほうへい 奉幣(名) 供神幣帛

ほうほう 奉米(名) 奉米

ほうめい 奉命(名) 奉命、奉委

ほうやう 奉養(名) 奉養

ほうよみ 棒讀(名) 誦讀漢文之一法也、按漢文語路自上至下一直念下之謂

ほうらい 蓬萊(名) 蓬萊

ほうり 鳳梨(名) 菠蘿、鳳梨

ほうりやく 謀略(名) 謀略

ほうれん 鳳輦(名) 鳳輦

ほうろう 崩漏(名) 崩漏、崩症

ほうわう 鳳凰(名) 鳳凰

ほえき 補益(名) 補益

ほえつく 吠付ク(四段自動) 咬(yawo)

ほう

ほう ほうえ

ほう ほか

一四四三

ほか外(名) 外、另、別的、另外、除、除非(此店になければ外で買ひます) 這個舖子裏沒有就在別的舖子裏買(外の人には皆承知した) 別的人都答應了(此話は決して外へ話してはいけない) 這句話千萬別告訴別人(お願ひ致したいのは外の事でもありません) 我奉懇您的不是別的就是爲這個事情(外によい方法はない) 另外沒有好法子(外の人なら知らない) 外的人是正直的人(です) 別人我不知道就是他我管保一定是實誠的人(日曜の外は暇がない) 除非禮拜沒有閒着的日子

一四四二

ほか

「主人夫婦外供人五人」除了主人  
 夫妻倆還有五個跟人  
 ほか(動) 除了、不過、就(私は五圓  
 ほか持たない)我就有五元錢(あ  
 の人ほか有りません)除了他再  
 沒有人  
 ほかう 歩行(名) 步行、走、步行兒  
 走、步履、步跑、步下行、步下走  
 ほかげ 帆影(名) 帆影  
 ほかげ 火影(名) ①火、火光 ②燈影  
 「火影姿」(スガク) 人的燈影兒  
 ほかけ ね帆掛船(名) 扯篷船、風  
 船  
 ほかさま 外様(名) ①外頭 ②別位  
 ほかし 暈(名) 淺淡、色彩漸次濃  
 (ほかす(四段他動) 棄、扔、擲)「淡  
 ほかす 暈ス(四段他動) 描淺淡顔色、

ほかほき

使色彩漸次濃淡  
 ほかぜ 帆風(名) 順風  
 (ほかと(動) 柳的「頭をほかと打  
 つ」把腦袋梆的一打  
 ほかばら 外腹(名) 庶出  
 ほかほか 外外(名) 別處  
 ほかから 朗(名) 朗、朗朗、明明(天  
 朗なり)天朗(朗なる晴天)朗朗  
 晴天(朗なる聲)朗聲、亮聲、響  
 亮的聲音(朗に讀む、こと一遍)朗  
 誦一遍  
 (ほかり(動) 與ほかと同  
 ほかん 母艦(動) 母艦(水雷母艦)水  
 雷母艦  
 (ほかん(名) 獸獸的「ほかんと空  
 をながめる」獸獸的往天上看著  
 ほき 簿記(名) 簿記(簿記棒)(簿  
 簿)

ほきほく

一四四四

記棍  
 ほぎ 模擬(名) 仿造、模造  
 ほきふ 補給(名) 補給  
 ほく 惚ク(下二段自動) 恍惚  
 ほぐ 反故(名) 與ほご同  
 ほく 木(名) ①樹木 ②老朽的樹木  
 ほく 僕(名) 僕、僕人、僕役、奴僕、  
 底下人、家人、家丁、使喚人、跟  
 役(役人、跟班的)(詞)  
 ほく 僕(名) 我、弟  
 ほくぎう 牧牛(名) 牧牛、放牛  
 ほくきよく 北極(名) 北極(北極光)  
 (クワ) 北方曉、北晨、北曉(北極  
 星)(セイ) 北辰、北斗  
 ほくぐう 木偶(名) 木偶(木偶人)  
 (ジン) 木偶人、四方木  
 ほくくわ 木瓜(名) 木瓜

ほく

ほくぐわ 墨畫(名) 墨畫、水墨畫  
 ほくげき 木履(名) 木履  
 ほくけん 木劍(名) 木頭刀 「作  
 ほくこう 木工(名) 木匠、木工、木  
 ほくさう 牧草(名) 牧草  
 ほくさつ 撲殺(名) 撲殺  
 ほくし 牧師(名) 牧師  
 ほくじつ 朴實(名) 撲實、撲厚  
 ほくじふ 墨汁(名) 墨汁、墨水  
 ほくしや 卜者(名) 卜者、算卦的、  
 占卦的  
 ほくしや 牧者(名) 牧人、放牛羊  
 ほくしやう 木匠(名) 木匠、木工、  
 木作  
 ほくしゆ 墨守(名) 墨守、株守、死  
 ほくしよく 墨色(名) 墨色  
 ほくしん 北辰(名) 北辰、北斗

ほく

ほくじん 卜人(名) 與卜者同  
 ほくじん 牧人(名) 與牧者同  
 ほぐす 解ス(四段他動) 解、拆(着物  
 を解す)拆衣裳  
 ほくす (四段他動) 卜、占卦、占卜(事  
 の成否を卜す)卜其事之成否  
 ほくせき 木石(名) 木石(木石漢)  
 (カ) 鐵心人(ツレタ) 鐵石人(上)(木  
 石腸)(チャウ) 鐵石心腸(ツレナ)  
 ほくそ 朴素(名) 樸素  
 ほくだい 墨臺(名) 墨架子  
 ほくだう 北堂(名) 令堂、萱堂  
 ほくたう 木刀(名) 木頭刀  
 ほくち 火口(名) 火絨  
 ほくちく 牧畜(名) 牧畜  
 ほくぢやう 牧場(名) 牧地、草地、  
 草場、牧場、牧苑、馬廄

ほく

一四四五

ほくちよく 朴直(名) 樸直  
 ほくと 北斗(名) 北斗(北斗星)(セイ)  
 同上  
 ほくと 墨斗(名) 墨盒兒(字チカクニ用、  
 墨斗子(大工) 墨線斗子(上)  
 ほくごう 牧童(名) 牧童  
 ほくとつ 木訥(名) 木訥  
 ほくねう 支邊(名) 反文兒  
 (ほくねんじん(名) 木頭塾子的  
 人、木彫泥塑的人  
 ほくば 木馬(名) 木馬  
 ほくはい 木牌(名) 木牌、木頭牌  
 ほくひ 木皮(名) 樹皮 「子  
 ほくひ 僕婢(名) 僕婢  
 ほくひつ 木筆(名) 鉛筆  
 ほくふう 北風(名) 北風、涼風  
 ほくほん 木本(名) 木本

ほくめつ撲滅(名) 滅盡、熄滅、撲滅、除根(病菌を撲滅する)撲滅病菌  
 ほくやう牧養(名) 牧養、放養  
 ほくり木履(名) 木屐  
 ほくろ黒子(名) 黒汚子、黒痣、癩  
 ほくわく捕獲(名) 捕獲、拿獲、拘捕、捉拿、緝捕  
 ほくわん保管(名) 管理、代管、保管、代為看管(貨物保管)ツワモ  
 保管貨物(印章保管)ウインシャ 典守印信(保管人)ニシ 代為看管的人、保護的人(倉庫に保管する)存棧、存在棧裡  
 ほけ木瓜(名) 木瓜 「魚  
 ほげい捕鯨(名) 捕鯨、得(walrus)鯨  
 ほけい模型(名) 模子、模型

ほけいろ惚色(名) 迷迷糊糊的顔  
 ほげた帆桁(名) 帆架 「色  
 ほけつ補缺(名) 補、補缺、填補、空缺、補充缺員(補缺募集)ボシフ  
 補額招募  
 ほけつ墓穴(名) 埋死人的坑(自ら墓穴を掘る)自掘墳墓  
 ほけん保險(名) 保險、燕梳(生命保險)セイ 壽險、保命險、人壽保險(海上保險)ウイジャ 水險、保險、海軍保險(火災保險)イワツ 火險、保火險、火災保險(傷害保險)シヤウガ 不測保險、傷害保險(相互生命保險)サウゴセイ 相互生命保險(養老保險)ヨウラ 養老保險(保險額)カク 保險額、保險金額(保險會社)カクシヤ 保險公司

ほこ(保險金)キン 與保險額同(保險證書)ヤウシヨ 保險約、保票、保單、保險單(保險人)ニシ 承保家、承保人、保戶、被保險的(保險料)レウ 保險資、保險費(保險掛金)ケキン 同上(保險加入)カク 買保險(保險證を取る)買保險單(家屋に保險を付ける)把房子買保火險、把房子保火險(生命保險を付ける)保壽險(五百圓の生命保險にはいつて居る)保有五百圓的壽險  
 ほこ矛鋒(名) 矛、鋒  
 ほこ反故(名) 亂紙、爛紙、廢紙(反故籠)カゴ 字紙簍  
 ほこ保護(名) 保護、保衛、保庇(保護國)ゴク 受保護國(保護貿易)

ほこ(カキ)保護貿易、保商(保護を受く)受保護、受栽培(神の保護)護佑、保佑 「故國、父母之邦  
 ほこく母國(名) 母國、祖國、本國  
 ほこさき鋒先(名) ①鋒鋦、鋒芒、刀頭的尖銳 ②談鋒  
 ほこら祠(名) 小廟  
 ほこり誇(名) 誇、誇張、自尊心、名譽心(青年の誇)青年所以自豪者(あの先生は我々の學校の誇です)有那位先生在我們學校裡我們可以自誇  
 ほこり埃(名) 土、浮土、暴土(Dust) 塵土(埃が立つ)起土、土飛  
 ほこりがほ誇顔(名) 自誇的樣子  
 ほこる誇ル(四段自動) 誇、自誇、誇張  
 ほころばかす綻ス(四段他動) 弄開線

ほころばす綻ス(四段他動) 同上  
 ほころび綻(名) 開線的地方(着物の綻を縫ふ)縫衣裳開線的地方  
 ほころぶ綻ブ(上二段自動) 綻、開線  
 「花が綻ぶ」花綻(着物が綻びた)衣裳開線(靴が綻びた)鞋綻了  
 ほさ輔佐(名) 輔佐 「公債  
 ほさい募債(名) 募集公債、發行  
 ほさき穂先(名) 筆尖兒(筆)、鋒鋦  
 (刃)穂頭兒(米麥ナ)  
 ほざく祝ク(四段他動) 賀喜  
 (ほざく) (四段他動) 瞎叨叨  
 ほさつ菩薩(名) 菩薩  
 ほさん墓參(名) 上墳、掃墓  
 ほし星(名) ①星星(星一つ)一顆星、一粒星(星が飛ぶ)星星跑  
 ②點點兒(星を打

つ)同上 (眼球に星がつく)眼珠兒上有蘿蔔花(的)の星を射る射靶子的月光兒(思ふ星にあたる)正碰在心坎兒上  
 ほし欲シ(形志久活) 願意、盼望、巴結(欲しい物は澤山有っても買ふ金がない)願意的東西多可是沒錢買(私もあんな子供が欲しい)我也盼望有那樣的好孩子(誰でもあの人の様にあつてほしいものだ)我盼望無論誰都是像他那麼樣  
 ほし墓誌(名) 墓誌  
 ほし母子(名) ①母子(母子)母子の情(母子之情)②子母(利子ト)情(母指)大拇指頭、大拇哥  
 ほしあかり星明(名) 星星的光



ほし

ほしあはび 乾鮫(名) 乾鮑魚

ほしいひ 乾飯(名) 乾糧

ほしいまま 縦・恣・擅(副) 縦、恣、擅、肆、放縱、縱心、放恣、放肆、隨便、擅專(權を縦にす)擅權(肆に行ふ)恣行、肆行

ほしうごん 乾鮓(名) 乾麩、切麩

ほしうを 乾魚(名) 乾魚

ほしか 乾鰯(名) 乾魚做的肥料

ほしがき 乾柿(名) 柿餅

ほしがき 乾蠣(名) 蠔乾

ほしかたむ 乾固ム(下二段他動) 晒硬

ほしがかる 欲ガル(四段他動) 願意、巴結、盼望(子供が菓子に欲がる)小孩子願意點心(あの家で子供を一人欲しがって居る)他的家巴結着得一個小孩子

ほしやく 保釋(名) 保釋、交保釋

ほしゆ 保守(名) 保守、守舊、保守

ほしゆ 持重的

ほしゆ 捕手(名) 接手

ほじゆう 補充(名) 補、補充、填補、充補(正員五十名補充員三十名を取る)正取五十名備取三十名(闕員を補充する)補缺、填補空

ほじよ 補助(名) 補助、幫助、扶助、補助、貼補、協濟、接濟(政府の補助を仰ぐ)仰求政府補助(政府が民業を補助する)政府出公款、獎勵民業(補助金)補助金、援助金、獎勵金、保護金、津貼銀(補助讀本)補充讀本(補

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほしがれひ 乾蹠(名) 乾比目魚

ほしぐさ 乾草(名) 乾草

ほしぐり 乾栗(名) 乾栗子

ほしじくる 穿ル(四段他動) 搨、挑剔(鼻の穴を穿る)搨鼻子(人の舊惡を穿り出す)把人的舊惡給挑剔出來(楊枝で齒を穿る)拿牙籤兒剔牙(人の秘密を穿り出す)掏出人的秘密、把人的秘密揭出來

ほしこ干海鼠(名) 海參(Hai-shen)

ほしだいこん 乾大根(名) 乾蘿蔔

ほしづき 星月夜(名) 玉頂

ほしなつめ 乾棗(名) 乾棗兒

ほしなまこ 乾海鼠(名) 與ほしこ

ほしにく 乾肉(名) 乾肉

ほしひ 補(名) 乾糧

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほしふ 補習(名) 補習(補習科)補習

ほしふ 募集(名) 募集、招募、招集、招(生徒を募集する)招考學生、招募學生、招生(株を募集する)招股份(懸賞募集する)懸金徵求(論文を募集する)徵求論文(外交員を募集する)招請跑街

ほしまつり 星祭(名) 乞巧奠

ほしめがね 星眼鏡(名) 觀星鏡

ほしもの 干物(名) 晒晾的東西(干物竿)晾衣裳的竿子

ほしや 模寫(名) 模寫

ほしやう 補償(名) 補償、補還、賠償

ほしやう 保障(名) 保障

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほし

ほせほそ

ほぜん保全(名) 保全(領土保全)  
ほせん拇戰(名) 拇戰、猜拳、滑拳、猜枚 (ch'ui mei)  
ほぞ臍(名) 臍、肚臍兒(臍を固む) 打死了主意 「對桿」  
ほぞ柄(名) 桿、筍、桿頭(柄を造る)  
ほぞあな柄穴(名) 桿頭、桿目、陰桿 「斜紋布」  
ほぞあやもめん細綾木綿(名) 細  
ほぞおち臍落(名) ①樹熟の果子 ②中意  
ほそおび細帯(名) 細帶子  
ほそおもて細面(名) 長瘦脸  
ほそく補足(名) 補足 「拿捕」  
ほそく捕捉(名) 捕捉、捉拿、捉獲、ほそくび細首(名) 細藤子

ほそ

ほそごし細腰(名) 細腰、柳腰、纖腰  
ほそし細シ(形久通) ①細、纖細(細い糸)細線(細い樹)細樹(細い暮し)過日子細(細い手)纖細の手(字を細く書く)把字寫的細(聲が細い)聲音細 ②稀(身代が細い)産業稀 ③窄(細い道)窄道兒 ④迷縫(眼を細くする)迷縫眼睛 ⑤瘦(このすばんは餘り細い)這條褲子太瘦  
ほそだか細高(名) 細高  
ほそたにがは細谷川(名) 小溪  
ほそぢ細乳(名) 稀奶  
ほそぢ臍落(名) 熟透了的甜瓜  
ほそつ歩卒(名) 歩兵、歩軍  
ほそなが細長(名) 細長

ほそ

ほそながし細長シ(形久通) 細長、又細又長  
ほそのを臍緒(名) 臍帶  
ほそはぎ細腰(名) 細腰  
ほそびき細引(名) 麻繩  
ほそまゆ細眉(名) 細眉  
ほそみち細道(名) 窄道兒  
ほそめ細目(名) ①迷縫眼(細目を開ける)睜迷縫眼 ②縫兒(戸を細目に開ける)把門開個縫兒  
ほそやか細力(名) 細樣兒  
ほそる細ル(四段自動) 瘦起來(身細る)身體瘦起來(食事日に細る) 吃食一天比一天吃的少  
ほぞろひ穂揃(名) 秀齊了穗兒  
ほそる細爾(名) 燈草  
ほぞん保存(名) 保存(保存期限)

一四五〇

ほた

ほた(キダシ)保固限期  
ほた楳柑(名) 楳柑  
ほた捕拿(名) 捕拿、拿住  
ほただい菩提(名) 菩提(菩提所) (シヨ) 家廟、香火院  
ほたう母堂(名) 令堂、老太太  
ほたし絆(名) ①絆、累 ②絆馬索 (馬ノ足ヲシバル細ヲ)  
ほたす絆ス(四段他動) 絆、絆住、累 (妻子に絆される)爲妻子所累  
ほたち穂立(名) 秀穗兒  
ほたてがひ帆立貝(名) 海扇、車渠  
ほたほた(副) 滴打滴打(血がほたほた滴る)血滴打滴打的落下 來  
ほたもち牡丹餅(名) 包豆餡的年  
ほたり(副) 滴打(雨が一滴ほた

ほたほつ

り顔にかかった)一滴打雨點下在我的臉上了  
ほたる螢(名) 螢、火蟲(螢の光窓の雪)螢雪之功、螢臆雪案  
ほたるいし螢石(名) 弗石  
ほたるがり螢狩(名) 得(獲)火蟲  
ほたるび螢火(名) 螢火 「兒  
ほたん鈕(名) 鈕子、鈕扣(鈕の) 扣門、鈕襟(鈕で止める)扣住、鈕住(鈕掛)鈕鉤子  
ほたん牡丹(名) 牡丹(牡丹色)棗紅  
ほち保持(名) 保持  
ほち墓地(名) 墓所、墳地  
ほち點(名) 點兒(點を打つ)點點兒  
ほつい發意(名) 發意、起意  
ほついぎ沒意義(名) 沒意思  
ほつが發駕(名) 起轎

ほつ

ほつかうしやう沒交涉(名) 兩不相涉、無關係、無涉、無干  
ほつき發起(名) 發起、創辦、提倡 (發起人) (ニ) 創辦人、提倡人、發起人、首事人(發起人株) (シカト) 勃起 (發起股票) 勃起  
ほつき發句(名) 十七文字之短歌  
ほつク(名) (Hook) 扣鈕鉤子(ホックで止める)鉤住  
ほつくり(副) 嘎吱(ほつくり折れた)嘎吱的折了 「心願」  
ほつぐわん發願(名) 許願、發下  
ほつけしゆう法華宗(名) 佛教一派  
ポケット(名) (Pocket) 衣兜、衣袋、衣囊、口袋(外のポケット) 明口袋(内のポケット) 内口袋  
ほつご發語(名) 發語、開言

一四五二

ほつ

ほつご 歿後(名) 死後

ほつごん 勃興(名) 勃興

ほつごん 發言(名) 發言、開言

ほつしう 沒收(名) 抄、抄沒、入官、充公、沒收

ほつしゆみ 沒趣味(名) 不雅致、沒

ほつしよ 沒書(名) 棄却、不載

ほつしん 發心(名) 發心、發佛心

ほつす 拂子(名) 塵尾、蒼蠅尾

ほつす 欲ス(佐變他動) 欲(心の欲する

所に從ふ) 隨心所欲(進まんと欲

して進まず) 欲前不前

ほつす 沒ス(佐變自動) 沒(日西山に沒

す) 日沒西山 「す」泥濘沒脛

ほつす 沒ス(佐變他動) 沒(泥濘脛を沒

ほつす 歿ス(佐變自動) 歿

ポッターズ(名) (Potash) 加理、鉀

ほつ

丹、鈹泚 「鈹、鉀、鉀明礬

ポッターシューム(名) (Potassium)

ほつたて 掘建(名) 穩柱子(掘建小

屋(コヤ) 窩棚 「聽其自然

ほつたらかす(四段他動) 聽便、扔、

ほつたん 發端(名) 發端、開端、起

頭、起首、始初、起初

ほつちやん 坊様(名) ①少爺、阿

哥、令郎 ②公子哥兒(世二通)

ほづつ 火炮(名) 礮

ほつてい 發程(名) 發程、起程

ほつと(副) 喝的「ほつと溜息をつ

く」喝的一聲長嘆、咳聲嘆氣

ほつと(副) ①呼「火がほつと燃え上

る」火呼的着上來了 ②恍惚「氣

がほつとした」精神恍惚了

ほつと(發頭) 與下語同「發頭

ほつ

人(ニ) 主謀的人、首謀人、魁

首、罪魁、造意首禍的人

ほつと(發頭) 沒頭、埋頭「讀書

に沒頭する」埋頭讀書「政爭に沒

頭する」埋頭政爭

ほつと(名) 怯鄉下人

ほづな 帆綱(名) 篷繩

ほつねつ 發熱(名) 發燒 「草花

ホップ(名) (Hop) 忽布、蛇麻、洋蓐

ほつふうりう 沒風流(名) 不雅致

ホップステップジャンプ(名) (Hop

step and jump) 三級跳遠

ほつぶんげう 沒分曉(名) 糊塗人、

不明白的人、不知好歹的人、黑

白不分的人

ほつべた 頬邊(名) 臉蛋

ほつほつ 勃勃(副) 勃勃「雄心勃勃」

雄心勃勃、生氣充足

ほつほつ(副) 慢慢的、漸漸的「ほ

つほつ歩む」慢走、慢慢的走、搭

緩着歩兒走「近頃洋服を着る女

がほつほつ多くなった」近來婦女

穿洋服的漸漸的多了

ほつほつ(副) ①一點一點的、一

滴一滴的「雨がほつほつ降って來

た」雨一點一點的下起來了 ②

稀楞麻楞的「近頃は天然痘がほ

つほつあります」近來稀楞麻楞

的有天花

ほつめつ 沒滅(名) 滅沒

ほつらく 沒落(名) 陷沒

ほつる 解ル(下一段自動) 解、開線「着

物が解れる」衣裳開了線了「鬢が

ほつれる 鬢髮披散着

ほてい 帆手(名) 篷繩

ほてい 布袋(名) 布袋和尚

ほてう 步調(名) 脚步、步調、步伐、

步驟「步調を揃へて歩む」齊着脚

歩兒走「皆同一の步調を取る」大

家都是取一樣的脚步、整步調

而行

ほてふり 棒手振(名) 與ふりうり

ほてり 火照(名) 火烤

ほてる(四段自動) 與ほとる同

ホテル(名) (Hotel) 客店、客棧、飯

ほてれん(名) 懷胎大肚 「店

ほご程(名) ①程度「物事には程が

ある」事情都有程度「程のよい

人」和氣人「程よく煮る」煮的勁

計兒「よい程にして止める」到了

筋節兒上攔下「馬鹿にするにも

程がある」要笑我太過逾了「あ

の人の心の程も知れないから滅多

な話は出來ない」不知道他的心

機所以要緊的話不能和他多說

②本分「何事も程に應じてするが

よい」甚麼事都是按着本分辦

好「あの人は身の程を知らぬ男

だ」他是不安分的人 ③工夫兒

「程經て其事を知った」過幾天纔

知道有這麼件事「船は程なく到

きませう」船一會兒就到罷 ④是

「御海怒の程願上候」望求原諒是

荷

ほご程(接尾) ①大概、差不多「三

年程遇はない」沒見大概有三年

的光景、差不多三年沒見了「五

里程ある」差不多有五里 ②越：

ほつ

ほて ほと

ほと

一四五三

：越、越發(安い程がよい)越便宜越好「思へば思ふ程腹が立つ」越超越可氣⑤比、像、這麼、那麼「世の中に親程有難いものはない」世上沒有老家兒那麼樣兒可感念的人(拿破崙程の英雄はもう出ない)像拿破崙那麼樣的英雄再不出來「眼が開けられない程埃が立つ」眼睛睜不開的起土「あの人程支那語が出来ればよいが」像他那麼樣會說中國話纔好呢「勘定が出来ない程澤山ある」數不過來的那麼樣兒多「褒められる程の人でない」他不值讚美的人「胡麻粒程の事」芝麻點兒大的事「針の先程の事」鍼尖兒那麼大的事「一萬圓程儲け

た」賺了這麼個一萬塊錢④工夫、時刻「後程お目にかかります」回頭再見「先程御宅へお伺しました」剛我上府上請安去了  
ほどあひ程合(名) 程度、火候、筋節  
ほどく解ク(四段他動) ①解「帶を解く」解帶子「結目を解く」解扣兒②拆、擇「着物を解く」拆衣裳「糸を解く」擇線(chai)③還「願を解く」還願  
ほどく解ク(下二段自動) 開「帶が解ける」帶子開了「結目が解ける」扣兒開了 「教、佛道③死鬼ほどけ佛(名) ①佛爺、佛祖②佛ほどけぎ佛氣(名) 佛心  
ほどけづくる佛作ル(四段自動) 死後

變樣兒  
ほどけまつり佛祭(名) 供佛  
ほどこし施(名) 施、施捐、施捨「施を好む好施  
ほどこす施ス(四段他動) 施「恩を施す」施恩「己の欲せざる所は人に施すなかれ」己所不欲勿施於人「貧民に米錢を施す」施捨給貧民錢米「施すべき術なし」無計可施「手術を施されれば治らない」不施手術不能癒  
ほどとぎす時鳥(名) 子規、杜鵑  
ほどなく程無ク(副) 不大的工夫、一會、快「程無く醫者が來た」不大的工夫大夫來了「此列車は程なく北平に着きます」這個車再過一會兒就到北平「程無く來

る)一會兒就來  
ほどばしる進ル(四段自動) 進「血進る」血迸出來、鮮血迸流「水進る」水迸出來  
ほどほどに程程(副) 周規折矩的、不過度的、不過分的、有節制的「酒も程程に飲めば害はない」喝酒有節制就不至於有害「何事も程程にする」諸事都周規折矩的辦  
ほとほり熱(名) 火烤  
ほどよし程好シ(形容) 合式、妥當、妥善、合其中  
ほとり邊(名) 邊、沿「河の邊」河ほとり熱(名) 火烤 「邊、河沿ほとり熱ル(四段自動) 烤、熱「體が熱る」身體燒的慌「顔が熱る」臉

燒的慌  
ほとんど殆ド(副) 不差甚麼、差不多兒、差不離、差不多、幾乎、幾幾乎「財産は殆ど使ひ果した」家産不差甚麼都花淨了「殆ど汽車に引かれる所だった」差一點兒(幾幾乎)叫火車給軋了「今の世に君子と云はれる人は殆どない」如今的世上可以說是君子人不差甚麼沒有  
ほにゆう哺乳(名) 哺乳、吃嘔兒「哺乳器」哺乳器、嘔壺兒「哺乳類」哺乳類  
ほね骨(名) ①骨、骨頭「骨に徹す」徹骨「骨にとほる」同上「骨になる」1.死了2.做筋骨兒「骨と皮」1.骨頭和皮2.皮包骨、瘦的成

骷髏兒骨(骨を接ぐ)接骨頭、整折骨、修整折骨(骨を折る)1.折骨頭、折骨、斷了骨頭2.盡力、爲力、出力②架子、股兒、攏、刺「扇の骨」扇子股兒「紙鳶の骨」風箏架子「傘の骨」傘架子「提燈の骨」燈籠架子「障子の骨」窗戶攏兒「魚の骨」魚刺 「骨を惜む」躲懶、懶惰「これは骨だ」這可不容易「此仕事は骨が折れる」這件事辦着很棘手「彼は英語を話すのに大變骨が折れる様だ」我看他說英國話很吃力的  
ホネームウン(名) (Honey-moon) ①蜜月、結婚後的第一月②新婚旅行  
ほねがらみ骨絡(名) 透骨楊梅

ほねほの

ほねぐみ骨組(名) 骨格  
 ほねちがひ骨違(名) 脱節、錯骨  
 縫兒(fing) ①接骨匠  
 ほねつぎ骨繼(名) ①接骨、整骨  
 ほねなし骨無(名) ①折脊梁骨的人(人ノ云フコトハ)  
 人②耳軟心活的人(人ノ云フコトハ)  
 ほねぬき骨抜(名) 擇刺(chas' ts'u)  
 ほねぶし骨節(名) 骨頭節兒「身  
 ほねみ骨身(名) ①骨頭和肉②渾  
 ほねおしみ骨惜(名) 躲懶、懶怠、  
 懶惰(骨惜をせぬ)不辭辛苦  
 ほねをり骨折(名) 爲力、出力、盡  
 力(骨折損)吃力勿討好、勞  
 而無功、白效勞  
 ほねをる骨折ル(四段自動) 爲力、出  
 力、盡力、勞神  
 ほのかに仄(前) 彷彿、恍惚(仄

ほのほひ

に承れば)恍惚聽見說(燈火が仄  
 に見える)燈光恍惚惚惚的看得  
 見  
 ほのぐらし仄暗シ(形久遠) 朦朧亮  
 ほのほ炎(焰)名) 火頭、火苗、火  
 花、火焰(炎が出る)發焰、冒火  
 焰、冒火頭  
 ほのほの仄仄(副) 朦朧兒的(夜が  
 仄仄と明けた)天朦朧兒的亮了  
 ほのめかす仄仄(四段他動) 暗含着  
 說、諷示、暗示、暗指(承諾の意  
 を仄す)暗含着說答應的意思  
 ほぼく捕縛(名) 捕獲、拘捕、緝捕、  
 捉拏、拏獲  
 ほぼしら帆柱(名) 桅杆、桅檣  
 ほはん母斑(名) 胎痣、母癩、疣子  
 ほひ墓碑(名) 墓碑、墓石、墓碣

ほひほほ

ほひつ補筆(名) 補筆  
 はふく匍匐(名) 爬、匍匐(名)  
 ポプラ(名) (Populus) 楊、白楊  
 ポプリン(名) (Poplin) 絲羅緞  
 ほふる屠(名) 屠、宰、宰  
 殺②屠戮  
 ほへい歩兵(名) 步兵、步隊、步軍  
 ほへう墓表(名) 墓表、墓碑文  
 ほほ頰(名) 頰幫子、臉蛋、頰頰  
 ほほ保姆(名) 保姆  
 ほほ略(粗)副) 略、大概、大略、差  
 不多(用事は略片付いた)事情大  
 概的都有歸着了(相談は略纏り  
 ました)差不多都商量妥當了  
 ほほかぶり頰被(名) 包頭 「子  
 ほほけだつ蓬起(四段自動) 起毛  
 ほほづき酸漿(名) 酸漿、豆腐念

ほほほめ

「酸漿提燈」(ヤウチン) 小紅燈  
 ほほづる頰杖(名) 托頰(頰杖つく)  
 拿手托頰幫  
 ほほばる頰張ル(四段他動) 「幫子  
 ほほひげ頰髭(名) 連鬚鬚子  
 ほほべに頰紅(名) 臉上的胭脂  
 ほほほね頰骨(名) 頰骨  
 ほほほむ(四段自動) 微笑、含笑、面  
 帶笑容  
 ホマード(名) (Pomade) 香油膏、  
 ほまへせん帆前船(名) 夾板船、風  
 ほまれ譽(名) 譽、名譽 「船  
 ほむ譽ム(下二段他動) 譽、稱譽、誇  
 獎、讚美、稱讚 「的話  
 ほめことば譽詞(名) 褒詞、讚美  
 ほめそやす稱譽ス(四段他動) 稱譽、  
 揚譽

ほめほら

ほめたたふ稱譽フ(下二段他動) 讚美、  
 誇獎、稱譽、稱讚  
 ほめたつ譽立ツ(下二段他動) 同上  
 ほもめん帆木棉(名) 帆布、篷布、  
 蕪棉帆布 「筒、燈泡子  
 ほや(名) 燈罩子、燈的内罩子、燈  
 (ほや) 小火  
 ほやう保養(名) 養身、保養、珍  
 攝、養病(湯山へ保養に行った)上  
 湯山養病去了(氣の保養)解悶、  
 遣悶(折角御保養の程祈候)惟望  
 珍攝尊軀  
 ほゆ吠ユ(下二段自動) ①咬、吼、嘯、  
 吠喚②哭(犬が吠える)狗咬(虎  
 が吠える)老虎吠喚、虎嘯  
 ほら洞(名) ①洞、洞穴②蛟(洞が  
 あいた)發蛟

ほらほり

ほら法螺(名) ①海螺、海嘯囉、響  
 螺、法螺②大話(法螺を吹く)1.  
 吹海螺、吹海嘯囉2.空說大話、  
 吹牛屎、吹(法螺貝)カヒ)與法螺  
 ほら鱸(名) 高魚 「同  
 ほらがたうげ洞峠(名) ①山之名  
 ②取模稜兩可的態度、脚蹠兩  
 隻船、騎牆  
 ほり堀(名) ①包、挖、鑿②河、濠、  
 溝、濠溝③護城河、護城濠  
 ほり彫(名) 彫刻  
 ほりあげ彫上(名) 刻陽文、刻凸  
 ほりう保留(名) 保存、保留、留  
 備、隱留、存留、收藏(話を云ひ  
 切らずに保留して置きなさい)您  
 別說死了總得留個活話兒(條  
 件を保留する)保留條件(保留條

件)保留條件、限制條件、除外件(心中保留)心中留藏、心中隱留、意中留保、含而不露

ほりえ堀江(名)河

ほりだしもの掘出物(名) ①由地下包出來的金銀財寶の尙貨、便宜貨

ほりだす掘出す(四段他動)

①掘出來、掘出來、鑿出來②得便宜、得尙貨 「機井ほりぬきると掘貫井戸(名)洋井、ほりぬく掘貫ク(四段他動) 挖透、包透

ほりもの彫物(名) 雕刻物(彫物師)

(シ)彫匠、刻字匠、刻匠、刊刻匠、彫刻師 捕虜、俘囚、俘虜 ぼりよ捕虜(名) 捕虜、俘囚、俘虜

ほりわり掘割(名) 河、運河 ぼりると掘井戸(名) 挖的井

ほる掘ル(四段他動)

挖、包(穴を掘る) 挖坑(地面)、鑿窟窿(木材ナ)〔石炭を掘る〕挖煤〔根を掘る〕刨根 兒〔芋を掘る〕刨芋頭

ほる彫ル(四段他動)

彫、刻、鑄、彫刻、鑄刻〔判を彫る〕刻圖書〔字を彫る〕刻字、刻板〔銅錢に字が彫り付けてある〕銅錢上鑄着有字

ほる惚ル(下二段自動) ①熱、迷、愛、戀慕(女に惚れる)戀慕女人、戀愛女人②羨慕(僕は彼の氣象に惚れた)我羨慕他的志氣③糊塗(老いはれる)老邁昏庸、老糊塗、老背晦

ほるほる(副) ①檻褸(布が古くてほるほるになる)布舊了檻褸不堪了②離離拉拉的〔袋の破から豆がほるほる落ちる〕從口袋破的地方豆子離離拉拉的掉③與ほるほる同

ほろよひ微醉(名) 微醉、微醺、帶醉、三分醉(微醉機嫌)(キゲン)陶然微醉 「た」掉了幾點眼淚

ほろり(副) 幾點〔涙がほろり落ちホワイトシャツ(名) (White-shirt) 硬汗衫、白襯衣

ほわた穂綿(名) 茅絨子、葦絨子

ほる補遺(名) 補遺、續補、補編

ほをん保溫(名) 護暖、保暖

ほん本(名) 書(二冊の本)一本書

置く)不管、聽其自然、放着不管②擲、扔〔ほり出す〕轟出去、擲出去

ボルシエビーク(名) (Bolshevik)

布而雪維克、布爾札維派、共產黨

ボルト(名) (Voh)弗打、福爾、和

ほるとがる葡萄牙(名) 葡萄牙國、葡國、大西洋國

ホルマリン(名) (Formalin) 富爾瑪林、福馬林、甲銜液

ほれぐすり惚藥(名) 迷春藥、媚藥、春藥、動情藥、結情藥

ほろ母衣(名) ①防敵箭之具以布造之②車篷(母衣蚊帳)(ガヤ)小蚊帳(母衣馬車)(バシヤ)廠篷兒的車

ほん本(名) 管、雙、根、個、把、條、枝(筆一本)一管筆(筆五本)五雙筷子(竿二本)兩根桿子(瓶三本)三個瓶子(傘三本)三把傘

棍子(大根三本)三根蘿蔔〔頭髮一本〕一根頭髮〔卷煙草一本〕一枝烟

ほん(接頭) 這、今(本日)今天〔本校〕做學校、本校〔本期〕這一期

ほん盆(名) ①盆(鉢ナ)②盤子(ボ)托盤(皿)③盂蘭會、中元節、鬼節

ほん凡(名) 凡

ほん(副) 碎聲〔瓶の詰がほんとはけた〕瓶塞兒碎的一聲拔出來了(動) 漲出來了(動)〔肩をほんとは

布塊、破爛的(襤褸を纏ふ)穿襤褸的衣裳(着物が襤褸になる)衣裳破爛了、衣裳襤褸了②領額〔ほろを出す〕做領額、露出馬脚來、弄出笑話來、壞了事(襤褸着物)(ギモ)襤褸衣裳(襤褸切)(ギモ)亂布、破爛布、破布、爛布(襤褸糞)(ク)一個大不值(人をほろくそに云ふ)把人損的一個大不值

ほろし癩子(名) 疹子 ぼろせ癩子(名) 同上 ぼろぶ滅ぶ・亡ぶ(上二段自動) 滅、亡、滅亡、滅沒 「亡」②勦滅 ぼろほす滅ス・亡ス(四段他動) ①滅、(ぼろぼろ)滴打滴打〔涙がほろほろ落ちる〕眼淚滴打滴打的掉

ほん

たたく把人的肩膀兒吧的一拍  
〔膝をほんと打つ〕吧把腿一拍  
ほんあん翻案(名) 改做、改作、修正

ほんい本意(名) ①本意、本心(それは僕の本意ではない)那不是我的本意②宿願、素願(本意を遂げる)如了平生之願、成了素願

ほんえい本營(名) 帥營、柳營  
ほんき本氣(名) 實心、實意(本氣にする)以爲眞(本氣になつて)實

決意實行(本氣になつて働く)實心求的辦(君それは本氣で云ふのですか)您這是實心說的麼(私が串談を云ふと本氣になつて怒つた)我一拿他打哈哈他就當

ほん

做實事生氣了

ほんき本紀(名) 本紀

ほんぎやく叛逆(名) 叛逆

ほんきよく本局(名) 總局

ほんくじ本圍(名) 大會

ほんくら(名) 笨人、獸子

ほんくれ盆暮(名) 八月節和年節

ほんくわ本科(名) 本科

ほんくわい本懷(名) 與ほんい同

〔去冬拜顔本懷の至に存候〕去冬得瞻甚愜素懷

ほんくわん本貫(名) 原籍

ほんくわん本官(名) 實缺、實任

ほんくわん本官(代) 本官

ほんぐわん本願(名) 宿願、素願

ほんげ本家(名) 宗家、本宗

ほんげ凡下(名) 凡夫、凡庸

ほん

ほんけがへり本卦回(名) 華甲

ほんげつ本月(名) 本月、這月

ほんげふ本業(名) 本業、原有的職業

ほんげん本源(名) 本源、根本

ほんご梵語(名) 梵言、梵語

ほんこく翻刻(名) 翻刻、翻印

ほんこく本國(名) 本國

ほんこつ凡骨(名) 凡夫、凡庸

ほんさい本妻(名) 正妻、正室、正夫人

ほんさい盆栽(名) 盆栽草花、盆

ほんさい梵妻(名) 和尚的媳婦兒

ほんざう本草(名) 本草

ほんし本紙(名) 本報

ほんし本子(名) 本利、本息、母子

ほんし本旨(名) 本旨、宗旨

一四六〇

ほんじ本字(名) 漢字

ほんじ梵字(名) 梵字、梵書

ほんじき本式(名) 正規矩、正經

ほんじつ本日(名) 本日、今日、今天

ほんじやう本性(名) 本相(本性をあらはして來た)露出本相來了

〔二口三口言へば本性がわかる〕三句話離不開本行

ほんじよく本職(名) 本職

ほんじよく本色(名) 本色

ほんしん本心(名) 本心

ほんじん凡人(名) 凡夫、凡庸、庸

ほんせい本性(名) 本性

ほんせい本姓(名) 本姓

ほんせき本籍(名) 原籍、本籍

ほんそう奔走(名) 奔走

ほん

ほんぞく凡俗(名) 凡夫、凡俗(凡俗を超越する)超出凡俗

ほんぞん本尊(名) 供的佛爺

ほんたい本體(名) 本體、本身

ほんたい本隊(名) 本隊

ほんだい本題(名) 揭的題目(再び本題にかへる)書歸正傳

ほんたう本當(名) 眞的、實在(それは本當ですか)這是眞的麼(本當だと思つた)信了眞了(あの人の話は本當に出來ない)他的話靠不住(不可靠・信不及)(本當に寒い)眞冷

ほんだう本堂(名) 正殿、大殿

ほんだう本道(名) 正道

ほんたく本宅(名) 本房子

ほん

ほんだち本裁(名) 大裁

ほんだち本棚(名) 書架子、書榻

ほんち本地(名) 本地(土地)

ほんち盆地(名) 窪地

ほんじん本陣(名) 中軍

ほんてう本朝(名) 本朝

ほんてん本店(名) 本行、本鋪子、

ほんてん梵天(名) 梵天

ポンド(名) 封度(名) (Pound)磅、

磅、英斤(金ポンド)金磅(ポンドばかり)磅稱

ほんどうろ盆燈籠(名) 蓮花燈

ほんなう煩惱(名) 煩惱

ほんに(副) 實在、眞(ほんとは立流な花です)實在是好看的花

ほん

一四六一

ほん

兒②可不是麼、說的是呢、敢情  
〔ほんとにそうでした〕可不是麼、誠然、說的是呢〔ほんに全く忘れて居た〕可不是麼我全忘了  
〔ほんにそれは結構です〕那敢情好

ほんにん 本人(名) 本人、本身、親身、本主兒〔本人の云ふのに偽はない〕本人兒說的沒有錯兒〔願書は本人持参のこと〕志願書須本人親自帶到

ほんにん 凡人(名) 凡人、凡夫  
ほんね 本音(名) 實話〔本音を吐く〕說實話

ほんねん 本年(名) 本年  
ほんの(形) 不過是〔ほんの一時の僥倖です〕不過是一時的僥倖就

ほん

是了〔ほんのお印(シル)だけです〕不過是表表心就是了  
ほんのう 本能(名) 本性、本能、天性、良知、良能

ほんのくほ 盆窪(名) 張嘴窪  
ほんのり(副) 恍惚、朦朧、迷糊、淡淡的〔ほんのりと聞いた〕恍惚聽見說了〔東がほんのりと白む頃起きた〕天朦朧亮兒我就起來了〔ほんのり赤らむ〕淡淡的紅一點兒

ほんば 本場(名) 地道〔關東は烟草の本場です〕關東是出烟地道的地方〔どうしても本場を踏んだ人でなくては駄目だ〕非得實在經過專的人不行〔本場の品〕地道貨

ほん

ほんほう 本邦(名) 我國、我們國  
ほんばこ 本箱(名) 書箱、書櫃、書  
ほんばさみ 本挾(名) 護書  
ほんばしよ 本場(名) 與ほんば同  
ほんばら 本腹(名) 嫡出  
ほんびき(名) 朦朧下老的騙子

ほんぶ 本夫(名) 本夫(實夫)  
ほんぶ 本部(名) 本部  
ポンプ(名) (Pump) 激筒、唧筒、激筒、抽水機、抽水筒、水龍、滂浦〔ポンプで水を汲む〕用激筒抽水〔空氣ポンプ〕抽氣機〔吸上ポンプ〕抽水機、吸上唧筒、吸水唧筒〔押しポンプ〕壓水龍、壓水

ほんぶく 本復(名) 復元  
ほんぶん 本分(名) 本分〔本分なわ

一四六二

ほん

きまへぬ 不安本分〔本分を盡さぬ〕不盡本分、失本分  
ほんほ 本舖(名) 本舖子、本行  
ほんほう 本俵(名) 定俵、本俵  
ほんほり(名) ①耳擗子、耳刷子  
②手燈子  
ボンボン(名) (Bonbon) 糖子兒  
ほんほん(副) ①惡恨恨〔怒ってほんんして居る〕氣的惡恨恨的  
②嘯嘯的、噹噹的〔鼓をほんん打つ〕嘯嘯的打鼓〔爆竹をほんん鳴らす〕噹噹的放爆竹  
ほんまう 本望(名) ①素願、宿願  
〔本望を遂げる〕成了素願  
②情願、甘心〔死んでも本望だ〕死也甘心  
ほんまつ 本末(名) 本末、始終

ほん

ほんまる 本丸(名) 牙城  
ほんみやう 本名(名) 本名、原名  
ほんむ 本務(名) 本務  
ほんもの 本物(名) 眞的  
ほんもん 本文(名) 本文、原文  
ほんや 本屋(名) 書舖、書坊、書店  
ほんやく 翻譯(名) 譯、翻、翻譯  
〔英文から翻譯したものです〕打英文譯過來的〔支那文を日本語に翻譯する〕把中國文譯成日本文〔翻譯がうまい〕翻譯的不錯  
ほんやり(名) 慢性子、疲性子、愚鈍、獸頭獸腦〔あの人にはほんやりです〕他是慢性子  
ほんやり(副) ①迷糊、模糊、陰暗、朦朧〔此寫眞はほんやりしてよく分らない〕這個像篇兒迷迷

ほん

糊糊的看不明白〔私の眼はほんやりして居ます〕我眼睛模糊〔天氣がぼんやりして居る〕天氣陰暗、天氣混混沈沈  
②失神、大意、疎神、忘神、心神不在、出了神、不得神、發呆〔私は其時ぼんやりして居て聞きませんでした〕我那時候兒失神沒聽見〔ぼんやりと空を眺める〕往天上獸聽、獸獸的往天上看着〔君の責任は中重いからぼんやりして居てはいけない〕你擔這麼大的沈重可別大意〔教室では決してぼんやりしてはならぬ〕在講堂裏萬疎不得神  
③愕、發愕、恍惚、無精打彩、力盡神疲〔氣がぼんやりする〕精神恍惚〔父が死んだと聞いて暫く

一四六三



ほん

ほんやりしてしまった」一聽說我父親死了就愣了半天了「あの人はいつもほんやりして居るが多分病氣でせう」他老是那麼無精打彩的大概許是病了罷「私はその事をほんやりと聞きました」那件事情我恍恍惚惚的聽見說過  
ほんよう 凡庸（名） 平庸、平凡、平無奇

ほんらい 本來（副） 本來、原來  
ほんりう 奔流（名） 奔流  
ほんりう 本流（名） 本流、水的幹  
ほんりやう 本領（名） 本來面目  
ほんろう 翻弄（名） 翻弄、玩弄、戲弄、耍笑、戲笑  
ほんる 本位（名） 本位、標準「彼は何をやるにも自己を本位にして居

ま

る」他辦甚麼老是自顧自「日本は金貨を本位とする」日本以金錢爲本位「本位貨幣」(本位)本位貨幣、主幣「法定本位」(法定)法定本位、制定本位「複本位」(複)雙本位「金本位」(金)金本位

ま

ま間（名） 屋子「あの家は間が幾つありますか」那所房子有幾間屋子「奥の間」裏間屋子「工夫、時候」(人の知らぬ間に仕事をす)「客の絶える間がない」接連不斷的來客人「雨の止む間がない」不性的下雨「昨日君が歸ると間も

ま

なく彼が來た」昨天你走了不大的工夫他就來了「趁、乘」(夜の間に逃げた)「趁着夜裡逃跑了」(雨の降らぬ間に早く歸らう)「趁着雨還沒下來就走罷」板眼的眼「(帽子)、板」(間に合ふ)趕得上、趕上、來得及「間に合はない」趕不上、來不及「百圓では間に合はない」一百元還不敷用「十五日の間に合ふ様に仕立てて下さい」你給我做這件衣裳千萬別悞了十五穿「今から行けば汽車の間に合ひます」現在去就趕得上火車「間に合せて使ふ」將就着用「間に合せる事をする」逢場做戲、做權變的事情「間が悪い」拉不下臉來「間が悪い」技巧

一四六四

ま 魔、邪神、魔鬼「魔がさ  
ま 眞（名） 眞  
ま 馬（名） 馬  
ま 目（名） 眼、眼睛

ま 未來時之助動詞、與む  
ま 同「見まほし」(文) 我願看  
ま 今（副） 再「今一つお飲み下さい」  
ま 請再喝一杯「今少しお待ち下さい」  
ま 請再等一會兒 「屋子

ま 間（接尾） 間「三間の部屋」三間  
ま 眞（接頭） 眞「眞心」赤心、眞心  
ま 正（眞南） 正南「眞中」正中  
ま 純、純粹「眞黒」純黒、極黒

ま 記、號誌「號誌」(商標) 號、記號、標記  
ま 記、號誌「號誌」(商標) 號、記號、標記  
ま 記、號誌「號誌」(商標) 號、記號、標記

ま 進

ま 軍曲、軍行曲  
ま 先（助動） 先「まああの部屋で御休息下さい」請您先在那屋裡坐歇一歇「還算」(商賣はまあ好い方です)買賣還算罷了  
ま 可憐「まあまあ待って下さい」哎呀你先等一等  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀

ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀

ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀

ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀  
ま 牌「麻雀をする」打麻雀

ま 進

ま 一枚（接尾） 張、幅、塊、扇、片  
ま 鈔票「五張紙」(紙幣三枚)三張  
ま 一枚「幅蒲蓋」(ケット二枚)兩塊  
ま 一枚「銀貨十枚」十塊洋錢「板三枚」三塊板子「戸六枚」六扇門「葉一枚」一片兒葉子  
ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝

ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝

ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝

ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝  
ま 一枚「片兒葉子」朝

ま 進

一四六五



申込む訂報  
まうしすすむ申進ム(下二段他動) 佈

達(此段申進候)特此佈達

まうしたて申立(名) 供、口供(此

申立は被告に甚だ有利である) 這

一回供於被告很有利益

まうしつく申付ク(下二段他動) 吩咐、

囑咐(何事でも構はず御申付け下

さい) 無論甚麽事只請吩咐(御

申付の某某一件) 委囑某某一事、

所囑某事

まうしひらき申開(名) 分辯、分

まうしひらく申開ク(四段他動) 分

辯、分疏

まうしぶん申分(名) 弊病、毛病

(少し申分がない) 毫無毛病

まうしや盲者(名) 瞎子

まうじや亡者(名) 死人、死鬼

まうしやう猛省(名) 猛省(hsing)

まうしやう猛將(名) 猛將

まうじゆう盲從(名) 妄信、盲從

まうしゆん孟春(名) 孟春

まうしわけ申分(名) 分辯、分

疏(申分を云ふ) 同上 對不起、

對不住(こんな事では申分がな

い) 若這麼様我實在對不起人

(そんなに情けて居て先生に申分

が立つか) 你這麼懶惰對得起你

的先生麼 ③ 草草、敷衍、對付着

(申分に事をする) 敷衍了事、草

草了事、虛應故事、虛了故事、

將就着作、對付着作

まうしわたす申渡ス(四段他動) 宣、

告、告知、判決(死刑を申渡す)

宣告死刑(學生一同に申渡す) 告

知全校學生

まうしん妄信(名) 妄信、迷信

まうじん盲人(名) 瞎子

まうす申ス(四段自動) ① 說、叫(彼

が申しました) 他說了(名は何と

申します) 叫甚麽名字 ② 爲、做、

作(御供申す) 奉陪、做陪(御返し

申します) 奉還

まうず詣ズ(下二段自動) ① 拜客去、

拜望 ② 拜廟去

まうぜん猛然(副) 猛然

まうそうちく孟宗竹(名) 江南竹

まうどう孟冬(名) 孟冬

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうごう孟姑(名) 孟姑

まうまく網膜(名) 眼膜、眼網膜、

視衣、眼視衣

まうもく盲目(名) 瞎子

まうら網羅(名) 網羅

まうれつ猛烈(名) 猛烈

(まうろく) 筆碌(名) 老糊塗、老背

晦、老邁昏庸

まうる猛威(名) 猛威

まがき籬(名) 籬笆

まかげ目蔭(名) 遮眼(目蔭をさす)

拿手遮眼睛

まかす任ス(下二段他動) ① 交給、委

任 ② 任、聽、隨、由(それは私に

お任せ下さい) 這件事你都交給

我罷(主人が店を番頭に任せて少

しも構はない) 東家把舖子交給

まうまか

掌櫃的一點也不管(彼のするま

まに任す) 隨他做、任他做、由他

做、憑他做、聽他所爲(運を天に

任す) 聽天命、聽天由命、任天

命、順受命運、聽從天命(足に任

せて歩む) 任着步兒走(君の判斷

に任す) 任憑自行判斷(金に任せ

て贅澤をする) 任着有錢奢華(口

に任せてしゃべる) 任口胡說、信

口說出、順嘴說出、應口而出

(風に任せて飛ぶ) 任着風飄揚

せて打つ) 使着勁打(日頃御昵近

に任せ御配慮願上候) 叨在至交

用敢瑣瀆清神

まかす貢ス(四段他動) ① 讓(十錢貢

して買った) 讓一毛錢買的(も少

まか

し貢してごらん必ず貢げます) 你

再讓點價錢他就必落 ② 打敗

(敵を貢す) 把敵人打敗

まかす間敷(名) 間敷

まがたま勾玉(名) 彎勾兒玉

(まがなす) かな(副) 一會兒也

不佳、時時刻刻、無間斷的

まかなひ賄(名) 火食、伙食(賄は

幾らです) 火食多少錢(あの下宿

は賄付ですか) 那個公寓管火食

不管

まかなひかた賄方(名) 辦火食的

まかなひせいばつ賄征伐(名) 學

生開飯食

まかなひひ賄費(名) 火食費

まかなひれう賄料(名) 同上

まか

一四六九

まかなふ 賄フ (四段他動) 管飯、備  
辦食物 (一ヶ月十圓で賄ふ) 火食  
一個月十元

まがひ 紛 (名) 假的 (chica)

まがふ 紛フ (四段自動) 像似 (霞に紛  
ふ) 像霞似的 (紛ふ方なきあの人  
の聲だ) 一定是他的聲音

まがふ 紛フ (下二段他動) ① 混亂 (マゼミ  
ダス)

② 假做、假冒、冒充 (本物に紛へ  
る) 冒充真物 「重其事の様子  
まがほ 眞顔 (名) 端肅の様子、鄭  
まがり 曲 (名) 曲、彎

まがりあり 罷在リ (良變自動) 在、有  
〔御蔭にて一同無事罷在リ候間御  
安心被下度候〕 幸托仁蔭園家平  
安勿爲情記

まかりいづ 罷出ヅ (下二段他動) ① 退、  
散 (役所を罷出づ) 散公署 ② 去、  
上 (明日午後罷出で申すべく候)  
明日午後趨府請安

まがりかど 曲角 (名) 拐角、轉角  
〔曲角に大きな洋館がある〕 拐角  
上有大洋樓

まがりかね 曲尺 (名) 彎尺  
まがりこす 罷越ス (四段自動) 去  
まがりみち 曲路 (名) 彎曲的道兒  
まがる 罷ル (四段自動) ① 退、離 (京  
を罷る) 離京 ② 往 (物へ罷る) 他  
往

まがる 負ル (四段自動) 能讓、可以  
讓 (これは一文も負りません) 這  
個一個大也不能讓  
まがる 曲ル (四段自動) 歪、斜 (路が

曲つて居る) 道路灣着 (木が曲る)  
樹灣着 (心が曲る) 心歪的 (背が  
曲る) 曲背、彎背 (腰が曲る) 彎腰  
〔首が曲らない〕 1. 彎不了脖子  
2. 進退維谷、進退兩難、週轉不  
開  
まがる 曲ル (四段他動) 拐 (右手に曲  
る) 往右手裏拐 (角を曲る) 拐一  
個灣兒

マカロニ (名) (Macaroni) 通心麩  
條、空心麩、葱管麵、筒麵  
まかんむり 麻冠 (名) 與まだれ同  
まき 眞木 (名) 柏樹

まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき あぐ 捲上グ (下二段他動) ① 捲、  
扯 (簾を捲上げる) 捲上簾子 (帆  
を捲上げる) 扯上篷 ② 朦 (金を捲  
上げる) 朦錢 (官吏が人民より金  
を捲上げる) 官吏剝削小民  
まき あげき 捲揚機 (名) 輾轆、絞  
椿、絞車、起貨車

まきがみ 卷紙 (名) 信紙 「獵  
まき がり 卷狩 (名) 打圍、打獵、狩  
まき げ 捲毛 (名) 捲毛兒、捲頭髮、  
鬚髮

まき じた 卷舌 (名) 卷舌兒  
マキシマム (名) (Maximum) 極大  
度、最大限、極大量

まき じやく 捲尺 (名) 捲尺、皮帶  
尺、袋中彈簧碼尺 「包的飯  
まき ずし 卷鮓 (名) 以紫菜或魚肉

まき ぞへ 卷添 (名) 連累、牽連、帶  
累、稍上、牽涉、拖累、累及、拉  
上了、拉扯上了 (卷添を食ふ) 受  
連累、牽扯上了、連累在難裏  
〔この事件は彼をも卷添にした〕  
這件事連他也稍上了

まき たばこ 卷煙草 (名) 烟捲兒、  
紙烟、香烟 (卷煙草入) (イ) 烟捲  
兒盒子、香烟夾

まき ぢく 卷軸 (名) 手卷  
まき ば 牧場 (名) 牧地、草地、草場  
まき ば 卷葉 (名) 捲荷葉

まき は 眞際 (名) 臨、際、正在  
：時候 (試験眞際に病氣した) 臨  
考試得了病了 (出發の眞際に客  
が来た) 臨到起身的時候來客人  
了 (生死の眞際) 在生死之際 (愈

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

まき 眞木 (名) 柏樹  
まき 薪 (名) 劈柴、柴火  
まき 牧 (名) 牧地、草地、草場

まき 卷 (名) ① 卷軸 (マキ)、書、書籍  
② 卷、書的分篇 ③ 數卷軸等類用

れる」説話說的亂「氣が紛れる」解悶、遣悶、散悶「よく區別を付けないと紛れ易い」一不好好兒的分別就容易混亂「夜に紛れてける」趁着夜裡逃走「騒に紛れて逃物を盗む」趁着亂搶東西

まきわり 卷藁(名) 稻草捆子  
まきわり 薪割(名) 劈柴刀  
まきろ 撒餌(名) 下食(鳥ヲ捕ルニ) 喂雀子(魚)

まきろ 蒔繪(名) 泥金畫漆  
まく幕(名) ①圍幕、帷帳、帳子、幔帳「幕を張る」撒圍幕、擋上帷幕「幕を開ける」開幕、挑簾出場(出ルガ)「幕を下ろす」放下帳子、擱下幔帳「幕を閉づ」閉幕、煞臺「幕になる」同上「此事件はこれにて」

幕になった」這件事就這麼煞臺了(結果了)②齣、段、幕「劇の一幕」一齣戲③場面、地方「お前の出るべき幕でない」這不是你們出頭的場面、這不是你們露臉的地方

まく膜(名) 膜(瓣膜) (ベシ) 瓣膜  
まく卷ク・捲ク(四他段動) 捲、繞、上(簾) (スダ) を捲ク 捲簾子「糸を捲く」繞線「時計を捲く」上錶、上弦「舌を捲く」1.捲舌頭 2.點頭啞嘴(頭ヲフリ舌打)「帆を捲く」捲篷(紙を捲く) 1.捲紙 2.繞紙(紙ヲマキ)

「碇を捲く」上上錨「旗を捲く」捲旗子「袖を捲く」捲袖子、挽袖子「首に捲く」繞着脖子、圍着脖子、圍繞脖子「象が鼻を捲く」象

捲鼻子「管を捲く」醉的說車轆轆話  
まく卷ク・捲ク(四段自動) ①打漩兒「渦(ウ)が捲く」水打漩兒「渦の中へ巻き込む」在漩窩裡漩住了②盤「蛇が捲く」長蟲盤③繞「烟に捲かれる」1.叫煙給繞上 2.叫人給說住④捲「風が捲く」風捲まく蒔ク(四段他動) 下、撒、播「種を蒔く」下種(chung) 撒種「蒔かぬ種は生えぬ」種麻得麻種豆得豆、不種不收、並不撒種也不收成

まく撒ク(四段他動) ①撒、潑、撩「水を蒔く」撒水、潑水、撩水②揚、抛「金を蒔く」揚錢、花錢如土、耗費錢財、把錢拋散了去③散、

散布(びらを撒く) 散布傳單  
甩(連の人を撒く) 甩開同伴的人

まく負ク(下二段自動) ①敗、輸「軍に負ける」打敗仗「碁に負けた」下棋輸了「雙方とも負けては居ない」兩方面爭執不下、兩不相下②咬「漆に負けた」叫漆給咬了

まく負ク(下二段他動) 讓、饒「少し値段を負けなさい」讓一點兒價錢罷、少算一點兒罷「十錢だけお負けします」就讓您一毛錢「澤山お買ひ下さるなら二つ三つお負け致します」您若是買的多可以繞兩個「負けるは勝」柔能克剛  
まぐ曲グ(下二段他動) 曲、屈、彎、歪、枉「志を曲げる」屈志「駕を枉

げる」枉駕「理を非に曲げる」以理爲非「首を曲げて考へる」歪着彎「腰を曲げる」哈腰「説を曲げる」轉回前言 「的工夫

まくあひ幕合(名) 兩齣戲當間兒  
まぐさ 秣(名) 糧草、飼草、馬草、まぐさきり秣切(名) 鋤刀 「草料まぐそ 馬糞(名) 馬糞  
まぐち 間口(名) 面寬、門面  
マグネシウム(名) (Magnesium) 鎂  
マグネシヤ(名) (Magnesia) 氧化鎂、苦土 「者②有頭有臉的人

まくのうち 幕内(名) ①力士優秀まぐは馬鍬(名) 耙子「馬鍬でならす」拿耙子耙

まくはうり 瓜(名) 甜瓜、香瓜  
まくびらき 幕開(名) 開幕、開頭、端緒

まくら枕(名) ①枕頭「枕を交す」同枕、同衾「枕を高くす」安枕、高枕而寐「高い枕をする」枕高枕頭「城を枕に戦ふ」背城、背城一戰「枕のカバー」枕頭套、枕頭袋、枕頭籠布②墊頭「枕をか」墊墊頭兒 「身價

まくらがね 枕金(名) 妓女從良的まくらがみ 枕紙(名) 包枕頭的紙まくらぎ 枕木(名) ①墊木(枕ニカ) ②軌道枕木、道木、墊道木、鐵路楞  
まくらぎやう 枕經(名) 倒頭經

まく

まくらきん 枕金(名) 開兒錢  
 まくらぎょうし 枕草紙(名) ①雜俎、  
 隨筆 ②春畫、春宮  
 まくらさがし 枕探(名) 偷客店的  
 賊、掃亮子的 「起床之禮  
 まくらなほし 枕直(名) 滿月產婦  
 まくらびやらぶ 枕屏風(名) 小屏  
 まくらもと 枕頭(名) 枕邊 「風  
 まくらら 枕繪(名) 春畫、春宮  
 まくりで 捲手(名) 彎袖子  
 まくる 捲ル(四段他動) ①捲「風が蓆  
 を捲上げる」風把蓆捲起來了 ②  
 捋「腕を捲る」捋胳膊 ③挽「袖を  
 捲る」挽袖子 ④掖「裾を捲る」掖  
 起衣裳邊兒來 ⑤散「敵兵を追ひ  
 捲る」把敵兵追散 ⑥欺「一枚捲

まくまけ

る」掀一篇兒 ⑦揭「壁の繪を捲  
 る」揭牆上的畫紙  
 まぐる 紛ル(下二段自動) 與まざる同  
 まぐれあたり 紛中(名) 碰著兒、  
 懵着兒、無心中中了(wu hsin  
 chun' chung' lai') 瞎猫碰死耗  
 子  
 まぐれざいはひ 紛幸(名) 倖倖  
 まぐる 鮪(名) 鮪、金鎗魚  
 まげ 負(名) ①輸、敗 ②減價  
 まげ鬘(名) 鬘  
 まげいくさ 負軍(名) 敗軍 「色  
 まげいろ 負色(名) 敗軍之兆、敗  
 まげじごころ 不負心(名) 好勝的  
 皮氣  
 まげじだましひ 不負魂(名) 同上

まけまこ

一四七四

まけずおとららず 不負不劣(名) 誰  
 也不讓誰 「勉強遵意  
 まげて 枉テ(副) 勉強「其意に従ふ」  
 まげもの 曲物(名) ①盒子(入レ) ②  
 典頭(ツチ)  
 まげばら 負腹(名) 輸的生氣  
 「まけをしみ 負惜(名) 輸的掛火兒  
 「まけんしやう 不負性(名) 好勝的  
 まこ 麻姑(名) 麻姑 「皮氣  
 まこ 孫(名) 孫子  
 まこ 馬子(名) 馬夫 「心  
 まこころ 真心(名) 赤心、真心、丹  
 「まこつく(四段自動) ①無所措、心  
 慌「突然問はれてまこついた」忽  
 然一被他問無所措了 ②盤桓、  
 打漩兒「今時分まで何處をまこつ  
 いて居たのか」這早晚兒你上那

まこおや

兒盤桓來着「怪しい男が此邊を  
 まこついて居る」有一個可怪的  
 人在這兒打着漩兒  
 まこと 實(名) 實、眞、誠「實の話」  
 實話「あの人は實がない」他不實  
 誠 「似可信  
 まことしやかに 實カニ(副) 似眞、  
 まこと 實ニ(副) 眞、實在「實に  
 薄情な人だ」實在的是刻薄的人  
 「實にお耻しい次第だ」實在慚愧  
 的很  
 まこのて 孫手(名) 麻姑爪  
 まこひ 眞鯉(名) 鯉魚  
 まこむすめ 孫娘(名) 孫女  
 「まこまこ」(副) 與まごつく同  
 まこも 眞菰(名) 菰  
 まさか(形) 好歹、萬一「君のお父

まさ

さんにまさかの事があつたらどう  
 します」你父親萬一有個好歹你  
 怎麼辦呢 ②緩急、危急、意外、  
 緊急、患難「まさかの時」一有緩  
 急之時、緊急之時、有意外之變  
 時、非常之際「まさかの時の用意  
 にする」以備不虞、以備萬一「ま  
 さかの時の友達」患難之友、患難  
 相從的朋友  
 まさか(副) 難說、未必、難信、難  
 道、不至於「まさかさうは言ひ出  
 せない」您說的對了可是我不好  
 這麼說出來「まさかそんな事は  
 あるまい」未必有這麼樣的事情  
 罷「いくら窮してもまさか人の物  
 を盗みはしまい」他怎麼窮也不  
 至於偷人家的東西「彼が謀叛を

まさ

一四七五

したと云ふがまさかそんな事は無  
 いでせう」有人說他謀叛了難說  
 有這麼樣的事情罷「まさか來な  
 い事はなからう」難道他不來  
 まさかに(副) 同上  
 まさかり 鉞(名) 鉞、大斧  
 まさかり 眞盛(名) 正開、盛開  
 まさご 砂(名) 沙  
 まさし 正シ(形志久活) 正  
 まさつ 摩擦(名) 摩擦、摩觸  
 まさに 正ニ(副) 正、將、方、  
 當、應、快「正に前面にあり」正在  
 前面「花正に開く」花正開「雨將  
 に降らんとす」(文) 天將雨「學期  
 將に終らうとする」學期將終、學  
 期向盡、學期快完了「年まさに  
 十歳」年方十歲「まさに此の如く

なる可からず(文) 不當如此

まさめ 正目(名) 直木紋

まさゆめ 正夢(名) 應夢 「加増

まさる 増ル(四段自動) 増多、増加、

まさる 勝ル・優ル(四段自動) 好、強、

勝、優、勝強、出人頭地(彼の技

倆は私より勝って居る) 他的能耐

比我高(これに勝った喜はない)

再沒有這麼歡喜的了、沒有這

麼樣歡喜的了(云はぬは云ふに

勝る) 不說強似說、不說比說強

まさる 雜ル(四段自動) 與まじる同

まし増(名) ①増、増多、増加(今年

の收穫は去年より三割増です) 今

年收成的比去年多三成(増時

間)(ジカン)作外活、過限的時間、

定時的勞働時間 ②強(Strength)

強哪 (無)よりは増です) 比沒有還

まし(助動詞) 表示未來之動作之

助動詞又含有希望之意(見ま

し)(文) 願看(行かまし)(文) 願往

まし(助動詞) 一面否定一面猜想

之助動詞、怕不(彼は再び仕官す

まじ)(文) 彼恐不復仕官(婦人に

あるまじき行) 不像婦人的行為

ました(助動詞) 了、過(もう眠りま

した) 已經睡覺了(御飯を食へま

したか) 您用過飯了麼

まして 況テ(副) 況、何況、況且(禽

獸だに然り況て人に於てをや) 禽

獸尙然何況人乎(聖人でも過が

ある況て吾々に於てをや) 聖人尙

且有錯兒何況是我們呀

まじなひ 呪禁(名) 符咒

まじなふ 呪フ(四段他動) 咒

まじはり交(名) ①交際、來往 ②

交媾、行房

まじはる 交ル(四段自動) 交、來往

(悪友に交る) 交不好的朋友(二

線相交る) 兩條線交叉着(男女相

交る) 男女彼此來往

まじふ 交フ(下二段他動) 交(言葉を交

へる) 交談(兵を交へる) 交兵

まします 坐ス(四段自動) 在(座)

まじめ 眞面目(名) 眞心、認真、老

實、勤慎、勤飭(あの人は眞面目

な人です) 他是老實的人、他是

勤飭的人(眞面目になつて話す)

眞心的說(眞面目に役を勤める)

ます 鱒(名) 鱒魚、花魚

ます 梟(名) 斛斗

ます 坐ス(四段自動) 在

ます 増ス(四段自動) 増、増多、加増、

増加、増大、増進、添、加添、長

(chang) 河の水が増す) 河水長、

河水漲起來(人口が増す) 家口

増多(家)、人口増多(國)(俸給が増

す) 薪水加増、薪水長

ます 増ス(四段他動) 長(chang) 増、

添、加添、加増、増長、増進(給

金を増す) 加増工錢、長工錢(衛

兵を増す) 添衛兵(見識を増す)

増長見識(教授時間を増す) 加教

授的鐘點

ます(助動詞マセ・マシ・マス・マッスル) 添在

動詞之下表恭敬之意(私は行き

勤慎 當差(眞面目に勤強する) 認

眞的 用功(私は彼が一言でも眞

面目な事を云ふのを聞いた事がな

い) 我沒聽見他說一句整話(眞

面目くさる) 假老實(君は眞面目

に云つて居るのですか) 你這是眞

心說的麼(彼は眞面目な顔で滑

稽を云ふ) 他是整臉的說玩笑話

ましやう 眞正(名) 眞的、認眞的

ましやうめん(名) 正對面、迎着

頭(眞正面から反對する) 迎頭反

對(汽車が眞正面から衝突する)

火車迎着頭衝撞了

ましやく 間尺(名) 算、計算(間尺

に合はぬ) 不合算、不上算

まじゆつ 魔術(名) 法術、邪術、妖

術、魔術、幻術(魔術師)(術

士、男巫、頂香的、妖術邪法的

まじりもの 雜物(名) 攪假的

まじる 雜ル・交ル(四段自動) 混、攪、

夾雜(この米は砂が交つて居る)

這個白米攪着有沙子(彼は西洋

人に似て居るから西洋人の中に雜

つて居て、分らない) 他的容貌像

西洋人似的所以混在西洋人裡

頭也分不清(日本語の中には英

語も支那語も交つて居る) 日本語

裡頭攪着有英國話和中國話

(あの先生の北京語には山東語が

雜つて居る) 那位先生說的京話

攪着有山東話(夾雜着)

ましん 癩疹(名) 與はしか同

ましん 魔神(名) 天魔、魔羅





また

またぎき復聞(名) 聽人説

またぐ跨(四段他動) 邁(門の敷居を跨ぐ)邁門襖兒

またぐら勝(名) 與また同

またぐらがうやく勝膏藥(名) 騎墻(形勢ヲ見テドチ、脚跳兩隻船同、取模稜兩可的態度)騎墻漢(同上)

またげらひ復家來(名) 陪臣

またした勝下(名) 腰身

またしても(副) 又要(一度禁酒して又しても飲みはじめ)忌一回酒又要喝起來了

まだしも(副) 還行、還不要緊(まだしもそれならよい)那還可以(汽車が顛覆しても乗客に怪我がなかったからまだしも)火車

また

翻了可是客人無礙實在僥倖

またぞろ復候(副) 又(今年復候賊にやられた)今年又開了賊了

またたき瞬(名) 眨眼

またたく瞬(四段他動) 眨眼(瞬く間)(アヒダ(ヒマ)一眨眼的工夫)

まただのみ又頼(名) 轉托

またと又ト(副) 再(不(こんなよい機會は又とあるまい)這麼好的機會再沒有(又と行くまい)我不願意再去

またとなり又隣(名) 隔一家的隔壁

またのあした又朝(名) 第二天

またのとし又年(名) 第二年

またのな又名(名) 別名、又名

またまた復復(副) 與復(ま)同

またまた又又(接) 與又(ま)同

またまた

まだまだ未未(副) 與未(ま)同

まだら斑(名) ①斑駁的、雜色的

②斑紋、花

まだるし間意(形久語) 慢、緩(そんなやり方では間意)這麼樣的辦法太慢(あの人の叱方は間意)他申斥人申斥的鬆

まだれ麻垂(名) 點雁兒

またをひ又姪(名) 姪孫

まち町(名) ①鎮(市町村)、鎮店(同)

まち襦(名) 衾(着物の襦)衣裳的衾(袴の襦)褲子衾

まちあぐむ待厭(四段他動) 等了個無耐心煩、等急了、等膩了、等煩了

まちあはす待合(四段他動) ①候、等(人の來るのを待つ)候人來

一四八〇

〔汽車を待合す〕等火車來の會齊〔上野公園で待合せませう〕借們在上野公園會齊兒

まちあひ待合(名) 轉當局(マチャ(待合茶屋)(チャヤ)同上(待合遊)(アッピ)遊遊花柳界(待合室)(シ)候車房

まちちうく待受(上二段他動) 候、等

まちか間近(名) 很近、近挨着(私の家とはごく間近です)離我的家很近(博覽會も間近になった)也快到了開博覽會的時候了

まちかし間近(形久語) 很近、近挨着

まちかぬ待兼(又(下二段他動)) 等急了、等了個無耐心煩、等不了、等煩了(爲替の來るのを待兼ね

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

る〕等不了滙錢來的(彼の來るのを待兼ねて迎にいった)等煩了纔去迎接他去了

まちがひ間違(名) 錯兒、差錯、舛錯(勘定の間違がある)算賬有錯兒(あの人が受合へば間違はない)他一承管就沒有錯兒(それは人間違です)那是你認錯了人了(此處に一筆間違がある)這兒有一筆錯兒了、這兒這筆錯了(言葉の間違から喧嘩になった)他們說岔了打起來了(それは間違ない所です)那是一定的、那是不錯的(安全で間違のない方法)安全無誤的手段(間違なく願上候)勿悞是盼、莫誤爲感

まちがふ間違(四段自動) 錯了、差

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

まち

一四八一

まちまつ

た) 心裡頭巴結着一定有賞格  
兒

(まちまち區區(副)

紛紛、參差不

一分れる) 議論紛紛、意見參差

(服裝が區區です) 服色參差不一

まちや町屋(名)

① 舖面房 ② 商人

まちわぶ待詫ア(上二段他動) 等急了

まつ松(名) 松樹

まつ末(名) 末兒

まつ待ツ(四段他動) ① 待、等、候、靠

(「一寸待って下さい」請等一會兒

「車夫が迂て客を待つ」拉車的在

胡同口兒等着客人「よい音信

(タヨ)を待つ」候您的佳音「君の成

功を待つ」候您的成功、祈你成

功(機會を待つ)待機會「言ふな

まつ

待たず) 不待言「人を待つに無禮

なり) 待人無禮「腹が減って御飯

を待ちきれない」餓的等不得飯

(私は彼の歸るのを待って居る) 我

盼望他回來「決してお待ち下さ

るな) 千萬請您不要候「是非君

の手腕に待たねばならぬ」總得等

你爲力「道德は教育と相待って行

はる」道德與教育相因而行「へ

ンマツ」候示「御返事待上候」

待候玉音、鶴候回玉

まつ先ヅ(副) ① 先「先づ口を切る」

先開口「先づ貴下からお初めなさ

い」您先下手辦罷② 大概「先づ

これで終りました」大概這就完

了③ 算「結果は先づ好い方とし

た」收場還算不錯「新内閣の總理

まつ

は先づ某氏ほか有りますまい) 新

内閣總理我想總算某氏以外沒

有人罷

まつか真赤(名) ① 很紅、血點兒紅

(真赤な西瓜) 血點兒紅的西瓜

② 紅頭脹臉的「真赤になつて怒

る」紅頭脹臉的生氣③ 通都是

「真赤なうそです」通都是假話

まつかう扶香(名) 香麪

まつかさ松毬(名) 松塔

まつかざり松飾(名) 正月在門口

立松樹祝賀新年謂松飾

まつかはばうさう松皮疱瘡(名) 天

まつかう真甲(名) 天庭「花兒毒

まつぎ末技(名) 末技、小技

まっくら真暗(名) 漆黑、黑漆漆的、

漆黑無光

一四八二

まっくら真黒(名) 黑烏烏的

まっげ睫(名) 睫、眼睫(chin)毛

(逆睫)「往裡倒(kao)着的眼

睫毛」臨死給死人喝的水

まつご末期(名) 臨死「末期の水」

まつぎ末座(名) 末座、末席

マッサージ(名) (Massage) 與あん

ま同

まっさいちゆう真最中(名) 不可開

交的時候、熱鬧中間、正當:之

際、極度、極點、絕頂「戰爭の真

最中」打仗正打的不可開交的

時候「賭博の真最中」要錢正耍

的熱鬧中間「暴風雨の真最中」暴

風雨正盛之時

まっさかさま眞逆様(名) 腦袋朝

下的「屋根から眞逆様に落ちた」

まつ

從房頂上腦袋朝下的掉下來了

まっさかり真盛(名) 正:的時候、

正當:之際「櫻の花は今真盛で

す」櫻花現在正開的時候「夏の

真盛」正是暑熱的時候「宴會の

真盛に口論を初めた」宴會最興

高烈采的當兒辯起嘴來了

まっさき真先(副) 最前頭、儘頭

裡、首先、儘先「真先に進む」進

到儘頭裡「真先の馬が後の馬に

追ひ越された」儘在頭裡的馬叫

後頭馬給開過去了「真先に貴下

にお尋します」我儘先問您

まっさつ扶殺(名) 抹殺、塗抹

まっさを眞青(名) 刷白、蒼白

まっし末子(名) 季子、末一子、老

兒子

まつ

まっし(形久語) ① 不好吃、口味不

好「此料理はまっし」這個菜不好

吃② 拙、醜、頹額、不好「彼の支

那語はまっし」他的中國話不好

「あの人の碁はまっし」他的棋不

高「あの女は容貌がまっし」那個

女人容貌醜「此度のやり方は實

にまっし」這回辦的實在出醜

「此畫は實にまっし」這副畫兒畫

的實在頹額

まっし貧シ(形志久語) 貧、窮、苦

まっし末寺(名) 下院

まっしぐらに驀地ニ(副) 猛然、闖

然、猛孤釘的

まっしろ眞白(名) 雪白

まっすぐ眞直(名) 與まっすぐ同

まっせ末世(名) 末世、澆季

まつ

一四八三

まつ

まつだい 末代(名) 後世

まったく全ク(副) 全、全然、完全、  
總、打、簡直的、實在(あの事件は私は全く關係はない) 那件事情與我全不相干(それは全く嘘です) 那簡直的是謊話(彼は全く馬鹿です) 他那個人簡直的是糊塗(私は全く知りませんでした) 我總沒知道(あの店の品物は全く偽物です) 那個舖子賣的全都是假的(雙方全く同じで見分がつかない) 兩個所一樣看不出來(これは全く彼の過です) 這完全是他的錯兒(これは全く不思議です) 這完全是一件奇事(それは全くです) 那是一定的、那是不錯的、您說的對了

まつ

まつだけ 松茸(名) 松菌

まったくし全シ(形久活) 全、完全  
まつたん 末端(名) 末端、煞尾、盡頭  
マッチ 燐寸(名) (Match) 洋火、火柴(マッチ箱) 洋火盒兒、洋火匣(マッチの軸木) 火柴梗、洋火梗(安全マッチ) 安全火柴、保險火柴  
マッチ(名) (Match) 賽、比賽、競技、競賽、比試(ベースのマッチ) 比賽棒球  
まっちゃや 抹茶(名) 茶葉麪兒  
まっと(副) 與もつと同  
まつのうち 松内(名) 從正月初一起到初七  
まっぱたか 眞裸(名) 與すはだか

まつ

まつばやし 松林(名) 松林、松樹

まつばら 松原(名) 同上 「林子  
まつはる 纏ル(四段自動) 纏、纏綿  
まっぴら 眞平(副) 一概、全、全然、千萬別……(酒は眞平御免だ) 酒是我一概不喝你別見怪(そんな話は眞平だ) 這個話你千萬別和我說(眞平御免を蒙ります) 你饒了我罷別叫我辦了  
まっぴるま 眞晝間(名) 大清白日  
マッフ(名) (Muff) 手筒、皮手筒、皮手籠、暖手筒  
まつぶぐり 松毬(名) 松塔  
まつむし 松蟲(名) 蟋蟀一類  
まつやに 松脂(名) 松香  
まつよひ 待宵(名) 十四晚上  
まつり祭(名) 祭祀、祭禮(今日は)

一四八四

鎮守の祭です。今日は土地廟開廟的日子(祖先の祭) 祭祀祖先的禮

まつりう 末流(名) 後代、後裔

まつりごと 政(名) 政、政事、政務

まつる 祭ル(四段他動) 供、祭祀、祭奠、(天を祭る) 祭天(神を祭る) 祭神、祭祀神(亡靈を祭る) 祭奠亡靈(此宮に祭つてあるのは何神ですか) 這個廟供的是甚麼

まつろ 末路(名) 末路、收場 「神

まで 迄(助) ①到(北平から東京まで) 從北平到東京(今月五日から十日まで) 從本月五號到十號

まつて 全手(名) 兩隻手

まつて 煙

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まつて

まてまと

まと

一四八五

把回信賞到我這兒(彼は今迄此處に居ました) 他剛纔還在這兒來着(昨日までは何の音信もない) 昨天還沒有信來着(もうこれまでに) 已經到頭兒了沒法子了(連……帶……カラ、連……以及(同)着物から指輪まで盗まれた) 連衣裳帶戒指兒全叫賊給偷去了(子供までが私を馬鹿にする) 連小孩子都要笑我(何から何まで御世話下さって有難うございます) 諸事蒙您給照拂謝謝(王公大臣から人民まで) 王公大臣以及小民

まてん 摩天(名) 摩天、凌雲

まてん 靶子、鴿子

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん 窓(名) 窓戶(窓掛) (カケ) 窓戶

まてん

まと

一四八五

描兒 (tangy) 窓帷、窗幕(窓ガラ) 窓戶玻璃(窓闔) (シキ) 窗檻、窗臺(窓框) (ワ) 窗框(窓の口蔽) まどか 圓(名) 圓 (ヒオホヒ) 窗簾

まどはす 惑ス(四段他動) 惑、迷惑、惑弄、惑亂(愚民を惑す) 迷惑愚民(人心を惑す) 惑亂人心、迷惑人心、障人

まどひ 纏(名) 消防隊的標旗

まどひ 惑(名) 惑、迷惑

まどふ 纏フ(四段自動) 纏、繞

まどふ 纏フ(四段自動) 纏、繞

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まどふ 惑フ(四段自動) 惑、迷、迷惑

まと

一四八五

まと

まとまる 纏ル(四段自動) ①定局、收口、妥、妥當(相談が纏った)商議定局了、商量妥了、商議有收口兒了(雙方話が纏る)兩面說妥了、彼此講妥了、彼此議定了②成了(一年間あの金を溜めておけば纏った金になる)把那個錢存着一年也成了文了(纏った金)成數兒的錢(私には纏った意見はない)我沒有成兒③齊、歸(行李が纏る)行李都歸好了(人數が纏らない)人數兒不齊  
まとむ 纏ム(下二段他動) 歸、收拾(道具を一處に纏めておく)把傢伙歸在一塊兒(會費は貴下で纏めて會計に渡して下さい)會費先歸在您這兒回頭交給賬房罷

まとまな

「公事を纏める」結案(敗軍を纏める)收拾敗軍(考が纏らない)沒想得、想不出主意來(妻子を纏めて行く)攜同妻子走(纏めて買へば少し安い)抄總兒買就便宜些(話を纏める)說妥了、說好了①正面(敵の矢を正面に受ける)正面兒受敵箭②眞事(正面になつて怒り出す)當眞事兒似的生起氣來了  
まごり 間取(名) 房子的間樑  
まごろむ (四段自動) 打盹兒、假寐、睡一會兒  
まごる 團居(名) 團圓(家族)、團居(ツテ生ル)  
まな 眞名(名) ①楷書(kuzushiji) ②漢字  
まないた 粗板(名) 案板、肉墩子、

まなまに

茶墩兒、茶板兒  
まなか 間中(名) 三尺  
まなか 眞中(名) 當中兒、中間兒  
まなくときなく 間無ク時無ク(副)  
不住的、不斷的  
まなこ 眼(名) ①眼、眼睛 ②眼光  
「世界的の眼を持つ」具有世界的眼光兒(彼の眼は高い)他的眼光高  
まなじり 背(名) 眼角、眼犄角兒  
まなづる 眞名鶴(名) 灰鶴、鶴雞  
まなび 學(名) 學、學問  
まなび 學校(名) 學校、學堂  
まなぶ 學ブ(四段他動) 學、學習、肄業、念書(英語を學ぶ)學英國話  
「先生に就いて學ぶ」跟先生學  
まにあはせ 間合(名) 逢場做戲、

一四八六

まに

苟且、權辦、權宜、權變、擋塞(一時の間合にする)一時權辦(そんな間合の事をするな)你別做這麼權變的事情、你別這麼敷衍了事、你別這麼虛應故事(本物がないから間合で我慢する)沒有眞的拿這個擋塞下  
まにあふ 間ニ合フ(四段自動) ①有用、能辦事的(あの男は中間に合ふ男です)他是個有用的人②趕得上(そんなにぐずぐずしては間に合はない)你這磨蹭就趕不及(辦不及)今から行って汽車の間に合ひますか③現在走趕得上火車麼(電報爲替なら十分間に合ひます)若是用電滙足可以趕得上(後悔して)間に合はぬ④後悔

まにまぬ

也來不及了！  
まにまに 隨(副) 隨、便(波の隨に漂ふ)隨着波浪漂搖、隨水漂流、順水漂流(風の隨に聞える)隨風兒聽見  
まにら (名) 小呂宋(まにら麻)呂宋麻(まにら煙草)呂宋烟  
まにんげん 眞人間(名) 正經人  
まぬ 眞似(下二段他動) 仿、學、仿效、效法(西洋のを眞似て造る)仿着西洋的做、仿造西洋的(子供はとかく大人のする事を眞似ます)小孩兒愛學大人做的事情(外國の法を眞似る)效法外國、仿效外國  
まぬかる 免ル(下二段他動) 免、脫(危難を免れる)脫難(災難を免れた)

まぬまね

免了禍了(世の批難は免れられない)未免世上的口舌(多少の損害は免れられない)多少免不了有損害  
まぬけ 間拔(名) 笨、猥優(間拔野郎)(ヤラウ)笨蛋、傻子、糊塗  
まぬるし 間緩シ(形容詞) 慢、緩  
まね 眞似(名) 學、仿、仿效(猿が人の眞似をする)猴兒學人(あの人の眞似は出來ない)我學不了他、不能仿效他  
まねき 招(名) 招、召(御招にあづかり有難存じ候)蒙寵召銘感殊深  
まねく 招ク(四段他動) ①點手兒(手デ) ②請(招待)、口請(口上デ案)、下帖請(案内状ヲ)、客を招く③請客④  
招(禍を招く)招禍、惹禍(禍は自

一四八七

まの まは

ら招いたのだ」禍由自取「人の恨を招く」招人恨、惹人恨

まのあたり面(名) 當面「面り詰責する」當面申斥

まはし廻(名) ①回轉 ②裙子(婦人) ③斗篷(合羽)

まはしがっぱ廻合羽(名) 斗篷

まはしぎり廻錐(名) 鑽、車鑽、廻旋鑽 「探子、漢奸

まはしもの廻者(名) 細作、間諜、まはす 廻(四段他動) ①轉(獨樂)

を廻す「轉捻捻串兒」送、遞「手紙を廻す」送傳單的信(筒狀)「順線に廻す」以次傳遞 ③繞「帶を廻す」繞帶子 ④圓「刀を振廻す」掄圓了刀 「今日絲屋が來たら私

まは

の方へ廻して下さい」今天賣線的過來了請您叫我這兒來

「手を廻す」1. 背手(後) 2. 四下裡派人巡拿「馬を乘廻す」騎着馬各處繞「氣を廻す」多心「間者を廻す」撒下漢奸、叫人作眼線

まばたき瞬(名) 眨眼、眨巴眼兒、瞬、閃、閃爍「瞬する」一轉眼、一眨眼、瞬息「瞬する間」轉瞬之間、轉眼之間、一眨巴眼的工夫、瞬息、霎時「星の瞬」星星閃爍、星光閃閃「瞬もせず見詰る」不轉眼珠兒的釘着、不錯眼的看着、目不轉睛的看着

まはふ魔法(名) 與まじゆつ同「魔法遣(ツカ)」與まじゆつし同「魔法瓶(ビン)」暖水瓶、暖水瓶、熱水

就遠遠兒「そんな遠遠い事をして居られぬ」不能做那麼遠遠的事情  
まはりばしー廻梯子(名) 螺螄梯  
まはりばん廻番(名) 輪流的班子  
まはりぶたい廻舞臺(名) 新戲臺  
まはりみち廻道(名) 遶道  
まはりもち廻持(名) 輪流用、輪流拿、輪流管  
まはる廻ル(四段自動) ①轉、輪、轉旋「車が廻る」車帖轉(chuan)「私の番が廻って來た」輪到我的班子了 ②遶灣兒、遶巡「巡查が町を廻る」巡查在街上巡查「公園を一廻廻る」在公園遶一個灣兒「地球が太陽の周圍を廻る」地

まは

瓶  
まばゆし映シ(形久活) 幌眼「電燈があまり光って映い」電燈太亮幌眼睛

まばら疎(名) 稀、稀稀兒的「疎に植える」稀稀兒的種「山上に木が疎に生えて居る」山上稀稀兒的長着有樹木「疎な鬚」稀鬍子、狗

まはり廻(名) ①回轉、旋轉「此車は廻が悪い」這個車帖轉轉的不靈便 ②周圍、圍着、四周圍、四下裡、四外「この湖は廻が六里ある」這個湖周圍有六里地「廻に誰も居ない」周圍誰也沒有「廻の土地」周圍的地方、四下裡「都會の廻にある地方」圍着城池的地

球環遶太陽的周圍、地球遶日而轉「この汽船は長崎へは廻らない」這隻輪船不遶長崎 ③周遊、滿「世界を廻る」周遊世界「遊び廻る」滿世界玩兒「搜し廻る」滿世界找「歩き廻る」滿世界走「酒が廻って來た」喝酒喝醉了「舌が廻らない」舌頭不伶俐、舌根子硬「首が廻らない」1. 扭不過頭來 2. 週轉不開、進退維谷「手が廻らない」1. 手背不過來(手背後) 手兒膽不出來(クダシ)  
まひ舞(名) 跳舞  
まひ麻痺(名) 麻木、發木、麻痺「良心が麻痺して居る」良心都喪盡了、良心麻木「麻痺劑」(イ) 麻藥、迷藥

まは

方、圍近城池的一帶地方 ④來的「智慧の廻が速い」智術來的快 ①巡查「巡查の廻が繁い」巡警不斷的過來查 ⑤遶「かう行くと大廻です」這麼走遶了大遠了  
まはり廻(接尾) ①圈兒「二廻大きい」大兩圈兒 ②輪「藥を一廻飲む」吃一輪兒藥 ③生「利廻」生利、生息「利廻六分の預金」生息六釐的存款  
まはりあはせ廻分(名) 運氣、適逢其會「運の廻合が悪い」運氣來的不好  
まはりどろうろ廻燈籠(名) 走馬  
まはりどぼし廻遠シ(形久活) 遶遠兒「本道を行くと廻遠い」走正道

まは

就遠遠兒「そんな遠遠い事をして居られぬ」不能做那麼遠遠的事情  
まはりばしー廻梯子(名) 螺螄梯  
まはりばん廻番(名) 輪流的班子  
まはりぶたい廻舞臺(名) 新戲臺  
まはりみち廻道(名) 遶道  
まはりもち廻持(名) 輪流用、輪流拿、輪流管  
まはる廻ル(四段自動) ①轉、輪、轉旋「車が廻る」車帖轉(chuan)「私の番が廻って來た」輪到我的班子了 ②遶灣兒、遶巡「巡查が町を廻る」巡查在街上巡查「公園を一廻廻る」在公園遶一個灣兒「地球が太陽の周圍を廻る」地

まひ

球環遶太陽的周圍、地球遶日而轉「この汽船は長崎へは廻らない」這隻輪船不遶長崎 ③周遊、滿「世界を廻る」周遊世界「遊び廻る」滿世界玩兒「搜し廻る」滿世界找「歩き廻る」滿世界走「酒が廻って來た」喝酒喝醉了「舌が廻らない」舌頭不伶俐、舌根子硬「首が廻らない」1. 扭不過頭來 2. 週轉不開、進退維谷「手が廻らない」1. 手背不過來(手背後) 手兒膽不出來(クダシ)  
まひ舞(名) 跳舞  
まひ麻痺(名) 麻木、發木、麻痺「良心が麻痺して居る」良心都喪盡了、良心麻木「麻痺劑」(イ) 麻藥、迷藥

まひ

まひあがる舞上ル(四段自動) 打捲

兒(埃ナ)、騰高(鳥ナ)、飛揚(珂)、飛騰(珂)、

まひぎり舞錐(四段他動) 三叉錐

まびく間引ク(名) ①摘出來 ②溺

兒女(生レタ子ヲ水ニ漬ケ殺ス)

まひニ舞子(名) 舞妓

まひニ迷子(名) 失路的孩子、失

迷的小孩子「迷子札」(フダ) 小孩

身上帶的姓名牌

まひこむ舞込ム(四段自動) 進來、送

來、飛進來「何處からか匿名書が

舞込んだ」不知道是誰送匿名信

來了 「遮簷、遮邊

まびさし目庇(名) 帽子的遮眼兒、

まひなひ路(名) 賄賂「賂を取る」

まひまふ

受賄賂「賂を使ふ」使賄賂

まひなふ賄フ(四段他動) 賄賂

まひまひつぶり舞舞螺(名) 蝸牛、

水牛兒

まひもどる舞戻ル(四段自動) 轉回來

まひる眞晝(名) 白日、白天、大清

白日

まふ麻布(名) 夏布、葛布、亞麻布

まふ舞フ(四段自動) ①跳舞、耍 ②打

澆兒、打盤兒「鳥が空に舞ふ」鳥

在天上打澆兒

まぶ間夫(名) 情人、姦夫

まぶか目深(名) 齊着眼「帽子を目

深に被る」把帽子齊着眼戴

まぶし蠶簿(名) 蠶山、蠶簿

「まぶし」(形志久語) 幌眼晴

まふふへ

一四九〇

「まぶしたてる」(下一段自動) 爭辯、

力辯、論辯 「粉に塗す」粘麪

まぶす塗ス(四段他動) 粘(chan)、粘

まぶた目蓋(名) 眼皮兒、眼瞼

まぶち目縁(名) 眼眶子

まぶる塗ル(四段自動) 粘(chan)、粘

「泥まぶれ」粘泥、一身的泥「血ま

ぶれ」粘血、一身的血

まへ前(名) ①前、前頭、頭裡「三年

前に一度來ました」三年前來了

一盪「前は河で後は山です」前頭

挨河後頭靠山「一番前の席に坐

る」在最頭裡的座兒上坐「公衆

の前で辱しめる」在大家跟前領

額他「今日お宅の前を通りまし

た」今天在您門口兒過來着

まへがき前書(名) 小引、首引

まへかけ前懸(名) 與まへだれ同

まへがし前貸(名) 先支給

まへかた前方(副) 從前、先頭裡

「前方彼は上海で商賣をして居た」

從前他在上海做過買賣「物價は

前方より少し安くなった」物價比

先頭裡賤一點兒來了

まへかど前廉(副) 同上

まへがみ前髮(名) 海兒髮、劉海

まへがり前借(名) 先支 「髮

まへきん前金(名) 與前金(きん) 同

まへだれ前垂(名) 油大襟、圍裙

まへのもの前物(名) 陰戶、陰門、

まへのよ前世(名) 前世 「戻

まへ

まへ

まへ

「今は五時十分前で、」現在差十分五點「少し前の方へ御出で下さい」再往前勻出一點兒來「前に進む」向前去、往前去「一ヶ月前から承って居ました」打一個月頭裡就聽見說過「書前」晌午頭裏「終列車の一つ前の列車に乗る」坐末盪車的頭一盪車「最後より一回前」在末尾的前一次②上回、前次、從前、從先、先頭裏、以前「前の先生は英國人でした」先頭裏的先生是英國人「あの人は前に遇つた事がある」我從前見過他一面「前に申上げた通り」照以前所說「前よりも多く酒を飲み出した」他喝酒比先頭裡更多了「前以てお断りしてお

「きます」先把醜話兒說在頭裡、以前先唱下「説下」③先、預先、先期、先事「前に用心をする」先事隄防「前に知らず」預先告訴「前に準備する」先期預備、早預備「今度來る時には前に手紙を下さい」下次您來先賞給我個信「彼とは東京に來る前から知合でした」我沒到東京之先已經和他認識的④陰門、下處、戻まへ前(接尾) 跟前、份兒「人前人」跟前「料理五人前」五份兒菜「腕前」能耐、技倆、本事まへいはひ前祝(名) 預賀、預祝まへうしろ前後(名) 前後まへおき前置(名) 引子

まへがき前書(名) 小引、首引  
まへかけ前懸(名) 與まへだれ同  
まへがし前貸(名) 先支給  
まへかた前方(副) 從前、先頭裡  
「前方彼は上海で商賣をして居た」  
從前他在上海做過買賣「物價は  
前方より少し安くなった」物價比  
先頭裡賤一點兒來了  
まへかど前廉(副) 同上  
まへがみ前髮(名) 海兒髮、劉海  
まへがり前借(名) 先支 「髮  
まへきん前金(名) 與前金(きん) 同  
まへだれ前垂(名) 油大襟、圍裙  
まへのもの前物(名) 陰戶、陰門、  
まへのよ前世(名) 前世 「戻

まへ

まへば前齒(名) 門牙  
 まへばらひ前拂(名) 先錢、先付  
 まへび前日(名) 前一天  
 まへぶれ前觸(名) 先聲、先聲明、先知會  
 まへまへ前前(副) 從先〔前前から云つて置いた〕從從先就說下了  
 まへもつて前以テ(副) 預先、先期、先事〔前以て用意する〕先預備、早預備、預先備辦〔先以て用心する〕先事預防、先事隄防〔先以て考へてからする〕先思後行、先想後作、預先思想然後辦理〔先以て知らせる〕預先告知、預先告訴一聲兒  
 まへやく前厄(名) 頭關煞

まへま

まへり前利(名) 預扣利息〔前利を取つて借す〕預先扣利息後借給  
 錢  
 まへわ前輪(名) 鞍橋子、判官頭  
 まへわたし前渡(名) 先付、先交  
 〔前渡金〕(キ) 先交的款、先付的銀子  
 マホガニー(名) (Mahogany) 桃花  
 まほし(形志久遠) 與まぶし同  
 まほふ魔法(名) 見まほふ條下  
 まほめつとけう麥哈默教(名) 回教  
 まほろし幻(名) 幻、幻想  
 まま儘(名) ①如意〔儘にならぬ世〕不能如意的世界、世上事不順心②隨、任〔心の儘にふるまふ〕任着意兒做事〔思ふ儘になさい〕

ま

隨便辦罷、隨你的便辦罷〔足の行く儘に行く〕任着意兒走、信馬遊繩(Kang) ③照、仍、依〔前の儘で變らない〕仍舊不變〔照舊・依舊・仍然・依然〕仍然不改④就那(這)麼、甚麼、甚麼、怎麼、怎麼〔其儘共處に置きなさい〕就那麼擱那兒罷〔有の儘を云ふ〕據實的說、有甚麼說甚麼、實說不諱〔聞いた儘をお話し致します〕我怎麼聽見怎麼告訴您〔靴のままお入り下さい〕請您就那麼穿着鞋進來罷〔苦しいと言云つた儘息(キ)が絶えた〕說了一句苦就這麼噁了氣了〔此ままで行くと……〕這麼一來就……、若這麼樣就……、長此以往〔着の

一四九二

ま

み着的儘で逃げた〕赤身逃跑了、光着眼子跑了  
 まま間(副) 往往、常、間或(chien)  
 〔それは間ある事です〕這是常有的事情、間或有之  
 ままおや繼親(名) 繼父母  
 ままこ繼子(名) 繼子、前生兒(先妻子)、前妻兒(同)、異母子(同)、前妻女(先妻ノ子)、前生女(同)、異母女(同)、異父子(先夫ノ子)、異父女(同上)  
 ままごと飯事(名) 做菜做飯玩兒  
 ままちち繼父(名) 繼父、後父、異父  
 「娘、異母、後媽  
 ままはは繼母(名) 繼母、後母、後  
 ままよ儘(感) 不管嘍、何妨〔儘よ後はどうともなれ〕不管嘍後來愛怎麼樣是怎麼樣罷

ま

まみ猫(名) 貓  
 まみゆ見ユ(下二段自動) 調、謁見  
 まみる塗ル(四段他動) 粘(chian)、黏  
 〔粉を塗る〕粘麪  
 まみる塗ル(下二段自動) 塗、粘(chian)  
 黏(血に塗れる)粘血  
 まむかひ真向(名) 正對面兒  
 まむき真向(名) 正面兒  
 まむし蝮蛇(名) 蝮蛇、毒蛇  
 まむすび真結(名) 死扣兒  
 まめ豆(名) 豆子  
 まめ肉刺(名) 疤、皰〔手に肉刺が出来た〕手上出了一個疤、手上起了水疱了〔足に肉刺を踏出した〕脚上磨了個疤  
 まめ忠實(名) 麻麻俐俐的、不惜力的、老實〔忠實に働く〕麻麻俐

ま

俐的做活〔忠實な男〕麻麻俐人兒〔口まめ〕嘴上活動  
 まめがら豆箕(名) 豆箕兒  
 まめざう豆藏(名) 多嘴多舌的人  
 まめざうめん豆素麵(名) 粉條子  
 まめつ磨滅(名) 磨滅、消磨 〔槍まめでつばう豆鐵砲(名) 玩意兒的  
 まめのこ豆粉(名) 豆粉  
 まめをどこ忠實男(名) ①麻麻俐人兒②好色的人  
 まもなく間無ク(副) 不大的工夫、一會兒的工夫  
 まもの魔物(名) 妖怪  
 まもり守(名) 守、守護、護身(身の守にピストルを持つ) 爲護身帶着手槍〔守を捨てて走る〕捨守而走〔守を失ふ〕失守

一四九三

まも

まもりがたな守刀(名) 護身刀  
 まもりがみ守神(名) 護身神  
 まもりぶくろ守袋(名) 裝護符的荷包  
 まもりふだ守札(名) 護符、護身符、符咒、守護符、鎮壓符、辟邪符、驅邪符 「神、護身佛」  
 まもりほんぞん守本尊(名) 護身  
 まもる守ル(四段他動) ①守、保衛  
 「城を守る」守城「國家を守る」保衛國家「操を守る」守貞、守節「規則を守る」守法、遵守章程「約束を守る」守約章「教を守る」遵守教訓「己の本分を守る」安分守己 ②看守、守護、保護「神は吾人を守り給ふ」神仙保護我們「犬は家を守る」狗看家

まやまよ

まや馬屋(名) 馬棚、馬號  
 (まやかす(四段他動)) 瞞、誑、騙  
 まやく麻薬(名) 麻藥、迷藥「麻藥でしびれさす」用麻藥麻  
 まゆ眉(名) 眉、眉毛「眉を開く」展愁眉「眉を作る」描眉、畫眉「眉を擧げる」愁眉、擧眉(文)  
 まゆ繭(名) 蠶繭  
 まゆげ眉毛(名) 眉毛  
 まゆじり眉尻(名) 眉角兒  
 まゆずみ眉墨(名) 黛、描眉毛的墨  
 まゆね眉根(名) 眉根子  
 まゆはき眉掃(名) 粉刷子  
 まよけ覽除(名) 避邪、避邪符(マヨケ)  
 まよはず迷ス(四段他動) 使迷、使惑「人の心を迷す」迷惑人心「邪術で人を迷す」拿邪術昏迷人

まよまり

まよひ(イ)迷(名) 迷「迷が醒めた」迷心醒(イ)「心の迷」心之迷惑、心裡游移不定  
 まよふ(四段自動)迷、迷惑「道に迷ふ」迷道、迷失道路、失了路了、迷了路了「女に迷ふ」迷女色「去就に迷ふ」是去是不去游移着不定「利の爲に心が迷ふ」叫利把心迷惑住了、爲利所惑、利慾熾心  
 まら魔羅(名) 陽物、屨子  
 まらう(イ)客(名) 客、客人  
 まらそんきやう(イ)客(名) 客、客人  
 まらそんきやう(イ)客(名) 客、客人  
 競走、馬拉松賽、馬拉敦競走  
 マラリヤ(名) (Malaria) 瘧子、瘧  
 まり(イ)毬(名) 毬兒、行頭  
 まり(イ)よく(イ)覺力(名) 魔力

まる

まる丸(名) ①圈「丸をつける」圈圈兒「丸を書く」圈一個空圈 ②全、整個兒、團圓個兒「丸焼け」全燒、燒盡「丸のまま煮る」整個兒的煮、團圓個兒的煮 ③錢「丸にこまる」短錢、錢緊 ④城「本丸」牙城  
 まる虎子(名) 與おかは同  
 まる丸(接尾) 添人名船名所用之接尾語、例如春日丸高砂丸係船名、牛若丸蟬丸係人名  
 まるあらひ丸洗(名) 全洗、滿洗  
 まるうち丸打(名) 滾絲子  
 まるおび丸帶(名) 全幅做的帶子  
 まるがはら丸瓦(名) 桶子瓦  
 まるがち丸勝(名) 全勝  
 まるがっぱ丸合羽(名) 斗篷

まる

まるがんな圓飽(名) 圓又兒飽子  
 まるき丸木(名) 整木頭「丸木橋」  
 (丸)獨木橋、榎「丸木船」(丸)榎木艇、獨木舟  
 マルキシズム(名) (Marxism) 馬克斯派社會主義「マルキスト」馬克斯派社會主義者  
 まるきり丸切(副) 全部、一概、全然、滿「洪水で作物は丸切駄目になった」發大水莊稼全部糟了糕了「丸切知らない」一概不懂「丸切構はない」全然不管  
 まるこ丸子(名) 龍睛魚  
 まるごし丸腰(名) 不帶刀  
 まるし圓シ(形久活) ①圓、團「圓い顔」圓合臉兒「月が圓い」月亮圓「圓い龍形の模様」團龍的花樣

まる

「月が圓くなる」月亮團圓「眼を圓くする」睜圓了眼睛、睜着眼睛、瞪着眼睛 ②千妥萬當、平平安安「相談が圓く纏った」商議的千妥萬當的了結了「永年の葛藤も圓く納った」好些年的纏纏平平安安的解開了  
 まるた丸太(名) 杉稿  
 まるだし丸出(名) 全露出「乳も臍も丸出で寐て居る」咄咄兒和肚臍全露着睡覺「田舎辯丸出」全然土腔土調  
 まるで丸テ(副) 簡直的、好像似、全部「今日は涼くて丸で冬の様です」今天涼簡直的是冬天的樣子「電燈が明くて丸で晝の様だ」電燈亮的好像白天似的「話が丸



まる

で違つて居る」話簡直的不對岔  
 兒「あの人には丸で氣狂の様です」  
 他簡直的是瘋子似的  
 まるどり丸取(名) 滿得、滿拿  
 まるのみ丸吞(名) 整吃、囃圖(棗  
 を丸吞にする) 囃圖個兒吃棗兒  
 「教師の講義を丸吞にする」 囃圖  
 個兒記着教習的講義  
 まるはだか全裸(名) 光身子、全  
 光着、赤身露體、赤條條的、一  
 絲不掛  
 (まるほちや(名) 圓合臉兒  
 まるまけ丸負(名) 全輸、滿輸  
 まるまげ丸鬚(名) 太太梳的頭髻  
 (まるまる丸丸(副) ①全然、簡直  
 的「それは丸丸無根の事です」那  
 全然是沒根兒的事情 ②噹噹噹

まるまれ

嚙的「丸丸と肥る」噹噹噹的  
 胖  
 まるみ圓狀(名) 圓分分的、圓忽  
 (まるめこむ丸込ム(四動他動) 耍、  
 播弄、牢籠、籠絡、羅致「手代が  
 主人を丸込む」夥計耍東家「口先  
 で丸込む」拿好話賺 (Savarn) 人、  
 甜言密語的牢籠人「たやすく彼  
 に丸込まれた」容易入了他們的  
 牢籠  
 (まるめる丸メル(下一段他動) ①同  
 上 ②弄圓、揉「手で圓く丸める」  
 用手揉成圓球兒  
 まるめる椀椀(名) 椀椀  
 まるやき丸燒(名) 整個兒的烤  
 まるやけ丸燒(名) 全燒、燒盡  
 まれ稀(形) 罕、稀、少有、稀少、稀

まろまわ

罕、稀奇、鮮少「かう云ふ事はこ  
 く稀です」這麼樣的事情實在少  
 有、這是罕見的事情「稀に三子  
 を生む、こともある」一胎生三個  
 小孩兒實在稀少「近頃稀な大  
 風」近來沒有的大風「稀に聞く」  
 罕聞「稀に見る」罕見、少見「稀に  
 得る」罕得「稀ではない」不足罕  
 まろがす轉ス(四段他動) 與ころが  
 す同  
 まろし圓シ(形久活) 與まるし同  
 まろね丸寐(名) 渾身兒臥睡覺  
 まろばす轉ス(四段他動) 與ころが  
 す同  
 まろぶ轉ブ(四段自動) 與ころぶ同  
 まわう覺王(名) 魔王  
 まわた真綿(名) 綿子、絲綿

まるまん

まるりす進ス(下一段他動) ①奉上、  
 奉送 ②添在動詞之下表恭敬之  
 意「思ひ進す」伏惟(文)  
 まるる參ル(四段自動) ①去、往「私は  
 天津まで參ります」我到天津去  
 ②拜廟「土産神へ參る」拜土地廟  
 去 ③吃、喝、穿 ④輸、敗、投降  
 (hsiang) 「此問題には少々參つ  
 たなあ」這個問題有點兒扎手  
 「あの男は餘程細君に參つて居る」  
 那個人叫媳婦兒給壓下去了  
 まをここ間男(名) 情人、姦夫  
 まん幔(名) 幔  
 まん番(名) 運、運氣、造化「番が悪  
 い」沒運氣、沒造化  
 まん萬(名) 萬  
 まん滿(接頭) 整、足「滿五年」整五

まん

年、五足年「滿六歲」整六歲「滿  
 二十五年以上」年滿二十五歲以  
 まんいう漫遊(名) 遊歷  
 まんいち萬一(名) 萬一、萬分之  
 一「萬一を報する」報於萬一  
 まんいち萬一(副) 萬一、倘然、倘  
 或、倘若  
 まんいん滿引(名) ①滿拉(マ) ②滿  
 まんえつ滿悅(名) 大悅  
 まんえん蔓延(名) 蔓延  
 まんかい滿開(名) 盛開  
 マンガン滿淹(名) (Manganes) 錳  
 「滿淹土」華得、錳土  
 まんかんしよく滿艦飾(名) 把船  
 結彩、以旗飾艦  
 まんき慢氣(名) 自滿、自大  
 まんき滿期(名) 滿限、限滿「契約

まん

が滿期になった」合同滿了限了  
 まんぐわ漫畫(名) 漫畫、笑畫、諷  
 畫  
 まんぐわい滿會(名) 末月兒會  
 まんぐわん滿願(名) 還滿了願了  
 まんげつ滿月(名) 滿月、望月、圓  
 月亮  
 マンゴ(名) (Mango) 芒果、椽果、  
 まんこう滿腔(名) 滿腔「滿腔の同  
 情を寄す」表最熱切的同情「滿腔  
 の熱血を吐露する」盡情吐露、披  
 肝瀝膽的說  
 まんざ滿座(名) 在坐的衆人  
 まんざい滿載(名) 滿載、裝滿  
 まんざい萬歲(名) ①萬歲 ②念喜  
 歌兒的  
 まんさう蔓草(名) 蔓草

まん

まんさく 満作(色) 豊收  
(まんざら) 簡直的、全然(ま  
んざら厭でもないらしい)不是簡  
直的厭惡的樣子(まんざら無能  
ではあるまい)我看他不是全然  
沒能耐的人

まんさん 蹠蹠(名) 蹠蹠  
まんじ 卍(名) 卍字、佛心字  
まんじうもじ 滿洲文字(名) 滿字  
まんしん 滿身(名) 滿身  
まんしん 慢心(名) 自大、自滿  
まんする 満水(名) 水滿了  
まんせい 慢性(名) 慢性  
まんぜん 漫然(副) 漫然  
まんぞく 満足(名) 心滿意足、心  
足、滿意、満足、稱意(此條件に  
は先方も満足するでせう)在這個

まん

條件上前路也滿意罷(人間は誰  
でも現状には満足出来ない)人是  
無論誰對於現状不能滿足的  
〔年が若いから満足の事は出來な  
い〕他還年輕所以事情辦不到  
好處

まんだう 滿堂(名) 滿堂、関堂  
まんだらげ 曼陀羅華(名) 曼陀羅  
花、醉仙桃、伏茄  
まんぢやう 滿場(名) 滿場(滿場一  
致)〔イチ〕滿場一致、無一異議、  
衆志相合、衆人一心、全體贊  
成、衆口一詞贊成(滿場の喝采)  
滿場喝彩、齊聲叫好兒(滿場ひっ  
そりとして)滿場肅靜、合座寂  
然(滿場の諸君)在坐諸位  
まんぢやく 蹠蹠(名) 蹠、欺蹠、蹠

まん

味、蹠混  
まんぢゆう 饅頭(名) 饅頭  
まんでう 満潮(名) 長潮  
まんでん 満點(名) 滿點、滿分  
まんでん 満天(名) 滿天  
まんでんか 満天下(名) 滿天下

マントル(名) (Mantle) 斗篷  
マントル(名) (Mantle) 斗篷  
(ガス)紗帽、紗罩燈、自來火罩、  
煤氣網罩、燃罩  
まんなか 眞中(名) 中間、當中、當  
心、中心(眞中に取圍む)圍在當  
心(河の眞中)河當中、河中間、  
河心  
まんねん 萬年(名) 萬年(萬年筆)  
(E)自來水筆、自來墨水筆、貯  
墨筆

まん

まんばう 萬車魚(名) 圓頭魚  
(まんばち 萬八(名) 虛假  
まんびき 萬引(名) 舖店扒手  
まんびつ 漫筆(名) 漫筆  
まんびやう 萬病(名) 萬病、百病、  
諸病(萬病藥)〔ヤ〕萬病藥、萬病  
靈效藥、治百病的藥  
まんぶく 満腹(名) ①満腹、満肚  
子(満腹の不平)満肚子委曲(満  
腹の經綸)満腹經綸②吃飽(も  
う満腹しました)已經吃飽了  
(まんべんなし 萬遍無シ(形久通) 無  
缺無漏的、普律的(萬遍なく交  
際する)無缺無漏的交往(萬遍  
なく知らせる)普律的知會  
(まんま飯(名) 飯  
まんまく 幔幕(名) 圍幕

まん

まんまる 眞圓(名) 很圓、圓圓兒  
的(眞圓く取巻く)圓成了一大  
まんまん 漫漫(副) 漫漫  
まんめん 満面(名) 満面、満臉(満  
面に笑を含む)満面喜色、満面  
歡容、満面春風  
まんもく 満目(名) 満目 「地下象  
マンモス(名) (Mammoth) 古象、  
まんろく 漫録(名) 漫録 「座  
まんるん 満員(名) 人滿、額滿、滿  
み  
み身(名) ①身、身子、身體(身が輕

み

い)身子靈便(身が重い)1.身子  
蠢笨2.有身子、有身孕(身を思  
ふ)顧身(寒風身に染む)寒風刺  
體(身を賣る)賣身(身を隠す)藏  
身(身を固める)保護身體、保衛  
自己(身を寄す)寄身(身の程を  
知らぬ)不知身分(身に餘る恩)  
身外之恩、格外之恩(牛肉は身  
につきます)牛肉補身(身を碎く)  
粉骨碎身(身を切る思がする)難  
受的和割身上的肉一樣、刺心  
的難受(身二つとなる)分娩、落  
生、生産②自己(一つ身のため又  
人のため)一來是爲自己二來是  
爲人家(全く我身に覺えない事  
です)我一點兒也不知道的事  
情(身から出た鏹)禍由自招、自



みか

みかぎり見限(名) 撒手(見限を付ける) 打算撒手

みかぎる見限(四段他動) 撒手(早く見限ったので大した損はなかった) 早早兒的撒手了所以沒能

散受大損害(此處が見限り處だ) 現在正是撒手的時候兒

みかく味覺(名) 味覺、味官、嘗官、嘗覺

みかく見掛(下二段他動) 剛看(本を見掛けて止める) 剛一看書就

擱下了瞧不見(何處にも見掛けませんでした) 那兒都瞧不見了

みがく研(研ク) 磨(磨ク) 琢(四段他動) 研、磨、琢、刷、練(刀を研ク) 磨刀(齒を磨ク) 刷牙(玉を琢ク) 磨玉

みかばす見交(四段他動) 臉兒對臉兒

みがはり身代(名) 替身(身代に立

みかへす見返(四段他動) ①回頭看、扭頭看 ②他看我我又看他

③爭氣(ハリ)

みかへり身返(名) 翻身

みかへる身返(四段他動) 回頭看、扭頭看

みがまへ身構(名) 架子(身構する)

みから身柄(名) 身分

みかん味感(名) 味覺、味官

みかん密柑(名) 橘子、紅橘

みき幹(名) 幹、樹本、樹榎兒、樹

みき御酒(名) 供神之酒(身、樹幹)

みぎ右(名) ①右(右の方) 右邊兒、

みかみき

みか

「靴を磨く」刷靴子(木賊(サク)で磨く) 拿銼草磨(腕を磨く) 練能耐

「磨いて光澤を出す」磨光、磨亮、磨明、擦光(玉琢かざれば器を成さす) 文 玉不琢不成器

みかけ見掛(名) 外面、外表、外觀、外貌、外面皮兒(人は見掛によらない) 人不可貌像(見掛がよい) 外面兒好、外觀佳美、金玉

其外、外美(これは見掛はよいが丈夫でない) 這個東西看着好可

不大結實(彼は見掛は大變溫和しい) 看他外面兒很老實、看他

外表甚溫和(見掛倒) 外面兒光、外面架子、死擺架子

みかげ御影(名) 與みえい同(御影石) 花崗石

右首、上首(其右に出づる者なし) 無出其右(多) ②以上(右の通

相違無之候也) 以上所具是實

みきき見聞(名) 見聞

みきく見聞(四段他動) 見聞

みぎは汀(名) 汀、渚

みきはむ見極(下二段他動) ①看到

②研究到 ③鑑定、辨別

みきり見切(名) 撒手(よい加減に見切を付ける) 辦到合宜的時候

撒手(見切物) ①賤賣的貨、減價賣的貨

みぎり砌(名) ①砌(時、時候)

みきる見切(四段他動) ①看完了

「あの本はまだ見切りません」那

一本書我還沒看完哪 ②棄、捨、扔、撒手(あの仕事はよい加減に

みき

みか

みかた味方(名) 一黨的人、我黨、

黨與、同黨的人、我們這邊兒

「味方に入れる」叫他入我黨(味方をする) 合黨、參與、左袒、援助(味方がない) 沒有黨與

みかた見方(名) 看法、看的(あの

醫者は見方が間違つて居る) 那位

大夫看病看錯了(顯微鏡の見方が悪い) 不會看顯微鏡(見方によつてどうにも見える) 怎麼樣看怎

麼樣兒

みかづき三日月(名) 蛾眉月、月芽兒、月弓、彎月 「皇上、皇帝

みかど御門(名) ①宮門 ②皇宮 ③

みかねる見兼(下二段自動) 看不過

見切つた方がよい) 那件事到了

合宜的時候兒撒手倒好 ③減價

みくじ御籤(名) 神籤 「賣、賤賣

みくし御髮(名) 頭髮(悉)

みくだす見下(四段他動) ①藐視、

小看、瞧不上、瞧不起 ②往下看

「退婚書

みくだりはん三行半(名) 休書、

みくづ水屑(名) 水末末子

みくに御國(名) 我國(御國風) ①

1. 日本國風 2. 日本文學(御國讓) 讓位

「みくびる(四段他動) 與見下す ①同

みぐるし見苦(形容久活) 不體面、

不好看、不是樣子、不像樣子

みくわん味官(名) 與みかく同

みくわん未完(名) 未完、還沒完



みす

魂、叫人心醉

みすかす 見透ス(四段他動)

看透、看

破、窺破(内兜(ウチカ)を見透す) 看

透他的心機(手段を見透さる) 手

段被人窺破

みすぎ身過(名)

生業、生意

みすぎす 見過ス(四段他動)

看過(知

らすに見過す) 不知不覺的看過

了(これは見過すことは出来な

い) 這個事情我們看不過

みずしらず 不見知(名)

生人、素

不相識的人

みすぢのいと三筋糸(名)

絃子

みすつ 見棄ツ(下二段他動)

棄、抛、

抛、棄嫌、退棄(妻子を見棄てる)

抛妻子(情として見棄てる事は出

来ない) 情不能抛下(人は彼を見

みつみせ

棄てて相手にしない) 人都棄嫌

不管他(何卒御見棄無きやう願上

候) 尙望不我退棄

みづぼつてん 不見轉(名)

浪妓女

みすほらし 見睨シ(形志久活)

不好

看、不體面

みすます 見澄ス(四段他動)

看透

みすみす 見ス見ス(副)

眼睜睜的

みせいねん 未成年(名)

未遂、未成(強姦

未遂) 強姦未遂

みせ店(名)

店、商店、舖子、店舖

みせいねん 未成年(名)

未成年、未

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

及歳、没成年、没成人、没成丁

みせ

年的、没成人的、没成丁的

みせいひん 未製品(名)

没細做的

みせかく 見七掛ク(下二段他動)

粧做、

假粧(偽物を本物に見せ掛ける)

使假的粧做真的(進撃すると見

せ掛けて退却した) 假粧往前攻

撃退回去了(人前では働く様に

見せかける) 好作眼面前兒的、

獻勤兒、賣勤兒

みせさき 店先(名)

舖子的前面兒

みせしめ 懲戒(名)

震慑人、警戒

人、嚇唬人不叫做(みせしめの

爲の刑) 警戒人的刑罰(一人を罰

して衆人のみせしめにする) 懲一

警百

みせだな 店棚(名)

與みせ同

一五〇六

(みせびらかす(四段他動) 賣弄、誇

示、顯、亮、顯白、表白(腕前を見

せびらかす) 顯本事、顯白能耐、

表白能耐、賣弄手段(様子を見

せびらかす) 愛擺架子、鬧排場

みせびらき 店開(名)

開張、開市

みせもの 見世物(名)

玩意兒廠

みせん 身錢(名)

親錢(百分)

みせん 未然(名)

未然(患を未然に

防ぐ) 防患於未然、遏其萌芽、

遏止亂萌、壓住禍害的苗頭

みそ味噌(名)

醬(味噌をつける) 出

醜、做領額(味噌漉)

馬尾籬(味噌汁)

醬湯(味噌漬)

醬菜、醬肉(味噌齒)

虫吃

の奶牙

みぞ溝(名)

溝(柱ナドニ

槽、槽

みせみそ

子、凹線(溝を掘る) 1. 挖溝 2.

雕上槽子

みぞ(名) 針鼻兒(針)

みぞう 未曾有(名)

未曾有的、前

代未聞的、破天荒的、做新記錄

みぞおち 水落(名)

心窩兒

みぞか 三十日(名)

三十兒

底

みそかごと 密事(名)

「密的事情」通姦

みそぎ 襖(名)

「密事、秘

みそささい 鷓鴣(名)

鷓鴣、巧婦

みそぢ 三十(名)

三十

みそなはす 見行ス(四段他動)

覽

みそひともし 三十一文字(下二段他動)

日本短歌由三十一個字母而成

故去

みそむ 見初ム(下二段他動)

初會、

みそ

初見(看上) 娘を見初める) 看

上一個姑娘

みそる 見逸ル(名)

眼拙(これは御

見逸れして失禮しました) 我眼拙

實在失禮了、恕我實在眼拙

みぞれ 霰(名)

霰、雨雪(霰が降る)

雨雪交加、雨雪霏霏

みだ彌陀(名)

阿彌陀佛、彌陀

みだし 見出(名)

目錄、總目、綱

目、標由、題目、標題(書物の見

出) 書目的目錄、書的總目(文書の

見出) 文書事由、文書案由、文

書標由

みだしなみ 身簪(名)

婦人打扮

みたす 満ス(四段他動)

弄滿、滿上、

補上(コップに水を満す) 玻璃杯

裡頭滿上水(需要を満す) 供其

みそみた

一五〇七

みた

所需、補其不足

みだす 亂ス(四段他動)

亂、擾亂、攪亂、混亂、紛亂(秩序を亂す) 擾亂秩序、紊亂秩序(順序を亂す) 亂次序(安寧秩序を亂す) 擾亂公共安寧秩序、攪亂公安(風俗を亂す) 傷風敗俗

みだす 見出ス(四段他動)

看出來、看起來(小説を見出すときりがない) 一看到小説來就沒完(誤を見出した) 看出錯兒來了

みたつ 見立ツ(下二段他動)

① 送行 ② 看挑(人物を見立てる) 挑選人材 ③ 鑑定、斷定、評定、診斷(偽物だと見立した) 鑑定是假冒品 みたて 見立(色) ① 送行 ② 看挑(あの人は買物の見立が上手だ)

みた

他買東西會挑選 ③ 鑑定、斷定、評定、診斷(二人の醫者の見立が違ふ) 兩位大夫診斷的不一樣

みたま 御靈(色) 靈、亡魂、靈魂(御靈代) 靈位(御靈屋) 靈堂、祠堂

みだら 淫(色)

淫、貪色、貪淫、好色(淫) 淫な女 蕩婦、淫奔無耻的女人(淫事) 淫事

みだりがはし 濫シ(形志久語) 猥褻的樣子

みだりに 妄ニ(二) 妄、擅(妄に人を殺す) 妄殺人(妄に金儲を考へる) 妄想發財(妄に公園の樹木を折るべからず) 不准擅折園木(園に境内に立入るべからず) 嚴禁擅進界内

みだみち

一五〇八

みだる 亂ル(下二段自動)

亂(國家が亂れる) 國家亂(亂れて麻の如し) 亂如麻(心亂る) 心亂、心思擾亂、心神紛擾(秩序が亂る) 秩序紊亂(會計が亂れる) 賬目紊亂、會計不整理

みだる 亂ル(四段他動)

與みだす同

みだれ 亂(色) ① 亂(マル) ② 亂子

みだれがき 亂書(色) 亂寫

みだれがみ 亂髮(色) 亂頭髮、頭髮披散着

みち道(色) ① 道、道理(人の道) 人之道(朋友に交る道) 交朋友の道理 ② 道、路、道兒、道路、街道、道途(一條の道) 一條道、一條路、一股道兒(道を歩く) 走道路(道を急ぐ) 趕路 ③ 方法、法子

みちしほ 滿潮(色) 長潮  
みちじゆん 道順(色) 順路  
みちしるべ 路導(色) ① 路標 ② 帶道、引道、引路、導引、指引  
みちすう 未知數(色) ① 未知數 ② 未可知  
みちすがら 途上(色) 沿路(途上風景を眺める) 沿路上看風景  
みちすぢ 道筋(色) ① 道路、街道  
② 路由、經由地點  
みちついで 道次手(色) 便道(道次手にお伺した) 便道拜訪來了  
みちづれ 路連(色) 搭幫走的人  
みちのり 路程(色) 路程 「傍邊  
みちばた 路端(色) 道傍、道邊、道  
みちばらひ 道拂(色) 喝道  
みちび道火(色) 引信、引火管(道

みち

計、道(これより外に道がない) 除這以外沒別的法子(生活の道が立つ) 有了生活之計了、有養生之計(營業の道) 謀生之道 ③ 路程(三里の道) 三里的路程、三里地  
みちあんない 路案内(色) ① 帶道、引道、領道 ② 帶道的、引道的(案内)  
みちかし 身親シ(形久語) 近親戚本  
みちがふ 見違フ(下二段他動) 看錯(それは貴下が見違へたのです) 那您看錯了(人を見違へて居た) 認錯了人了(彼は見違へる程大きくなつた) 他長大了我不認得  
みちくさ 路草(色) 在半道上玩兒  
みちしば 道芝(色) 道傍草

みち

みちしほ 滿潮(色) 長潮  
みちじゆん 道順(色) 順路  
みちしるべ 路導(色) ① 路標 ② 帶道、引道、引路、導引、指引  
みちすう 未知數(色) ① 未知數 ② 未可知  
みちすがら 途上(色) 沿路(途上風景を眺める) 沿路上看風景  
みちすぢ 道筋(色) ① 道路、街道  
② 路由、經由地點  
みちついで 道次手(色) 便道(道次手にお伺した) 便道拜訪來了  
みちづれ 路連(色) 搭幫走的人  
みちのり 路程(色) 路程 「傍邊  
みちばた 路端(色) 道傍、道邊、道  
みちばらひ 道拂(色) 喝道  
みちび道火(色) 引信、引火管(道

みち

火繩(ナ) 導火線、引火線  
みちびく 導(四段他動) ① 導、引路、引道、帶道、領道(導き入れる) 引進、帶進、領入、領進 ② 訓導、教導  
みちぶしん 路普請(色) 修街道  
みちまどひ 路惑(色) 失路、走岔道  
みちみち 道道(色) ① 一道兒上(道道話しながら行く) 一道兒上說着話走 ② 各路(道道の人に聞く) 和各路的人打聽  
みちゆき 道行(色) ① 走道路 ② 次序 ③ 男女勾搭上走、誘女私逃、拐跑了姑娘、拐女私奔  
みぢん 微塵(色) ① 微塵(微塵に碎けた) 粉粹 ② 絲毫(不正の心は微

みつ

塵もない」絲毫也沒有不良的心

みつ 蜜(名) 蜜

みつ 密(名) 密

みつ 三ツ(名) 三個

みつ 滿(四段自動) 滿、充、充足、

盈、充滿、充塞「月滿れば虧く」

月盈則虧「月滿ちて男の子が生

れた」够月兒生了男孩子了「任

滿」任滿、俸滿「食口に満たす」

食不充口「悲さ胸に滿つ」滿心

裡悲哀「車馬道に滿つ」車馬充

塞街道上

みつ 滿(下二段他動) 滿、充

みつ 針孔(名) 針鼻兒

みつ 水(名) 水「水に流す」付之流

水「水も漏さず」很親密「水を差

す」離間

みつ

みづあか 水垢(名) 水銹

みづあげ 水揚(名) ①(鹽)卸貨、起

貨②(鹽)破瓜、破貞、破身③

(妓女)開包 「心線

みづあさぎ 水淺葱(名) 竹根青、葱

みづあそび 水遊(名) ①游水②弄

水、玩水、拿水玩兒

みづあたり 水中(名) 水傷

みづあび 水浴(名) ①身上澆涼水

②浮水(水オ) ①油②燈油

みづあめ 水飴(名) 糖水兒

(みづ)いらす 水不入(名) 沒有外人

みづいれ 水入(名) 硯水盒兒

みづいろ 水色(名) 西湖色

みづうみ 湖(名) 湖

みつうん 密雲(名) 密雲

みつ

みづおしろい 水白粉(名) 水粉

みづおち 水落(名) 心窩兒

みづおと 水音(名) 水聲

みづかう 密行(名) 密密的巡查

みづかう 密航(名) 私自出洋、密航

みづかがみ 水鏡(名) 照水做鏡

みづかき 水掻(名) ①鴨脚皮、蹼

②明輪葉(汽船)

みづがき 瑞籬(名) 神廟的柵欄

みづかけ 水掛(名) ①澆水(草花ナ)②

兩個人撩水(二人ガ水ヲ)「水掛論」

(一) 抬死槓

みづかげん 水加減(名) 水的多少

みづかさ 水嵩(名) 水量

みづかしやうぐん 三日將軍(名) 五

日京兆

一五一〇

みつかぢ 三角(名) ①三稜、三角

なづかね 水銀(名) 水銀

みつかばうず 三日坊主(名) 三天半

的新鮮

みづがめ 水瓶(名) 水缸

みづから 自(副) 自、自己、自各

兒、親自

みつき見付(名) 外面、相貌

みつぎ貢(名) 貢

みつぎ密議(名) 密議

みづぎは 水際(名) 水沿、水邊「水

際立つ」顯眼

みつぎもの 貢物(名) 貢物、土貢

「貢物を献上する」進土貢

みづぎれ 水切(名) 短水

みつ

みつく 見附ク(四段他動) 眼熟

みつく見附ク(下二段他動) 看出來、

找出來「搦摸がすらうとする所

を巡查に見附けられた」小絡正

摸人家的東西叫巡警給看出來

了「誤を見附けた」看出錯兒來

了「儲口を見附けた」看出好事

(便宜)來了

みつぐ見繼グ(四段他動) 接濟、供

給、幫助「嫁の里から見繼ぐ」從

娘家接濟「金を見繼ぐ」幫錢、幫

助銀錢「彼は家へ金を送らす却

つて家から彼に見繼いで見る」他

不能往家裡帶錢家裡倒還得供

給他錢

みづくさ 水草(名) 水草

(みづ)くさい 水臭イ(形容詞) 淡、冷

みつ

淡「味が水臭い」口味淡「親友で

ありながら水臭い仕打だ」雖然說

是親友可是待我太冷淡「跡

みづぐき 水莖(名) 筆「水莖跡」筆

みづぐし 水櫛(名) 抿子(支那婦ハハ)

みづぐすり 水藥(名) 水藥

みづくち 兎缺(名) 豁子、劉唇子

みづぐるま 水車(名) 水車

みづくろひ 身繕(名) 打扮兒

みつくらふ 見繕フ(四段他動) 瞧「何

でも善い物を見繕って買って來い」

無論甚麼好東西瞧着買罷

みつぐわ 密畫(名) 工筆、恭筆

みつぐわい 密會(名) 密會、桑中之

約、桑間濮上之約

みづぐわし 水菓子(名) 鮮果子、

水果「水菓子屋」鮮果子舖

みつ

一五一一



みつ

みつけ見附(名) ①看出来②城門  
 みづけ水氣(名) 水頭兒、汗水兒  
 「此梨は水氣が多い」這個梨水頭  
 みつけい密計(名) 密計 「兒多  
 みづけむり水烟(名) 水花兒  
 みづげんか水喧嘩(名) 農家爭水  
 みつご三子(名) ①一胎三子②三子  
 を生む③一胎生三子④三歲的小  
 孩子⑤三子のたましひ百まで⑥七  
 みつご密語(名) 密言 「歲到老  
 みつご稚子(名) 嬰兒  
 みつごく密告(名) 賣底、報風、知風  
 報信、密告、告密(密告者)(シヤ)  
 賣底的、報風的(あの強盗どもは  
 密告する人が有つて役所から捕縛  
 にいった)那夥子明火有人賣底  
 衙門把他們拿了去了

みつ

みづこほし水翻(名) 倒剩茶的壺  
 みづさかづき水杯(名) 離別酒  
 みづさき水先(名) 船路、航路(水  
 先案内)(シヤ)引水的、帶水的、  
 領港師(水先案内料)(シヤ)引水費  
 「水先案内をする」給：引水、給  
 引港、給：領港  
 みづさし水差(名) 水壺  
 みつぎたう蜜砂糖(名) 黑蜜、糊糖  
 みつし密使(名) 密使、密員、密人  
 みつし密旨(名) 密旨  
 みつじ密事(名) 密事  
 みづしごと水仕事(名) 厨房活兒  
 みつしつ密室(名) 密室、密房  
 みつしふ密集(名) 密集、靠攏(密  
 集隊)(シヤ)密集隊、靠攏隊  
 みづしめ水仕女(名) 厨房的老媽

みつ

みっしやう密娼(名) 暗門子、暗吃  
 みっしやう密商(名) 做私買賣的  
 みづしやく水尺(名) 水準  
 みつしよ密書(名) 密書、密函  
 みづすぢ水筋(名) 水的流路  
 みづすまし水澄(名) 賣油的賣糖  
 的、水胆、水馬  
 みつせい密生(名) 密生  
 みつせう密詔(名) 密諭  
 みつせつ密接(名) 密接、緊接(密接  
 な關係)密接的關係 「城  
 みづせめ水攻(名) 水計攻城、灌  
 みづせめ水責(名) 用水拷訊  
 みづた水田(名) 水田 「弱秀  
 みつたろう蜜陀僧(名) 蜜陀僧、鉛  
 みづだま水玉(名) ①水花兒②水

みつ

珠兒  
 みづたまり水溜(名) 水坑、水窪  
 みづだめ水溜(名) 太平桶(桶水)  
 みつだん密談(名) 密談  
 みづち蛟(名) 蛟  
 みつちやく密着(名) 密合  
 みづちやや水茶屋(名) 茶攤兒  
 みつづ密通(名) 私通、通姦、勾  
 通、暗通  
 みづつく水漬ク(四段他動) 水淹着、  
 水漬了、水沾了、水浸了、水傷  
 了、水濕了  
 みつづけ蜜漬(名) 蜜饈的  
 みづつほい水ホイ(形久活) 淡、有汁  
 水的、汁液多的  
 みつてい密偵(名) 密訪、密探  
 みづでっばう水鐵砲(名) 水槍

みつ

みつと密度(名) 稠度、厚薄、濃  
 淡、密度、密率 「壺、更漏  
 みづどけい水時計(名) 漏刻、漏  
 (みつともない(形久活) 與みともな  
 し同  
 みづとり水鳥(名) 水禽、水鳥  
 みづなし水梨(名) 白梨  
 みづなは水繩(名) 水準 「兒  
 みづぬき水拔(名) 溝眼、流水口  
 みづのあわ水泡(名) 水泡(水泡と  
 なる)付之流水  
 みづのえ壬(名) 壬 「道路  
 みづのて水手(名) ①水路②運水  
 みづのと癸(名) 癸  
 みづのみ水呑(名) 玻璃杯(水呑百  
 姓)(シヤ)郷下佬黎民  
 みつばい密賣(名) 私賣(密賣淫)

みつ

與いんばい同  
 みづばかり準(名) 水準  
 みづばき水吐(名) 消水溝  
 みづばち蜜蜂(名) 蜜蜂  
 みづばな水鼻(名) 清鼻涕  
 みづばれ水腫(名) 水腫  
 みづひき水引(名) ①圍幕②草  
 名、金線草③繫禮物之紅白線  
 (支那ニテハ  
 ハ用ヒズ)  
 みづひたし水漬(名) 水漬  
 みづぶ密夫(名) 情人、姦夫 「人  
 みづぶ密婦(名) 外家、有交情的婦  
 みづぶう密封(名) 密封、嚴封  
 みづぶくろ水袋(名) 魚水胞、魚  
 みづぶくれ水脹(名) 水腫 「肚  
 みづぶね水船(名) ①運水船②水  
 槽③養魚船

みつ

みつべい密閉(名) 密閉 「別名  
みつほのくに瑞穂國(名) 日本國  
みつほう密謀(名) 密謀  
みつまき水撒(名) 撒水、潑水  
みつまた三叉(名) ①三叉 ②黃瑞  
みつみつ密密(副) 密密的 「香  
みつみづし瑞瑞シ(形志久活) 少美、  
少嫩  
みつむ見詰ム(下二段他動) 「眼看  
みつむし水蟲(名) ①水蟲子 ②癩、  
脚癬(疔、脚蛙(疔))  
みつめ三目(名) 三朝(三目錐)(ギリ)  
1.三稜錐 2.三叉鑽頭(三目小  
僧)(コリ) 三眼的怪物、馬王  
みつもの水物(名) 流動物  
みつもり見積(名) 估價、核算、打  
算、估算(見積書)(ガキ) 估單

みつ

みつもる見積ル(四段他動) 估、估  
量、估算、估計、料估、概算、預  
計、核算、打算(先づ費用を見積  
る) 先把費用打出來(代價を見  
積る) 估出價錢、估量價錢、打  
量價錢、估價  
みづや水屋(名) ①水屋子(水ヲ賣ル所)  
挑水的(水賣) ②在神廟洗手的亭  
みつやく密約(名) 密約 「子  
みつゆにふ密輸入(名) 脫漏進口、  
偷漏不上稅進口、私自進口、私  
運、走私(密輸入品)(ヒシ) 私貨  
みづら角髪(名) 總角  
みづらふ蜜蠟(名) 白蠟、白蜜蠟、  
黃蠟、蜜蠟、蜂蠟  
みつれふ蜜蠟(名) 竊蠟、密蠟、盜  
捕、私盜魚鳥

みつ

みつを鑑組(名) 蹬繩  
みて看手(名) 看的人、看客  
みてい未定(名) 未定、遷沒定規  
〔未定稿〕(カウ) 未定稿 「同  
みていねん未丁年(名) 與未成年  
みどがむ見詰ム(下二段他動) 申叱  
みどころ見處(名) ①看的地方 ②  
可看、可觀 ③有出息兒(見コミ)、  
有指望(詞)  
みどぐく見届ク(下二段他動) 看到、  
查明、查出來(貴下は實地を見  
届けましたか) 您看到了實情了  
麼、您把實地看到了麼、您查出  
實情來了麼(息子の卒業を見届  
けて死にたい) 我願意看到我兒  
子畢了業再死  
みどぼす見通ス(四段他動) ①一眼

みと

看到頭兒(あの丘に上ると何處  
までも見通せませす) 一上那個小  
上去那兒都看得到 ②看透、瞧  
透、看破、洞察(彼の心中を見通  
した) 看透了他的心、我看破了  
他的心思 ③料定、先見、見事於  
未起  
みとむ認ム(下二段他動) ①看、瞧(暗  
中に燈を認めた) 暗黑之中看出  
一道燈光來了 ②認、認爲、承  
認、知道(彼の功勞は世人が皆認  
めて居る) 他的功勞世上的人都  
知道、世上人都承認他的功勞  
〔證據不十分と認めた〕 認做證據  
不全(私も彼の苦心は認めて居  
る) 我也認着他心裡難過(私  
は彼の才幹を認める) 我認他有

みと

能耐(獨立國と認める) 認爲獨立  
國 ③准、允准、許可(政府が認め  
た) 官給允准了  
みとめいん認印(名) 圖章、戳子  
みともなし(形久活) ①不好看、不  
體面、不是樣子、不像樣子 ②不  
願意看  
みとり看取(名) ①看知 ②看着畫  
〔見取圖〕(草圖、畫稿、略圖  
みどり綠(名) 綠色〔綠の黒髮〕 漆  
黒黑的頭髮  
みどりご嬰兒(名) 嬰兒  
みとる見取ル(四段他動) ①看知 ②  
起畫稿、起草圖、寫生  
みとる見蕩ル(下二段自動) 一心的看、  
愣睜睜的看、看迷惑了、看看昏  
迷了

みな

みな皆(詞) 皆、咸、僉、都、全都  
〔皆喜んで承諾した〕 大家都喜喜  
歡歡的答應了〔皆駄目になった〕  
全都不行了〔皆はいらないがど  
れも少しづつ入る〕 我不能都要  
每樣兒要一點兒 「游  
みなかみ水上(名) 上流、上流、上  
みなぎる漲ル(四段自動) 水溢、水  
漾、水漲出來  
みなげ身投(名) 投河、跳井  
みなごろし鑿(名) 鑿殺、全滅、滅  
絶、剿絶  
みなしご孤兒(名) 孤兒  
みなす看做ス(四段自動) 看做、視  
爲、當作(同様に看做す) 看做一  
樣(雪を花と看做す) 把雪看做花  
兒(鑛業權は物權と看做す) 鑛業

みな

權視爲物權「不公平と看做す」視爲不公

みなそこ水底(名) 水底

みなつき水無月(名) 荷月

みなと港(名) 港、海口、口岸、港口、碼頭「港に着く」到港、到碼頭「港に入る」進口、進港「港を出る」出口、出港「通商港」通商口岸「自由港」自由港、無稅口岸「輸入港」進口港、輸入港「輸出港」出口港、輸出港「寄航港」寄航港「荷卸港」卸貨港、交貨港、交卸貨物港「石炭積込港」裝煤港「出發港」出發港「船積港」裝貨港「到着港」到港「到達港」名指港「所指

みなほし見直(名) 改瞧

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みな

之港、該港

みなぬか三七日(名) 三七

みなは水繩(名) 篷繩

みなふ未納(名) 未納、未繳、沒付、沒交「郵稅未納」(イウゼ)沒付資的郵件

みなほし見直(名) 改瞧

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなほす見直ス(四段他動)

みなみぬ

一五一六

みならふ見習フ(四段他動) 見習、學

みなり身形(名) 打扮、裝束「習

みなる見馴ル(下二段自動) 看慣了、

瞧慣了

みなれがほ見馴顔(名) 熟臉

みなれごろも身馴衣(名) 穿慣了

的衣裳

みにくし見悪シ(形久語) ①不好瞧

「この本は字が小さくて見悪い」

這本書字太小不好瞧②不好

看、醜、醜陋、難看、怪樣兒、不

像樣兒「容貌が見悪い」容貌不

好看

みぬく見抜ク(四段他動) 看透、瞧

透、看破、洞察「人物を見抜く」

看透了人物「彼の精神の卑劣な

るは私は見抜いて居る」他心裡

買って來なさい」瞧好東西買來

罷「見計つてする」瞧着辦

みはつ未發(名) 未發

みはつ見果ツ(下二段他動) 看完了

みはなす見離ス(四段他動) ①棄「友

達に見離された」被朋友見棄②

推「醫者が病人を見離す」大夫推

了病人了

みはば身幅(名) 腰根

みはらし見晴(名) 眺望

みはらす見晴ス(四段他動) 眺望

みはらひ未拂(名) 還沒付銀、下

欠的、拖欠的「未拂殘金」(シキ)

下欠的款、拖欠的錢、債餘、債

目尾數

みはり見張(名) 看守、守望、瞭

望、看望「見張番」(バシ) 看守的

みは

みは

みは

みは

みは

みは

みは

みは

みは

みは

卑陋我也看透了、我也看破了  
他心裡陋劣 「兒」刀背

みね峯(名) ①峰、山頂兒、山峯尖

みねばり(名) 與をのをれ同

みの簑(名) 簑衣

みのうへ身上(名) 身上

みのがさ簑笠(名) 簑笠

みのがす見逃ス(四段他動) 不着眼、

容隱「大抵の事は皆見逃してお

く」大概的事情都不着眼「此事

は見逃す事は出来ない」這個事

情不能不着眼「大目に見逃す」閉

眼睛假粧不知道、容隱「惡事を

見逃す」容隱弊病、瞻徇惡弊

みのがみ美濃紙(名) 白紙之名

みのがめ美濃紙(名) 綠毛龜

みのけ身毛(名) 寒毛「身毛が立つ」

みねみの

みのみは

みは

一五一七

みはみほ

人、守望的人、瞭望的人

みはる見張ル(四段他動) ① 瞪眼(怒

つて目を見張る) 生着氣瞪眼睛

② 看守、守望、瞭望、伺探(探偵)

窺探(伺) ③ 巡查が見張る) 巡警守

望、巡警站崗

みひらく見開ク(四段他動) ① 睜眼

(相) ② 發見、見着 ③ 看透

みぶり身振(色) 比畫、舞手弄脚、

指手畫脚、指天畫地、表演、作

態、演手勢、科、(役者) 做派(上)

みぶるひ身振(色) 寒顫、打戰、哆

嗦、毛骨竦然、毛骨戰慄、骨酥

肉麻

みぶん身分(色) 身分、分位、地位

「自分の高い人」高身分の人

みぼる見惚ル(下二段自動) 與みとる

みほみま

同

みほん見本(色) 樣本、樣子、貨

樣、樣品(見本帳) (チャウ) 貨樣簿、

貨樣片(見本市) (イチ) 樣本市場、

貨樣展覽會、貨樣陳列所(見本

の通に拵へる) 照着樣子做(見本

は御一報次第御送申上べく候) 奉

贈樣本函索即寄、印有樣本函

索即寄、樣本承索即奉(各種見

本御送り被下度候) 請即將各種

貨樣寄下爲感 「去、壽終

みまかる身罷ル(四段自動) 死、過

みまさり見優(色) 看着比聽的還

好 ヲ 「看、眺、東瞧西看

みまはす見廻ス(佐變他動) 四下裡

みまはり見廻(色) 巡察

みまひ見舞(色) ① 問、問候 ② 問

みまみみ

一五一八

候送的禮(病氣見舞) 探病、問病

「暑中見舞」夏候、請暑安(寒中見

舞) 冬候、請冬安(見舞狀) (ジャウ)

問候的信

みまふ見舞フ(四段他動) 問、問候

みまま身隨(色) 由着身

みまん未滿(色) 未滿

みみ耳(色) ① 耳朵 ② 耳子(カナ) ③

(織物) 絨邊、織邊、機頭(耳の穴)

耳朵眼兒(耳の底) 耳底子(耳が

遠い) 耳朵背(耳が早い) 耳朵尖、

耳尖、耳快、耳靈(耳が聴) (サ) い

同上(耳にとまる) 入耳、到耳朵

「耳に入る」同上(耳を傾) 傾

耳、側耳(chaw)、附耳(耳をすま

す) 同上(耳を立つ) 同上(耳をほ

る) 抄耳朵、掏耳朵(耳に口を

刷子

みみばらひ耳拂(色) 耳拂兒、耳

みみへん耳偏(色) 耳刀兒

みみより耳寄(色) 願聽的、可喜

的「耳寄の話」可喜的消息

みみわ耳環(色) 耳環、耳圈兒、耳

墜兒、耳鉗子

みむき見向(色) 回頭(いくら呼ん

でも見向しない) 怎麼叫也不回

みむく見向ク(四段他動) 回頭「頭

みめ眉目(色) 容貌、相貌(眉目形)

(カタチ) 同上(眉目好し) 長的好、

容貌好看、眉目清秀

みめい未明(色) 黎明、朦朧亮兒

みめぐる見巡ル(四段他動) 巡察

みもち身持(色) ① 有身子、懷胎、

有孕、身子不便 ② 品行

みみ

けて話す) 交頭接耳的說、在耳

朵上說(耳が痛む) 耳疼、耳朵疼

「耳が痛い」1. 同上 2. 聽不過、

扎耳朵(耳が鳴る) 耳鳴、耳朵響

「こっちの耳からあっちの耳へ抜け

る」這邊耳朵進那邊耳朵出(壁

に耳あり) 隔牆有耳、牆風壁耳、

草上說話路上有人聽(耳をお借

し下さい) 把耳朵順過來(耳をそ

ろへて勘定する) 如數歸還

みみあか耳垢(色) 耳屎、耳塞、耳

垢、耳蠟、耳穢 「耳喳

みみうち耳打(色) 耳語、啾咕、打

みみかき耳搔(色) 耳挖子 「學

みみ

みみくそ耳屎(色) 與みみあか同

みみぐるし耳苦シ(形志久語) 難聽

みみこすり耳擦(色) 與耳打(みみ

同

みみざはり耳障(色) 打耳朵、聽

着不順的音、不叶的、逆耳的

みみしひ聾(色) 聾子

みみず蚯蚓(色) 蚯蟻(蚯蚓書) (ガキ)

歪歪擰擰的字(蚯蚓腫) (バ) 縷

痕 (his' chin') 「不好聽

みみだつ耳立ツ(四段自動) 扎耳朵、

みみたぶ耳唾(色) 耳唇

みみ

みみだつ耳立ツ(四段自動) 扎耳朵、

みみたぶ耳唾(色) 耳唇

みみだれ耳睫(色) 耳膿

みみつく木兔(色) 老兔、貓頭鷹

みみとし耳利シ(形久語) 耳朵背

みみなり耳鳴(色) 耳鳴

みみなる耳馴ル(下二段自動) 聽慣了

一五一九

みもみや

みもと身許(名) 出身、來歴、履歴  
〔身許金〕(キ) 印結銀子、保身底  
押〔身許保證〕(シヨウホ) 保結、保人  
甘結〔身許保證金〕與身許金同  
みもの見物(名) 可觀、壯觀、奇  
觀、大觀、有看頭兒的  
みや宮(名) ①皇宮、大内、禁裡  
宮殿 ②王、親王 ③廟、神殿、廟  
みやう見様(名) 看法  
みやうが冥加(名) ①冥加 ②托人  
福〔冥加金〕(キ) 1.布施 2.花費  
みやうがう名號(名) 六字眞言  
みやうごにち明後日(名) 後天  
みやうじ名字(名) 姓 「同  
みやうじやう明星(名) 與金星(せい)  
みやうしゆん明春(名) 明年春天

みや

みやうじん明神(名) 神仙尊稱  
みやうせき名跡(名) 頂姓、冒姓  
みやうせんじしやう名詮自性(名)  
名實相符  
みやうだい名代(名) 替辦的、代  
理的、代身兒、替身兒  
みやうてう明朝(名) 明天早起、  
明日早晨、明晨、明早 「明兒  
みやうにち明日(名) 明日、明天、  
みやうねん明年(名) 明年、過年、  
來年  
みやうばん明晩(名) 明天晚上  
みやうばん明攀(名) 白攀、攀石、  
明攀  
みやうみやうごにち明明後日(名)  
大後天、大後兒

みや

みやうみやうごねん明明後年(名)  
大後年  
みやうもく名目(名) 名目  
みやうもん名聞(名) 名聞、名譽  
みやうり名利(名) 名利  
みやうわう明王(名) 明王  
みやく脈(名) 脈〔脈が打つ〕跳動、  
搏動〔脈が弱い〕脈沈〔脈が強い〕  
脈旺〔脈が早い〕脈快〔脈が上る〕  
無脈搏的、沒有生氣的〔脈が定  
らない〕脈升沈不定、脈息不定  
〔脈を見る〕診脈、看脈、候脈、按  
脈、切脈、評脈〔脈を取る〕同上  
〔鐵脈〕礦線  
みやくくわん脈管(名) 脈管  
みやくごころ脈所(名) 寸關

みや

みやくはく脈搏(名) 脈搏、脈跳、  
搏動、脈息、跳動、動悸  
みやくらく脈絡(名) 脈絡  
みやけ宮家(名) 親貴、王爺  
みやげ土産(名) 禮物、土物兒〔少  
少土産を差上げます〕送您點兒  
土物兒〔好いお土産を買って歸る  
からおとなしく待ってお出で〕你  
好好兒的在這兒等我回來我給  
你帶點兒好東西來〔土産話〕  
(パナシ) 外鄉的話兒  
みやこ都(名) 京師、京都、京城  
みやこいり都入(名) 上京、入京、  
晉京  
みやこうつし都移(名) 遷都  
みやこおち都落(名) 開京城敗走  
みやこどり都鳥(名) 水禽之名

みやみや

みやこびと都人(名) 京城人  
みやすごころ御息所(名) 福晉(福王  
みやび雅(名) 雅  
みやびことば雅言(名) 雅言  
みやびと宮人(名) 宮裡頭的人  
みやびやか雅(名) 雅、典雅、文雅  
みやぶ雅ブ(上二段自動) 雅、典雅、文  
雅  
みやぶる看破ル(四段他動) 看破  
みやま深山(名) ①山 ②深山  
みやまゐり宮參(名) 滿月拜廟  
みやめぐり宮廻(名) 拜香  
みやる見遣ル(四段他動) 遠望  
みやる皇居(名) 皇宮  
みゆ見ユ(下二段他動) ①有〔向うに船  
が見える〕那邊兒有船〔失敗の兆  
候が見える〕有失敗的苗頭 ②

みやみり

看、瞧、看見〔貴下は見えないの  
ですか〕您瞧不見麼〔易い様に見  
えるが實は中難しい〕看着容  
易其實很難〔彼は餘程苦しさに  
見える〕我看他很苦的樣子 ③  
露〔熱心が顔に見えて居る〕熱心  
露在臉上 ④來、去〔客が見えま  
した〕有客人來了  
みゆき行幸(名) 巡幸、行幸  
みよ御世(名) 聖代、聖世、在位的  
みよ禊(名) 與みを同 「時候  
みよし船首(名) 船首  
みより身縁(名) 親族  
みらい未來(名) ①未來、將來、後  
來 ②來生、來世  
ミリ(名) 密理(ミリグラム)密理  
克蘭姆、公絲、千分瓦、千分克、

みりみる

魁(ミリメートル)密理米突、公釐、千分米、米里枚、耗(ミリリットル)密理立脱爾、公撮、千分立、千分粒、耗(ミリメートル)萬倍米、糲(ミリリットル)萬倍立、糲(ミリグラム)萬倍克、糲

みりよく魅力(色) 迷力、引力、魔力、迷人心的、奪人心的、能魅人的、令人恍惚的、使心蕩的、使魂銷的

みりん味醂(色) 酒名、蜜酒

みる海松(色) 水松

みる見ル(上一段他動) 見、看、瞧、看見、瞧見(景色を見る)看景致(本を見る)看書(夢を見る)做夢(脈を見る)看脈、診脈(馬鹿を見る)

みる

白受累(憂目を見る) 遇見愁場 [醫者に見てもらふ] 請大夫瞧 [人相を見る] 相面 [暫く私の荷物を見て居て下さい] 請您給我看一看 (View) 東西 [何か見る處があつてさうしたのでせう] 我看他有甚麼所見的 地方這麼辦了的 [行つて見れば噂とは全違だ] 去了一看和聽見的全不一樣 [食つて見る] 吃着瞧 [遣つて見る] 辦着瞧 [あの人は私から見ると年上です] 他比我歲數兒大 [私の目から見ると、これは偽物です] 在我看這是假的 [かうなつて見ればもう仕方がない] 事情一到了這步田地再沒法子了 [これを見てわかれる] 於此可見、由這上頭說可以

みるみわ

看出来

みるかげ見影(色) 容貌、相貌、様子、態 [瘦せて見影もない] 瘦得無人形、瘦成骨架子

ミルク(色) (Milk) 牛奶 [粉ミルク] 乾牛奶 [コンデンスミルク] 凝濃牛奶、濃奶、稠奶、收乾乳

みるみる見ル見ル(副) 眼看看的 [見る見る延焼した] 眼看看的延燒了

みるめ視目(色) 看 [よその視目も氣毒だ] 別人看着也很可憐

みれん未練(色) ①未熟②依戀、心疼 [未練が残る] 還有點兒依戀的心、捨不得

みろく彌勒(色) 彌勒 辨別、分

みんしん民心(色) 民心 [民心を得] 得民心 [民心を悦ばす] 悅民心

みんせい民政(色) 民政

みんせい民生(色) 民生、人民的

みんせき民籍(色) 民籍 [生計

みんせつ民設(色) 商辦、私立

みんせん民選(色) 民選

みんぞく民族(色) 民族 [民族自決]

(ジク) 民族自決 「織之團體

みんだん民團(色) 在外僑民所組

みんち民治(色) 民治

みんてき明笛(色) 長笛

みんぼう民望(色) 民望

みんぼう民法(色) 民法、民律

みんべい民兵(色) 勇、鄉勇、團

郷、鄉團、團練、民兵

みんやくろん民約論(色) 民約論

みん

みん

みん明(色) 明代、明朝  
みんい民意(色) 民意、衆論、輿情  
みんいう民有(色) 民有  
みんえい民營(色) 商辦  
みんえう民謠(色) 民謠、俗歌  
みんか民家(色) 民家、民房  
みんかん民間(色) 民間  
みんげふ民業(色) 民業、商辦  
みんけん民權(色) 民權  
みんじ民事(色) 民事 [民事訴訟] 民事訴訟  
みんじやう民情(色) 民情、下情  
みんしゆう民衆(色) 民衆、民羣  
[民衆生活] (イクワツ) 民衆生活  
みんしゆうこく民主國(色) 民主國  
みんしゆうせいじ民主政治(色) 民主政治

みわみま

別、看別、識別、區別(是非を見分ける) 辨別是非、看出好歹、分別出好歹來(優劣を見分ける) 識別優劣(見分がつかない) 分不清、分別不清(見分けられる) 辨得出來、看得出來、得識別(銀の質を見分ける) 看銀色、辨別成色  
「記不住、忘記了」  
みわする見忘ル(下一段他動) 忘了、  
みわたす見渡ス(四段他動) 遠望、見渡限り(一望無際的) [見渡限りはてがない] 一望不到邊兒  
みまを濇(色) 水路  
みまをぎ濇木(色) 表水路的目標  
みまをさめ見收(色) 就看這一回了  
往後再不能看了  
みまをつくし濇標(色) 與みをぎ同

みんむい

みんりよく民力(名) 民力

むム

む無(名) ①無②辜負(人の厚意を無にする)辜負人的好意

む六(名) 六、六個 (助動ムム) 表未來時之助動詞、將也、要也(雨降らむとす)

むいうべう夢遊病(名) 離魂病、夢遊病、夢中歩行病

むいか六日(名) ①(月)初六、六號 ②六天(期)六日の菖蒲十日の菊(期)明日黄花、過了景了

むいぎ無意義(名) 無意義、沒有意思

むいむえ

むいしき無意識(名) 不知的、不覺的、無意識的

むいちもつ無一物(名) 一空、烏有、赤條精光(焼けて無一物になつた)燒了個一空(無一物の貧民)赤條精光的窮人(囊中無一物)囊中一空

むいみ無意味(名) 沒有意思(彼の云ふことは皆無意味だ)他說的都是胡話(君は彼に盡力してやっても無意味です)您給他爲力也是白效勞

むえき無益(名) 無益、沒益處 ①沒縁、沒縁分 ②死後沒有祭祀的人(無縁塚) ③沒主兒的墳(無縁佛)

むえむか

一五二四

むえん無鉛(名) 無鉛的 「煙藥 無えんくわやく無煙火藥(名) 無えんたん無煙炭(名) 紅煤、硬煤、白煤 勁煤、無烟煤

むが無我(名) 無私、無心、無我、沒私心 「人的

むがい無害(名) 無害、無碍、不傷 ①對面兒(向に山がある)對面兒有一座山(向から來る車と衝突した)跟對頭兒車碰了 ②那邊兒、那兒(向に誰か居ますか)那邊兒有人麼 ③前路、前途、他們(向さんは承諾した)前路都答應了(向から喧嘩をしかけて來た)從他那一方面打起架來了(向を張る)對待、作對、對抗、抵制、競爭

むかしもの昔者(名) ①老頭、老人 ②古板皮氣的人 ③古物(むかつく逆ク(四段自動) 惡心(吐) 胃、乾嘔、發嘔 ④「生氣 ⑤「門牙 ⑥「生氣 ⑦「無故的 ⑧「周年、期月 ⑨「迎接、接(迎に行く) ⑩「府上有人來接您來了 ⑪「對過兒、對面兒(彼は私の向に住んで居る)他在我對過兒住 ⑫「對面兒

むか

むかう無効(名) 無效、無效力、作廢的、廢去的、銷廢的(この手形は無効です)這張票是廢票了(期限後は無効とす)過期作廢、過期無效(折角の骨折も無効となった)他那麼費力也是白效勞 ①向傷(名) 臉上受的傷 ②向髓(名) 迎門骨、脛骨 ③向不見(名) 走險、冒險、顧頭不顧尾、拚險、冒昧赴險、暴虎憑河的、無懼無慮的 ④無學(名) 無學、沒學問 ⑤山藥疙瘩 ⑥昔、昔日、古來、古代、古時候、老年的時候(古

むか

むかしがたり昔語(名) 老話 ①古式、古板 ②古氣 ③古氣 ④古板皮 ⑤古氣 ⑥古板 ⑦古氣 ⑧古板皮 ⑨古氣 ⑩古板皮 ⑪古氣 ⑫古板皮 ⑬古氣 ⑭古板皮 ⑮古氣 ⑯古板皮 ⑰古氣 ⑱古板皮 ⑲古氣 ⑳古板皮 ㉑古氣 ㉒古板皮 ㉓古氣 ㉔古板皮 ㉕古氣 ㉖古板皮 ㉗古氣 ㉘古板皮 ㉙古氣 ㉚古板皮 ㉛古氣 ㉜古板皮 ㉝古氣 ㉞古板皮 ㉟古氣 ㊱古板皮 ㊲古氣 ㊳古板皮 ㊴古氣 ㊵古板皮 ㊶古氣 ㊷古板皮 ㊸古氣 ㊹古板皮 ㊺古氣 ㊻古板皮 ㊼古氣 ㊽古板皮 ㊾古氣 ㊿古板皮

むか

一五二五

むか

むかひあひ 向合(名) 對面兒

むかひあふ 向合フ(四段自動) 對上

むかひかぜ 向風(名) 頂風

むかひぎし 向岸(名) 對岸

むかふ 向(名) 與むかう同

むかふ 向フ(四段自動) ①對、衝(机に

向ふ)對桌子(船は營口に向つて進

む)船衝着營口走(天に向つて唾

する)衝着天唾吐沫、仰天而唾

着人來(刀を以て敵に向ふ)拿刀

對敵(跟、和(先生に向つて無禮

を云ふ)跟先生說無禮的話(當

人(二人十人に向ふ)一個人當十個

敵、一往無前(衰微に向ふ)往衰

むか

微裡去

むかふ 迎フ(下二段他動) 迎(敵を迎

へる)迎敵人(人の意を迎へる)

迎合人意(迎へ撃つ)迎戰(驛ま

で迎へる)到火車站迎接(客を迎

へる)請客(妻を迎へる)娶媳婦

兒(醫者を迎へる)請大夫 「飯

むかふ ぶち向扶持(名) 雇主兒管

むかへ 迎(名) 與むかひ同

むかへ ぎけ 迎酒(名) 以酒解酒

(むかむか(副) 惡心(es. hsin))欲

嘔、要吐(胸がむかむかする)胸

口覺着惡心

むがむちゆう 無我夢中(名) 一心

的、一撲納心的、入神、神迷、失

魄

むかむき

むかなく 無感覺(名) 無感覺、沒

知覺、不受感動的

むき向(名) ①方向(此家は向が悪い)

這個房子方向不好)朝(ch. ao)

「東向」朝東「西向」朝西)宗、向、

行(hang)「其向の人」那一行的人、

那向人「其向の品」那宗東西

①對路「學生向」對學生們路的

「田舎向の品」對鄉下人路的貨

「役所向」官場中「向になつて怒

る」眞有了氣了

むき無期(名) 無期「無期限」(ゲ)

無期限「無期徒刑」(トケイ)無期徒

刑 「物」(ブツ)無機物

むき無機(名) 無機、非生類「無機

むき麥(名) 麥子 「上

むきあひ 向合(名) ①對面兒 ②對

むきあふ 向合フ(四段自動) 對上、對

着

むきおし 麥押(名) 趕麵杖(ボウ)

むぎかうじ 麥麴(名) 麥蘖

むぎかす 麥滓(名) 麩子

むぎこ 麥粉(名) 麥粉、麥子麵

むぎこがし 麥麩(名) 炒麥麩

むきず 無疵(名) 無疵、沒渣兒、沒

毛病

むぎすくひ 麥抄(名) 罩笠

むきだうでんしゃ 無軌道電車(名)

無軌電車

むきだし 剥出(名) ①露出來(贈物

は紙に包んで剥出ではいけない)

禮物是拿紙包上別露出來)實

「剥出に云ふ」實話實說、嘴直說

むき

むきだす 剥出す(四段他動) 露出來

(包の中を剥出す)露出包兒裡的

東西(齒を剥出して笑ふ)齧着牙

むぎのあき 麥秋(名) 麥秋 「笑

むきふ 無給(名) 沒薪水、白效力、

盡義務(無給の役員)義務職員

むきみ 剥身(名) 蛤蜊肉

むきむき 向向(名) 各人有各人的

「十人十色で各各向がある」十

個人十樣兒各人有各人的皮

氣、十個指頭沒有一般兒齊的

むきめい 無記名(名) 不記名、無

記名投票

むぎめし 麥飯(名) 白米麥子飯

むぎゆ 麥湯(名) 麥茶

むきゆう 無窮(名) 無窮「無窮の利

益」無窮之利「無窮の富」無窮之

むき

富、無限之財

むきよく 無極(名) 無極

むきりよく 無氣力(名) 沒精神

むぎわら 麥藁(名) 麥稈、麥稽(麥

藁細工)(サイク)麥稈做的玩意兒

「麥藁眞田」(サナダ)草帽辮子(麥藁

葺)(フキ)麥稈葺的房

むきん 無菌(名) 無菌、無微菌

むく無垢(名) ①上下一樣顏色的

衣裳②純、純粹、清白、潔白(金

無垢)(キン)純金、足金(無垢な娘)

清白無瑕的姑娘、冰清玉潔的

處女

むく向ク(四段自動) ①衝、對(左に向

く)衝着左邊兒)朝(ch. ao)「東

に向いた家」朝東的房子)對路

「この品は西洋人に向かない」這

むきむく 一五二七



むく

個貨不對西洋人的路①來〔運  
が向く〕運氣來了、轉運〔氣か向  
かない〕沒心腸、不願意

むく向ク〔下二段他動〕

①衝〔砲口を左  
に向ける〕把砲口衝左邊兒②對  
路〔此品は何處へ向けても氣に入  
らない〕這個東西誰也不對路③  
往〔手紙は學校へ向け送って下さ  
い〕給我的信送到學校裡去罷

むく剥ク〔四段他動〕

剝〔皮を剥く〕剝皮兒  
〔(藥物)把皮兒削〔Kasich〕了去(詞)  
退皮毛(鳥ケモ)〕

むく剥ク〔下二段自動〕

①破〔手の皮が  
剥けた〕手上的皮破了②掉〔腫  
物の皮が剥けた〕疥癬的皮兒掉  
了

むくろ 軀(名) ①身體 ②死屍

むくろじ 無患子(名) 木櫛樹

むくわくわ 無花果(名) 無花果

むくわん 無官(名) 無官

むくわんけい 無關係(名) 無關係

むくわんしん 無關心(名) 無關心

沒有意思、不介意、不關心〔彼  
は服装には無關心だ〕他不關心  
服飾、他不講究服飾〔彼は金錢  
には無關心だ〕他於錢財無所關  
心〔彼は商賣などには無關心で  
す〕他沒有意思去做買賣

むげ 無碍(名) 無碍

むけい 無形(名) 無形、沒有形的、  
無形體、無實體〔無形の財産〕無  
形財產、人的學問能耐等〔無形  
名詞〕抽象名辭〔無形資本〕無形

むくむけ

むく

むくい 報・酬(名) ①報、報應〔善い  
事をすれば善い酬が来る惡い事を  
すれば惡い酬が来る〕善有善報  
惡有惡報②酬報、酬答、酬應

むくいぬ 彪犬(名) 獅子狗

むくげ 彪毛(名) 長毛

むくげ 冬絨、絨毛、柔毛、  
むくげ 木槿(名) 槿花

むくち 無口(名) 寡言、嘴緊、嘴  
嚴、沈默的、罕言寡語的、寡言  
寡語的

むくど 躡(名) 躡〔むくと起き上る〕

むくどり 椋鳥(名) ①高粱頭、燕  
八哥②啞鄉下老兒

むくふ 報フ〔四段自動〕 報〔親の罰が  
子に報ふ〕父母造的孽兒孫遭了  
報了

資本

むけい 無稽(名) 無稽〔無稽の說〕無  
むげい 無藝(名) 無藝、藝無所長

むけうい 無教育(名) 沒教育、沒  
受過教、不識字

むけん 夢見(名) 夢見

むげん 無限(名) 無限、無涯、無  
邊、無窮、無量、無限量、不可量  
的〔無限の財〕無限之財〔無限の  
富〕無窮之富〔無限の廣さ〕一望  
無際、一望無界限〔無限責任〕無  
限責任

むげん 夢幻(名) 夢幻、空幻

むに 婿(名) 女婿、東床

むこいり 婿入(名) ①養老女婿②  
回門〔サトガ〕

むこう 無效(名) 無效的、無力的、

むけむこ

むく

むくみ 浮腫(名) 浮腫、腫、虛胖  
むくむ ①密密的〔毛がむく  
むく生へて居る〕毛長的密密的  
②噹噹噹的〔むくむく太る〕噹  
噹噹的胖③咕嗒咕嗒的〔む  
くむく動く〕咕嗒咕嗒的動彈

むくゆ 報ユ・酬ユ〔上二段他動〕

報、報  
答、報應、酬報、酬答、酬應〔恩  
を報いる〕報恩、報答恩典〔仇を  
報いる〕報仇〔恩を仇に報ゆ〕恩  
將仇報〔徳を以て怨に報ゆる〕以  
德報怨

むぐらもち 土龍(名) 鼯鼠、地拍鼠

むぐり 潛(名) 與もぐり同

むぐる 潛(名) 與もぐる同

無用的、不中用的〔無效力〕リョク  
同上〔無効にする〕作廢、註銷、  
取消、使之無效

むごし 慘シ〔形久活〕 ①慘、悲慘、可  
憐、慘酷、悽慘〔兩親ともベスト  
で死んだ實に慘い〕父母都是得  
鼠疫死了實在慘的很〔慘たらしく  
て見て居れぬ〕慘不忍觀②刻  
薄、刁毒、殘忍〔慘く取扱ふ〕刻  
薄待人

むごたらし 慘シ〔形志久活〕 同上

むこやうし 婿養子(名) 養老女婿

むこん 無根(名) 不根、無根底、沒  
根兒的〔事實無根〕沒根兒的事、  
沒有實底、沒有的事情〔無根の  
訛傳〕不根之訛傳、架空謠言

むごん 無言(名) 無言

むこ

むさ

むさい 無妻(名) 沒有媳婦  
 むざい 無罪(名) 沒罪、無罪、無辜、沒罪過 「仙托夢」  
 むさう 夢想(名) ①夢想、幻想 ②神  
 むさう 無雙(名) ①無雙、無比、無匹、無敵(天下無雙の美人) 絕世美人 ②裏兒面兒都是一樣材料做的「無雙側」(ガハ) 悶兒表「無雙羽織」(バオリ) 裏兒面兒一樣材料做的袍子「無雙引出」(キダシ) 兩頭兒拉的抽屜  
 むさうさ 無造作(名) 容易、輕易 (こゝんな事は無造作に出来る) 這是輕輕易易可以做的 「猪髒」  
 むさくろし 汚穢シ(形志久活) 胎髒、幅鼠、飛鼠(名) 鬪鼠、鬪鼠、飛鼠

むさむし

むさし 汚穢シ(形志久活) 胎髒、猪髒  
 むさべつ 無差別(名) 沒有分別  
 むさぼる 貪ル(四段他動) 貪、貪婪、貪汚  
 むさむぎ(副) 輕輕易易的「手に入るべきものをむさむさと捨ててしまった」應該得到手的東西輕輕易易的扔了  
 むさん 無算(名) 算不了、算不過  
 むさん 無産(名) 沒有產業的、卑賤的、下等的「無産階級」(イキウ) 下等社會、無産階級、賤民社會、第四階級  
 むし 蟲(名) ①蟲子、蛆、蠕蟲、蛔虫(ムシ)「蟲に食はれた」叫蟲子蛀了、被蟲子打了「蟲がつく」生蟲子、長蟲子、蟲が起る「鬧蟲子」

むし

②心、氣、神(蟲をこらす)殺氣、壓氣「蟲が好かん」心不悅、心不喜歡「蟲の息で居る」氣息奄奄、還有微息「蟲が知らせたのか途中から引返した」神鬼領的所以從半道兒上磨回來了「蟲がかぶる」產婦覺作(chiao' tsou)「蟲がいい」佔人的便宜「蟲のいい事を云ふ」說便宜自己的話「蟲も殺さない様な顔」嬌嫩的容顏  
 むし 蒸(名) 蒸的 「顧己」  
 むし 無私(名) 無私、沒私心、不瞧不起 無視、玩視、藐視、瞧不起 「濕暑、溽暑」  
 むし あつし 蒸暑シ(形志久活) 悶熱、むしかく 無資格(名) 沒資格  
 むしかご 蟲籠(名) 養蟲子的筐子

むし

むしぐすり 蟲藥(名) 攻蟲散、打蟲子的藥、疥癬糖  
 むしくひ 蟲食(名) 蟲蛀的、蟲食的、蟲打的、有蟲眼兒  
 むしぐわし 蒸菓子(名) 饅饅之類  
 むしけ 蟲氣(名) 鬧蟲子的病  
 むしけら 蟲蟻(名) 昆蟲  
 むしけん 無試驗(名) 不要考試  
 むしず 蟲酸(名) 酸水子 「冤罪」  
 むじつ 無實(名) 冤枉「無實の罪」  
 むじな 貉(名) 貉、猪獃  
 むしば 蟲齒(名) 蟲吃牙、蟲牙  
 むしばむ 蟲食ム(四段自動) 蟲子吃、蟲食、蟲蝕  
 むしばら 蟲腹(名) 鬧蟲子  
 むじひ 無慈悲(名) 無慈悲、刻薄、狼心、殘忍

むし

むしぶろ 蒸風呂(名) 水氣浴、蒸氣浴、汽浴  
 むしへん 蟲偏(名) 虫字旁兒  
 むしほし 蟲干(名) 曝晾、抖晾  
 むしむし 蒸蒸(副) 天氣悶悶的、天氣悶熱的  
 むしめがね 蟲眼鏡(名) 蟲眼鏡  
 むしや 蟲屋(名) 賣蟲子的  
 むしや 武者(名) 武士、勇士、戰士、兵士(武者修行)「ユギヤウ」武士雲游天下練武藝「武者振」(アリ) 勇士的漢仗 「不酬報」  
 むしやう 無償(名) 不償、不報答、無常  
 むじやう 無常(名) 無常  
 むじやう 無情(名) 無情、沒有人情、寡情、無情、冷面冷心的

むし

むじやう 無上(名) 無上  
 むしやうに(副) 妄  
 むしやき 蒸燒(名) 蒸烤、烘  
 むじやき 無邪氣(名) 孩氣、沒心眼兒  
 むしやくしや(副) 囉唆人的、攪擾人心的、擾人心的、煎心的、熬心的、煩悶「紙をむしやくしやにする」挫弄紙「氣がむしやくしやする」心裡頭起急、熬心、煎心「むしやぶりつく」(四段自動) 強摟起來  
 むしやべつ 無差別(名) 沒有分別  
 むしやむしや(副) 下作的吃  
 むしゆぎ 無主義(名) 無主義  
 むしゆみ 無趣味(名) 沒趣兒  
 むじゆん 矛盾(名) 矛盾、前後不符

むし

むしよく無色(名) 無色、沒有顔色

むしよく無職(名) 無職、沒事項、無營業(無職業)(ク)同上

むしよけ蟲除(名) 避蟲子

むしよぞく無所屬(名) 無所屬

むしる筆ル(四段他動) ①揪(Hasen)、揪(毛を筆る)揪毛(綿を筆る)揪綿花(髪毛を引き筆る)(怒り)急的揪頭髮、把頭髮揪下來②拔(草を筆る)拔草

むしろ席(名) 蓆

むしろ寧(副) 寧、寧可、索性(寧死すとも歸らず)寧死不回(寧かうやれば彼には都合がよい)索性這麼辦就便宜他

むしん無心(名) ①無心②強求、

むしむす

勒索(無心を云ふ)強要、硬要

むじん無盡(名) ①下盡②抓錢會(無盡講)(カウ)同上(無盡燈)(トウ)長年燈

むしんけい無神經(名) ①不覺痛的、沒知覺的、不受感動的②優

むじんたう無人島(名) 無人島、荒

むす蒸ス(四段他動) 蒸 「鳥

むす蒸(四段自動) 悶熱(今日はひどく蒸します)今天非常的悶熱

むす噎ス(下二段自動) 噎住

むすう無數(名) 無數的、沒數兒、無量數、不可量的、數不清的、不可勝數的、成千帶萬的、無千代數的

むす二息子(名) 兒、兒子

むすと(副) 使勁的、猛然(むすと

むす

組付く使勁的一揪

むすび結(名) ①結尾(文章の結)文章

章的結尾②着落、末尾(事の結を付ける)做事情的着落③與結

目(め)同(花結)(ハナ)活結子、活

扣兒(蝶結)(テフ)同上(機結)(ハタ

死扣兒、死結子

むすび結飯(名) 搏飯、飯團子

むすびがみ結髮(名) 抄頭髮

むすびつき結付(名) 連結、連絡、

接續、結合(文章の結付)上下文

的連結

むすびつく結付ク(下二段他動) 連結、

連絡、結合、聯結(感情を結付けて

る)聯絡感情(鐵道が兩市を結付

ける)有一條鐵路連接兩市

むすびぶみ結文(名) 把信疊起來

結成扣兒以替信封的

むすびめ結目(名) 扣兒、結子、疙瘩(結目を作る)打結子、打疙瘩、繫上、扣兒、結成結(結目を解く)解開扣兒

むすぶ結ブ(四段他動) 結、繫(絲を結ぶ)繫線(結目を結ぶ)繫扣兒、打

結子(縁を結ぶ)結縁(交を結ぶ)

結交(文章を結ぶ)結文章(局を結ぶ)結局(實を結ぶ)結菓子(契

約を結ぶ)結契約、立合同、立約

契、訂合同、締結契約(庵を結ぶ)結庵(口を結ぶ)閉嘴

むすぶ掬ブ(四段他動) 捧(水を掬ぶ)

拿手捧水 「月下老人

むすぶのかみ結神(名) 月下氷人、

むすぼる結ル(下二段自動) ①纏上②

贅結

むすめ娘(名) 姑娘、閨女、小姐

「あれは何處の娘ですか」他是誰家的姑娘(貴下はお娘子が幾人

おありですが)您跟前有幾位令

愛(私は娘が二人あります)我有

兩個小女

むすめぎ娘氣(名) 姑娘皮氣

むすめごころ娘心(名) 同上

むすめし娘師(名) 偷庫的賊

(むすむす(副) 痒痒(體がむすむ

する)身上發痒痒(自分で手を

つけてやりたいのでむすむすす

る)自己要下手做心裡急的直

むせい無稅(名) 無稅 「痒痒

むせいふ無政府(名) 無政府(無政

府の状態)無政府之狀態(無政府

主義)無政府主義、虛無黨、無

強權主義、安那其主義

むせいぶつ無生物(名) 無生物

むせかへる噎返ル(四段自動) 噎住

むせきにん無責任(名) 不負責任、

不擔沈重、草草了事

むせびなき噎泣(名) 嗚嗚咽咽的

哭、哭不出聲

むせぶ噎ブ(四段自動) 噎住

むせん無錢(名) 沒有錢(無錢飲食)

(シヨク)不拿錢吃喝、白吃白喝

處(無錢遊興)(ウキヤウ)不帶錢逃下

むせん無線(名) 無線、無綫(無線

電信)(シン)無線電信、無線電報

(無線電信局)(シニキヨク)無線電信

局、無線電臺(無線電話)(デンワ)

むす

むすむせ

むせ

むそむた

無線電話〔無線電柱〕(シチュウ) 無線電桿〔無線電信發送局〕(シハツソウキ) 無線電發送站、無線電播送站〔無線電信受信局〕(シジュンキキ) 無線電受信站、無線電接收站〔無線電信を打つ〕打無線電

むそぢ六十(名) 六十

むだ徒・無駄(名) 無益、無用、無濟去也無益〔そんな無駄な金は使ふな〕你別花這麼樣無用的錢〔金を無駄に使ふ〕妄花錢、浪費錢財〔時間を無駄に費す〕白費工夫〔月日を無駄に暮す〕虛度日月、虛度光陰〔無駄な費用〕冗費〔骨折つても無駄でした〕受累也無益〔無駄足〕(ア)徒勞往返、白

むた

走、白去

むたい無體(名) 不講理

むだ無代(名) 不要錢、白白的

分文不取〔無代で差上げます〕不要錢白給、白白的送給您、白送、白給〔無代進呈仕候〕不取分文當以奉贈

むだいか無代價(名) 同上

むだかき徒書(名) 胡寫、胡畫、寫着玩兒

むだぐち徒口(名) 胡說、瞎咧〔徒口をたたく〕瞎謔胡咧、愛說閒話

むだぐひ徒食(名) 白吃

むだじに徒死(名) 白死

むだづかひ徒遣(名) 白花錢、浪用、浪費、妄花、耗費

むたむち

一五三四

むだばな徒花(名) 謊花

むだばなし徒話(名) 妄話、白話

むだほねをり徒骨折(名) 白受累、徒勞、白效勞

むだん無斷(名) 妄自、擅自〔無斷で缺席する〕妄自告假〔無斷で立ち去る〕不辭而去

むち鞭(名) 鞭子(サキニ皮ノヒ)

むち無知(名) 無知、糊塗、沒知識的、沒學問的

むち無地(名) 素的、本色、不帶花

むちうつ鞭ツ(四段他動) 拿鞭子打、鞭抽、鞭撻、棒打、棍打

むちや無茶(名) 妄、亂〔無茶を云ふ〕說妄話、胡言亂語、說無理的話〔この字は丸で無茶です〕這

個字寫的太亂〔此値段は無茶に

の陸言) 同上 「言寡語的人 (むつ) 同上 臉上沒緣的人、罕 (むつ) 生氣、有氣、上氣(其話を聞いてむつとした) 一聽這話就上氣了

むつのはな六花(名) 雪、六出花

むつぶ睦ブ(上二段自動) 和睦、親密

むつまじ睦ジ(形志久活) 和睦、親密

むつゆび六指(名) 六指兒

むて無手(名) 空手、赤手〔無手で打掛る〕空手打

打むていけい無定形(名) 無定形

むていけん無定見(名) 無定見、沒一定的主意

むでうけん無條件(名) 無規制、無限制、無條件、沒定限款的、沒定條規的〔無條件の降参〕不定制

むちむつ

高い) 這個價錢貴の出圈兒(あの人の遣方は丸で無茶です) 他的辦法簡直的是亂七八糟(無茶苦茶にわめく) 亂嚷亂叫  
むちやくちや無茶苦茶(名) 同上  
むちゆう夢中(名) ①夢裡 ②一心的、一撲納心的、凝想、忘神、出神、失神、心神不在(基に夢中になる) 一撲納心的下棋〔讀書に夢中になる〕被書所吸、撲在書裏、全神貫注在書上、一撲納心兒的看書  
むちん無賃(名) 免費、分文不取〔無賃乗車券〕(ウシヤケン) 免票  
むつ六(名) ①六、六個 ②卯初、酉初、午前六點鐘、午後六點鐘  
むつかし難シ(形志久活) ①難〔各科

むつ

目の内算術が一番難しい) 各課程裡頭算學是最難(私は一度歸れば又來るのは難しい) 我若一回去再來就難了(難しい顔をする) 臉上有難色(あの病氣は難しい) 他的病難保(あの事件は大變難しくなつて來た) 那件事情很難起來了(保不住) この天氣は難しい) 這個天氣保不住  
(むつかしや) 難纏的人  
むづがゆし(形久活) 刺撓  
むづがる慣ル(四段自動) 鬧魔(子供)  
むつき睦月(名) 正月、端月、青陽  
むつき襪襪(名) 襪襪(文)、襪子  
むつごと睦言(名) ①柔和的話、溫和的話、情話 ②閨房私語、枕邊私語、溫存情話、閨房情話(閨

むつむて

一五三五

むてむな

條規的投降、無規制之投降、無限投降、無條件投降(無條件で差上げます)白送給您、白白的送給您、不要錢白給您、  
むてつぼふ無鐵砲(名) 冒險、走險、顧頭不顧尾  
むてん無點(名) 白文、沒點的文  
むとんちやく無頓着(名) 漫不經心、不關心、漠視、冷淡、不管、不顧、不介意、不留神  
むないた胸板(名) 胸骨  
むながい鞅(名) 襟胸  
むなかんぢやう胸勘定(名) 心算  
むなぎ棟木(名) 房樑、檁  
むなぐら胸倉(名) 領門(胸倉をつかむ)揪領門  
むなぐるし胸苦シ(形志久語) 胸膈

むなむに

不開  
むなげ胸毛(名) 胸口上長的毛  
むなさき胸先(名) 胸口 「心跳  
むなさわぎ胸騒(名) 心驚、心悸、むなさんよう胸算用(名) 心算  
むなし空シ(形志久語) 空、空虛、烏有(囊中空しくなる)囊中一空了  
「多年の苦心も空しくなつた」多年的辛苦作爲烏有了「空しく月日を過す」虛度歲月「寶の山に入りて手を空しくして歸る」入寶山空手歸  
むなもと胸元(名) 胸口 「無二  
むに無二(名) 無比、無雙、獨一  
むにむさんに無二無三(副) 一心一意的、一撲納心兒的  
むにん無人(名) 沒有人

むね

むね胸(名) ①胸筒、胸膛 ②胸口、胸膈(胸が開く) 1. 胸口敞着(着物) 2. 胸膈開通了 ③心、懷、氣(嬉さ胸に滿つ)滿心歡喜(胸がやける)心裡頭欺的慌(胸騒ぐ)心驚(胸が悪い)覺着惡心、胸中作惡「胸せき上ぐ」背過氣去「胸を焦す」焦心「胸を冷す」心裡打戰「胸を痛める」操心、懸心、惦記、發愁「胸の内を打あける」開襟而談、披肝瀝膽的說、談心(胸の病)肺病、癆病(胸に針さす思)心裏有針扎似的、如亂箭攢心(胸に一物あり)心懷不測(胸裏が悪い)可氣、不高興、可厭惡的、可  
むね宗(名) 宗  
むね旨(名) 旨(旨を奉ず)奉旨

むね棟(名) ①房樑(キナ) ②房脊  
むね刀背(名) 刀背  
むね棟(接尾) 溜、間(家三棟)三溜  
房子(納屋一棟)一間堆房  
むねあげ棟上(名) ①上樑 ②安樑  
的禮(棟上) 「兒(子供)供」  
むねあて胸當(名) ①胸甲 ②圍嘴  
むねうち(名) 拿刀背打  
むねと宗徒(名) 心腹人  
むねん無念(名) 與さんねん同  
むのう無能(名) 無能、無才能、沒能力、沒才幹、無本事、無能耐  
「無能の人」沒本事的人、酒囊飯袋(無能力)「リヨク」 1. 與無能同  
2. 無能力、無權、沒有能力(無能力者)「ヨクシヤ」無能力者  
むはふ無法(名) 不法、不講理

むひむみ

むめむよ

むひ無比(名) 無比、無雙、比不得的、無匹敵的、無上的  
むひつ無筆(名) 不會寫字的人  
むびやう無病(名) 無病(無病息災)「クサイ」無災無病  
むふう無風(名) 無風  
むぶんべつ無分別(名) 無思慮的、不顧前後的、不注意的、無先見的(無分別の男)無思慮的人  
「無分別の事をした」尋了短見了  
(自殺ヲ) 「不亦宜乎」  
むべ宜(副) 宜(亦宜ならずや)(文)  
むへん無邊(名) 無邊、無涯、無際  
むほう無謀(名) 無謀、輕率、鹵莽、欠斟酌  
むほん謀叛(名) 謀叛(謀叛人)「シ」  
むみ無味(名) 無味、沒味道、乏

味、沒有趣味、沒趣、無趣(無味乾燥)「シサク」一點兒趣味也沒有、毫無趣味、如同嚼蠟、興致索然  
むめ梅(名) 梅、梅花、梅樹 「的  
むめい無銘(名) 沒欸識  
むめい無名(名) 無名的、不書名的、不具名的(無名指)「シ」無名指、四指指  
むもん無紋(名) 沒花樣的  
むやみに無暗(副) 妄、胡、亂(無暗に金を使ふ)妄花錢(無暗に饒舌る)胡說八道(無暗に食ふ)亂吃(風が無暗に吹く)風亂颯  
むよう無用(名) ①無用、無益、沒有用處、不濟、不濟事(無用の物)無用的東西、不濟的貨(無用の者入る可からず)閒人不可進

むよむら

去、閒人免進②不許、禁止〔車馬往來無用〕禁止車馬來往〔張札無用〕不許招貼〔此處小便無用〕此處不許撒尿、禁止便溺、君子自重〔喫烟無用〕禁止吸烟〔開放無用〕隨手關閉、開者必閉、嚴禁開放、小心關門、不准開放  
むよく無欲〔名〕無欲  
むら村〔名〕村莊、鄉村  
むら斑 ①花花達達〔色がむらになる〕染的不勻淨、顔色花花達達的②沒準性子〔あの人には氣がむらです〕他是沒準性子的人  
むらがり群〔名〕羣、羣集、羣衆  
むらがる群ル〔四段自動〕羣聚、羣集、成羣、蜂擁〔鳥が群る〕鳥兒打群兒〔見物人が群って来る〕看

むらむり

熱鬧的人蜂擁而來  
〔むらき斑氣〔名〕沒準性子、無定心、由着性兒  
むらくも叢雲〔名〕叢雲〔叢雲劍〕  
〔ツルギ〕日本皇室傳來之寶劍  
むらさき紫〔名〕①紫、藕合②醬油  
むらさきいろ紫色〔名〕紫、藕合  
むらさきずるしやう紫水晶〔名〕紫水晶  
むらさきのり紫菜〔名〕紫菜  
むらざと村里〔名〕村莊、鄉村  
むらさめ村雨〔名〕過雲雨、時雨  
むらしぐれ村時雨〔名〕一陣過雲雨  
むらびと村人〔名〕村莊兒的人  
むらむら村長〔名〕村長、里正  
むり夢裡〔名〕夢裡

むり

むり無理〔名〕不循理、不合理、非理、不講理〔無理を云ふ〕說不講理的話〔怒ったのも無理はない〕他生了氣也有理〔無理をする〕病氣になる〕勉強做事就得病〔それは無理な注文です〕這是難爲人的事〔子供にこれを強ひるのは無理です〕硬叫小孩子辦實在不講理〔文章に無理がある〕文理不順  
むりに無理〔名〕硬、強、勉強〔無理に引張って行った〕強扭着去了、硬拉了走了〔無理に勉強する〕強用功、勉強的用功  
むりさんだん無理算段〔名〕七擲八湊的〔無理算段して千圓だけ拵へた〕七擲八湊的湊湊了一千

元  
むりそく無利息〔名〕無利息  
むりむたいに無理無體二〔副〕強按着腦袋的、死求白賴的  
むりやう無量〔名〕無量、不可量  
むりよ無慮〔副〕差不多、大約  
むりよく無力〔名〕無力、無勢力、無能力、無權力、弱小  
むりわうじやう無理往生〔名〕強按着頭叫他遵命  
むる蒸ル〔下二段自動〕悶〔御飯がまだ蒸れない〕飯還沒悶哪  
むるゐ無類〔名〕無類、無雙、無比〔無類飛切〕〔ビキリ〕天下無雙、天下無比  
むれ群〔名〕羣、堆〔一群の人〕一堆兒人〔二群の鳥〕一羣海鳥〔三三三〕

五五群をなす〕三三五成羣  
むれう無料〔名〕不要錢、免費、分文不取〔小兒無料入場〕兒童免費  
むれう無聊〔名〕無聊  
むろ室〔名〕①窖〔氷の室〕氷窖②むろ椽〔名〕杜松  
むろざき室咲〔名〕洞子花兒  
むろん無論〔名〕自然、不用說〔それは無論の事です〕那是自然的、那還用說麼〔無論私も行く〕我自然也去  
むる無爲〔名〕無爲

め目〔名〕①眼、眼睛〔人の目〕人的眼睛〔片方の目〕一隻眼〔目が見えない〕眼睛瞧不見〔目を見張る〕眼睜睜的、瞪着眼睛看〔目がさく〕1. 眼尖〔目〕2. 有眼識、有鑑識、有眼力〔目がない〕1. 沒眼睛 2. 沒眼力〔目に餘る大敵〕一眼望不到頭的敵人〔目の上の瘤〕眼中釘〔人の目につく〕顯眼〔目に立つ〕同上〔姿が目につく〕他的模樣老在我眼頭裡〔目を廻はす〕暈過去〔目が廻る〕眼花瞭亂〔目が廻る程忙しい〕忙得眼花瞭亂〔目を偷む〕偷眼兒〔目をつぶる〕閉眼、閉眼睛〔大目に見る〕寬容、不着眼〔目が潰れた〕眼睛壞了〔目に觸る〕觸目、入在眼睛

むりむれ

むれめ

め

裡頭〔目を注ぐ〕釘眼看、注目〔目がとどかない〕眼光達不到、眼力不及〔目に止まる〕着見、瞧見〔目を掛く〕愛顧〔目が肥える〕長眼睛〔chang〕〔目を塞ぐ〕閉上眼〔目で知らず〕使眼色、弄眼〔目を慰む〕樂眼睛〔初めて御目に掛ります〕初次見面〔目をくらます〕迷惑人的眼睛〔目も合はない〕合不上眼〔目が近い〕眼睛近視〔目が遠い〕眼睛能遠看、眼睛遠視〔目がかすむ〕眼眼花了〔親の目から見るとどんな子でも可愛い〕在父母眼裡無論那個孩子都可愛〔目が醒めた〕1. 睡醒了2. 醒悟了〔一度目を通して下さい〕請然看一個過兒〔目から火

が出る位ひどく打った〕碰的眼睛冒金星兒〔目が飛出る〕眼睛突出來〔目が飛出る程高い〕貴の出圈兒、貴的無比②空兒〔網の目〕網空兒、網眼、網孔、網窟窿〔籠の目〕筐子空兒〔基盤の目〕棋盤的空兒③齒、牙、點、星、口〔鋸の目〕鋸齒〔鏢〔yas〕の目〕鏢牙〔磙〔s〕の目〕磨的牙〔采の目〕骰子點兒〔秤の目〕秤星〔切目〕割口、刻口〔刻目〕鋸齒口、狗牙缺④印、脚〔縫ひ目〕針脚〔縫ち目〕釘的針脚〔折り目〕褶印兒⑤木理〔木目〕同上⑥當兒、節骨眼兒〔時候の變り目〕變氣候的當兒⑦分量〔目を量る〕邀分量〔慾に目がない男〕好貪便宜的人〔女に目な

くれる〕迷女色〔金に目を掛ける〕愛上錢〔八方へ目を配る〕四面八方的守望〔憂き目を見る〕遇見糟心的事〔慘しくて目もあてられぬ〕慘不忍觀〔ひどい目に遇った〕遇見苦事、惹了個大禍〔金目になるもの〕值錢的東西〔抜目がない〕不漏空〔目と鼻との間〕離着很近〔目から鼻へ抜ける〕很精明的、耳聰目明的  
め芽〔名〕芽、苗頭〔芽が出る〕發芽、冒芽〔若芽〕〔わか〕嫩芽  
め海布〔名〕海帶菜  
め目〔接尾〕第〔三〕目〕第三個〔十日目〕第十天〔五番目〕第五個〔二回目〕第二回  
め〔接尾〕東西〔畜生め〕畜類的東西

西、畜生〔此奴め〕你這個東西  
めーデー〔名〕(May-day) 國際勞動節、勞動節日、勞工節、五一節  
メートル〔名〕(Meter) ①米突、密達、公尺、呎②準表、量表、火表〔ガス〕、電表〔電氣〕、水表〔水道〕、計量器〔キロメートル〕啓羅米突、籽〔ヘクトメートル〕海克脫米突、箱〔デカメートル〕特卡米突、料〔デシメートル〕特西米突、粉〔センチメートル〕生的米突、糰〔ミリメートル〕密理米突、耗〔メートル尺〕密達尺〔メートル法〕米法度量衡、米突量法、米突法、枚量法、米特量法、公尺制  
めあか目赤〔名〕眼珠兒紅

めあか目垢〔名〕吃臟護  
めあか目證〔名〕馬快、捕吏  
めあき目明〔名〕有眼睛的  
めあたらしき目新シキ〔形容詞〕新鮮〔目新しき品〕新鮮貨〔目新しき方法を考へる〕別開生面  
めあて目當〔名〕標準、目的、打算〔何の目當もなく上京した〕沒甚麼打算上京來了〔彼等は報酬を目當に働いたので〕他們是想着酬勞纔做活的  
めあはず妻ス〔下二段他動〕妻、聘給他、匹配、相配、做配偶  
めい命〔名〕命、命令、吩咐〔命に遵ふ〕遵命〔命に依り〕依命、遵飭、照令〔命を受けて外國に行く〕奉命出洋〔天なり命なり〕天也命

めい唯命、これ従ふ〕唯命是聽  
めい明〔名〕明〔人を知るの明なし〕無知人之明〔明晃晃たり〕明晃晃  
めい姪〔名〕與めひ同  
めい銘〔名〕①銘〔座右の銘〕座右銘〔心に銘す〕銘心、銘在心上、刻在心上、銘刻在心②碑銘③  
めい名〔名〕名、人〔學生三百名〕三百名學生  
めいあん明暗〔名〕明暗  
めいあん名案〔名〕好主意、妙計、高招兒  
めい名醫〔名〕名醫  
めいん命運〔名〕命運、氣運  
めいか名家〔名〕名家  
めいか名歌〔名〕名歌

めいかく明確(名) 明確  
 めいかん銘感(名) 銘感、銘感五  
 内、銘肌鏤骨 同上  
 めいかん銘肝(名) 同上  
 めいき銘旗(名) 銘旗、銘旌、靈旛  
 めいぎ名義(名) 名、名義、名下  
〔人の名義を騙る〕 假冒名義、影射名義〔名義を汚す〕 壞名義〔名義を書き換へる〕 更換戸名(盗券)  
 めいぎ名妓(名) 名妓、紅妓女  
 めいきゆう迷宮(名) 迷魂陣、迷園、迷宮〔殺人事件は迷宮に入った〕 這件命案懸了沒有頭緒  
 めいぐわ名畫(名) 出名的畫兒  
 めいくん明君(名) 明君、聖君  
 めいけう名教(名) 名教  
 めいげつ明月(名) 明月、亮月、朗

月、皓月  
 めいげん名言(名) 名言、善言  
 めいげん明言(名) 明言、聲明  
 めいこう名工(名) 名師、名手、老手  
 めいさい明細(名) 精密、細密、詳細〔明細に説明する〕 細細兒的說明、詳細的講解〔明細書〕  
(ガキ) 細單、詳單  
 めいさう冥想(名) 與もくさう同  
 めいさく名作(名) 名工、老手所造、名手所造  
 めいさん名産(名) 名産  
 めいざん名山(名) 名山  
 めいし名詞(名) 名詞、名字、名物  
〔抽象名詞〕 抽象名詞、虛總名詞〔固有名詞〕 定名詞

めいし名刺(名) 名刺、名片、拜帖(訪問、職名〔chih〕)、名帖(用)  
 めいし明示(名) 明示、表明、明  
 めいし名士(名) 名士〔說、明言〕  
 めいじつ名實(名) 名實〔名實相かなふ〕 名實相副〔名實合はない〕 名不符實、名目不合  
 めいしや眼醫者(名) 眼科大夫  
 めいしやう名匠(名) 名匠  
 めいしやう名將(名) 名將  
 めいじやう名狀(名) 言狀〔言語の名狀すべきにあらず〕 不可言狀、難以形容〔名狀すべからず〕 同上  
 めいしゆ盟主(名) 盟主  
 めいしゆ名手(名) 名手  
 めいしゆ名主(名) 有名的君主  
 めいしゆ銘酒(名) 高酒〔銘酒屋〕

酒館子、酒樓

めいしよ名所(名) 名勝、勝區  
 めいしよ名勝(名) 同上  
 めいしよ名稱(名) 名稱、名義、名號、稱呼  
 めいしよ明證(名) 明證  
 めいしん明信(名) 迷信、謬信  
 めいしん銘心(名) 銘心、銘記〔手〕  
 めいじん名人(名) 名人、名手、老  
 めいす瞑ス(佐變自動) 瞑、瞑目  
 めいす (Maze) 迷路、迷途  
 めいす命ズ(佐變他動) 命、出命、出令、委派、分派、吩咐〔私は日本へ視察を命ぜられました〕 我奉委上日本考察事情去〔料理は既に命じておきました〕 菜已經分派

下了〔何事でも構はずお命じ下さい〕 無論甚麼事竟管吩咐我  
 めいすう命數(名) 命數、命運  
 めいせい名聲(名) 名聲、名望、名氣  
 めいせき明哲(名) 明哲、明晰、清晰〔明哲身を保つ〕 明哲保身〔あの人頭が甚だ明晰です〕 他的頭腦很清晰  
 めいせつ名節(名) 名節  
 めいせん銘撰(名) 綱子一類  
 めいそう名僧(名) 名僧  
 めいぞく名族(名) 名門  
 めいたう名刀(名) 出名的刀  
 めいたん明旦(名) 明旦、明天早  
 めいだん明斷(名) 明斷  
 めいち明知(名) 明知〔起〕

めいち明智(名) 明智  
 めいちや銘茶(名) 好茶  
 めいちゆう命中(名) 命中  
 めいてい酩酊(名) 酩酊大醉  
 めいてき鳴鑼(名) 鳴鑼、包頭箭  
 めいご冥土(名) 冥土、冥府、陰間、陰曹地府〔冥土の旅〕 歸西  
 めいどう鳴動(名) 鳴動(天地)  
 めいどく明德(名) 明德  
 めいにち命日(名) 忌辰  
 めいば名馬(名) 千里馬  
 めいばう名望(名) 名望、名聲〔名望家〕 有名聲的人、名望人、名人  
 めいはく明白(名) 明白、現明、顯明〔それは明白な事實です〕 這是顯然的事情〔明白に見える〕 看



めい

得清楚、明明白白の看得見(意味が明白でない)意思不明白  
 めいばつ 冥罰(名) 報應、遭報  
 めいび 明媚(名) 明媚  
 めいひつ 名筆(名) 妙筆  
 めいびん 明敏(名) 明敏  
 めいふ 冥府(名) 冥府、冥土、陰間  
 めいふく 冥福(名) 冥福  
 めいぶつ 名物(名) ①出名的東西  
 ②名産(名物男)(アトコ) 出名の人  
 めいぶん 名分(名) 名分  
 めいぶん 明文(名) 明文  
 めいぶん 明文(名) 明文  
 めいほ 名簿(名) 名冊、名單(株主名簿)(カブシ) 股東名冊(訪問客名簿)(ハクモン) 門冊(門番ノ保) 門簿(廻) 賓客署名簿(客名スル) 客簿子(廻)

めい

めいめい 冥冥(名) 「兒  
 めいめい 銘銘(副) 各自、各自各  
 めいめい 命名(名) 命名、起名、定  
 名、稱名  
 めいめつ 明滅(名) 明滅  
 めいもく 名目(名) 名目 「眼  
 めいもく 瞑目(名) 瞑目、合眼、閉  
 めいもん 名門(名) 名門、高門、朱  
 めいやく 盟約(名) 盟約 「門  
 めいよ 名譽(名) 名譽、聲譽、名  
 望、令名(名譽職)(シヨク) 名譽職、  
 義務職  
 めいり 名利(名) 名利、名譽和實  
 めいりう 名流(名) 名流、有名人  
 めいれい 命令(名) 命令、吩咐  
 めいれい 明瞭(名) 明瞭、清楚(發

めい

音が明瞭です」口音清楚(明瞭に見える)看得清楚(意味の不明瞭な所がある)意思有含糊的地方  
 「彼は頭が明瞭です」他頭腦清楚  
 (めいる 滅入ル(四段自動) 鬱抑、沈  
 悶、銷沈、悶悶不樂(氣が滅入る)意氣銷沈、沒有精神  
 めいろん 名論(名) 名論、高論  
 めいわく 迷惑(名) 麻煩、爲難、受累(どんな事があっても貴下に迷惑はかけません)有甚麼樣兒事情也不能麻煩您(難爲不着您)「斷るわけにも行かず迷惑して居ます」不好意思推辭我很爲難  
 「銀行が倒れた爲に多くの人が迷惑する」因爲銀行倒了帶累的人很多「贈物を貰って却って迷惑す

めう

めう 妙(名) ①妙「そうなれば至極妙です」這麼一來就妙極了 ②奇怪、可怪「妙な顔をする」臉上變顏變色的「あの人は餘程妙な人です」他是很奇怪的人「妙な夢を見た」做了個怪夢 「高招兒  
 めうあん 妙案(名) 好策、好主意、  
 めうが 茗荷(名) 蘘荷  
 めうぎ 妙技(名) 妙技  
 めうけい 妙計(名) 妙計、巧計、機  
 巧計策  
 めうさく 妙策(名) 妙策  
 めうじ 苗字(名) 與みやうじ同  
 めうしゆ 妙手(名) 妙手

めうめお

めうしよ 妙所(名) 妙處  
 めうち 目打(名) 打眼、鑽孔、穿孔  
 めうつり 目移(名) 亂眼、目迷五  
 色、眼花撩亂 「子、夫妻倆  
 めうと 夫婦(名) 夫婦、夫妻、兩口  
 めうは 妙法(名) 妙法  
 めうへ 目上(名) 長輩  
 めうみ 妙味(名) 妙、妙味、妙趣  
 (何とも云へない妙味がある)莫  
 名其妙  
 めうめう 妙妙(名) 妙絕、妙甚、妙  
 めうやく 妙藥(名) 妙藥、靈藥、聖  
 めうやう 妙用(名) 妙用 「藥  
 めうれい 妙齡(名) 妙齡  
 めおほえ 目覺(名) 目標、記號  
 めおや 女親(名) 母親

めか

めがく 目掛ク(下二段他動) 屬目、盼  
 望  
 めかくし 目隠(名) ①握眼(目ヲ) ②  
 (目カクシ) 朦老瞎玩兒、瞎子摸魚、  
 摸瞎兒、捉迷藏 ③(馬) 馬眼遮  
 めかけ 妾(名) 妾、姨奶奶、姨太  
 太、偏房、側室、屋裡人(妾を持  
 つ) 納妾、納寵  
 めかけばら 妾腹(名) 庶出  
 (めかす(四段他動) ①打扮的花梢、  
 開虛架子、掛畫(今日はおめかし  
 ですれ)您今天掛了畫了 ②粧、  
 假粧、假充、裝模作樣(學者めか  
 す)充念書的人(今めかす)打扮  
 時樣兒(ほのめかす)暗含着說  
 めかた 目方(名) 重、斤兩、分量  
 (目方を量る)邀分量、秤斤兩(目

めかめく

方で賣る論斤賣

めかづら目鬘(名) 半截兒鬼臉

めかど目角(名) 眼角(目角を立てる) 釘着眼看

めがね眼鏡(名) ①眼鏡 ②眼力(素通の眼鏡) 平光(近視の眼鏡) 近光(遠視の眼鏡) 老光(鼻眼鏡) 夾鼻眼鏡(色眼鏡) 有色眼鏡(眼鏡をかける) 戴眼鏡(眼鏡を外す) 摘眼鏡(眼鏡に叶ふ) 入眼

メガホン(名) (Megaphon) 補聽器、助聽器、擴音器、傳聲器

めがはら北瓦(名) 陰瓦

めきき目利(名) 眼力高的、精通家、鑒識家、行家

めきし(二) 墨西哥(名) 墨西哥(四動自動) 有：様子(時めく)

めくらめつ(ば) 盲滅法(動) 安、亂、胡

めぐらす廻(ス) ①圍、繞(周圍は壕を以て廻す) 周圍是拿壕溝圍着 ②盤算(工夫を廻す) 盤算出主意(謀を廻す) 盤算計策

めぐり廻(名) ①回轉 ②周、周圍

めぐりあはせ廻合(名) 運氣

めぐりあふ(フ) 廻合(フ) ①遇見

めくる捲(ル) ①扯、揭(壁の紙を捲る) 把牆上的紙扯下來 ②掀(一頁を捲る) 掀一篇

めぐる廻(ル) ①廻、轉、廻轉、旋轉、廻旋(車が廻る) 車帖轉、地球が太陽の周圍を廻る

めく

めく

時派(才子めく) 有才子様子(春めく) 有春天的様子

めくぎ目釘(名) 刀把兒上的釘子

めくされ紅爛(名) 爛眼兒

めくされがね目腐金(名) 一文不值的錢

めぐすり目藥(名) 眼藥

めくそ目屎(名) 吹膜護

めくはす胸(下二段自動) 使眼色、弄眼、擠個眼兒

めくばせ胸(名) 使眼色(胸する) 與めくはす同

めくばり目配(名) 四下裡看

めぐまれたる惠(タル) 被惠的、受愛的、得助的(惠まれたる人) 受天惠的人、有造化的人、走紅運的人

地球環遶太陽的周圍、地球繞日而轉(廻り廻って私の番に來た) 輪流着又到了我的班兒了(年月廻る) 年月周而復始(水山を廻る) 水繞着山流 ②繞灣兒、周游(諸方を廻る) 在各處繞灣兒(世界を廻る) 周游世界

めくるめく眩(ク) 眼花頭暈、眼花撩亂

めくほし目溢(名) 寬容、不着眼

めさき目先(名) ①眼力、眼光(目先がきかない) 眼光太短、只顧目前、沒有先見之明 ②眼前、眼前裡(目先の事ばかり考へて後の事は考へない) 只顧眼前不思日後(あの光景が尙ほ目先につく) 那個光景現在還在眼前似的

めくめさ

めく

めぐみ惠(名) 恩、德、恩惠、恩典、仁愛、仁慈、仁惠 「芽、出芽兒

めぐむ萌(ム) ①萌芽、發

めぐむ惠(ム) ①惠、給、加恩、施恩

めくら盲(名) 盲、瞎子(私は商賣にかけては丸で盲です) 我於買賣上簡直的是瞎子(盲になる) 瞎了、成了瞎子了、眼睛失了光、眼喪了明(盲蛇におちす) 初生的牛犢不怕虎

めくらいん盲印(名) 瞎打圖書

めくらうち盲打(名) 亂打、瞎打

めくらおに盲鬼(名) 捉迷藏

めくらさがし盲探(名) 瞎找、亂找

めくらじま盲竊(名) 瞎道兒的布

めくらばん盲判(名) 與盲印同

外觀、觀瞻(目先が換はる) 看着有變化(目先の換った面白い風景) 變幻生趣的風景(喜劇を) 幕入れて目先を換へる(挿演一齣笑劇以歡看客耳目) 以新場面

めざし目差(名) 與めつき同

めざし目刺(名) 乾鱸魚

めざす目差(ス) ①指望

めざす萌(ス) 萌芽

めざとし目聰(シ) ①眼尖

めざし目障(名) 碍眼、擋眼、扎

めざまし目覺(名) ①醒眼的 ②小孩兒睡醒了給的點心 ③醒鐘、鬧鐘(目覺時計) 同上

めざまし目覺(シ) 異常、非

めさ



めつ

亂打、胡打、混打〔滅多無性〕  
〔シヤム〕亂、胡、妄、混〔滅多矢鱈〕  
〔ヤタラ〕同上〔滅多斬〕〔キリ〕亂斬、亂

めつばう滅亡〔名〕滅亡、滅没

めつばふ滅法〔副〕非常的、異常、

出圈兒〔滅法界〕〔名〕同上

めつぶし目潰〔名〕迷眼土〔目潰を

投げる〕揚〔lang〕眼睛、撒蒙眼沙

めづま目棲〔名〕人看〔目棲を忍ぶ〕

怕人看

めづらし珍シ〔形志久活〕珍、希罕、

少〔これは珍しい物です〕這是個

希罕物〔珍しく來ましたれ〕不常

來の人來了、今天甚麼風兒把

你吹來了〔今の世には珍しい人

だ〕現在の世上少有的人〔新聞

めつめて

に何か珍しい事が出て居ますか〕

報上有甚麼新聞沒有

めづらしがる珍ガル〔四段他動〕希

罕、納罕〔誰がこんな物を珍がる

ものですか〕誰希罕這麼個東西

西呢〔これは何も珍がる事でもな

い〕這也是沒甚麼納罕兒的

めつれつ滅裂〔名〕滅裂

めでたし目出度シ〔形久活〕可喜、可

賀、可慶、恭喜〔今度御昇進でお

目出度うございます〕您這回高

陸實在可喜〔新年お目出度うご

ざいます〕新禧新禧〔御令息が御

結婚でお目出度うございます〕令

郎小登科實在可賀之至〔御令息

が御出生でお目出度う〕恭喜恭

めとめの

一五五〇

喜您得了一位令郎〔目出度い事

が續く〕接連着有紅事〔目出度く

終を告げた〕平平安安的了結了

めど針孔〔名〕針鼻兒、針眼

めど目處〔名〕目標、目的

めどき筈〔名〕筈

めどぼり目通〔名〕謁見

めどり雌鳥〔名〕母鳥兒

めどる娶ル〔四段他動〕娶〔妻を娶る〕

めなう瑪瑙〔名〕瑪瑙

めぬき目貫〔名〕刀把上的式件

めぬき目抜〔名〕要路口、要緊

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めぬき目要緊的東西、在眼裡

めのめは

めのと乳母〔名〕乳母、奶媽子

めのまへ目前〔名〕眼前、當面、眼

頭裡〔君の目前にあるのが見えな

いか〕在你眼前哪你還瞧不見

麼〔試驗を目前に扣へて居る〕考

試在眼頭裡〔罰は目前〕眼頭裡

有報應、現世現報〔人の目前で

罵る〕當面兒罵

めばえ芽生〔名〕冒芽、發芽

めはし目端〔名〕眼力、視力〔目端

がきく〕眼尖、心眼兒活便

めはしり目走〔名〕同上

めばたき瞬〔名〕眨巴眼

めばたく瞬ク〔四段自動〕眨巴眼

めはちぶ目八分〔名〕齊眉、高舉

過眉

めばやし目早シ〔形久活〕眼尖、靈

靈

めはめま

めばり目眼〔名〕溜縫子

めひ姪〔名〕姪女兒

めぶんりやう目分量〔名〕眼睛算

めぶんりやう目分量

めへん目偏〔名〕斜目旁兒

めほし目星〔名〕①目標、目的

②蘿蔔花〔眼珠〕〔彼奴怪しいと目星を

打った〕我一上眼估料是他行踪

可疑〔犯人はまだ目星が付かな

い〕犯人逃跑了無影無踪

めほし〔形志久活〕在眼裡的〔めほし

い物〕好東西、值錢的東西

めまぐるし目苦シ〔形志久活〕碍眼、

擋眼

めまひ眩・暈〔名〕暈眼、發暈、眩

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

暈、眼花頭暈、眼花撩亂

めみめら

一五五一

めみえ目見〔名〕①謁見②試手來

めめし女女シ〔形志久活〕柔弱、軟

弱、婦女樣式的、像婦道的、媚

氣的、婆婆媽媽兒的

メモ〔名〕條紙、記事紙

めもじ目文字〔名〕見面、會、見

めもじ目許〔名〕①眼窩〔ハリマ〕②眼

神〔キツ〕

めもり目盛〔名〕眼睛算的分量、

目測②安稱星〔ハカリノ目〕安天星

〔モルコト〕〔目盛筒〕〔ツ〕量杯

めやす目安〔名〕①主意②告狀〔目

安書〕〔ガキ〕總目、綱目

めやに目脂〔名〕眵障護

めやみ眼病〔名〕眼病、眼疾

めらう女郎〔名〕①女孩兒②養漢

めらう女郎

めらう女郎

めらう女郎

めらう女郎

めらう女郎

めらう女郎

めらう女郎

めりめん

老婆(女ヲ罵ル語)

めり減(名) 耗、傷耗〔減か立つ〕有

めり罵詈(名) 罵罵

めりけん(名) 米利堅粉(名) 洋白麪

めりこむ(動) 滅込ム(四段自動)

傷耗(名) 被壓下去

めりやす(名) 莫大小(名) 緊身布、衛

生絨〔莫大小しやつ〕衛生衣、衛

生襯衫〔莫大小すぼん下〕衛生褲

メリンス(名) 洋紗

める滅ル(四段自動) 耗、傷耗

メルトン(名) (Melton) 厚呢

めをど夫婦(名) 夫婦、夫妻、兩口子

めん面(名) ①面、臉〔人の心は其面の如く同じからず〕人心之不同各如其面 ②鬼臉、假面、面具

めん

めん(名) 〔面をかぶる〕戴鬼臉、戴面具

めん免(名) ①免職、革職 ②免收、免稅

めん麪(名) 麪、麵

めん綿(名) 綿花布

めん雌(名) 雌、牝、母

めん面(接尾) 塊〔額一面〕一塊匾額

塊硯臺

めんい(名) 綿衣(名) 粗布衣裳

めんい(名) 面友(名) 面友

めんい(名) たりねる綿以太利ネル(名) 棉羽綢

めんい(名) 綿入(名) 半絲半綿

めんえき(名) 免役(名) 免其賦役

めんえき(名) 免疫(名) 免症〔免疫性〕 免疫性〔免疫注射〕

めん

めん(名) 〔ユウシヤ〕免症種術、防疫種術

めんえつ(名) 面謁(名) 面謁、面見

めんぎ(名) 面議(名) 面議、面商、面談

めんきつ(名) 面詰(名) 面詰

めんきよ(名) 免許(名) 官許、官准、批准、准行②許、可許〔免許鑑札〕執照牌子、准照〔免許狀〕執照、帖照〔免許料〕課銀、領帖課銀〔免許皆傳〕罄其所有全傳授給人〔イデカ〕

めんくら(名) 面食〔四段自動〕慌忙、めんくら(名) 綿花(名) 棉花

めんくわ(名) 面會(名) 會、見、會面、會見、謁見〔面會を乞ふ〕請見〔一度面會した〕會過一面

めんくわ(名) やく綿火薬(名) 火綿、火藥綿、綿花火藥

めん

めんくわん(名) 免官(名) 與免職同

めんけん(名) 瞑眩(名) 瞑眩

めんごろ(名) 綿吳羅(名) 冲羽紗

めんざい(名) 免罪(名) 免罪

めんさう(名) 面相(名) 相貌、面貌

めんざん(名) 綿撒絲(名) 裏傷布、綿撒絲

めんし(名) 綿絲(名) 綿花線、綿紗

めんし(名) 面識(名) 面識、認識

めんじやう(名) 免狀(名) 文憑〔卒業、帖照〔營業〕執照〔免許〕〕「上聽從

めんじゆう(名) 面從(名) 面從、表面

めんじゆう(名) 綿縞子(名) 泰西縞子、綿羽緞

めんじよく(名) 面色(名) 面色、氣色

めんじよく(名) 免職(名) 免職、革職、罷職、革退、罷免、開除、撤差

めん

めんす(名) 面ス(在野自動) 面、朝〔東に面す〕面東、朝東

めんず(名) 免ズ(在野自動) ①免〔職を免す〕免職②看、瞧〔情實に免じて〕看情面〔私の顔に免じて〕看着我

めんぜい(名) 免稅(名) 免稅、豁免錢糧〔免稅證書〕免稅執照〔ヤウシヨ〕

めんせい(名) 免罪(名) 免罪、豁免錢糧〔免稅證書〕免稅執照〔ヤウシヨ〕

めんせい(名) ひん綿製品(名) 綿貨、綿

めんせい(名) 面責(名) 面責、當面申斥

めんせき(名) 面積(名) 面、面積、幅

めんせつ(名) 面接(名) 會、見、會面

めんぜん(名) 面前(名) 面前、當面〔私の面前で〕在我面前、當着我

めん

めんそ(名) 面訴(名) 面訴

めんそ(名) 免訴(名) 免訴

めんそ(名) 免租(名) 免稅、豁免錢糧

めんたう(名) 面倒(名) 費事、累贅、麻煩、討厭、厭煩、絮煩、膩煩、囉瑣〔手續が甚面倒です〕手續很費事〔この仕事は中面倒だ〕這個活太費手〔御面倒ですが此の一句を譯して下さい〕累您給我翻譯這一句話〔色色面倒な事が出來て來た〕鬧出各樣麻煩的事來了〔巡查の役目は甚面倒です〕巡警的差使很煩雜〔面倒を見る〕看顧、看管、照顧、照應、照管、照看〔子供の面倒を見てやる〕母親照應小孩子〔面倒臭い〕很費事、很麻煩

めん

メンタルテスト (Mental-test)

智力測驗 「商、面晤

めんだん 面談 (名) 面談、面議、面

めんぢぢみ 綿縮 (名) 東洋縐布

めんぢよ 免除 (名) 除免、豁免、寬

免、蠲免 (租税を免除する) 豁免

税捐、免繳地租 (服役免除) キー

免其服役 (兵役免除) キー

めんちん 面陳 (名) 面陳 「兵役

めんつう 面桶 (名) 裝一份兒飯的

飯桶

めんてい 面體 (名) 面目、面貌、相

めんどむかふ 面向 (四段自動) 對

面、臉對臉、當面、覲面、覲着

めんどり 雌鳥 (名) ①母鳥兒 ②母

めんねる (名) 與めんふらん同

めん

メンバー (Member) 同會、會

友、會員、社友

めんばう 面貌 (名) 面貌、相貌、面

めんばう 麪包 (名) 麪包 「目

めんばんしよ 面番所 (名) 看守所

めんび 面皮 (名) ①面皮 (面皮厚し)

面皮厚 ②面目 「面皮を失ふ」 失

面目、丟臉

めんびろーど 綿天鵞絨 (名) 假回

めんぶ 面部 (名) 面、臉 「子絨

めんぶ 綿布 (名) 綿花布

めんぶく 綿服 (名) 粗布衣裳

めんふらん 綿フラン (名) 絨布、綿

法蘭絨、綿織法蘭絨 (綿綿ふら

ん) 柳條絨布

めんふん 麪粉 (名) 麪

めんべき 面壁 (名) 面壁

めん

めんほう 麪棒 (名) 趕麪杖

めんほく 面目 (名) 面目、臉、臉面

「面目がない」有何面目、無面見

人、沒有臉面 (本來の面目を守る)

「守自己本來的面目 (面目を失ふ) 失面目、丟臉 (面目を施す)

立臉、有光彩、得了體面了 (面目を重んずる) 顧惜臉面 「密

めんみつ 綿密 (名) 細緻、緻密、綿

めんめん 面面 (名) 各自 (ko<sup>4</sup> tau<sup>4</sup>、

各自各兒 (ko<sup>4</sup> tau<sup>4</sup> ko<sup>3</sup> tsh<sup>2</sup>)

めんめん 綿綿 (副) 綿綿、連綿 (綿

綿として盡きない) 綿綿不絕

めんもく 面目 (名) 與めんほく同

めんやう 綿羊 (名) 綿羊

めんゆ 面諭 (名) 面諭

めんよう (名) 奇怪

めんろ 綿羅 (名) 綿羅

も

も裳 (名) 裙子 (婦人)

も喪 (名) 喪 (喪を發す) 出喪、發喪

「喪にあたる」丁憂、着孝、守喪、

も藻 (名) 藻、水草、水藻 「穿孝

も (動詞) 亦也、都、又 (彼も人なり

我も人なり) 彼亦人也我亦人也

(文) 「善くもなく悪くもない」也

沒有好也沒有不好 (行くもよし

行かぬもよし) 去也罷不去也罷

「虎も鼠も馬も獸です」老虎耗子

馬都是畜類 (行も歸りも車に乗っ

た) 來回都坐的是洋車 (荷は遅

くも月末までに着きます) 貨物至

めんも

晚也得這個月底到 (高くも五圓

はしまい) 至貴也不到五元罷

「働きもするが金も遣ふ」他能做

活可也能花錢 (斷つ) るにも斷

れぬ) 辭又辭不得 (見たくもある

が恐しくもある) 又要看又害怕

「二日に三圓も儲ければよい」一

天可以賺三塊錢也就够了 (一

厘も負りません) 一個大也不能

讓 (一日も暇な日はない) 一天

也沒有閒着的工夫 (見るも厭

「連看也不願意看

も (名) 嗚呼、吁、嘸咬

モーゼル (名) (Mauser) 毛瑟槍

モーター (名) (Motor) 馬達、摩托

機、原動機、發動機、引擎、モー

ターボート) 汽油船、動機船、摩

もも

托艇

モーニングコート (Morning-

coat) 晝用常禮服 (紳) 「金邊帶

モール (名) 邊帶、飾帶 (金モール)

(もう) (副) ①再 (私はもう行きませ

ん) 我再也不去 (もう少し負けな

さい) 再讓點兒價錢 (もう少し後

へ寄りなさい) 再往後退 (一退

已經 (もう六時になった) 已經有

六點鐘了 (もう遅れた) 已經晚

もうい 毛衣 (名) 皮襖

もうこ 蒙古 (名) 蒙古 (mong<sup>3</sup>) 蒙

古人 (ジ) 蒙古人 (蒙古語) (ジ) 蒙

古話 (蒙古人種) (シ) 蒙古人種

もうさいくわん 毛細管 (名) 微絲

血管、纖細血管 (以上)、毫管、毛

管、毛細管 (毛細管引力) (シ) ヨク

もも

もうもえ

毛管引力 「遺精」  
 もうざう 夢想(色) ①夢想、幻想  
 もうせん 毛氈(色) 毡子〔毛氈苔〕  
 (ツケ)毛氈苔 絲毫無、毫無  
 もうどう 毛頭(副) 頭髮  
 もうはつ 毛髮(名) 頭髮  
 もうひつ 毛筆(名) 毛筆  
 もうふ 毛布(名) 毡子、毛布、絨被  
 もうまい 蒙昧(名) 蒙昧  
 もうろう 朦朧(名) 朦朧、迷糊〔月  
 朦朧たり〕月色朦朧〔朦朧車夫〕  
 (シャフ)磨煩錢的車夫  
 もえがら 燃殻(名) 燒完了の灰  
 もえぎ 蒴葱(名) 葱綠  
 もえさし 燃差(名) 燒剩下的  
 もえたつ 燃立ツ(四段自動) 火着起  
 來了

もかもく

もがく (四段自動) 爭崩、猛扭、輾轉  
 苦悶、撒潑打滾  
 もがり 虎落(名) ①柵欄 ②染杆子  
 もぎ 模擬(名) 仿造、模造、模倣、  
 模擬、仿效〔模擬戰〕(セシ)假戰、  
 擬戰  
 もぎる (四段他動) 摘〔菓物をもぎる〕  
 摘果子  
 もく木(名) ①樹木 ②木理  
 もく目(名) ①目 ②條目、綱目  
 もぐ (四段他動) 與もぎる同  
 もくえう 木曜日(名) 禮拜四、星  
 期四  
 もくか 目下(副) 目下、現在、脚  
 もくきよ 默許(名) 默許、心許、意  
 もくぎよ 木魚(名) 木魚子  
 もくぐう 木偶(名) 木偶、木頭人  
 もくくわん 木環(名) 木環 兒

もく

もくけい 默契(名) 默約、默契、私  
 約  
 もくげき 目撃(名) 看、打眼、目  
 撃、目覩、經目、親見、親眼看、  
 目覩眼見〔目撃者〕(シヤ)親眼見  
 證、見證人  
 もくご 目語(名) 打眼色兒  
 もくごん 目今(名) 目下、如今  
 もくご 默坐(名) 默坐  
 もくごさ 艾(名) 艾子  
 もくごい 木材(名) 木料、材木  
 もくさう 默想(名) 默想、暗想、默  
 思、冥想、尋思  
 もくざう 木像(名) 木像 「製的  
 もくざう 木造(名) 木頭做的、木  
 もくさん 目算(名) 目算  
 もくし 默示(名) 默示

一五五六

もく

もくし 默視(名) 默視  
 もくし 默止(名) 默止  
 もくじ 目次(名) 與もくさう同  
 もくしゆく 苜蓿(名) 苜蓿  
 もくす 默ス(佐變自動) 默、默默無言  
 もくせい 木犀(名) 桂花、木樨  
 もくせい 木星(名) 木星、危木  
 もくせい 木製(名) 木製的、木頭  
 もくぜん 默然(副) 默然 「做的  
 もくぜん 目前(名) 眼前、目前、與  
 もくぜん 同 「目前の快樂」眼前  
 歡〔只た目前の事のみを考へる〕  
 只顧眼前、只圖目前  
 もくそう 目送(名) 目送 「測量  
 もくそく 目測(名) 目測、拿眼睛  
 (もくたい) 撒村

もく

もくだく 默語(名) 默語、默許、心  
 許、竟允  
 もくたん 木炭(名) 木炭  
 もくづ 藻屑(名) 海藻、水底芥〔水  
 底の藻屑となる〕葬于魚腹  
 もくてき 目的(名) 目的、志向、意  
 向、心向、想頭〔目的格〕(カ)止  
 詞、受事之位〔目的地〕(カ)去向、  
 去處、所指的、地方、所往的地方  
 もくと 目途(名) 同上 「無異言  
 もくにん 默認(名) 默許、默認、默  
 もくば 木馬(名) 木馬、木頭馬  
 もくはい 木杯(名) 木頭杯  
 もくばん 木版(名) 木版〔木版畫〕  
 (カ)木版畫、木版印出來的畫  
 (カ)刻字鋪  
 もくひつ 木筆(名) 鉛筆

もく

もくへう 目標(名) 目標、標準、目  
 的點、着眼點  
 もくへん 木片(名) 木頭片兒  
 もくめ 木目(名) 木理、木紋、紋  
 理、板花  
 もくもく 默默(副) 默默  
 もくよく 沐浴(名) 沐浴  
 もぐら (名) 與むぐらもち同  
 もぐり 潛(名) ①扎蒙子〔水中に潛  
 る〕在水裡頭扎蒙子 ②躡〔机の  
 下へ潛り込む〕躡進桌子底下去  
 「群集の中へ潛る」躡進人羣兒裡  
 頭去〔蒲團の中へ潛る〕躡進被窩  
 裡去 ③不奉官的、未經官署許  
 可的、沒有官給執照的〔あの醫  
 者は潛です〕他是私大夫〔潛辯護  
 士〕(シヤ)訟棍、非正式的律師

一五五七

もくもさ

もくれない目禮(名) 使眼色行禮

もくれん木蓮(名) 木蘭

もくれんぐわ木煉瓦(名) 木磚、磚

形木塊

もくろく目録(名) 目錄、單子、冊

子、清單、禮單(贈物)、送禮帖(同)

「物品目錄」(ソツビ) 物件清單、物

件冊子

もくろみ目論(名) 謀、謀算、籌畫

もくろむ目論(四段他動) 謀、謀

算、籌畫

もけい模型(名) 模型、模式、模

様、様子、様子「人體模型」(ジンタ

人體模、人體模型

も二模糊(名) 模糊

モザイク(名) (Mosaic) 剪嵌細工、

鑲木細工、剪嵌細工物

もさもし

もさう模造(名) 仿造、模造、摹

仿、仿製「模造品」(ヒン) 仿製品、

仿造品、模造品、仿效的物

もさく摸索(名) 摸索、摸黑

もし若シ(副) 若、若是、倘或、如

若、如果、如其、萬一、比方「若

し病氣になったらどうしますか」

倘或得了病怎麼辦呢「若し仕損

じたらお許を願ひます」若是辦

錯了請您寬恕寬恕我「若しあの

人に若しかの事があたら」倘或

他有個不測「あの場合君が若し

僕であたらどうします」這個時候

候比方你是我你該怎麼辦「君

が若し暇があるなら」你如其有

もし(感) 嘿

もし(感) 嘿 字、文字 「閒工夫

もし

もしか若カ(副) 與もし同

もしくは若クハ(接) 或「明日か若

くは明後日」明天或是後天

もししきり隔鉛(名) 隔鉛

もしそれ若夫(接) 若夫

もしも若モ(副) 與もし同

もしもし(名) 花姐、土娼、察妓、

野雞

もしもし(感) 嘿、喂、借光「もし

もしこちらは本局五十三番です」

喂、我們是本局五十三號「もし

もし此近くに交番所はありません

か」借光這左近地方有巡警派

出所沒有

もしや模寫(名) 摹寫、摹仿的筆跡

もしや若ヤ(副) 與もし同 「(鑿形)

もしやう表章(名) 黑紗、黑紗結

もち持(名) 黏子 (mien? tsai?)

もち持(名) 有「此地所は誰の持

です」這塊地是誰的地基「頭痛

持」(ツツ) 有頭疼的病根兒「痔

持」(イ) 有痔瘡的病根兒「肝癩持」

(カンシヤ) 暴皮氣的人「金持」(カネ) 有

錢的人、財主、濶家②管、歸「此

區域は誰の持です」這一段是誰

管的「運賃は先方持」運費歸前

途交付「運賃は當方持」運費敝

號可以承認「賄(マカ)は自分持で

す」飯是自己管的③耐長不耐

長、耐久不耐久、經用不經用

「持がよい」耐久、經久、經用、結

實「火の持がよい」火着得經時

最久、火着的工夫最大「ペンキ

を塗れば持がよい」一上油就可

もち 一五五九

もしゆ喪主(名) 喪主

モス(名) 與モスリン同

もす燃ス(四段他動) 燒

もず百舌(名) 嘍叭喇、虎伯勞、伯

勞鳥、伯鷄 「底邊

もすそ裳裾(名) 衣裳底邊、裙子

モスリン(名) (Muslin) 洋紗

モダン(名) (Modern) 時興的、

新式的、新鮮的、現時的、現今

的、當今的「モダンガール」愛

新鮮的姑娘、時派的姑娘「モダ

ンボーイ」愛新鮮的少年、時派

的少年 「る」擡頭

もたぐ擡グ(下二段他動) 擡(頭を擡げ

もたす持ス(下二段他動) ①叫拿「ポー

イに提灯を持たせる」叫底下人

拿燈籠「息子に女房を持たせる」給

もしもた

もたもち

もたれ靠(名) (椅子) 椅翅、靠背

もち糰(名) 江米

もち餅(名) 黏糕「餅は餅屋」做甚

麼都得在行



もち

以耐久〔此布は持が悪い〕這塊布不耐長、這塊布不經用

もち望(名) 望、望月

もち縵(名) 粗麻布

もちあぐ持上(下二段他動) ①抬、

擡〔上へ持上げる〕往上海②奉

承〔彼は持上げておくと機嫌がよい〕他是有人奉承他就喜歡〔人を持上げる〕奉承人、給人高帽

兒戴

もちあそび 玩弄(名) 玩意兒

もちあは 糯粟(名) 黃米

もちあはす 持合(下二段他動) 帶、

存〔貴下は細かい錢をお持合せてすか〕你帶着有零錢沒有〔私は一文も持合せません〕我沒帶着錢〔持合せ品〕存貨、現貨、現有

賣我看他拿了好些個錢了〔費用は皆の者が持出す〕費用是大家共攤〔訴訟を持出す〕打官司

告狀③偷〔あの息子は親の金を持出しては遊びまはる〕那個人偷出他老家的錢去竟荒蕩

もちつき 餅搗(名) 做黏糕

もちつき 望月(名) 望月

もちなは 藕繩(名) 粘〔chan〕鳥兒

用的黏繩兒

もちにげ 持逃(名) 拐走、拐跑

もちぬし 持主(名) 本主兒、業主

もちのき 藕木(名) 冬青

もちば 持場(名) 地方、範圍、巡線

(巡査、哨地、哨兵)

もちひ 用(名) 用、用處

もち

貨物〔此手の品は多數持合せ居候〕此項貨物所存甚多、備有豐富之貨品

もちあふ 持合(四段自動) 相持不下〔相場が持合ふ〕行市靠住了〔站住了〕

もちかた 持方(名) 經久不經久的

もちきび 糯黍(名) 梅黍

もちぐさ 餅草(名) 艾子

もちぐされ 持腐(名) 存着不使用

もちぐわし 餅菓子(名) 餠餠一類

もちこす 持越(四段他動) 擲、歸〔次期へ持越す〕把款項擲在下期、歸入在下半期再算

もちこたふ 持堪(下二段他動) 支、支持、維持〔あの店は持堪へなく

もちふ 用(上二段他動) 用、使、使用、使喚〔君の學校では何の教科書を用ひて居るか〕在你學校用甚麼課本子〔人を用ひる事が下手です〕不會用人〔これは何に用ひますか〕這是幹甚麼用的〔大臣が私の意見を用ひない〕總長不用我的主意〔誰もあの人を用ひてくれる者がなく〕誰都沒有使喚他的人〔心を用ふ〕用心〔力を用ふ〕用力

もちぶん 持分(名) 自己的份兒、自己的分額

もちまへ 持前(名) 本領、成性、本

もちも おろしもつかぬ 持毛卸も付かず(句) 深不得淺不得、進退兩難

もち

もち

なつて疊みました〕那個舖子支持不住關了〔こんな細い柱では持堪へられない〕這麼細柱子支不住

もちこむ 持込(四段他動) ①帶到、

拿到〔荷物を汽車へ持込む〕把行李帶到火車上去②送到〔又面倒な事を持込んで来た〕又把麻煩事情送到我這裡來了

もちごめ 糯米(名) 江米

もちぎを 藕竿(名) 黏竿〔mizu〕

もちだす 持出(四段他動) ①舉出、

提出〔異議を持出す〕提出異議

來②拿出、拿到〔外へ持出してよく拂ひなさい〕拿到外頭去好好的抖擻抖擻〔あの商賣には大分金を持出した様子だ〕開那個買

もちもち(前) 犯游移、躊躇〔口をもちもちさせる〕張口結舌〔氣がもちもちする〕心中游移不定

もちもの 持物(名) 帶着的東西

もちや 餅屋(名) 賣黏糕的

もちゆう 喪中(名) 服中、丁憂、服

内、服裏、居喪、穿孝

もちり 銀(名) 鈎竿子

もちる 振ル(四段他動) 擲

もちろん 勿論(副) 不用說、不待言、自然〔それは勿論です〕那是自然的、那還用說麼〔彼も勿論盡力してくれませう〕我想他也自然爲力罷

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もちる用(名) 與もちひ同

もち



もてもと

もてなやむ持惱ム(四段他動)

てあます同

もてはやす持囉ス(四段他動)

稱譽、誇獎、稱揚

(もてる持テル(下一段自動))

人家致

重、體面、吃香(君は向うで大に持てたでせう) 您在那兒很體面過了罷(あの人は技量があるから何處でも持てる) 他有能耐到那兒都吃香

モデル(名) (Model) ①模範、範式、榜樣、表率、表式(彼は支那の君子のモデルです) 他是中國君子人的表式 ②模型、標本、畫時用作模範的人

もと元・本・原 ①本、元、原(孝は百行の本なり) 孝是百行之本

與も

もと

「人間は其本を忘れてはいけない」凡人不可忘本(その處に仕舞って置く) 收在原地方、摺回原處(元と利で餘程の金高になる) 本和利一算起來成了文了(元を磨った) 折本、侵本、蝕本(そんなに安く賣ると本が切れます) 這麼便宜的價錢就不數本兒了 ②根本、起根、要(元を正せば彼が悪いのです) 一究起根兒來還是他不好(何をするにも身體が原です) 無論辦甚麼都是以身體爲要 ③醇、精(酒の本) 酒母、酵(醬油の元) 醬油精 ④前、舊(元の順天府知事) 前順天府尹、原任順天府尹(元の席に歸る) 歸坐、又坐舊位(再び元の職に就く) 再接舊

もと

任、復職(再び元の業をする) 再營舊事業

もと下(名)

①下、底下(勇將の下弱卒なし) 強將之下無弱兵(千載の下) 千載之下(足下) 脚底下(手下) 手底下(根下を固める) 弄結實根柢 ②因、處(この情況の下に) 因其情況、處此境遇

もと元・故・舊・素(副) 素、原、素來、素昔、早(素なじみの人) 素昔認識的人(元彼は商人でした) 他原是商人

もとで元手(名) 與もとととと

もとどり警(名) 警兒

もとね元直(名) 原價、底兒

もとむ求ム(下一段他動) ①求、索、要、找(人に求むるは己に求むるに如かず) 求人不如求己(助を求む) 求助(自ら求めて自ら苦む) 自己找一個爲難、自找其苦

②買、購(これは買ったのではない) 求めたのです 這不是得的是い求めたのです 這不是得的是もとめ求・需(名) 求、需「買的

もとゆひ元結(名) 頭繩

もとより固り・素り(副) 固然、自然(御説は固り結構ですが私には別に考があります) 您說的固然是不錯可是我有我的意見(それは固りです) 那是自然的(私は

もと

一五六五

もと

通に運ばぬともどかしい「事情辦的不可心就著急(彼は愚圖だから實にもどかしい) 他做事拉拉絲絲的實在叫我著急

もとから元カラ・素カラ(副) 素、原、早、舊、原來、素來(彼は元から貧乏なのです) 他素來是個窮人(私は元から彼を好かない) 我原不喜歡他(貴下は元から彼を知つて居たのですか) 您早認識他麼(私の家にもとから有った物) 我家裡舊有的東西

もときん本金(名) 本、本錢、本銀、資本、母財、成本

もどごめ元込(名) 後膛槍

もどしぜい戻税(名) 還稅、已完納進口稅或內國稅的貨物再出

もと

口時由政府給回的稅款(戻稅證書) (ヨウシ) 存票、還稅票

もどす戻ス(四段他動) ①翻回、磨、回、回來(後へ戻す) 往回翻回去(車を戻す) 磨車、把車拉後(呼び戻す) 叫回來、喚回來、時計の針を戻す(撥回表針) (取り戻す) 取回(買ひ戻す) 買回 ②吐(食を戻す) 吐吃食 ③退還(商品を戻す) 退還貨物

もどちやう元帳(名) 總簿、總賬、底賬、總清簿、會計總簿

もとづく本ク・基ク(四段自動) 原於、本於、爲根據、按據(事實に基いて) 按據事實、以事實爲根據、本於事實(宗教に基ける教育) 以宗教爲基礎的教育

もと

一五六五

もともな

固り不賛成です「我自然不賛成  
もどり戻(名) ①回來「戻は歩いて  
歸った」回來是走着回來的 ②魚  
鉤上的倒鉤  
もどりがけ戻掛(名) 回來的時候  
もどりぐるま戻車(名) 空放回來  
的車 「回裝的貨、  
もどりに戻荷(名) 往回裏裝的貨、  
もどる悖ル・戻ル(四段自動) 悖、戻  
「理に戻る」悖理  
もどる戻ル(四段自動) ①倒(kaori)「車  
が後へ戻る」車往後倒 ②回來「家  
へ戻って来た」回家來了 ③還扣  
「繩のよりが戻る」繩子還扣  
もどる基(名) 基、根本、基礎  
もなか最中(名) ①中間、當中、當  
間 ②點心之名

もぬもの

もぬく蛻夕(下二段自動) ①脱(だ)「  
②出羣、出衆、超羣  
もぬけ蛻(名) 竅兒  
もの物(名) ①物、東西「此物」這個  
東西、此物 ②事、事情「物の道  
理」事理兒 ③話「物を云ふ」說話  
④某地「物へ罷る」往某地去 ⑤  
身分、質料「これとあれとは物が  
差ひます」這個和那個身分差着  
哪 ⑥個、來、纔、這麼「物の五分  
間も待った頃」等了個五分鐘的  
時候 ⑦該、該當、應該、得(should)  
「借りたものは返すものだ」借的  
東西該當得還「兄弟は喧嘩する  
ものでない」弟兄們不該打架 ⑧  
1.是「的」これは便利なものだ」  
這是很方便的「戰爭は恐ろしい

もの

ものだ「戰爭は可怕的」(行つて見  
たいものだ)我是願意去的 2.是  
：麼「彼が君子なものか」你說他  
是君子麼「案内しても行くもの  
か」他請我我能去麼 「物とも  
せぬ」不怕、沒所怕、不理會「風  
波を物ともせず進む」不理會風  
波往前進「物足らぬ心持がする」  
心裡不滿意「今度は物になりさ  
うだ」我看這回成了「物になら  
ぬ」不成、不成功  
もの者(名) 者、人、的「顔回と云ふ  
者あり」(文) 有顏回者「彼と交際  
する者がない」沒有和他來往的  
人「愚の者」愚人、笨人「君は何處  
の者か」你是那兒的「私は米屋の  
者です」我是糧食店的「宿の者」

店家、店小二、店夥「可哀相な者  
です」可憐的人

もの(動) 因爲：麼、麼「私は彼を  
構ってやらない随分ひどい人間だ  
もの」我不管他因爲他是刻薄  
人麼「もう濟んでしまったもの致  
方がない」已經完了麼沒法子了  
「支那人ですもの下手な字を書く  
ものですか」中國人寫的字麼那  
兒有不好的呢  
ものあげば物揚場(名) 碼頭  
ものあたらし物新シ(形志久活) 新鮮  
ものあんじ物案(名) 有心事  
ものいはひ物祝(名) 紅事  
ものいひ物言(名) ①說話、談話、  
話 ②爭論、辯嘴 ③異論、異議

もの

ものいふ物言フ(四段自動) 說話  
ものいみ物忌(名) 齋戒、守齋、吃  
齋、食齋「物忌の日」齋日

ものいり物入(名) 費用很大「先月  
は娘を片付ける息子に嫁をもら  
ふ大物入でした」上月又聘姑娘  
又娶兒媳婦費用很大了  
ものうし物憂シ(形久活) 懶、懶怠  
ものうり物賣(名) 賣東西的  
ものおき物置(名) 堆房「物置場」  
もの(可)同上  
ものおそれ物怖(名) 膽子小、怯  
ものおそろし物怖シ(形志久活) 可怕  
ものおほえ物覺(名) 記性  
ものおもはし物思シ(形志久活) 可慮  
ものおもひ物思(名) 心事、憂愁

もの

ものおもふ物思フ(四段自動) 有心  
事、惦记、發愁、憂愁  
ものかき物書(名) 書吏、書記、錄  
ものかげ物蔭(名) 背地裡「事  
ものがたし物堅シ(形久活) 謹慎、  
謹飭  
ものがたり物語(名) ①說話、談  
話、談 ②稗史、小說、寓言  
ものがたる物語ル(四段他動) 說話、  
談話  
ものがなし物悲シ(形志久活) 可悲、  
ものぐさし(形久活) 懶、懶怠  
ものぐるはし物狂シ(形志久活) 瘋子  
似的  
ものぐるひ物狂(名) 瘋、瘋癲  
ものごころ物心(名) 世事、事理  
「物心のつく頃」辨別事理的年

もの

齡、剛明白世事的時候  
 ものこし物越(名) 隔着牆(物越に話す) 隔着牆說話  
 ものこし物事(名) 事情、諸事、事  
 ものこのみ物好(名) 好奇、好別致、好事  
 ものさし尺(名) 尺(物差ではかる)  
 拿尺量(Measure) 尺寸  
 ものさびし物寂(形志久活) 寂寞、冷落、冷清、凄凉、蕭條  
 ものさわがし物騒(形志久活) 不消停、不安靜  
 ものしり物識(名) 博識、百事通、知古蹟、姥姥精兒(物識顔)  
 與知顔(名) 同  
 ものす物(在變他動) 做事、辦事  
 ものずき物好(名) 好奇、好事、好

別致  
 ものすこし物凄(形久活) 凄愴、  
 ものの(接) 雖然、可是(春とは云ふもののまだ寒い) 雖說是春天可還冷(口ではさう云ふものの心では非常に心配して居る) 嘴裡雖然那麼說心裡頭可非常的懸心  
 もののぐ物具(名) 甲冑  
 もののけ物氣(名) 鬼  
 もののな物名(名) 東西的名兒  
 もののね物音(名) ①聲兒 ②音樂  
 もののふ武士(名) 武夫、武士  
 ものほし物乾(名) 晒臺(物乾竿)  
 (ザ)晒竿子(物乾場) 晒臺  
 ものまうで物詣(名) 拜廟  
 ものまなび物學(名) 學學問  
 ものまね物真似(名) 說像聲兒(イハ)

ものみ物見(名) ①看熱鬧(見物)、遊覽 ②探望 ③探馬(探) 物見高し(貪熱鬧、愛看熱鬧) 物見櫓(ヤグラ) 望樓  
 ものめづらし物珍(形志久活) 小怪  
 ものものし物物(形志久活) 大驚  
 ②壯觀 ③小題大做、虛張  
 ものもらひ物貰(名) ①花子、乞丐、要飯的 ②針眼、疔瘡、眼睫瘡  
 ものやはらか物柔(名) 柔和  
 ものわすれ物忘(名) 愛忘事  
 ものわらひ物笑(名) 笑話、取笑  
 「物笑になつた」弄出笑話來了  
 ものをしみ物惜(名) 愛惜東西(物

惜(せぬ)手大、手鬆、手寬  
 もはう模倣(名) 摹仿、仿效、仿造、模仿、效法、寬裕  
 もはや最早(副) 已經、業已  
 もはん模範(名) 模範、榜樣、表式、表率(模範とすべき人) 可作榜樣的人、堪作表式的人(模範を垂れる) 表示一個模範  
 もふく喪服(名) 喪服、孝服、孝衣、喪衣(喪服を着る) 穿孝、帶  
 もまた亦(名) 亦「孝、穿孝服  
 もみ粗(名) ①帶皮兒的米 ②穀皮  
 もみ縦(名) 縦、白松  
 もみ紅(名) 紅綢子  
 もみあげ揉上(名) 耳台子  
 もみながら粗穀(名) 穀皮子  
 (もみくた)揉挫

もみけす揉消(四段他動) ①滅、消滅 ②掩蓋、遮掩、隱蔽、暗中了結  
 もみぢ紅葉(名) ①紅葉 ②楓  
 もみぬか粗糠(名) 穀皮子、糝糠、糝花  
 もみれうじ揉療治(名) 按摩  
 もむ揉(四段他動) 揉(手を揉む) 揉手、搓手(紙を揉む) 揉紙(錐を揉む) 拿錐子鑽(Frown) 肩を揉む 捏肩(人に揉まれる) 被人磨練(氣を揉む) 着急、焦心、揉心、發躁  
 もむ揉(下二段自動) ①擁擠(大勢の人が揉み合ふ) 許多的人擁擠 ②轆轤(あの家では姑と嫁とが揉めて居る) 他家裡因為婆婆和兒媳

婦不和犯轆轤(氣が揉める) 着急、焦心、操心、發躁  
 もめ揉(名) ①織文(ワ) ②轆轤  
 もめん木綿(名) 綿花布、粗布、布(木綿織) 同上(木綿糸) 綿花線、線(木綿屋) 布舖、布  
 もも桃(名) 桃兒  
 もも股(名) 胯、大腿  
 もも百(名) ①一百 ②好幾百  
 ももいろ桃色(名) 粉色、桃兒紅  
 ももだち股立(名) 褲縫兒(股立を取る) 掀起褲子來  
 ももち百千(名) 成千累萬的、成千博萬的、無千代數的  
 ももちぢ百千(名) 同上  
 ももこせ百歳(名) 百歲  
 もものせく桃節句(名) 上巳節

もももゆ

もものつけね 股付根(名) 大腿根、  
 鼠蹊、胯骨縫、腿摺窩  
 ももひき 股引(名) 褲子  
 もや母屋(名) 正房  
 もや靄(名) 霧  
 もやう 模様(名) ①花様、花文、花  
 式〔模様が餘り派手だ〕花様太華  
 美②光景、様子〔雨模様です〕光  
 景是要下雨  
 もやし 萌(名) 薰貨、洞子貨〔豆の  
 萌〕豆芽菜〔麥の萌〕麥芽  
 もやす 燃ス(四段他動) 燒  
 もやす 萌ス(四段他動) 弄發芽  
 もやひ 催合(名) 共同  
 もやひ 舫(名) 舫〔舟又タニツナ  
 ラビタル舫〕  
 もゆ 萌ユ(下二段自動) 萌、發芽  
 もゆ 燃ユ(下二段自動) 燒

もよもら

もよぎ 萌黄(名) 綠色 「事情  
 もよほし 催(名) ①催促、催逼②  
 もよぼす 催ス(四段他動) ①催促、催  
 逼②開〔酒宴を催す〕開宴會〔運  
 動會を催す〕開運動會  
 もよほす 催ス(四段自動) 帶〔春色催  
 す〕帶春色 「近、就近  
 もより 最寄(名) 傍邊、近處、左  
 もらす 漏ス(四段他動) ①漏、洩漏、  
 露、泄露〔秘密を漏す〕洩漏機  
 密、走漏消息、走漏風聲、洩露  
 秘事、走風、露風、漏風〔不承知  
 の意を漏した〕露出不答應的口  
 氣來了〔お差支なくば私までお漏  
 し下さい〕若是不礙事您把這個  
 底兒洩給我罷〔心中の鬱憤を漏  
 す〕發洩肚子裡的悶氣〔小便を

もら

漏した)瀆不住尿尿出來了②落  
 (さ)落下〔一つも漏さず皆寫し  
 取った〕一個也不落都抄出來了  
 〔書き漏す〕落字、落下字〔敵を漏  
 す〕把敵人弄跑了  
 モラトリウム(名) (Moratorium)  
 展緩兌現、付款延期、付款延期  
 令  
 もらひご 貫子(名) 抱的孩子  
 もらひなき 貫泣(名) 陪哭 「西  
 もらひもの 貫物(名) 人家給的東  
 もらふ 貫フ(四段他動) ①給、得〔こ  
 れは友達に貫ったのです〕這是朋  
 友給的〔讀んでもらふ〕求人家  
 給念〔字を書いてもらふ〕求人家  
 給寫字〔これは貫ったので買った  
 のではない〕這是得的不是買的

もり

〔あの人からも手紙を貰ひました〕  
 我也得了他的信了〔一ヶ月三百  
 圓貰つて居る〕一個月得三百元  
 的薪水②抱、娶〔犬をもらふ〕抱  
 狗〔子を貰ふ〕抱個兒子〔妻を貰  
 ふ〕娶媳婦兒  
 もり 森(名) 樹林子  
 もり 銚(名) 魚叔、魚鏢、魚錘〔銚で  
 突く〕扎魚、叉魚  
 もり 漏(名) 漏〔漏を止める〕止漏  
 〔雨の漏〕雨漏  
 もり 盛(名) 盛的(cheng)〔盛がよ  
 い〕盛的多  
 もり 守(名) ①看守的人〔墓守〕〔ハカ  
 看墳的〕保姆、媽媽、看媽媽  
 もり かへす 盛返ス(四段他動) 回復、  
 挽回來、復得、復興、復整〔勢を

もりもる

盛返す)回復勢力〔家運を盛返  
 す〕挽回家運  
 もりころす 盛殺ス(四段他動) 毒殺  
 もりずな 盛砂(名) 行禮節時大門  
 左右堆砂土謂之盛砂  
 もり たつ 守立ツ(下二段他動) 保育、  
 養育 「銚、莫利貌埤紐誤  
 モリブデン(名) (Molybdenum) 鉬、  
 もりもの 盛物(名) 供(kou)〔  
 もりやく 守役(名) 看守的人  
 もる 盛ル(四段他動) 盛(cheng)〔御飯  
 を盛る〕盛飯〔酒を盛る〕斟酒〔水  
 を盛る〕倒水〔藥を盛る〕配藥〔目  
 を盛る〕點稱星(リカ)、點尺星  
 (モノサ)  
 もる 守ル(四段他動) 與まもる同  
 もる 漏ル・洩ル(四段自動) 漏〔雨が漏

もる

る)雨漏〔隙漏る風〕從縫兒進來  
 的風〔此桶は漏ります〕這個水桶  
 漏水〔この壺は少し漏る〕這個壺  
 有點兒滲水  
 もる 漏ル・洩ル(下二段自動) 露、洩漏  
 〔かう秘密にすれば洩れる氣遣は  
 ない〕這麼一機密就萬洩漏不  
 了〔燈光が洩れる〕露出燈光來  
 〔この空氣枕は空氣が漏れます〕  
 這個氣枕漏氣〔人の聲が漏れて  
 來る〕人的聲音漏出來〔あの人  
 の處へ通知が漏れた〕他那兒落  
 (さ)報了〔いきが外に漏れる〕往  
 外撒氣(透氣) 「灰、膠泥  
 モルタル(名) (Mortar) 灰泥、沙  
 モルヒネ(名) (Morphine) 嗎啡、  
 嗎啡、嗎啡鴉、鴉片精、罌粟籬

もろもろ

「モルヒネ中毒」中嗎啡毒「モルヒネ注射」注射嗎啡 「山撥鼠モルモット」(Mormot) 鼯袋鼠、もれくち漏口(名) 漏口、漏處、漏子、漏穴、縫子  
もろこし唐土(名) ①中國②高粱  
〔唐土黍〕(キビ)同上  
もろし脆シ(形容) 脆、容易破的、容易碎的「質が脆い」身分兒脆「涙脆い」愛掉眼淚「脆く負けた」敗的脆快  
もろつー摩洛哥(名) 摩洛哥  
もろて諸手(名) 雙手 「塊兒もろとも」諸共(副) 一同、一もろは諸刃(名) 雙刃  
もろはだ諸肌(名) 兩肩髀兒「諸肌をわぐ」1. 光着兩肩髀兒 2. 盡

もろもん

心協力的給他爲力  
もろひぎ諸膝(名) 兩膝膝蓋  
もろびと諸人(名) 衆人  
もろみ諸味(名) 醬坏子、酒坏子  
もろもろ諸趣 諸、諸多、諸般  
もん門(名) 門(大門) (ダイ) 大門(裏門) (ウラ) 後門(正門) (セイ) 前門  
もん紋(名) ①花樣、花文 ②日本家家的記號、同族章記  
もん文(名) 一文錢、一個大 「礮もん門」(接尾) 尊(砲三十門)三十尊  
もん文(接尾) ①文(五文)五文錢、半個銅子兒 ②寸(十文の靴)八寸的鞋  
もんおり紋織(名) 有花樣的綢緞  
もんか門下(名) 門下、門弟、門生  
もんがまへ門構(名) ①有大門的

もん

一五七二

房子②門樣兒(門ノ) ③門字兒  
もんかん門鑑(名) 腰牌、門照  
もんきりがた紋切形(名) 套子話  
〔校長がいつも紋切形の演説をする〕校長老是演說套子話  
もんく文句(名) ①文句、話語、字面〔此文句は穩當でない〕這一句不穩當〔文句を並べる〕絮絮叨叨的說話〔凄文句(スゴ) 嚇唬人的話語〔契約書の文句〕合同上的話語 ②議論〔誰もそれには文句はない〕誰都沒有議論  
もんぐわい門外(名) 門外(門外漢) (カン) 門外漢  
もんげん門限(名) 門規  
もんこ門戸(名) 門戸(門戸開放) (ハカ) 開放門戸〔門戸開放政策〕

開放門戸政策、洞開門戸政策、大開海禁政策

もんごん文言(名) 文辭  
もんざい問罪(名) 問罪  
もんさつ門札(名) 姓氏牌  
もんし門齒(名) 門牙  
もんし悶死(名) 悶死  
もんじ文字(名) 文字  
もんじやう紋章(名) 紋章、徽章、同族章記 「花庫緞、花緞  
もんじゆす紋縞子(名) 摹本緞、もんじん門人(名) 門人、門生、門徒 「風、時風  
モンsoon(名) (Monsoon) 時令  
もんせん門扇(名) 門扇子  
もんぜん門前(名) 門前〔門前拂〕(ハラヒ) 閉門不納、在家故意不見

もん

客

もんそ門訴(名) 登門伏訴  
もんだい問題(名) 問題、題目、論題〔それは解決しにくい問題です〕這是難解決的問題、這個問題很難解〔出来るか出来ないかそれは問題です〕成不成還是問題〔問題を深く考へる〕深入問題、深求問題〔あの事件が問題になった〕這個事情成了問題了〔試験の問題〕考試的題目〔それは時日の問題だ〕那是時日的問題、那是早晚免不了的事情〔それは問題でない〕那不是問題、那不是問題、那不在話下〔それは金銭問題に過ぎない〕那不過是金銭的問題〔問題の人〕問題中的

もん

もん

一五七三

人(問題外) (グワイ) 問題外、離題  
〔先決問題〕(ゼンク) 先決問題〔緊急問題〕(キンキ) 緊急的問題  
もんち門地(名) 門地  
もんちやく闘着(名) 爭論、鏖戰  
もんつき紋付(名) 有章記的袍子  
もんてい門弟(名) 門人、門生、門もんご門徒(名) 門徒 「徒もんごころ紋所(名) 同族章記  
もんごめ門留(名) 關門不許出入  
もんごり筋斗(名) 懸筋斗(前方) 打筋斗(斜) 翻筋斗(後方)  
もんない門内(名) 門裡頭  
もんなし文無(名) ①一個大也沒有 ②出了尺寸的鞋襪子  
もんぱ紋羽(名) 洋絨布  
もんぱつ門闕(名) 門闕、門第(門





人〔少し陽氣な話でもしませう〕  
 俗們說點兒爽快話罷  
 やうきゆう 揚弓〔名〕 小弓  
 やうきん 洋琴〔名〕 洋琴 「曼銀」  
 やうぎん 洋銀〔名〕 洋白銅、日耳  
 やうくわ 洋貨〔名〕 洋貨  
 やうぐわ 洋畫〔名〕 洋畫  
 やうけい 養兄〔名〕 乾哥哥  
 やうげき 伴擊〔名〕 伴擊、伴攻、假  
 式、假招、聲東擊西  
 やうけん 洋犬〔名〕 洋狗  
 やうけん 洋劍〔名〕 洋刀  
 やうげん 揚言〔名〕 揚言  
 やうご 洋語〔名〕 西洋話、西語  
 やうさう 洋裝〔名〕 西裝、洋裝

やうさん 洋傘〔名〕 洋傘  
 やうさん 養蠶〔名〕 養蠶  
 やうざん 洋算〔名〕 筆算  
 やうし 養子〔名〕 乾兒子〔子義〕、義子  
 (上) 過繼兒子〔兄弟ノ子ヲ養フニセルモノ〕、招贅  
 (他姓ノ者ヲ養フ子トセルモノ)  
 やうし 洋紙〔名〕 洋紙、外國紙  
 やうじ 楊枝〔名〕 刷牙子  
 やうしき 樣式〔名〕 樣式、模式  
 やうじやう 養生〔名〕 養生〔養生法〕  
 (ハ) 養生之法  
 やうしゆ 洋酒〔名〕 洋酒  
 やうしゆん 陽春〔名〕 陽春  
 やうしよ 洋書〔名〕 洋書 「菜  
 やうしよく 洋食〔名〕 西洋菜、番

やうしよく 養殖〔名〕 養、畜、畜養、  
 傳種  
 やうしん 養親〔名〕 養親、養活老  
 やうじん 洋人〔名〕 西洋人  
 やうす 様子〔名〕 ①様子、容貌、姿  
 態〔樣子が美しい〕様子好看、容  
 貌美、姿態甚好〔様子を作る人〕  
 裝模做樣的人、裝腔作勢的人、  
 矯飾人〔彼は様子を作っておる〕  
 他作派着、他裝模作樣着、作  
 態、擺架子〔わざと様子を作つて  
 見せる〕故意的裝模做樣給人看  
 ②情形、氣象、光景〔向うの様子  
 が分りましたか〕那邊兒的情形  
 明白了麼〔正月になつても新年ら  
 しい様子がない〕過了年了可沒

有新年的氣象〔暫く様子を見る〕  
 查看情形、試試風頭〔後(下)の様  
 子を見る〕往後看、看後況、看後  
 來  
 やうせい 養成〔名〕 養成、造就〔樹  
 木を養成する〕養成樹木〔人才を  
 養成する〕造就人才  
 やうだい 樣體〔名〕 病體〔御樣體は  
 如何です〕貴恙怎麼樣〔樣體は別  
 に變(カ)はない〕病體不大沒有  
 やうたう 洋刀〔名〕 洋刀 「改變  
 やうちやう 羊腸〔名〕 羊腸〔羊腸た  
 る小道〕蟒蛇小道、羊腸小道、曲  
 曲灣灣的小道 「女  
 やうちよ 養女〔名〕 乾女孩兒、義  
 やうつり 家移〔名〕 搬家

やうでんき 陽電氣〔名〕 陽電  
 やうとう 洋燈〔名〕 洋燈  
 やうばい 楊梅〔名〕 楊梅  
 やうはく 洋白〔名〕 洋白銅  
 やうひし 羊皮紙〔名〕 羊皮紙  
 やうふ 養父〔名〕 乾爹  
 やうふう 洋風〔名〕 洋式、西式  
 やうふく 洋服〔名〕 西洋衣裳、洋  
 衣裳、西服、洋服  
 やうぶん 養分〔名〕 滋養、育質、養  
 やうぶん 洋文〔名〕 洋文 「育料  
 やうぶつ 陽物〔名〕 陽物  
 やうぼ 養母〔名〕 乾媽、乾娘  
 やうほん 洋本〔名〕 洋書〔洋本綴〕  
 (下) 洋裝的書

やうやう 揚揚〔副〕 揚揚  
 やうやう 洋洋〔副〕 洋洋  
 やうやう 與やうやく同  
 やうやく 漸ク〔副〕 ①漸漸的〔天氣  
 が漸く暖くなつて來た〕天氣漸漸  
 的暖和起來了②好容易、纔〔入  
 學してまだ漸く三ヶ月です〕入學  
 纔不過三月〔漸く命だけは取止  
 めた〕好容易纔就把命保住了  
 「漸くの事で折合をつけた」好容  
 易纔合了  
 やうらう 養老〔名〕 ①養老〔老後ヲ安ラ  
 カニ送ル事〕  
 ②養親、養活老家兒〔養老金〕  
 (キン) 養贍銀  
 やうりう 楊柳〔名〕 楊柳  
 やうれき 陽曆〔名〕 陽曆

やえやか

やえい 野營(名) 野營(野營を張る) 紮野營

やおもて 矢表(名) 當礮眼的地方

やかう 夜行(名) 夜行(夜行列車)

やがう 夜行車、夜車

やがう 屋號(名) 字號(御店の屋號)

は 寶字號(私の屋號は大和屋で)

す 小號大和

やがく 夜學(名) 夜學、夜課、夜班

〔夜學校〕(カウ) 夜校、夜間學校

やかず 家數(名) 家數

やかた 屋形(名) ①船樓 ②車篷子

③宅門子(上流ノ人)〔屋形船〕(フネ)樓

船

やがて 聽テ(副) 不久、眼望、眼看

〔聽テ大臣になります〕我看不久

的他做部長〔やがて五十歳にな

やか

る 眼望着五十歳了〔やがて返

濟の期限が來ます〕眼看歸還的

期限就到

やがふ 野合(名) 野合、私奔、淫

やかまし 喧シ(形容久活) 熱鬧、吵

鬧、喧鬧、鬧、吵、嚷(喧しくて話

も聞えない)吵鬧的連說話都聽

不見〔巡查が喧しく制しても人

民が聞かない〕巡警怎麼嚴嚴的

禁止人民也不聽〔あの婆さんは

中中喧しい〕那個老太太很利害

〔世間の口が喧しい〕外頭招物議

〔喧しく工賃の増額を要求する〕

嚷求增加工價

やかましや 喧屋(名) 利害的人、

嚴惡的人

やかから 族(名) ①族 ②黨羽

やかやき

やがら 矢柄(名) 箭杆

やかん 夜間(名) 夜間、夜分

やき焼(名) ①燒 ②蕪火(カキタヘル)

〔燒を戻す〕烹鍊、退火、蕪火〔あ

の人は燒がまはって居る〕那個人

老了沒用了

やぎ野羊(名) 山羊

やきいも 燒芋(名) 燒白薯

やきいん 燒印(名) 火印子、烙印

〔燒印を押す〕打火印、燙火印

やきうち 燒討(名) 火攻

やきがね 燒金(名) 火印子

やききん 燒金(名) 純金、足金

やきぐし 燒串(名) 烤魚用的鐵釵

やきぐり 燒栗(名) 燒栗子

やきごて 燒鐵(名) 烙鐵

つしやいますか)您現在做甚麼差

使〔私は役に就て居ません〕我現

在沒當差 ②用處、益處(役に立

たない)沒用處、無益、不濟事、

無濟於事〔役に立つ〕中用、有

用、有用處、可使用、可用 ③分

所當然(父母を養ふのは子の役で

す)養老家兒是兒子的分所當

然

やく厄(名) ①厄、困厄 ②關煞(ダシク)

やく譯(名) 翻譯

やく約(名) 約(約に背く)背約、負

約、違約(約を結ぶ)立個約會

やく燒ク(四段他動) ①燒(ヤク)、烤(アブ)

烙(カキ)〔家を燒く〕燒房子〔肉を

燒く〕烤肉〔餅を燒く〕烤黏糕、烙

餅〔瀬戸物を燒く〕燒磁器〔炭を

やきぎかな 燒肴(名) 烤鱼

やきしほ 燒鹽(名) 純白鹽

やきつぎ 燒接(名) 用藥把磁器粘

上、鍋(小サキカスガヒヲ以テ破レタル)〔燒

接屋〕(ヤ)銅碗兒的

やきつく 燒付ク(下二段他動) ①上釉

子燒 ②鍍金、鍍銀 ③晒像篇

やきつけ 燒付(名) ①上釉子燒 ②

鍍金、鍍銀 ③晒像篇

やきどうふ 燒豆腐(名) 烤豆腐

やきどり 燒鳥(名) 烤飛禽

やきなべ 燒鍋(名) 鏗

やきば 燒刃(名) 蕪火的刃兒

やきば 燒場(名) 化人場

やきはん 燒判(名) 與やきいん同

やきふで 燒筆(名) 炭筆

やきまし 燒増(名) 副張、加晒的

やき

〔燒増五枚入用です〕我們要加晒

五張

やきみやうばん 燒明礬(名) 枯礬

〔やきもき(副) 着急

やきもち 燒餅(名) ①烙餅 ②嫉妬、

吃醋〔燒餅を燒く〕1.烙烙餅 2.

嫉妬、吃醋〔子供が燒餅を燒く〕

小孩子氣懷〔燒餅燒(ヤキ) 愛吃

醋的人、愛嫉妬的人

やきもの 燒物(名) ①陶器、磁器、

瓦器 ②烤鱼〔燒物藥〕(グスリ) 釉

子、釉藥〔燒物師〕(シ)燒料匠

やぎやう 夜行(名) 夜行

〔やきやき(副) 着急

やきん 冶金(名) 冶金、煉金

やく役(名) ①役、賦役 ②官差、差

使〔貴下は何のお役を勤めて居ら

やきやく

やく



やく

議定〔約定をきめる〕立合同定  
 妥、立約定妥〔約定書〕(シヨ)合  
 同、約單、字據、約契、議單〔約  
 定濟〕(ズイ)約定好了、說好了、說  
 妥了、與約束濟同 一房、藥棧  
 やくてん藥店(名) 藥店、藥舖、藥  
 やくどく 譯讀(名) 翻譯本國話來  
 やくどく 譯讀(名) 翻譯本國話來  
 やくどし厄年(名) 關煞的年頭兒、  
 厄年、關口、坎兒(二十三歳六十六歳七  
 十三歳ヲ厄年トス)  
 やくなう藥囊(名) 藥囊  
 やくなし益無シ(形久活) 無益  
 やくなん厄難(名) 災難  
 やくにん役人(名) 官役、官員、做  
 官的、當差使的  
 やくば 役場(名) 衙門、公所  
 やくばう藥包(名) 藥包、火藥包子

やく

やくばうしよ藥方書(名) 藥方書、  
 藥冊、藥製總論  
 やくばらひ厄拂(名) ①攘災 ②唱  
 喜歌的(ハシガ)  
 やくびやう疫病(名) 疫病、瘟疫病  
 〔疫病神〕(ガミ) 1. 瘟神 2. 討厭鬼  
 (スベテノ人ニ  
 嫌ハルル人)  
 やくひん藥品(名) 藥品  
 やくぶつ藥物(名) 藥、藥物〔藥物  
 學〕(ガク)藥學、藥劑學、藥物學  
 やくぶん譯文(名) ①翻譯外國文  
 ②翻譯的文、譯成的文、譯文、  
 翻文  
 やくほ藥舖(名) 與やくてん同  
 やくまへ 役前(名) 差使、職分  
 やくみ藥味(名) ①各色藥 ②五味

やく

料、調味料、調和料、作料兒(Sei)  
 (Loofer's)〔藥味入〕(イレ)七星罐  
 兒、作料架(西洋料)、調味瓶  
 やくめ 役目(名) 差使、官差  
 やくもごと八雲琴(名) 二絃琴  
 やくやう藥用(名) 當藥用  
 やぐら櫓(名) 望樓(モノ)、角樓(城壁  
 アル)、尾樓(船尾)  
 やくれい藥禮(名) 藥錢  
 やくれう藥料(名) 同上  
 やくれう 役料(名) 薪水  
 やくろう藥籠(名) 藥籠、藥葫蘆  
 やくわい夜會(名) 夜宴、夜會  
 やぐわい野外(名) 野外、野地〔野  
 外演習〕(シユエ)野操、野外演習  
 〔野外演習をする〕操野操〔野外

一五八二

劇(ゲキ)野臺子戲

やくわう 夜光(名) 夜光〔夜光の  
 杯〕夜光杯〔夜光の珠〕夜光珠  
 やくわり 役割(名) 分派差事(役目)、  
 分部處置(事ガ)、派定脚色(役者)、  
 分配扮演的的人(珂)  
 やくわん 扼腕(名) 扼腕  
 やくわん藥罐(名) ①冲藥壺、泡  
 藥壺 ②(カシ)開水壺、銅吊兒 ③  
 禿頭  
 やくゐん 役員(名) ①做官的、當  
 差事的、職員 ②公司夥員(會社)  
 公司職員(珂) ③事務員  
 やくゑん 藥園(名) 藥園  
 やけ焼(名) ①燒 ②霞(朝燒)〔テサ〕早  
 霞〔夕燒〕〔ワ〕晚霞 ③自暴自棄  
 〔落第して焼を起す〕因爲考不中

やくやけ

自暴自棄起來了

やけあと 燒跡(名) 火場  
 やけい 夜景(名) 夜景  
 やけいし 燒石(名) 火崩的石頭〔燒  
 石に水〕一根鐵捻不了多少釘子  
 やけこがし 燒焦(名) 燒糊了  
 やけざけ 燒酒(名) 悶酒〔燒酒を飲  
 む〕喝悶酒  
 やけじに 燒死(名) 燒死  
 やけど 火傷(名) 燙、火傷、燒傷、  
 燙傷、火燒傷  
 やけの 燒野(名) 放荒的野地  
 やけのみ 燒飲(名) 喝悶酒  
 (やけばら 燒腹(名) 自暴自棄  
 やげふ 夜業(名) 夜作、夜工〔夜業  
 をする〕打夜作、夜作  
 やけぶとり 燒太(名) 火燒旺地

やけ

やげん 藥研(名) 藥碾子、碾船

やこう 冶工(名) 冶匠  
 やこぜん 野狐禪(名) 野狐禪  
 やごろ 矢頃(名) 引滿、拉滿了弓  
 やさい 野菜(名) 青菜  
 やさう 野草(名) 野草、野蔓  
 やさがし 家搜(名) 滿世界找  
 やさがた 優形(名) 單薄的人  
 やさかにのまがたま 八尺瓊勾玉  
 (名) 日本皇室三種神器之一  
 やさき 矢先(名) ①箭頭、箭鐵 ②  
 剛要辦的時候  
 やさし 優シ(形久活) ①柔和、溫柔、  
 慈愛、慈心的、好心的、好心眼  
 〔心根が優しい〕他心眼兒善〔優  
 しい聲〕柔和的聲音 ②風雅 ③容  
 易、不難〔それは優しい事です〕

やけやさ

一五八三